



令和 6 年度 東京湾環境一斉調査 調査結果

令和 7 年 3 月

東京湾再生推進会議モニタリング分科会
九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会
東京湾岸自治体環境保全会議
東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム

目 次

1.	調査概要	2
2.	調査参加機関	4
3.	調査地点	7
4.	気象・海象の状況	9
5.	東京湾の水質の状況	10
5-1.	令和6年度の結果	10
5-2.	過去との比較	14
6.	河川・湖沼の調査結果	27
7.	東京湾に流入する主な河川の状況	30
8.	生物調査の実施実績	43
8-1.	干潟調査	43
8-2.	その他の調査	52
8-3.	「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組	55
9.	環境啓発活動等のイベント開催実績	56
10.	用語解説	64
11.	問い合わせ先等	68

参考資料

- I 調査レポート（干潟調査）
- II 調査レポート（干潟以外調査）
- III 調査レポート（「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組）

はじめに

国の関係機関や地方公共団体、教育・研究機関、企業、市民団体などが連携し、平成 20 年度から実施してきた東京湾水質一斉調査は、平成 25 年度より東京湾環境一斉調査と名称を変更いたしました。東京湾水質一斉調査の開始から数えますと、本調査は 17 回目の実施となります。東京湾環境一斉調査は、「多様な主体が協働しモニタリングを実施することにより国民・流域住民の東京湾再生への関心を醸成する」ほか、「東京湾の全域及び陸域を対象とした一斉での調査を通じ、東京湾の汚濁メカニズムを解明する」ことを目的として実施されております。本年度も東京湾及び流域の環境に関心を寄せる多くの方々に御参加いただき、多数の貴重なデータを得ることができました。

令和 5 年度調査と同様、より多くの皆様に御参加いただくために、生物調査については事前募集で登録されていない調査についても報告を受け付けました。本報告書では、東京湾の全域及び流域における令和 6 年 8 月の水質の状況と令和 6 年度に実施された生物調査の結果及び環境啓発活動等のイベントの実施報告について掲載しております。

本報告書が、調査に参加された方々をはじめ、東京湾に関心をお持ちの皆様にとっての一助となり、また、より多くの方に関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

○本報告に掲載のコンター図の作成方法について

本報告では、海域の調査結果（①水温分布、②塩分分布、③溶存酸素量（DO）分布、④化学的酸素要求量（COD）分布、⑤透明度分布）についてコンター図を作成し、本文中に図として報告しています。

これらのコンター図の作成方法について以下に示します。

東京湾環境一斉調査の調査地点は、東京湾全域で位置的に偏りがあるため、コンター図を作成するには一定間隔の格子点に、近くの調査地点のデータを空間的に内挿補間することで作成します。この空間補間は、観測地点の観測データに重みをつけ、離れるに従い重みを小さくして未計測の格子点の観測値を推定します。空間補間により格子点上の観測値を推定し、等高線のようなコンター図を作成しています。

内挿法には、クリギング法という手法を用いています。クリギング法はサンプル数が少ないデータに適した手法です。

1. 調査概要

(1) 主催

○東京湾再生推進会議モニタリング分科会

- ・国土交通省 ・国土交通省関東地方整備局 ・海上保安庁
- ・第三管区海上保安本部 ・水産庁 ・環境省※ ・埼玉県
- ・千葉県 ・東京都 ・神奈川県 ・横浜市 ・川崎市
- ・千葉市 ・さいたま市

○九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会

- ・埼玉県 ・千葉県※ ・東京都 ・神奈川県 ・横浜市
- ・川崎市 ・千葉市 ・さいたま市 ・相模原市

○東京湾岸自治体環境保全会議

- ・東京都※ ・江戸川区 ・大田区 ・江東区 ・品川区 ・中央区
- ・港区
- ・千葉県 ・市川市 ・市原市 ・浦安市 ・木更津市 ・君津市
- ・鋸南町 ・袖ヶ浦市 ・館山市 ・千葉市 ・習志野市 ・富津市
- ・船橋市 ・南房総市
- ・神奈川県 ・川崎市 ・三浦市 ・横浜市 ・横須賀市

○東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム

行政関係者、研究者、専門家、漁業関係者、釣人、マリンレジャー関係者、企業関係者、NPO、教育関係者、一般市民等の多数の方々より構成され、東京湾の再生のための連携や協働活動を実施。

※幹事

(2) 後援

一般社団法人 日本経済団体連合会

(3) 調査内容

① 水質調査

【海域】水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度

【陸域】水温、流量、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透視度

② 生物調査

③ 環境啓発活動等のイベント

(4) 調査日

① 水質調査

令和 6 年 8 月 7 日を調査基準日とし、調査基準日を含む前後数日間を中心に調査を実施しました。

② 生物調査

令和 6 年 7 月から 9 月に実施された生物調査のデータを提供いただきました。

③ 環境啓発活動等のイベント

令和 6 年 7 月から 10 月に実施された水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントの報告をいただきました。

(5) 調査参加機関 170 機関（重複機関含む）

① 水質調査

155 機関

② 生物調査

9 機関

③ 環境保全啓発等イベントの実施

6 機関

(6) 水質調査実施地点数

海域 463 地点、陸域 414 地点 計 877 地点

(7) 生物調査の結果・データ報告数

9 件

(8) 環境啓発活動等のイベント開催数

7 件

2. 調査参加機関

【水質調査データ提供機関】

<企業>72 機関

- ・ AGC 株式会社 AGC 横浜テクニカルセンター
- ・ ENEOS 株式会社 根岸製油所
- ・ ENEOS 株式会社 川崎製油所
- ・ JFE スチール株式会社
- ・ JFE スチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)
- ・ JFE 鋼板株式会社 千葉製造所
- ・ 曙ブレーキ岩槻製造株式会社
- ・ 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所
- ・ 味の素株式会社 川崎事業所
- ・ アルバック成膜
- ・ エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社
- ・ エヌエス環境株式会社 東京支社
- ・ 大阿蘇水質管理株式会社
- ・ 株式会社 ENEOS NUC 川崎工業所
- ・ 株式会社環境管理センター 北関東技術センター
- ・ 株式会社環境テクノ
- ・ 株式会社キミカ
- ・ 株式会社 SUMCO
- ・ 株式会社 J-オイルミルズ 千葉工場
- ・ 株式会社東芝 横浜事業所
- ・ 株式会社日本触媒 川崎製造所 浮島工場
- ・ 株式会社日本触媒 川崎製造所 千鳥工場
- ・ 株式会社日立製作所 中央研究所
- ・ 株式会社プロテリアル 熊谷磁材工場
- ・ 株式会社横浜八景島
- ・ 株式会社レゾナック 基礎化学品事業部 川崎事業所
- ・ 株式会社レゾナック 秩父事業所
- ・ 株式会社レゾナック 横浜事業所
- ・ 株式会社ロッテ 浦和工場
- ・ 川口薬品株式会社 浦和事業所
- ・ キッコーマン食品株式会社 野田工場 製造第1部
- ・ キッコーマン食品株式会社 野田工場 製造第2部
- ・ キッコーマン食品株式会社 野田工場 製造第3部
- ・ 麒麟麦酒株式会社 横浜工場
- ・ 京葉ユーティリティ株式会社
- ・ コアレックス三栄株式会社
- ・ 合同会社オフショアテクノロジーズ
- ・ 新東日本製糖株式会社
- ・ 住友化学株式会社 千葉工場(袖ヶ浦地区)
- ・ セイコーインスツル株式会社 高塚事業所
- ・ セントラル硝子株式会社 川崎工場
- ・ 太平洋製糖株式会社
- ・ ダイワ化成株式会社
- ・ 宝酒造 松戸工場
- ・ 電源開発株式会社 磯子火力発電所
- ・ 東亜建設工業株式会社
- ・ 東亜合成株式会社 川崎工場
- ・ 東亜合成株式会社 横浜工場
- ・ 東亜石油株式会社
- ・ 東京ガス株式会社 扇島 LNG 基地
- ・ 東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地
- ・ 東京ガス株式会社 根岸 LNG 基地
- ・ 東芝エネルギーシステムズ株式会社 浜川崎工場
- ・ 東芝プラントシステム株式会社 川崎事業所
- ・ 東洋水産株式会社 埼玉工場
- ・ 流山キッコーマン株式会社
- ・ 日油株式会社 川崎事業所
- ・ 日産自動車株式会社 本牧専用埠頭
- ・ 日産自動車株式会社 横浜工場
- ・ 日鉄溶接工業株式会社 習志野工場
- ・ 日本製鉄株式会社 技術開発本部
- ・ 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区
- ・ 日本冶金工業株式会社
- ・ 日本製紙クレシア株式会社 東京工場
- ・ 日本ゼオン株式会社 川崎工場
- ・ 日本乳化剤株式会社 川崎工場
- ・ 日化メンテナンス株式会社
- ・ 北海製罐株式会社 岩槻工場
- ・ 三菱ケミカル株式会社 関東事業所 鶴見地区
- ・ 森永乳業株式会社 東京多摩工場
- ・ 山根技研株式会社
- ・ 雪印メグミルク株式会社 野田工場

<市民団体>2 機関

- ・ NPO 法人
ふるさと東京を考える実行委員会
- ・ NX ホールディングス／ヴォース・ニッポン

＜教育・研究機関＞1 機関

- ・公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館

＜その他＞2 機関

- ・水辺のクリエイターズ
- ・一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会

＜地方公共団体＞69 機関

- ・埼玉県
- ・埼玉県 荒川右岸下水道事務所
- ・埼玉県 荒川左岸南部下水道事務所
- ・埼玉県 荒川左岸北部下水道事務所
- ・埼玉県 中川下水道事務所
- ・さいたま市
- ・さいたま市 建設局 下水道部 下水道維持管理課
- ・川越市 環境部 環境対策課
- ・熊谷市
- ・川口市
- ・秩父市
- ・所沢市
- ・高坂浄化センター
- ・市野川浄化センター
- ・春日部市
- ・狭山市
- ・草加市
- ・越谷市
- ・坂戸、鶴ヶ島下水道組合
- ・日高市
- ・毛呂山越生鳩山公共下水道組合
- ・千葉県
- ・千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
- ・印旛沼下水道事務所
- ・江戸川下水道事務所
- ・千葉市 環境規制課
- ・千葉市 中央浄化センター
- ・千葉市 南部浄化センター
- ・市川市 環境部 生活環境保全課
- ・市川市 下水道部 河川・下水道管理課
- ・船橋市 環境部 環境保全課
- ・船橋市 下水道部 下水道施設課
- ・館山市
- ・館山市 建設環境部 都市計画課
- ・木更津市 環境部 環境政策課
- ・木更津市 都市整備部 下水道推進室
- ・松戸市 環境部 環境保全課
- ・松戸市 建設部 下水道維持課
- ・習志野市 企業局
- ・習志野市 都市環境部 環境政策課
- ・市原市 環境部 環境管理課
- ・市原市 上下水道部 下水道施設課
- ・君津市
- ・君津富津広域下水道組合
- ・浦安市
- ・袖ヶ浦市
- ・東京都 環境局 自然環境部 水環境課
- ・東京都 下水道局 計画調整部 事業調整課
- ・東京都 下水道局 流域下水道本部 技術部 計画課
- ・中央区
- ・台東区
- ・江東区
- ・大田区
- ・北区
- ・板橋区
- ・八王子市
- ・町田市 環境資源部 環境共生課
- ・町田市 下水道部水再生センター
- ・西東京市
- ・神奈川県 環境課
- ・神奈川県 水産技術センター
- ・横浜市 下水道河川局 水質課
- ・横浜市 港湾局
- ・横浜市 みどり環境局
- ・川崎市 環境局 環境対策部 環境保全課
- ・川崎市 上下水道局 下水道部 下水道水質課
- ・横須賀市 上下水道局
- ・横須賀市 環境保全課
- ・三浦市

<国>9 機関

- ・ 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
- ・ 関東地方整備局 荒川上流河川事務所
- ・ 関東地方整備局 江戸川河川事務所
- ・ 関東地方整備局 京浜河川事務所
- ・ 関東地方整備局 京浜港湾事務所
- ・ 関東地方整備局 東京空港整備事務所
- ・ 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
- ・ 関東地方整備局 東京湾口航路事務所
- ・ 関東地方整備局

【生物調査データ提供機関】

- ・ 浦安市三番瀬環境観察館
- ・ 大田区環境マイスターの会
- ・ 東京都板橋区
- ・ 国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所
- ・ 横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査
- ・ 横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会
- ・ 横浜港湾空港技術調査事務所 釣り調査
- ・ 横浜市港湾局

【環境啓発等イベント実施機関】

- ・ 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 環境安全部
- ・ 日本製鉄株式会社 技術開発本部
- ・ 株式会社日本触媒 川崎製造所
- ・ 横浜港湾空港技術調査事務所
- ・ 東亜合成株式会社 川崎工場
- ・ 台東区役所 環境課

参加機関数は、表 2-1 のとおり推移しています。

表 2-1 参加機関数の推移

	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	第 17 回
一斉調査 基準日	令和元年 8 月 7 日	令和 2 年 8 月 5 日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 4 年 8 月 3 日	令和 5 年 8 月 9 日	令和 6 年 8 月 7 日
企業	96	83	70	74	78	76
市民団体	25	11	5	14	11	3
教育・研究機関	10	5	7	5	2	1
その他	0	4	6	3	1	2
地方公共団体	68	66	64	72	72	74
国	11	8	9	14	15	14
合計	210	177	161	182	179	170

※令和 2 年度の調査から、水質調査・生物調査・環境啓発活動等のイベントへデータ提供いただいた機関は、それぞれ 1 参加機関と登録しています。(過年度の調査には、同一部署内の複数のグループからそれぞれ個別の申込先に提供があった場合に 1 参加機関とまとめた事例が含まれています。)

※水質調査・生物調査・環境啓発活動等のイベントのうち複数の調査に参加した機関は、それぞれの調査ごとに計上しています。

3. 調査地点

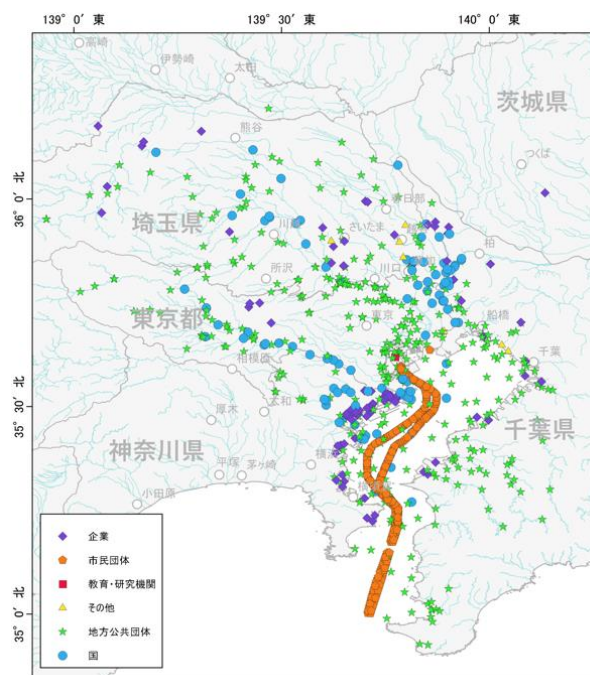
水質調査は、海域 463 地点、陸域 414 地点、計 877 地点における調査データが集まりました。水質調査の調査地点数は、表 3-1 のとおり推移しています。東京湾環境一斉調査地点の広域図（図 3-1）と東京湾周辺の詳細な調査地点（図 3-2）を調査機関別に示します。

なお、陸域の調査については、一斉調査日以外の複数の日程にて調査が実施された地点が多く含まれることから、統一的なデータとして取り扱うことが困難であったため、作図は行わず、提供いただいたデータを掲載します。

表 3-1 過去 5 年間の実施機関別調査地点数※

	第 12 回		第 13 回		第 14 回		第 15 回		第 16 回		第 17 回	
一斉調査 基準日	令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	8 月 7 日		8 月 7 日		9 月 16 日		8 月 3 日		8 月 9 日		8 月 7 日	
海域／ 陸域	海域	陸域	海域	陸域	海域	陸域	海域	陸域	海域	陸域	海域	陸域
企業	59	52	53	52	39	52	46	43	35	61	44	48
市民団体	2	10	310	1	303	1	311	1	1	4	283	0
教育・研究 機関	50	0	42	0	49	6	8	0	4	0	1	0
その他	102	286	0	1	0	5	0	1	0	1	0	4
地方公共 団体	102	286	119	302	118	270	147	282	134	285	109	288
国	31	57	35	74	39	80	61	87	48	74	26	74
計	244	405	559	430	548	414	573	414	222	425	463	414
合計	1,091		989		962		987		647		877	

※調査地点数には一斉調査基準日でない日に行われた調査地点を含みます。



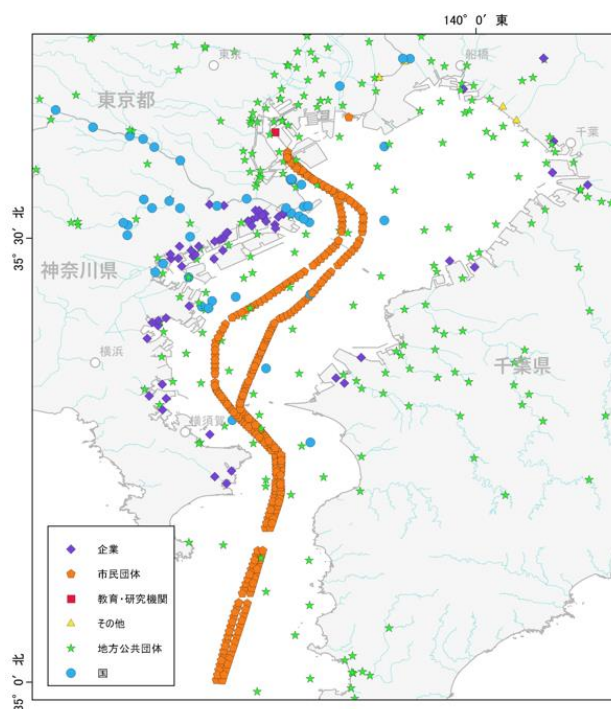
調査基準日 8 月 7 日以外に以下の実施日を含む全地点の水質データを元に作成

(海域) 8 月 1 日、8 月 5 日、8 月 6 日、8 月 8 日、8 月 9 日、8 月 14 日、8 月 15 日、8 月 20 日

(陸域) 8 月 1 日、8 月 2 日、8 月 5 日、8 月 6 日、8 月 8 日、8 月 9 日、8 月 12 日、8 月 13 日、8 月 14 日、8 月 19 日、8 月 20 日、8 月 21 日、8 月 22 日、8 月 23 日、9 月 9 日

背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工

図 3-1 令和 6 年度東京湾環境一斉調査地点図（広域図）



調査基準日 8 月 7 日以外に以下の実施日を含む全地点の水質データを元に作成

(海域) 8 月 1 日、8 月 5 日、8 月 6 日、8 月 8 日、8 月 9 日、8 月 14 日、8 月 15 日、8 月 20 日

(陸域) 8 月 1 日、8 月 2 日、8 月 5 日、8 月 6 日、8 月 8 日、8 月 9 日、8 月 12 日、8 月 13 日、8 月 14 日、8 月 19 日、8 月 20 日、8 月 21 日、8 月 22 日、8 月 23 日、9 月 9 日

背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工

図 3-2 令和 6 年度東京湾環境一斉調査地点図（東京湾周辺）

4. 気象・海象の状況

令和6年度東京湾環境一斉調査基準日（令和6年8月7日）前後の気象・海象状況として、アメダス（東京、羽田、横浜、千葉）の観測データ（平均気温、降水量、日射時間、時間平均風速）と潮位（東京）を図4-1に示します。調査基準日当日は、3地点とも平均気温30℃程度で、降雨量が東京で28mm/day、横浜で2mm/day、千葉で21mm/day程度でした。日射時間は東京と千葉で4時間、横浜で8時間程度でした。また、当日は南方向～東方向から風が吹いていました。

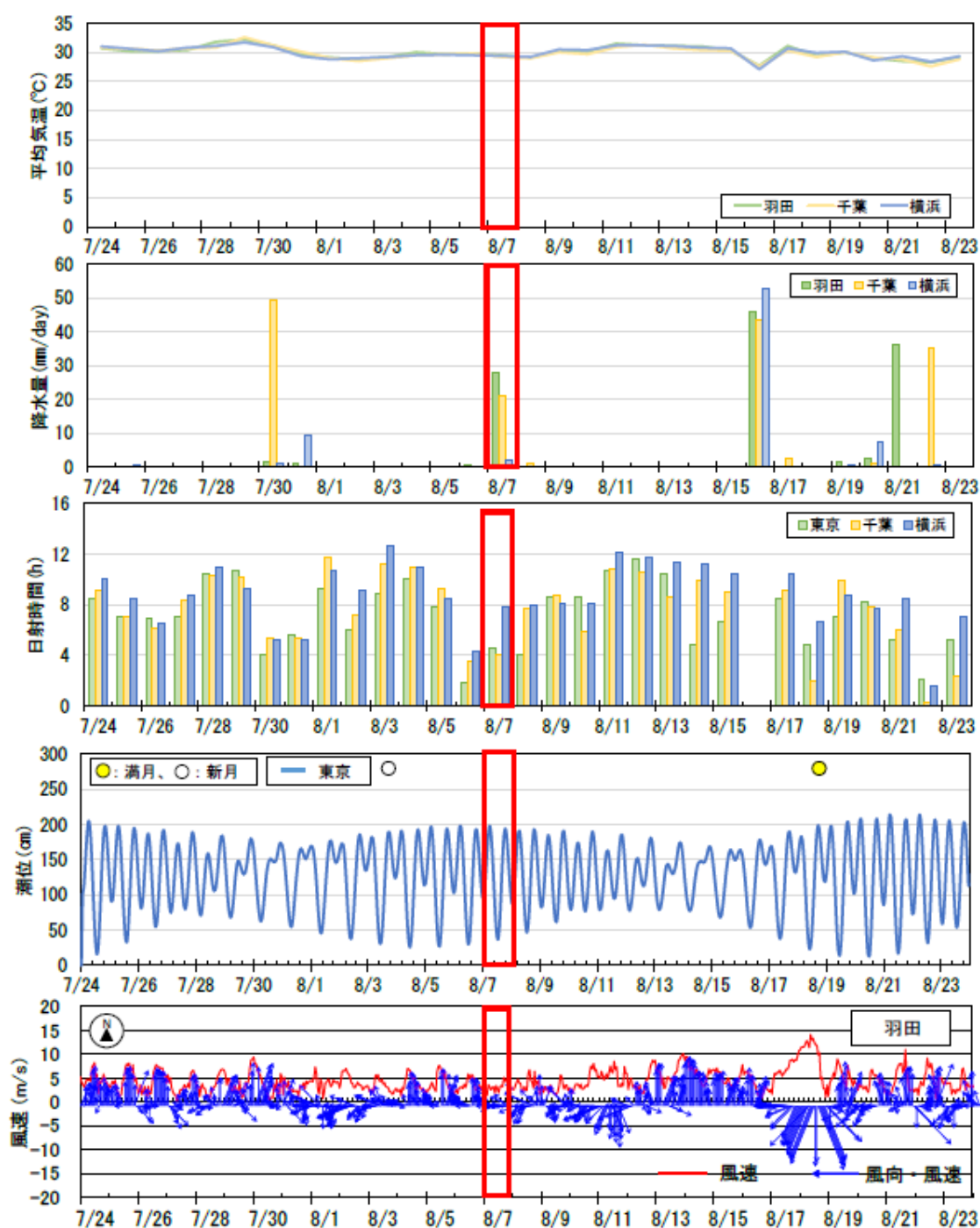


図4-1 令和6年度の調査基準日前後の気象・海象状況
（ ：東京湾環境一斉調査基準日）

5. 東京湾の水質の状況

5-1. 令和6年度の結果

令和6年度東京湾環境一斉調査基準日（令和6年8月7日）と基準日の前後1日を含めた3日間の水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度の平均を図5-1から図5-5に示します（令和6年度調査については、基準日における観測データが例年より少なかったため、基準日前後1日を含めた3日間の平均図を示しています。）。なお、図3-1の調査地点のうち、調査基準日（8月7日）と基準日の前後1日に調査が行われ、かつ測定深度が表層、中層、底層の基準水深（表層：水深1mまで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上1mまで）に合致した地点のみを白い点で示しています。

また、調査地点は、東京湾全域で位置的に偏りがあるため、クリギング法により、一定間隔の格子点に、近くの調査地点のデータを空間的に内挿補間することで作図しています（P.1参照）。

① 水温（図5-1）

水温分布を図5-1に示します。表層の水温は、東京湾全域で27℃程度以上を示していました。中層では、湾口部から湾央部の水深が深い海域で22～24℃と低く、東京側の沿岸部及び湾奥部が27～31℃と高くなっていました。底層では、湾口部の水深が深い海域で19～21℃と低くなっていました。

② 塩分（図5-2）

塩分分布を図5-2に示します。表層の塩分は、湾口部から湾奥部に向かうに従って低くなる傾向が見られました。特に、河口付近の表層で低い塩分が見られました。これは、調査日当日の降雨の影響が考えられます。中層では、湾口部の千葉側で高いエリアが見られ、湾奥部では隅田川、荒川の河口付近で低い分布が見られました。底層では、湾口部から湾央部にかけて水深が深い海域で高く、湾奥部では沿岸域に向かうに従って徐々に低くなる傾向が見られました。

③ 溶存酸素量（DO）（図5-3）

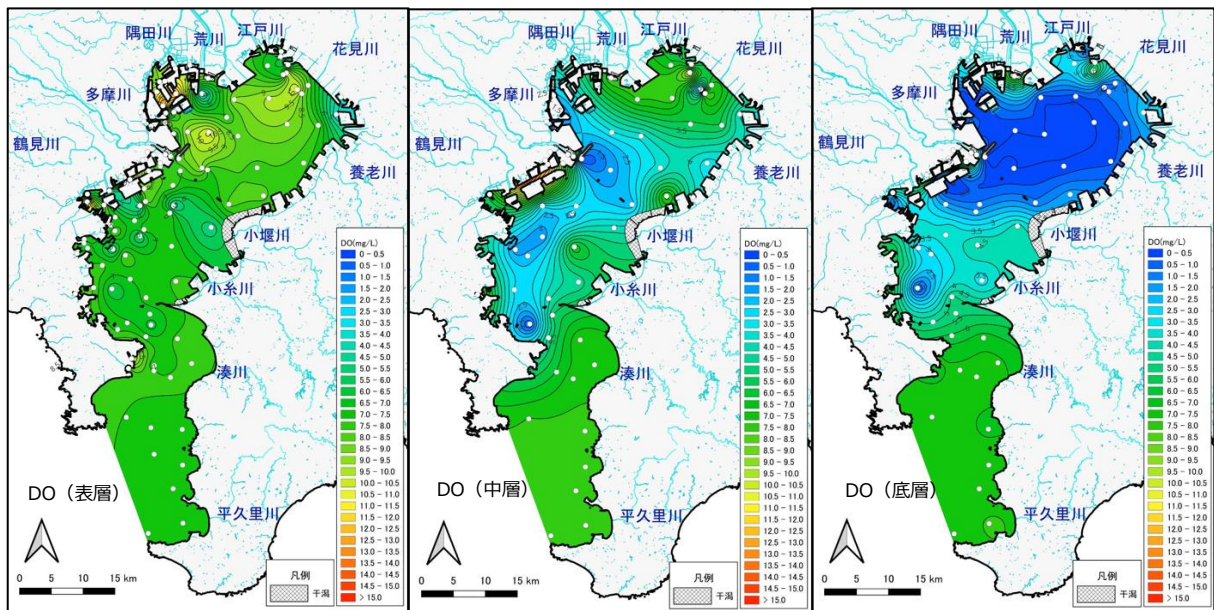
溶存酸素(DO)分布を図5-3に示します。今年度のDOは特異的で、貧酸素水塊が湾奥だけでなく、金沢八景沖でも発生していました。表層のDOは、湾奥部の隅田川河口部で溶存酸素量が高いエリアが見られました。中層では、貧酸素水塊（DOが3mg/Lを下回った水塊）が湾央部に分布していました。底層では、貧酸素水塊（DOが3mg/Lを下回った水塊）が湾央部に分布していました。特に湾奥部では1mg/L以下の水塊が広く分布していました。

④ 化学的酸素要求量（COD）（図5-4）

化学的酸素要求量（COD）分布を図5-4に示します。表層のCODは、湾奥部で高く、湾口部に向かうに従って低くなる傾向が見られました。中層では、湾奥部で高く、湾央部で低くなる傾向が見られました。底層では、湾奥部で高く、湾央部に向かうに従って低くなっていました。

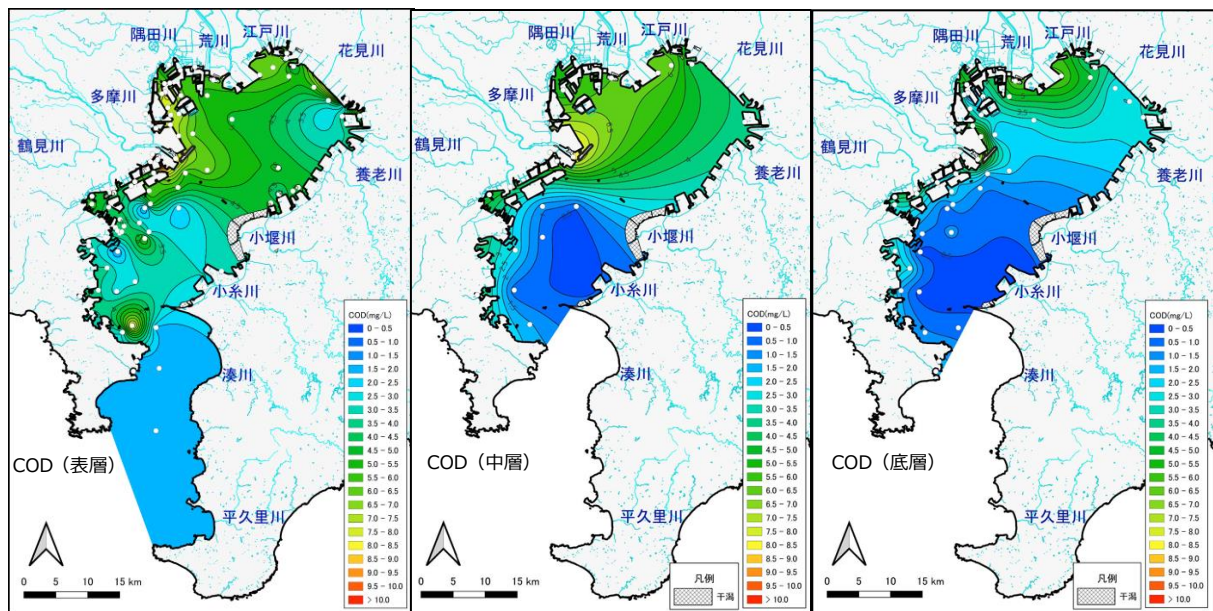
⑤ 透明度（図5-5）

透明度分布を図5-5に示します。透明度は、沿岸と湾央部で低く、湾口部に向かうに従って高くなる傾向が見られました。



表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。

図 5-3 令和 6 年における東京湾の 3 日間平均 DO の状況



表層：水深 1m まで、底層：海底上 1m までを示す。

図 5-4 令和 6 年における東京湾の 3 日間平均 COD の状況

5-2. 過去との比較

平成 21 年から令和 6 年までの 8 月の水温、塩分、溶存酸素量（DO）の調査結果を図 5-6、図 5-7、図 5-8 に示します。なお、平成 26 年と令和 3 年は一斉調査を 9 月に実施したことから、図は掲載していません。また、令和元年と 6 年の調査については、基準日における観測データが例年より少ないため、基準日前後 1 日を含めた 3 日間の平均図を示しています。平均図はより多くの測定点のデータを用いるため空間解像度は上がりますが、刻々と移動する水塊の挙動が平均化されるため、単日の観測結果による水塊の分布範囲と異なって見える場合があることにご留意ください。

① 水温（図 5-6）

水温の鉛直分布は、多くの観測年において表層から中層、底層へと深度を増すごとに低温となる傾向にあり、成層構造の形成が見られます。

令和 6 年の表層水温は、東京湾全域で 27℃以上を示し、令和 4 年から継続で同様の傾向が見られます。中層では、湾口部から湾央部の水深が深い海域で水温が低く、東京側の沿岸部及び湾奥部が高くなっている平成 22 年、30 年、令和 4 年、5 年に近い分布が見られました。底層では、湾口部から湾奥部に低い水温の分布が見られ、平成 28 年、29 年、30 年、令和 5 年に近い分布が見られました。

② 塩分（図 5-7）

塩分の鉛直分布については、水温と同じく多くの観測年において表層から中層、底層へ深度を増すごとに高い値を示す成層構造が見られますが、令和 6 年では、その傾向が見られませんでした。

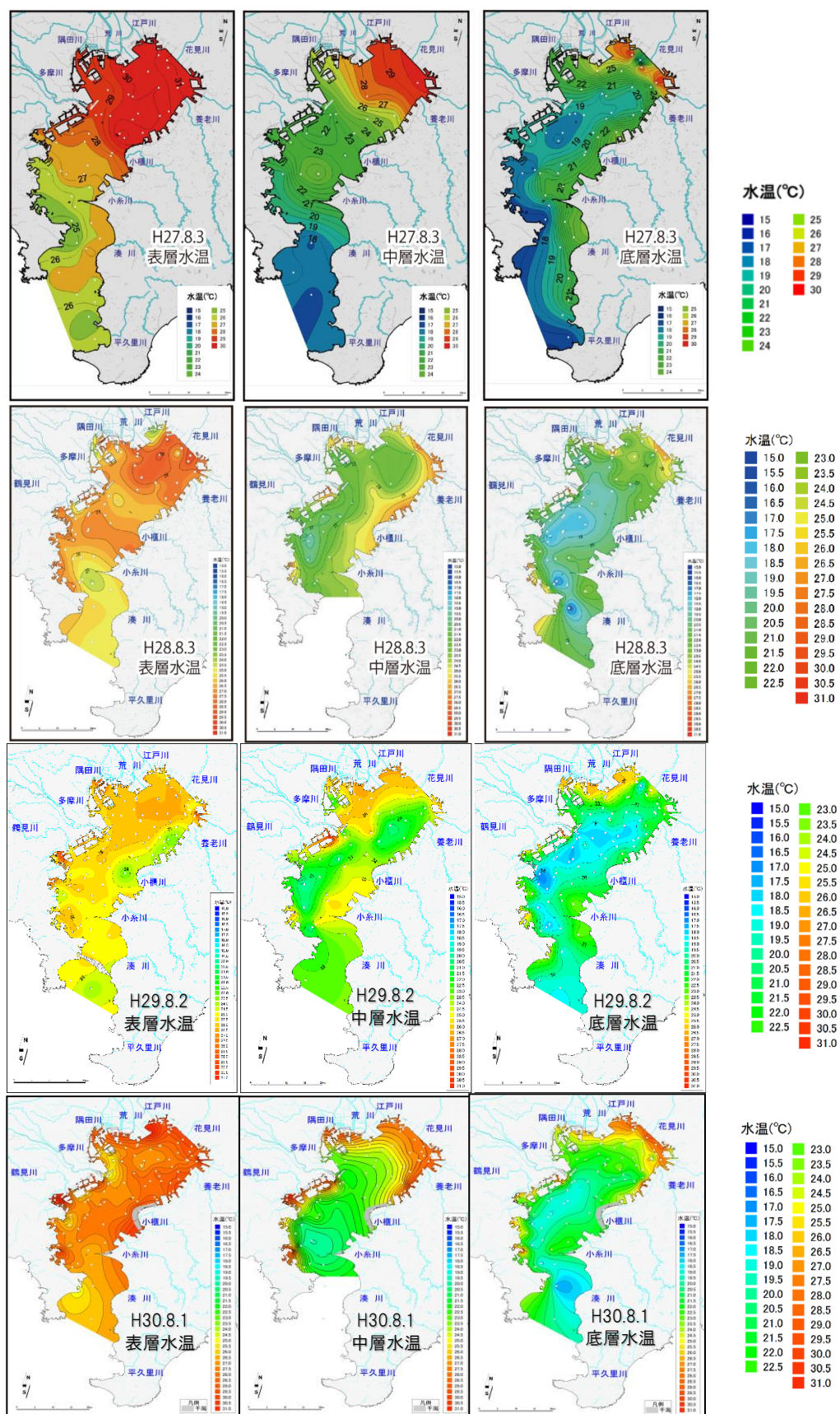
塩分の水平分布については、表層で湾口付近で高く、河川の影響などを受けやすい湾奥・沿岸で低い傾向があります。特に、隅田川と荒川の河口付近はほぼ全ての年の表層において、周囲に比べて低塩分な水塊が観測されています。

令和 6 年の表層塩分は、例年と同じく北西沿岸において低く、底層については、平成 21 年、23～25 年と同じく北西沿岸が低塩分な分布となりました。

③ 溶存酸素量（DO）（図 5-8）

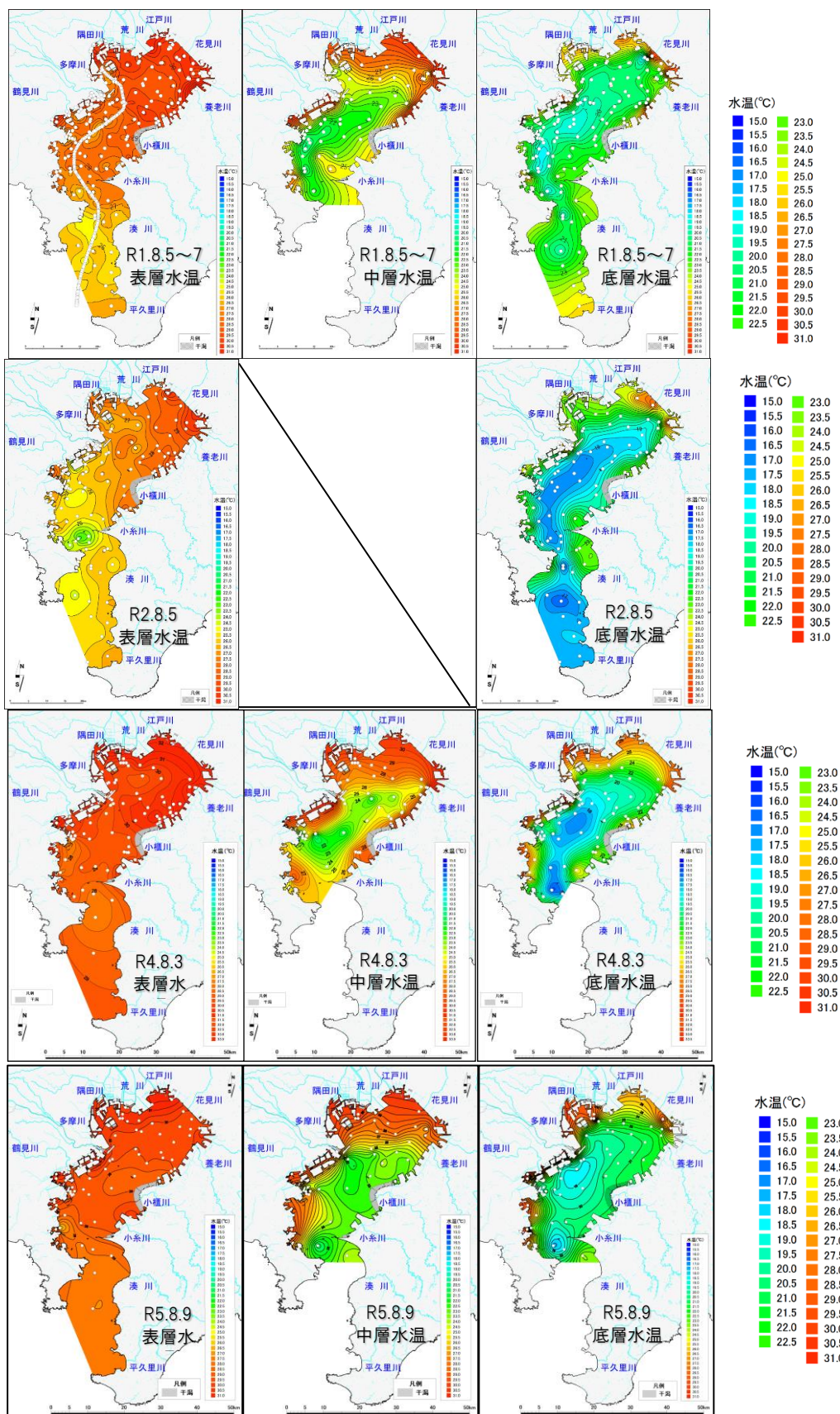
例年表層ではごく一部の観測点、一部の年を除き、6 mg/L を上回っています。底層では、ほぼ全ての年において、湾央部から湾奥部にかけて、3 mg/L 以下の貧酸素水塊が存在していることがわかります。

令和 6 年は、表層においては例年と同様に広い範囲で 6 mg/L を上回りました。底層においては、貧酸素水塊が湾奥だけでなく、金沢八景沖でも発生していました。



表層：水深1mまで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上1mまでを示す。(次頁へ続く。)

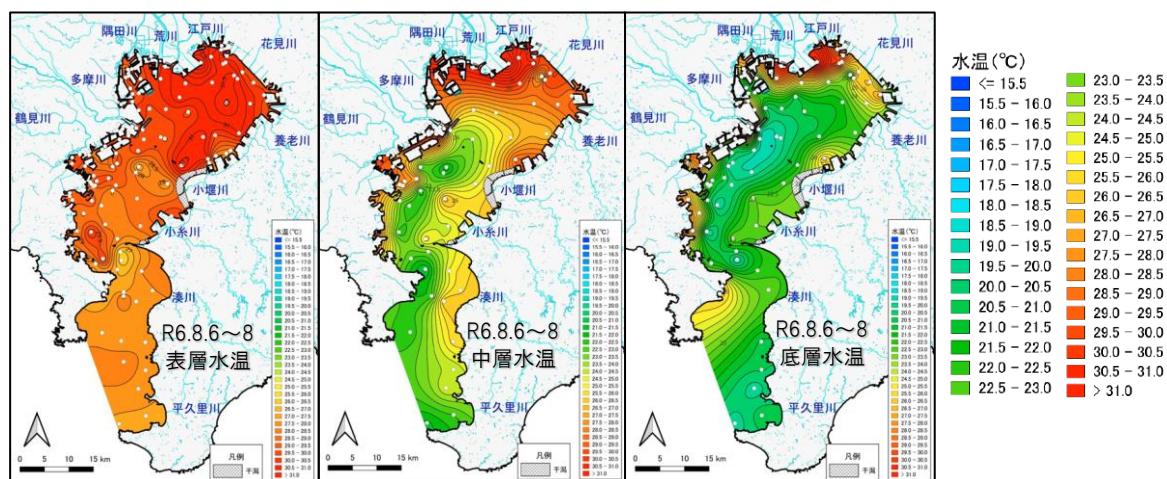
図 5-6b 平成 27 年から平成 30 年(平成 26 年を除く) 8 月における東京湾の水温の状況



表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。(次頁へ続く。)

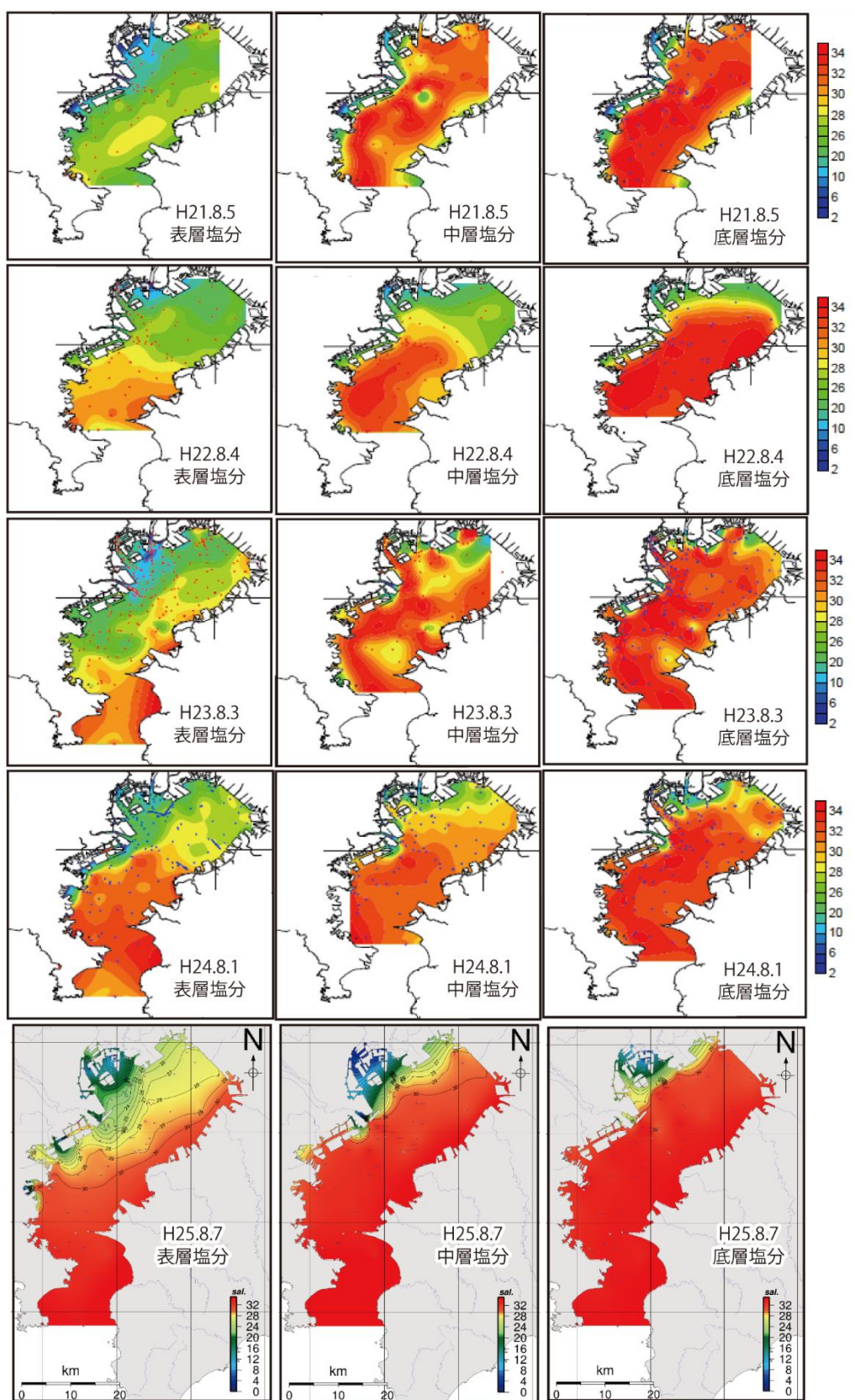
なお、令和元年については、3 日間平均水温を示す。

図 5-6c 令和元年から令和 5 年(令和 3 年を除く) 8 月における東京湾の水温の状況



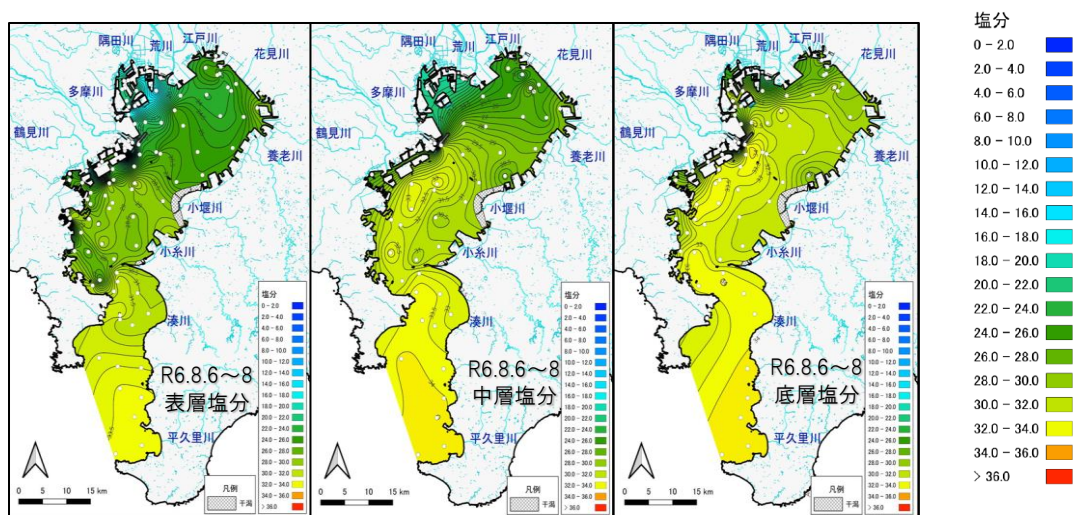
表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。

図 5-6d 令和 6 年 8 月における東京湾の 3 日間平均水温の状況



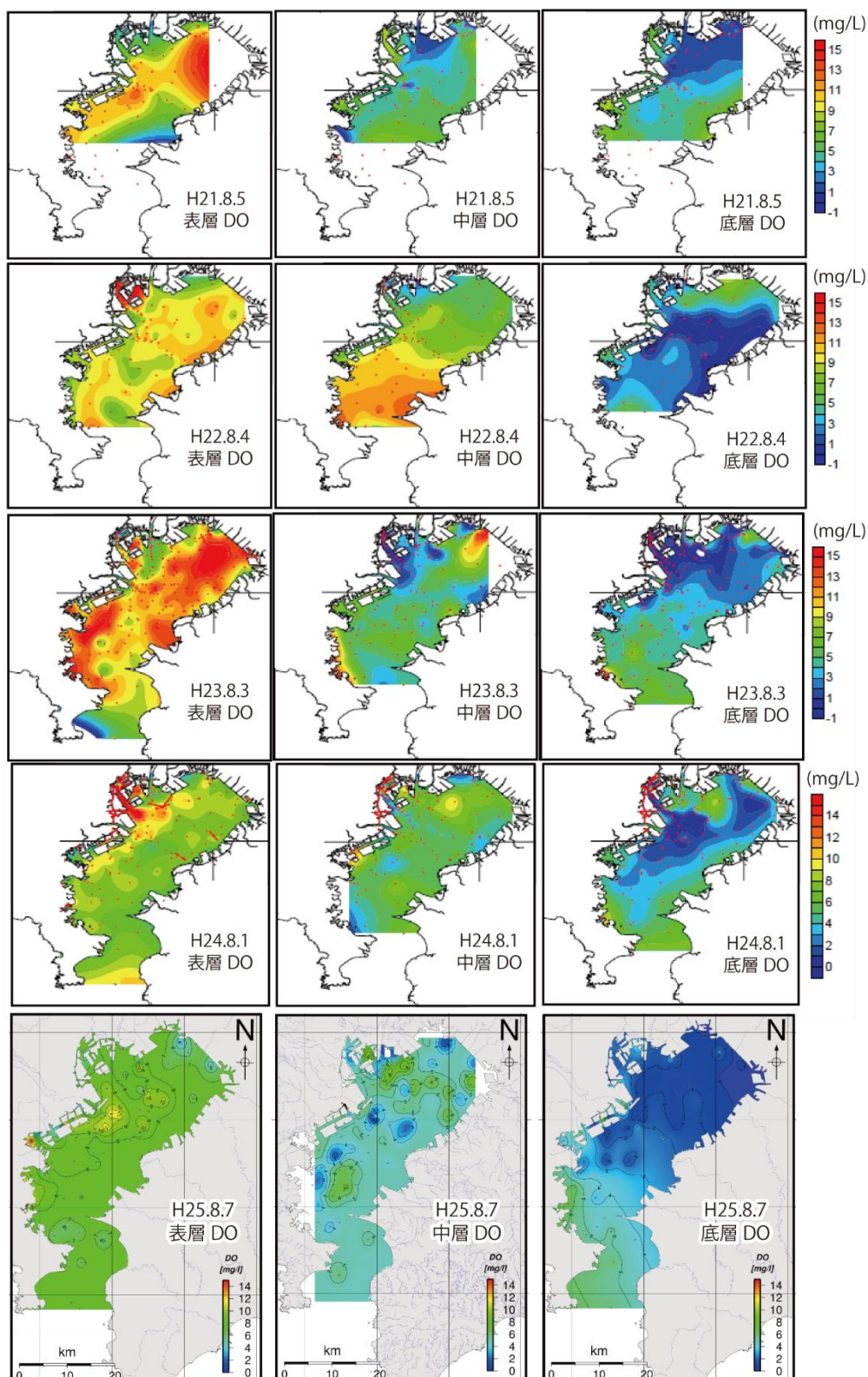
表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。(次頁へ続く。)

図 5-7a 平成 21 年から平成 25 年 8 月における東京湾の塩分の状況



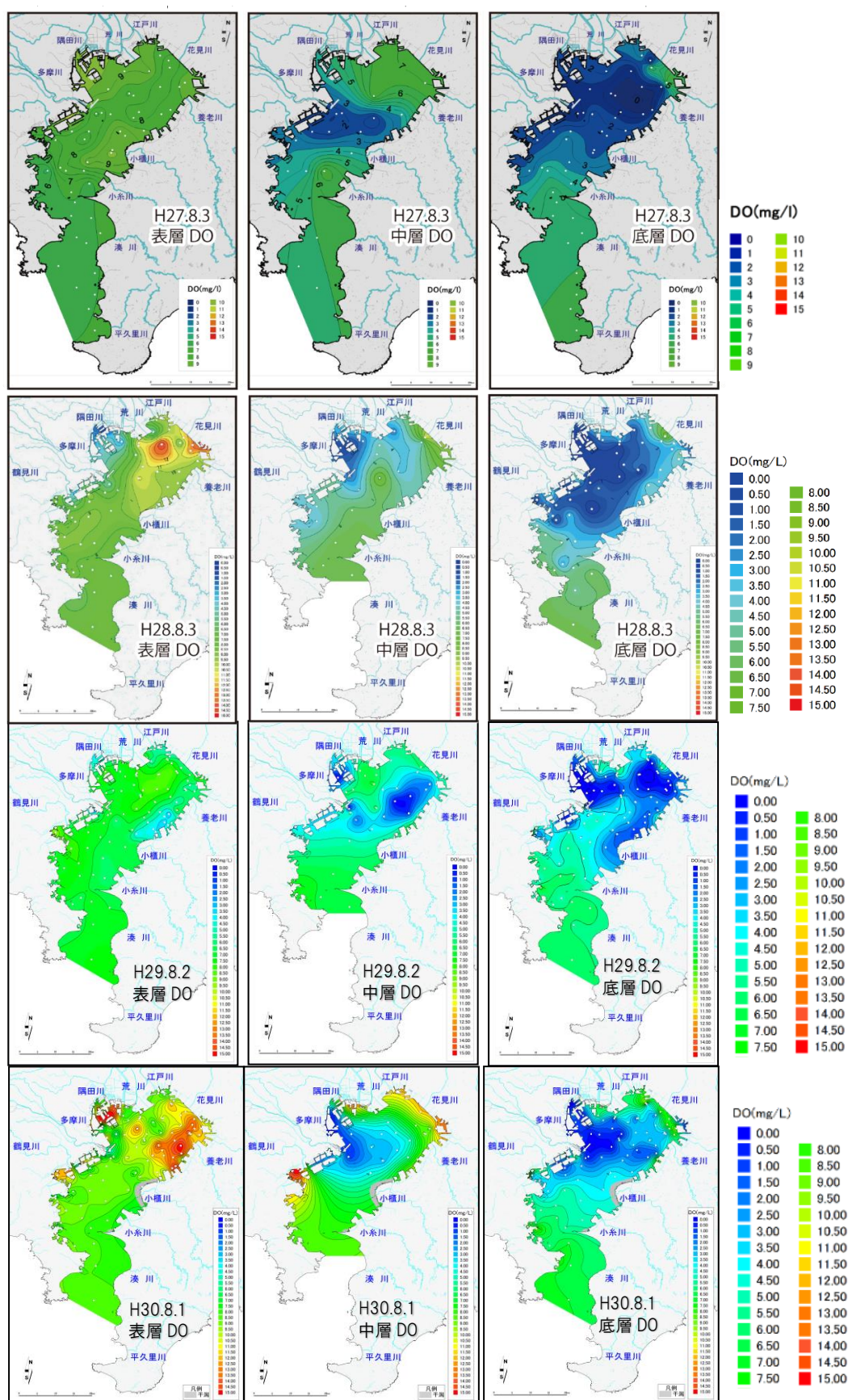
表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。

図 5-7d 令和 6 年 8 月における東京湾の 3 日間平均塩分の状況



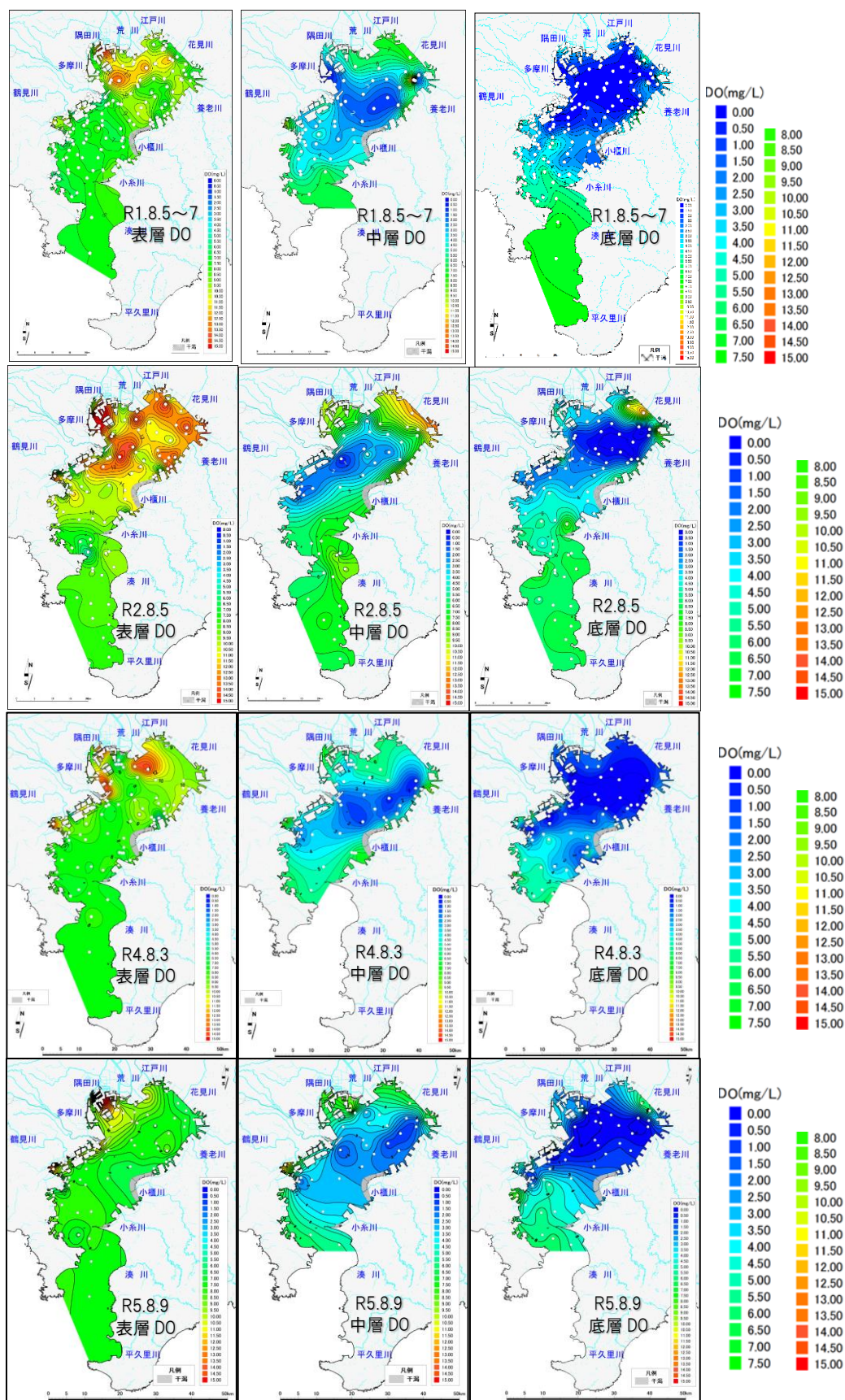
表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。(次頁へ続く。)

図 5-8a 平成 21 年から平成 25 年 8 月における東京湾の DO の状況



表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。(次頁へ続く。)

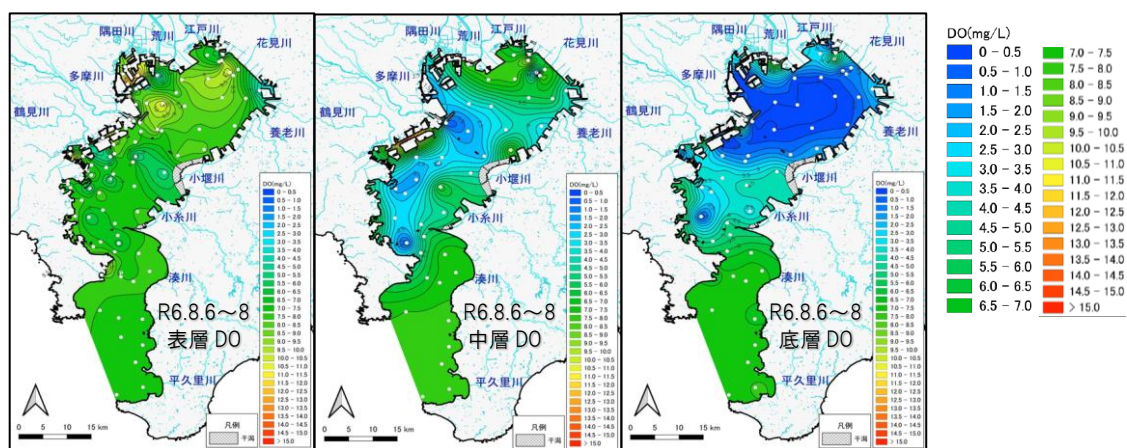
図 5-8b 平成 27 年から平成 30 年(平成 26 年を除く) 8 月における東京湾の DO の状況



表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。

なお、令和元年については、3日間平均水温を示す。

図 5-8c 令和元年から令和 5 年(令和 3 年を除く) 8 月における東京湾の DO の状況

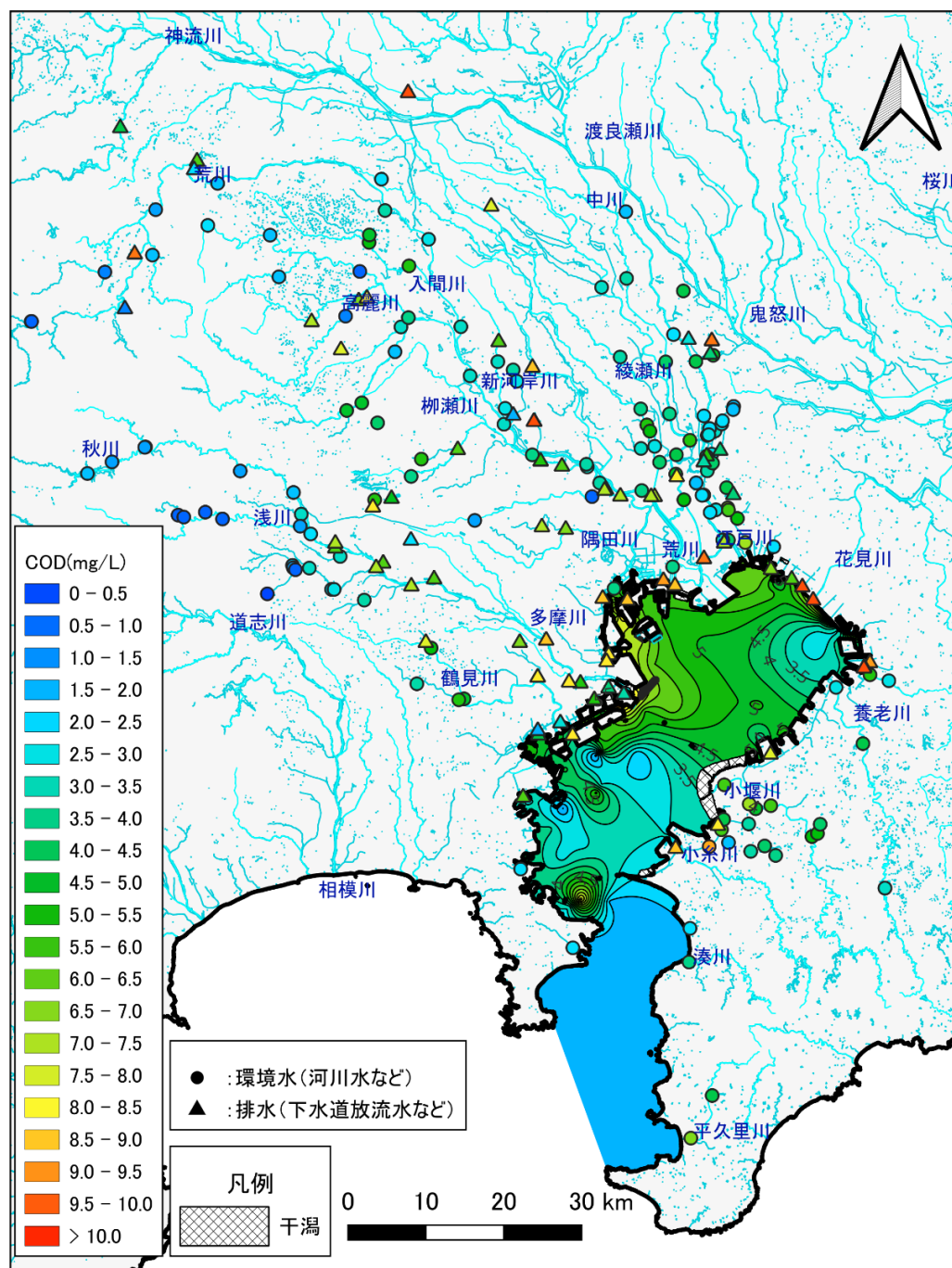


表層：水深 1m まで、中層：水深の半分から±1m、底層：海底上 1m までを示す。

図 5-8d 令和 6 年 8 月における東京湾の 3 日間平均 DO の状況

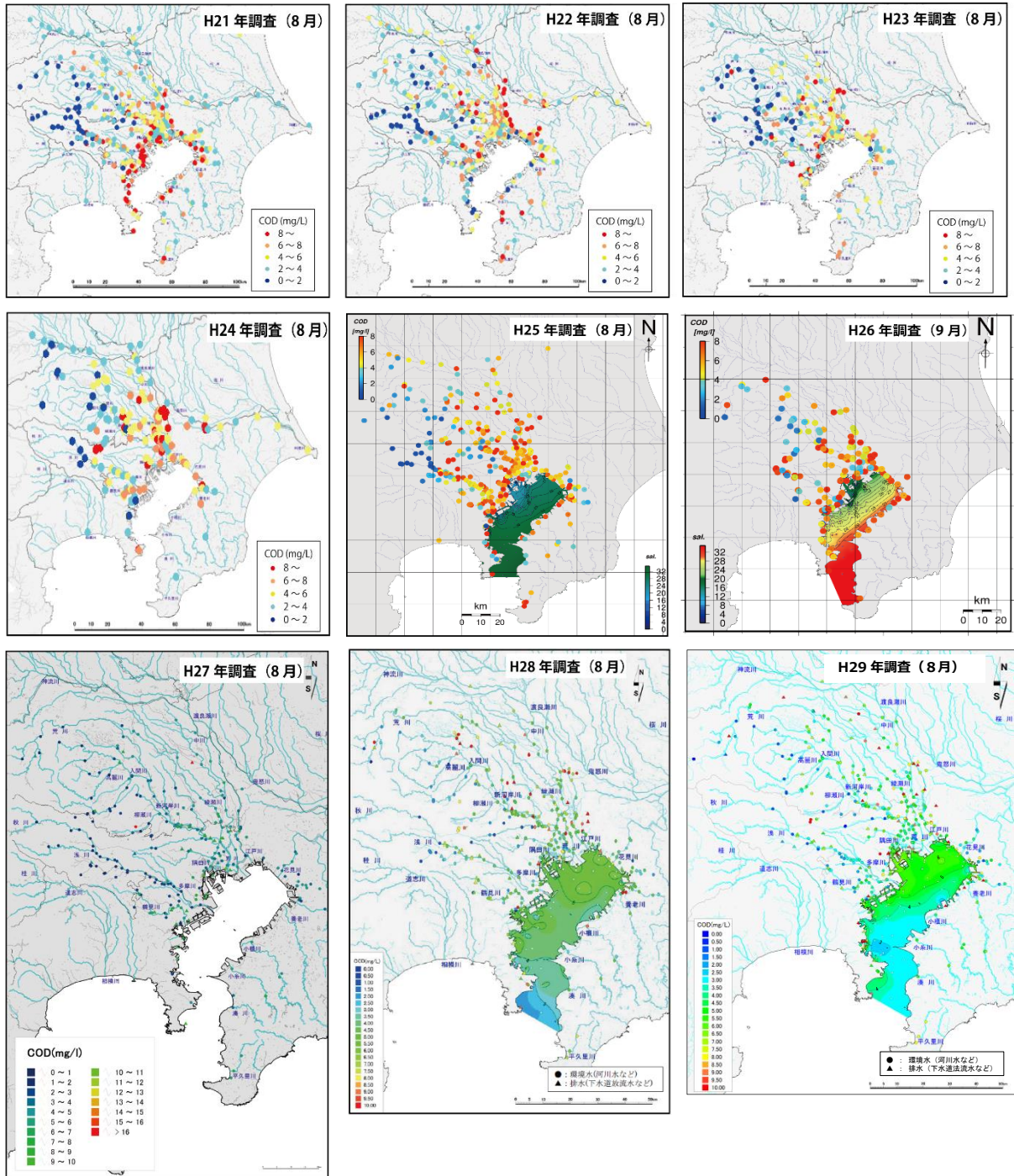
6. 河川・湖沼の調査結果

令和 6 年の河川の COD の状況は、図 6-1 のとおりです。平成 21 年から令和 6 年までの 16 年間の河川等の COD の状況は図 6-2 に示すとおりです。COD の値は、例年、都市郊外の河川上流域で低く、市街地の発達した河川下流域で高い傾向にありますが、令和 6 年は利根川・鶴見川では河川上流域で高い傾向にありました。各河川の詳細は、次項「7. 東京湾に流入する主な河川の状況」を参照してください。



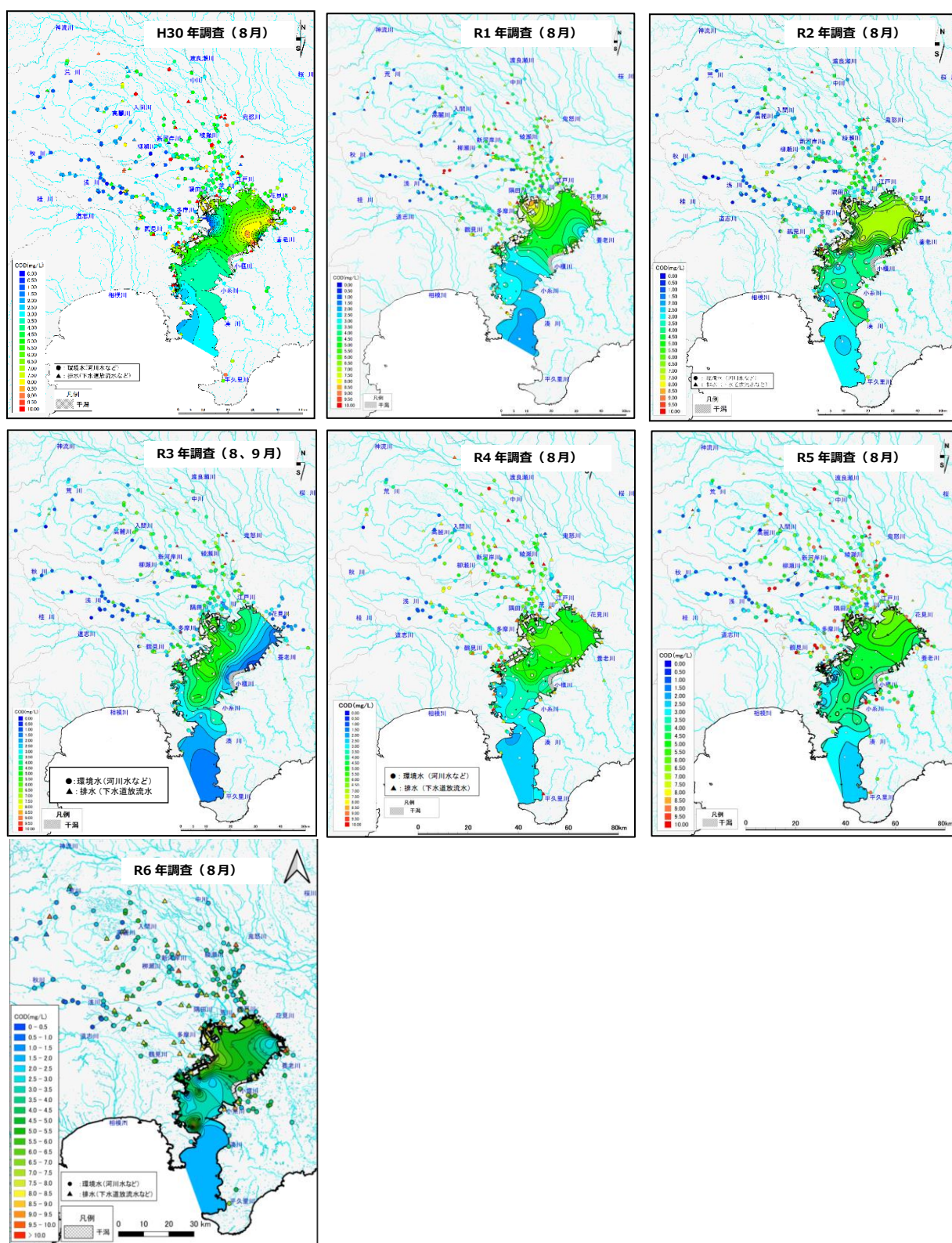
調査基準日前後の調査結果を含む。

図 6-1 令和 6 年 8 月の COD の状況



調査基準日前後の調査結果を含む。(次頁へ続く。)

図 6-2a 平成 21 年～平成 29 年（平成 26 年は 9 月、その他は 8 月）の
COD 観測結果の比較



調査基準日前後の調査結果を含む。

図 6-2b 平成 30 年～令和 6 年（令和 3 年は 8 月及び 9 月、その他は 8 月）の COD 観測結果の比較

7. 東京湾に流入する主な河川の状況

東京湾及びその流域図を図 7-1 に示します。東京湾の流域には、東京湾に接する千葉県、東京都、神奈川県のほか、埼玉県が広い面積を持っており、茨城県、山梨県の一部も含まれます。東京湾流域の河川は、陸域から東京湾へ淡水とともに物質を供給する役割を持っており、流域の環境は東京湾の水環境に影響を与えています。東京湾に流入する主な河川としては多摩川、荒川、利根川、鶴見川水系があげられます。

令和 6 年度東京湾環境一斉調査では、河川等の水質調査のデータを収集しました。東京湾流域における主な河川の水温、流量、化学的酸素要求量（COD）、溶存酸素量（DO）、透視度の状況を、水系ごとに図 7-2 から図 7-31 に示します。

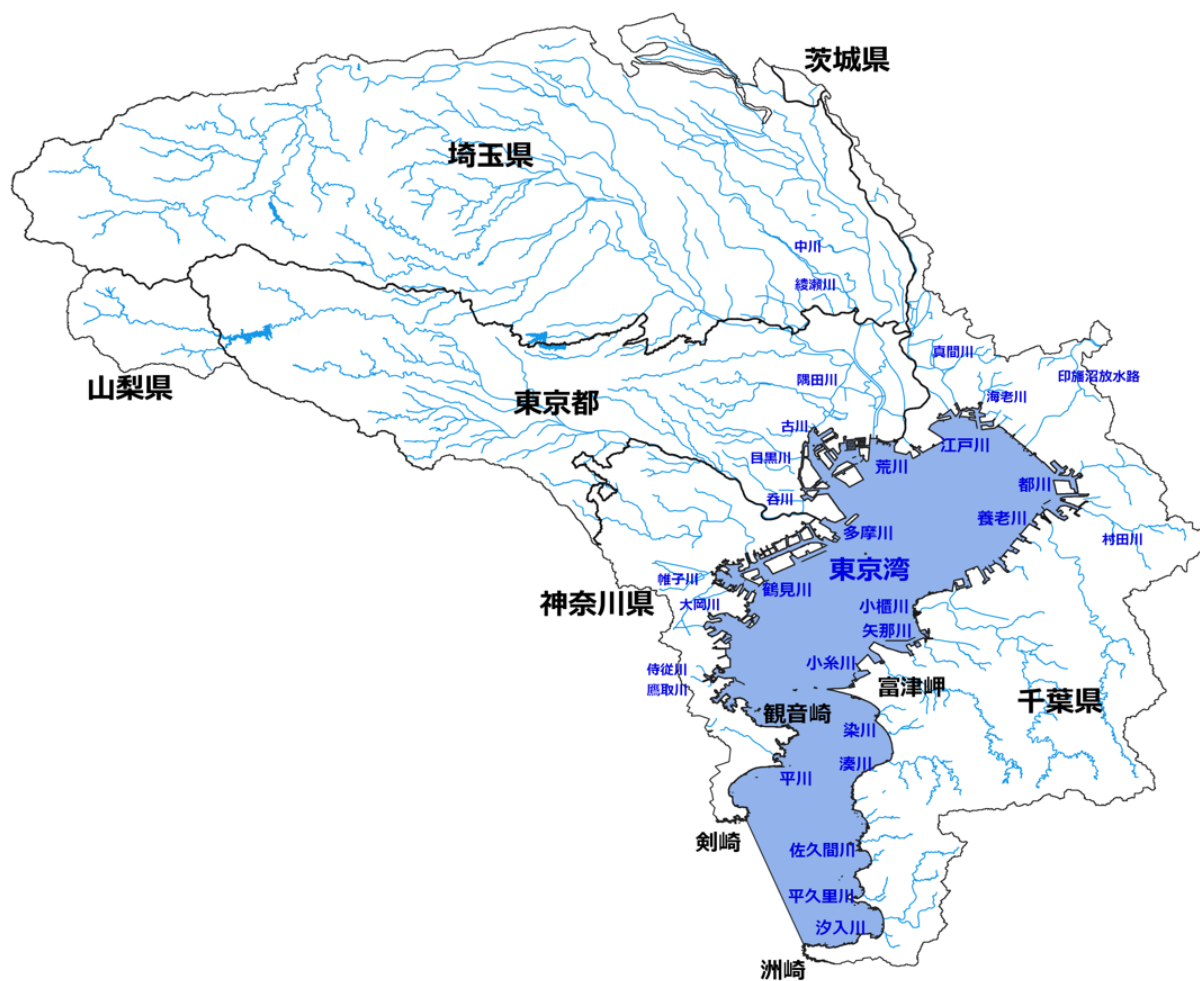


図 7-1 東京湾及びその流域図

(1) 多摩川水系

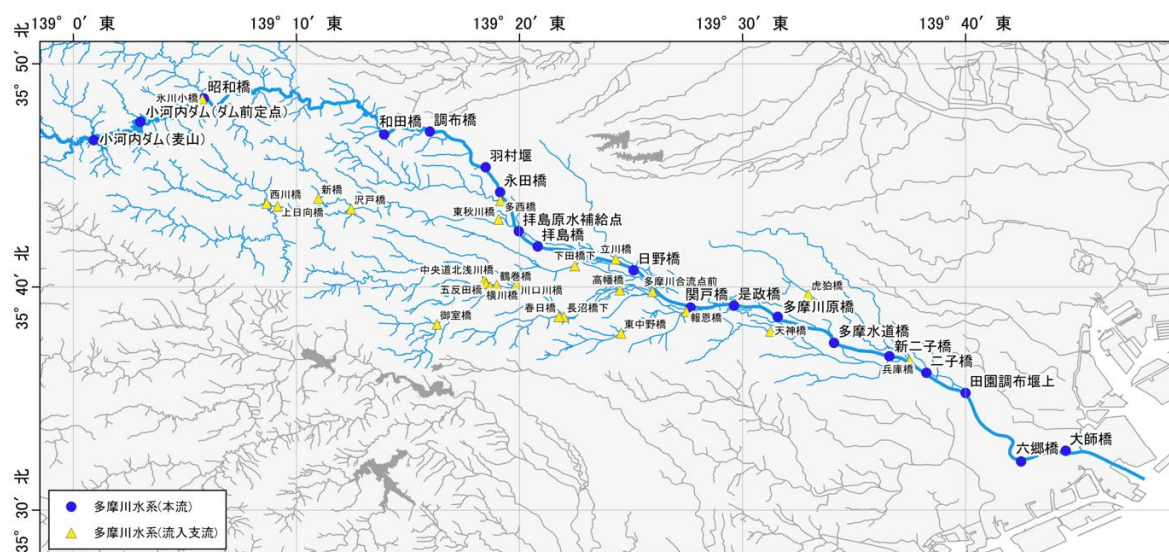
多摩川水系において、水温は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流では、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。支流では、 $0.1\sim 5.1\text{ m}^3/\text{s}$ で推移していました。

COD は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、河口からほぼ横ばいで、40 km 付近から上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

DO は、本流は、概ね上流から下流に向かって減少しているように見える傾向は、水温上昇による影響と思われます。支流は、 $5.5\sim 12.1\text{ mg/L}$ の範囲でばらつきが見られました。

透視度は、本流支流ともに概ね上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-2 多摩川水系流域における調査点図

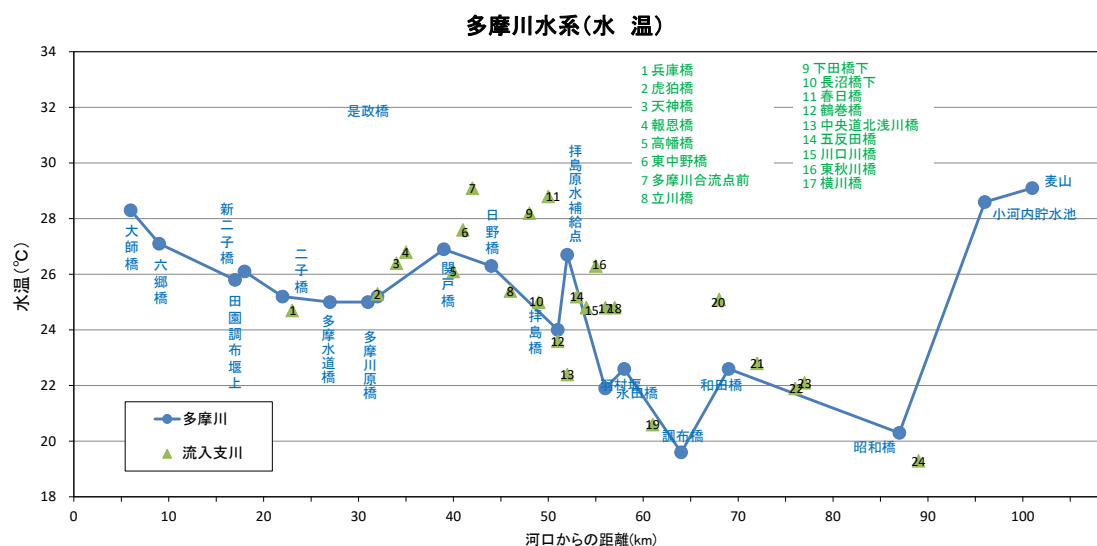


図 7-3 多摩川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

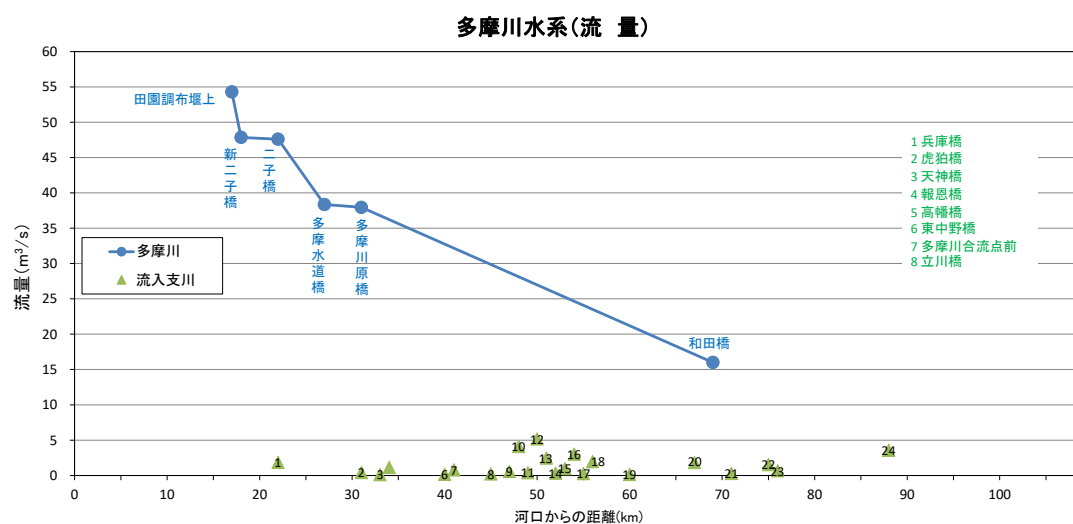


図 7-4 多摩川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

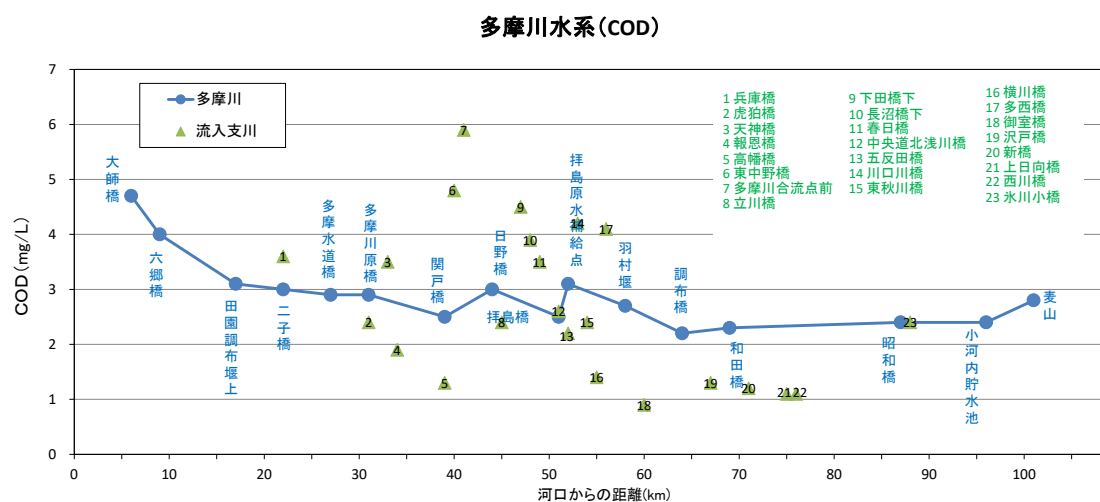


図 7-5 多摩川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

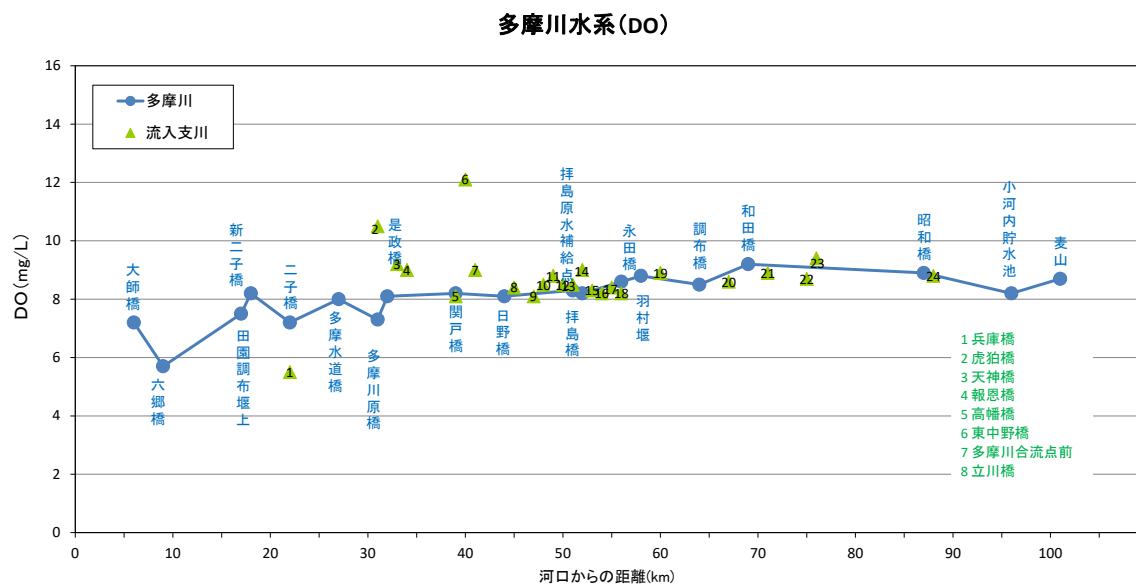


図 7-6 多摩川水系における DO（8月）と河口からの距離の関係

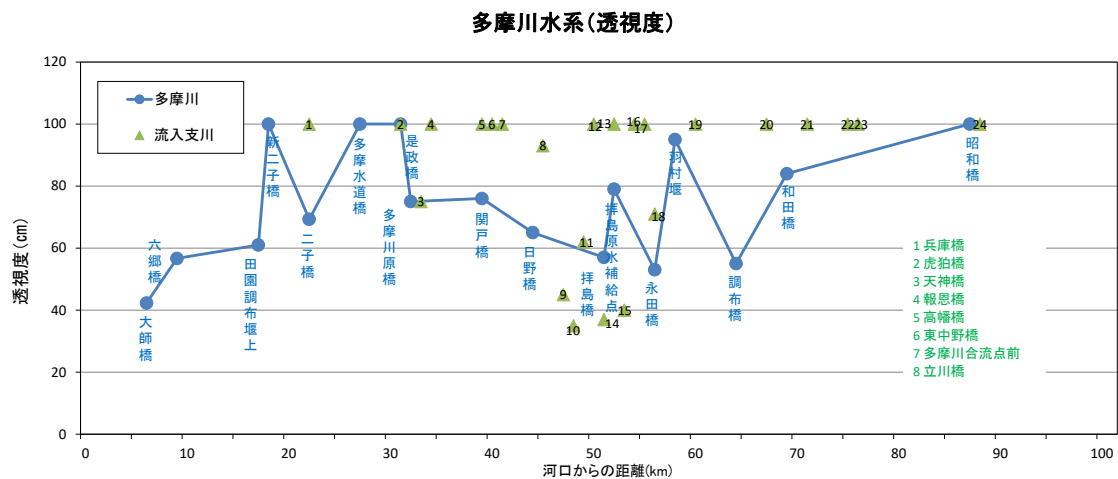


図 7-7 多摩川水系における透視度（8月）と河口からの距離の関係

(2) 荒川水系

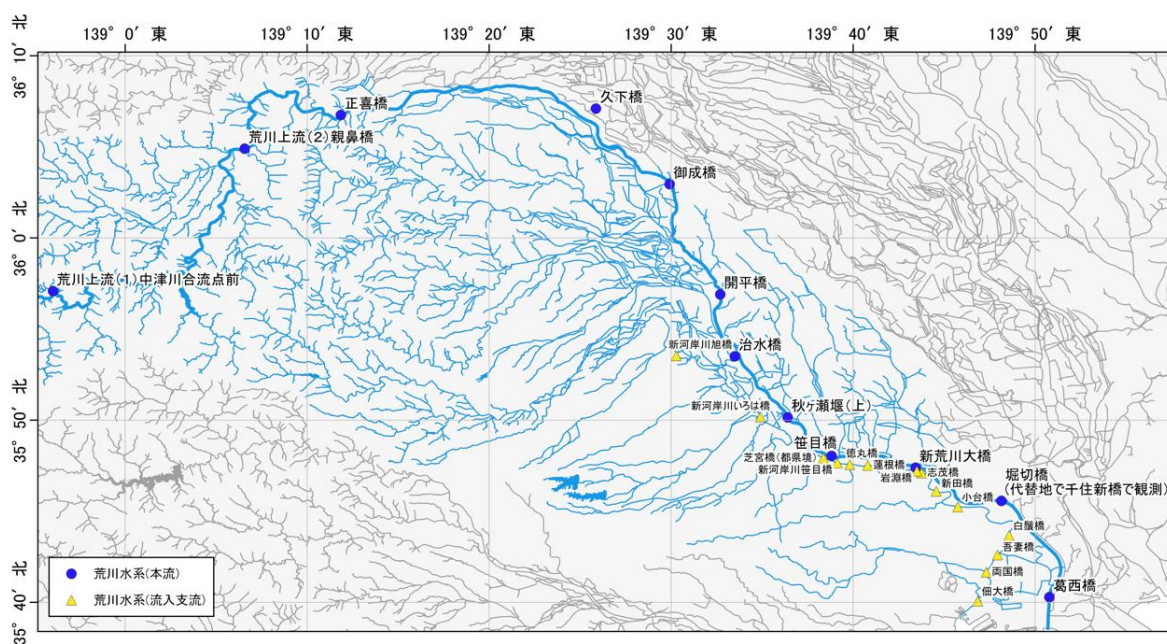
荒川水系において、水温は、荒川、隅田川、新河岸川ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流支流ともに、上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

COD は、本流支流ともに、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

DO は、本流支流ともに、概ね上流から下流に向かって減少しているのは、海域の貧酸素水塊の影響を受けている可能性があります。

透視度は、本流は、概ね上流から下流に向かって低下する傾向が見られ、隅田川、新河岸川では、ばらつきが見られました。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-8 荒川水系流域における調査点図

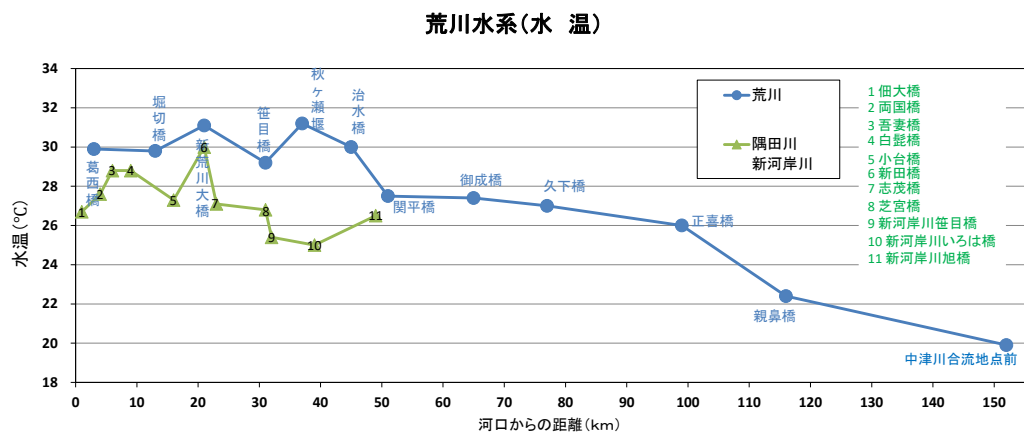


図 7-9 荒川水系における水温（８月）と河口からの距離の関係

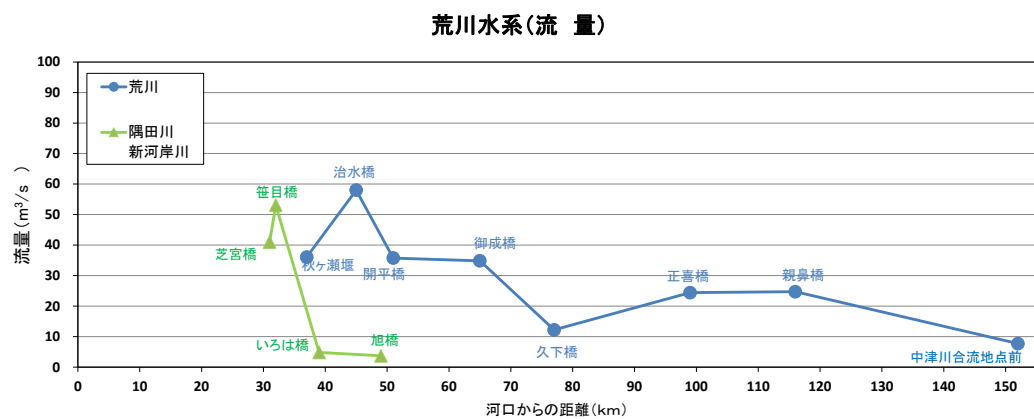


図 7-10 荒川水系における流量（８月）と河口からの距離の関係

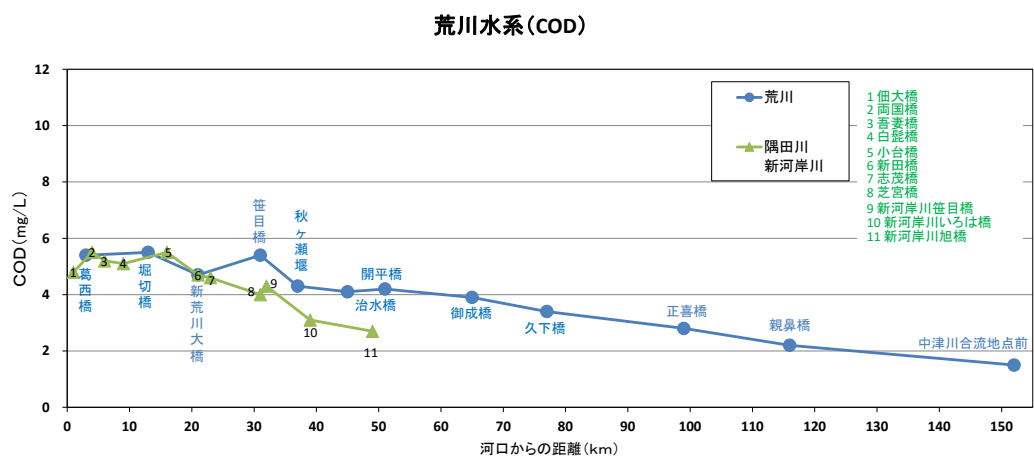


図 7-11 荒川水系における COD（８月）と河口からの距離の関係

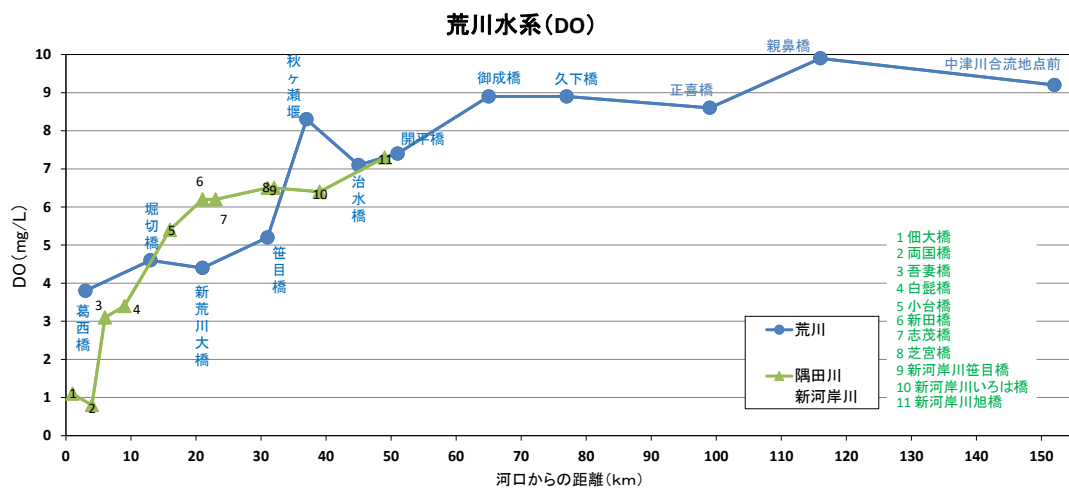


図 7-12 荒川水系における DO（8月）と河口からの距離の関係

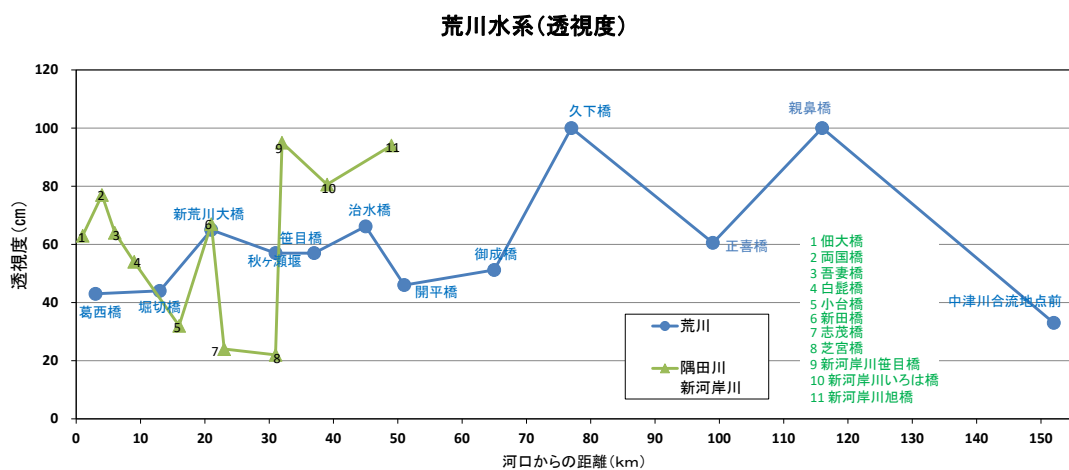


図 7-13 荒川水系における透視度（8月）と河口からの距離の関係

(3) 利根川水系（中川、江戸川、綾瀬川）

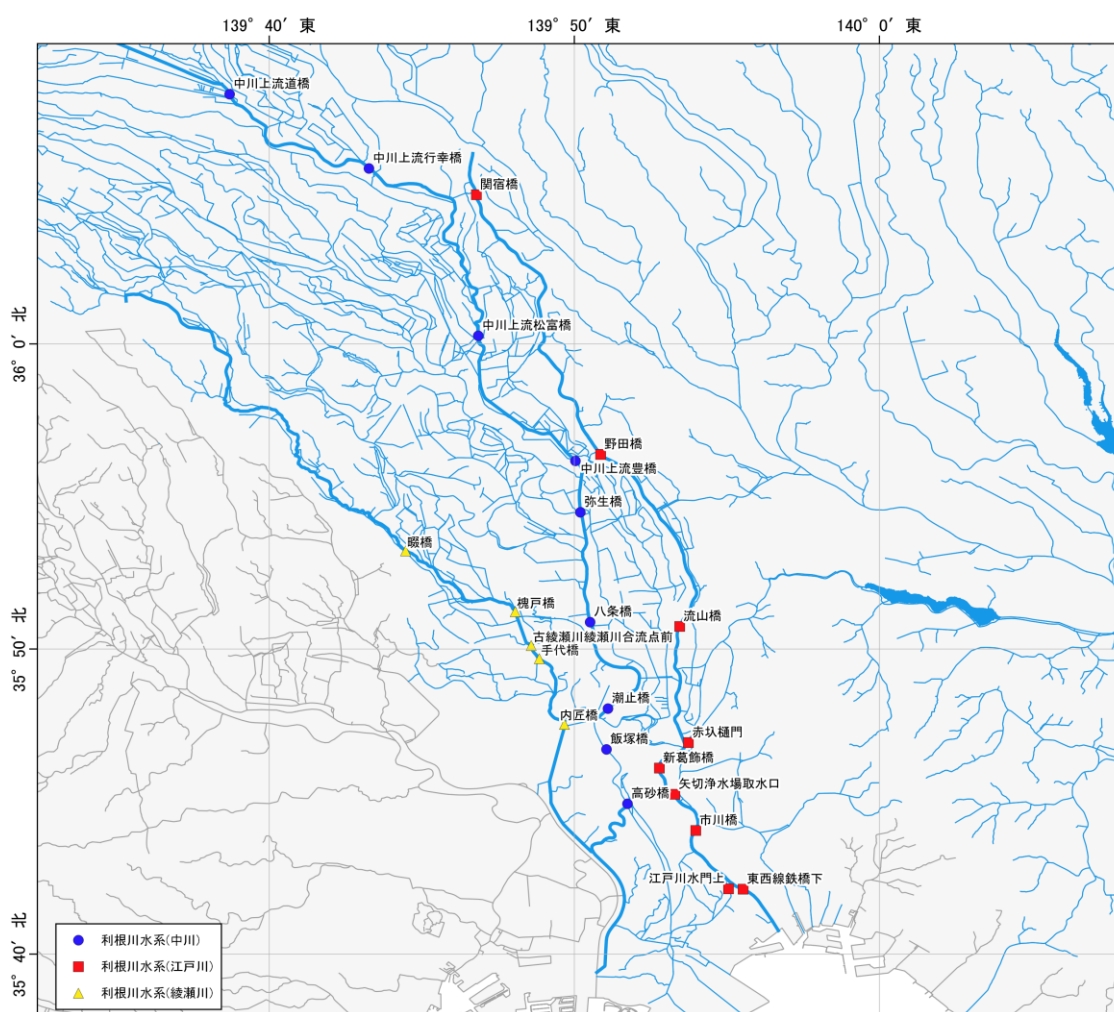
水温は、中川、江戸川ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。綾瀬川では、ばらつきが見られました。

流量は、中川と綾瀬川では、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。江戸川では、減少しているように見えますが、分水による影響と思われます。

COD は、江戸川、綾瀬川ともに、ばらつきが見られ、中川では、上流から下流に向かって、河口から 50 km 付近から緩やかに増加する傾向が見られました。

DO は、中川は、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。綾瀬川では、上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。

透視度は、中川、江戸川ともにばらつきがありましたが、上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。綾瀬川では、ばらつきがありましたが、上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-14 利根川水系流域①（中川、江戸川、綾瀬川）における調査点図

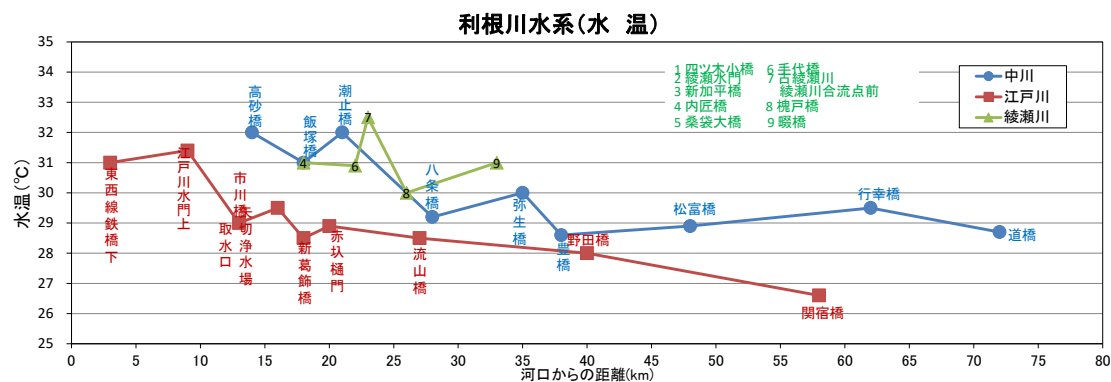


図 7-15 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における水温（8月）と河口からの距離の関係

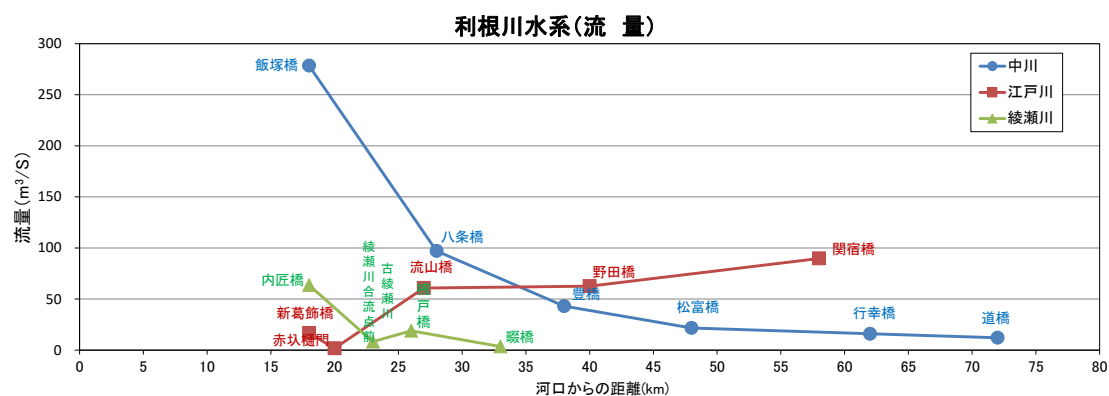


図 7-16 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における流量（8月）と河口からの距離の関係

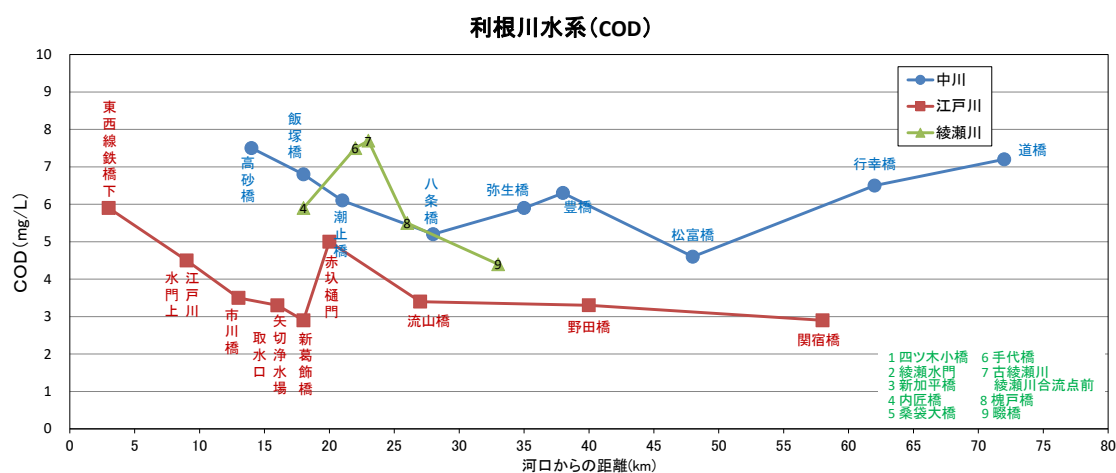


図 7-17 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における COD（8月）と河口からの距離の関係

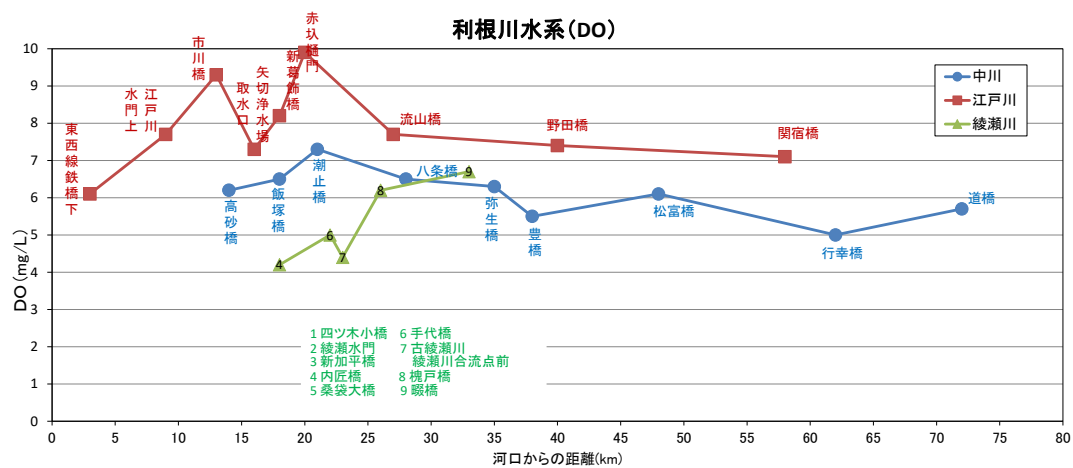


図 7-18 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における DO（8 月）と河口からの距離の関係

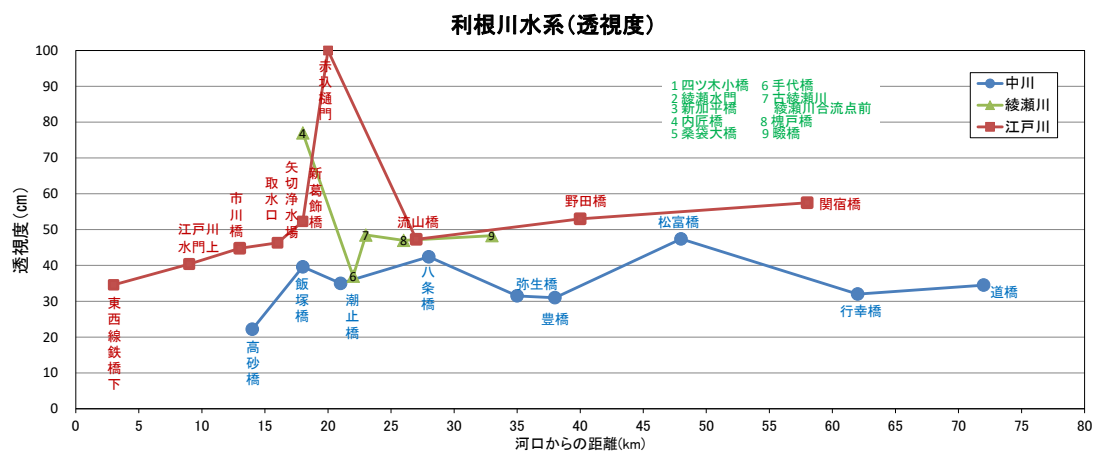


図 7-19 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における透視度（8 月）と河口からの距離の関係

(4) 鶴見川水系

鶴見川水系において、水温は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流へ向かって増加する傾向が見られました。

COD は、本流は、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。支流は、3.0～5.2 mg/L の範囲でばらつきが見られました。

DO は、本流支流ともに、水温上昇に伴う飽和状態となっている傾向が見られました。

透視度は、本流支流ともに、74 cm～測定最大限界の 100 cm の範囲に含まれました。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-20 鶴見川水系流域における調査点図

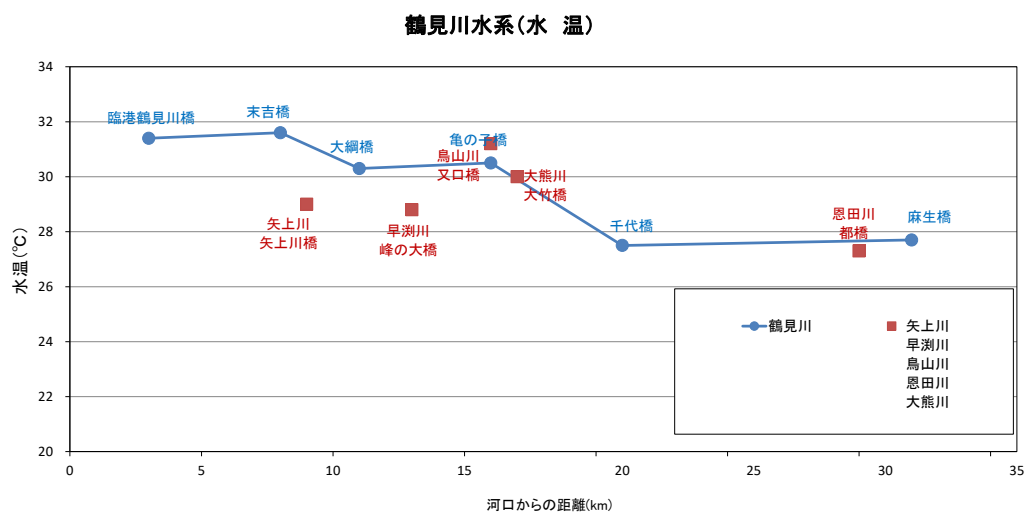


図 7-21 鶴見川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

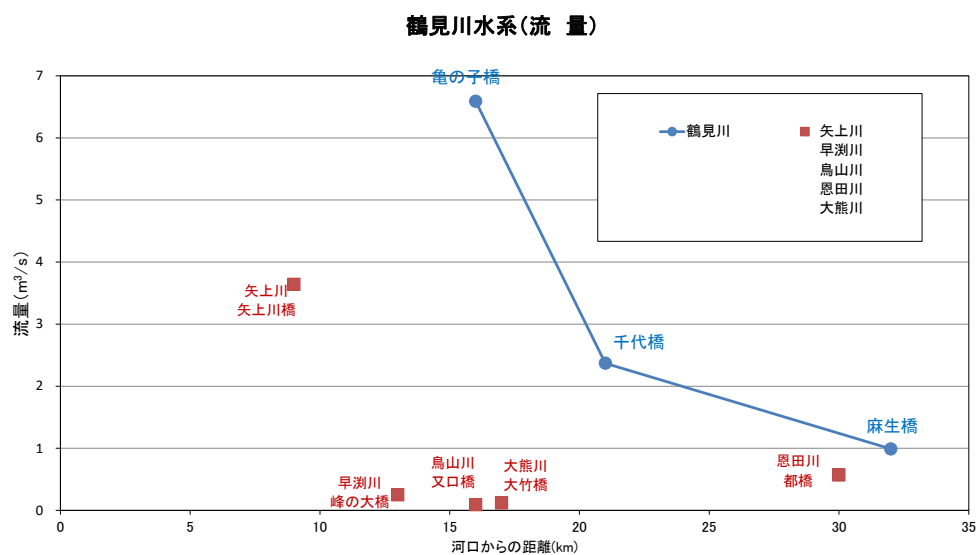


図 7-22 鶴見川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

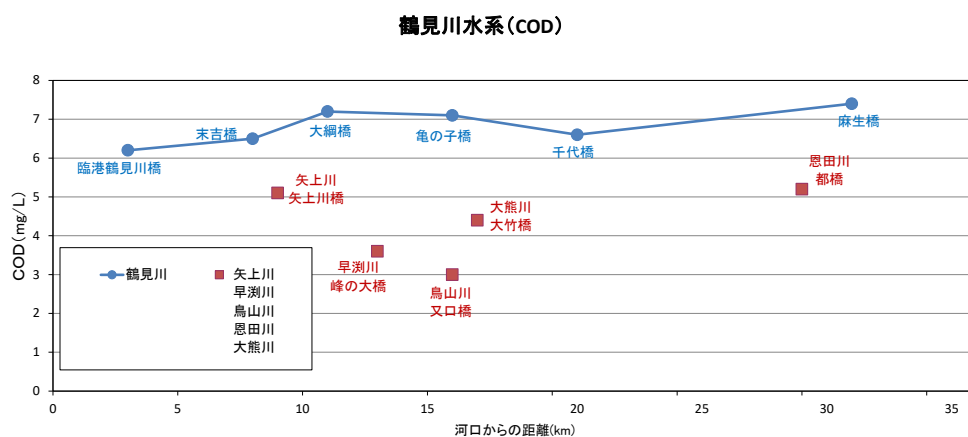


図 7-23 鶴見川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

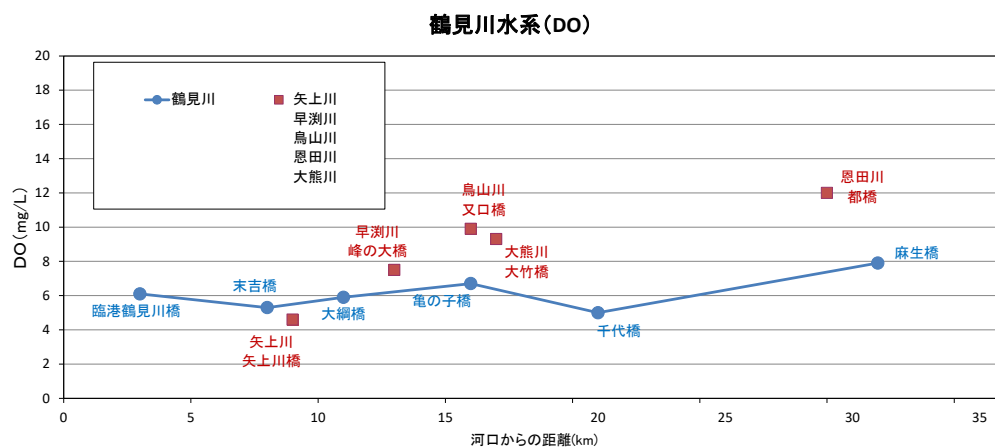


図 7-24 鶴見川水系における DO（8月）と河口からの距離の関係

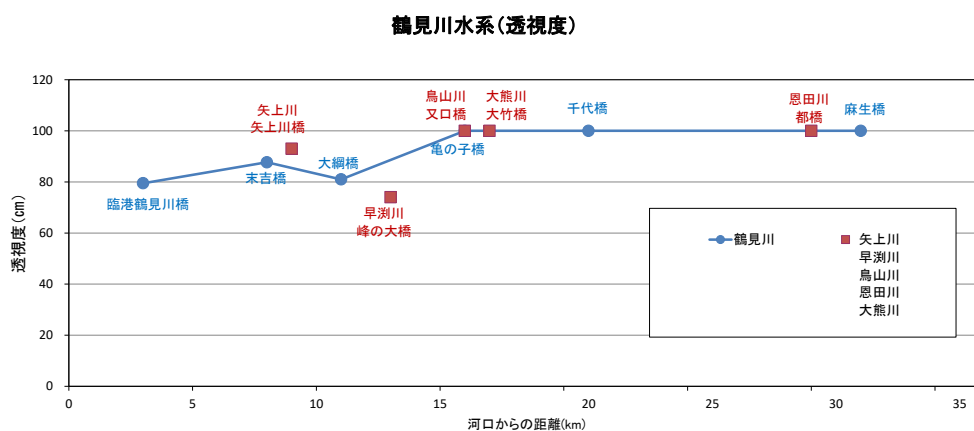


図 7-25 鶴見川水系における透視度（8月）と河口からの距離の関係

8. 生物調査の実施実績

令和6年度の東京湾環境一斉調査における生物調査では、干潟調査及びその他の調査が実施されました。調査参加機関のレポートに記載された参加状況を合算したところ、干潟調査（8-1）には延べ317名が参加し、その他の調査（8-2）についても多くの機関によって調査が行われており、大勢の参加者によって生物調査が実施されました。

8-1 干潟調査

（1）干潟調査の概要

令和6年度は多摩川河口、浦安市日の出地先等の干潟を対象として調査が実施されました。また、より多くの方に東京湾を身近に感じてもらうため、昨年度に引き続き、干潟調査の一環として「カニ生息一斉調査」も実施されました。

（2）調査参加機関

令和6年度は、5団体から干潟調査の結果について報告があり（表8-1）、そのうちの2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました。

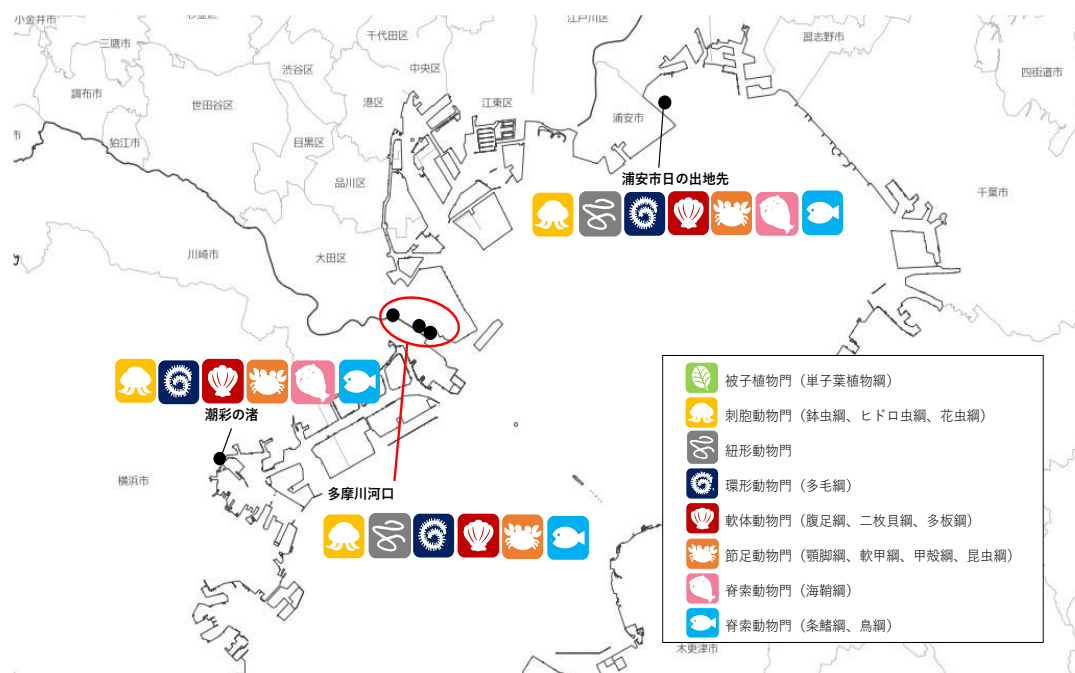
表 8-1 干潟調査の実施実績

レポート番号 掲載ページ	実施機関	調査場所	実施日
① p. I-1	大田区環境マイスターの会	多摩川河口大田区側	6月22日 7月19日
② p. I-21	浦安市三番瀬環境観察館	浦安市日の出地先	7月7日 7月11日 7月21日 7月28日 8月18日 8月23日 9月15日
③ p. I-25	横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」	8月2日
④ p. I-28	横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査		8月20日
⑤ p. I-31	横浜港湾空港技術調査事務所 釣り調査		9月17日 9月18日

(3) 干潟調査の結果

令和6年度の干潟調査は、5団体により3地点で実施されました(図8-1)。その結果、16綱129種の生物の生息が確認されました(表8-2)。

さらに今回確認された生物種について、環境省レッドリスト2020(令和2年3月)及び環境省版海洋生物レッドリスト(平成29年3月)¹への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧Ⅱ類(VU)と評価される種が2種、準絶滅危惧(NT)と評価される種が5種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト(環境省及び農林水産省、2016)²への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物は含まれていなかったものの、総合対策外来種が5種含まれていることがわかりました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院(GSI)

図 8-1 干潟調査の実施地点と確認された生物種

¹ 環境省レッドリスト／海洋生物レッドリスト：評価カテゴリーは絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、絶滅のおそれのある地域個体群(LP)の8つに分けられる。絶滅危惧Ⅱ類(VU)は「絶滅の危険が増大している種」、準絶滅危惧(NT)は「現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては『絶滅危惧』に移行する可能性のある種」と定義される。

² 生態系被害防止外来種リスト：定着を予防する外来種(定着予防外来種)、総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)、適切な管理が必要な産業上重要な外来種(産業管理外来種)の大きく3つに分類される。

表 8-2 干潟調査で確認された生物種

綱	科	種名		東京	千葉	神奈川	環境省レッドリスト/ 海洋生物レッドリス ト※	生態系被害防止 外来種リスト※
		和名	学名	多摩川 河口大田区側	浦安 市日の出地先	潮彩の 渚		
							カテゴリ	カテゴリ
車子葉植物	アマモ	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>					
鉢虫	オキクラゲ	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>	○				
	ミズクラゲ	ミズクラゲ	<i>Aurelia cf. coerulea</i>	○				
花虫	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	<i>Diadumene lineata</i>		○	○		
	ホウザウイソギンチャク	ホウザウイソギンチャク	<i>Syandwakia hozawai</i>		○			
	ウミサボテン	ウミサボテン	<i>Cavernularia obesa</i>					
多毛	ゴカイ	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>	○				
		カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.					
		アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>		○			
		オウキゴカイ	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		○			
		クマドリゴカイ	<i>Perinereis cultrifera</i>		○			
		デンガクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>		○			
		コケゴカイ	<i>Simplisetia erythraeensis</i>		○			
		ミナミシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>		○			
		-	-	○				
	イトゴカイ	-	-	○				
	カンザシゴカイ	-	-					
	イソメ	イソメシ種群	-		○			
	ビクイソメ	アカムシ	<i>Halla okudai</i>		○			
	ナナテイソメ	スゴカイイソメ	<i>Diopatra sugokai</i>		○			
	ギボシイソメ	コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>		○			
	スピオ	Parapriopio属	-					
		シノブハネエラスピオ	<i>Parapriopio patiens</i>		○			
		マダラスピオ	<i>Polydora brevipalpa</i>		○			
		-	-		○			
	チロリ	ヒガタチロリ	<i>Glycera macintoshi</i>		○			
		-	-		○			
	ミズヒキゴカイ	ミズヒキゴカイ種群	-		○	○		
	タマシキゴカイ	タマシキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>		○			
	オフエリアゴカイ	ツツオオフエリア	<i>Armandia cf. amakusaensis</i>		○			
	ツバサゴカイ	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus cautus</i>		○			
	シリス	シロマダラシリス	<i>Syllis adamantea</i>		○			
	ウロコムシ	ハモチウロコムシ	<i>Lepidonotus dentatus</i>		○			
(紐形動物)	-	-	-	○	○			
腹足	ニシキウズガイ	イボキサゴ	<i>Umbonium monilliferum</i>		○		準絶滅危惧 (NT)	
	ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>	○	○	○		
	アッキガイ	イボニシ	<i>Thais clavigera</i>		○	○		
		アカニシ	<i>Rapana venosa</i>			○		
	ウミミナ	ホソウミナ	<i>Batillaria attramentaria</i>					
	カノコキセウタ	ヤミヨキセウタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>		○		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	
	タマキビガイ	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>		○			
		アラレタマキビ	<i>Nodilittorina radiata</i>		○			
	カワザンショウガイ	-	-					
	タマガイ	ホソヤツメタ	<i>Neverita didyma hosoyai</i>					
	オオシイノミガイ	ムラクモキジビキガイ	<i>Japonactaeon nipponensis</i>				準絶滅危惧 (NT)	
	アッキガイ	レイシガイ	<i>Reishia bronni</i>		○			
	カリバガサ	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>		○	○		総合対策外来種
	トウガタガイ	ヒガタヨコイトカケガリ	<i>Cingulina</i> sp.		○		情報不足 (DD)	
	ヘコミツラガイ	コメツブガイ	<i>Retusa insignis</i>		○			
	リュウテン	コシダカガンガラ	<i>Tegula rustica</i>		○			
二枚貝	イガイ	ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>	○	○			
		ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>					総合対策外来種
		ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>			○		総合対策外来種
		コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	○	○			総合対策外来種
	イタボガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	○	○	○		
	マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	○	○	○		
		エゾマテガイ	<i>Solen krusensterni</i>		○			
	オキナガイ	ソトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>	○				
	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	○			準絶滅危惧 (NT)	
	マルスダレガイ	オキシジミ	<i>Cyclina aff. sinensis</i>	○	○			
		ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	○	○			総合対策外来種
		ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	○			絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	
		ハマグリ属の一種・未同定	<i>Meretrix</i> sp.		○			
		アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>		○	○		
		カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>		○			
		チリハギガイ	<i>Lasaea undulata</i>		○			
	カキ	-	-	○				
	ニッコウガイ	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i>	○			準絶滅危惧 (NT)	
		ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>		○			
		サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>		○		準絶滅危惧 (NT)	
	バカガイ	バカガイ	<i>Macra chinensis</i>		○			
		シオフキガイ	<i>Macra quadrangularis</i>	○	○	○		
	チトセノハナガイ	チヨノハナガイ	<i>Raeta pulchella</i>					
	イワホリガイ	ウスカラシオツガイ	<i>Ptericola</i> sp.		○			
	フネガイ	サルボウガイ	<i>Anadara kagoshimensis</i>			○		
多板	ケハダヒザラガイ	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona achates</i>		○			

綱	科	種名		東京	千葉	神奈川	環境省レッドリスト/ 海洋生物レッドリス ト※	生態系被害防止 外来種リスト※
		和名	学名	多摩川 河口大田区側	浦安市 日の出地先	潮彩の渚		
							カテゴリ	カテゴリ
顎脚	フジツボ	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>					総合対策外来種
		タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>		○	○	総合対策外来種	
		ドロフジツボ	<i>Fistulobalanus kondakovi</i>					
		シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>		○			
		-	-	○				
	イワフジツボ	イワフジツボ	<i>Chthamalus challengerii</i>		○	○		
	エボシガイ	エボシガイ	<i>Lepas anatifera</i>					
		フナムシ	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>		○		
		-	-	-	○			
		ミウガガイ	カメノテ	<i>Pollicipes mitella</i>		○		
ヤドカリ		テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>		○		情報不足 (DD)	
ホンヤドカリ	コブヨコバサミ	<i>Clibanarius infraspinitus</i>		○	○			
	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>		○	○			
	アナジャコ	アナジャコ	<i>Upogebia major</i>	○				
	エビジャコ	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>		○			
	コモツキガニ	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>			○		
軟甲	コモツキガニ	コモツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	○				
		オサガニ	ヤマオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	○			
		ベンケイガニ	ベンケイガニ	<i>Orisarma intermedium</i>				準絶滅危惧 (NT)
		クロベンケイガニ	クロベンケイガニ	<i>Orisarma dehaari</i>				
		カクベンケイガニ	カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>				
	アカテガニ	アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>					
	イワガニ	ヒメベンケイガニ	<i>Nanosesarma minutus</i>					
		オキナガレガニ	オキナガレガニ	<i>Planes major</i>				
		モクズガニ	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	○		○	
		タカノケフサイソガニ	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>			○	
ヒライソガニ		ヒライソガニ	<i>Gaetice depressus</i>					
コブシガニ	イソガニ	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>			○		
	アシハラガニ	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>					
	-	-	-			○		
	マメコブシガニ	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	○				
	ヒラコブシ	ヒラコブシ	<i>Philyra syndactyla</i>					
	スナガニ	スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i>			○		
	イソオウギガニ	スベスベオウギガニ	<i>Sphaerozium nitidus</i>					
	オウギガニ	シワオウギガニ	<i>Macromedaeus distinguendus</i>					
	テナガエビ	シラクエビ	<i>Exoplaemon orientis</i>		○			
	テナガエビ	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	○				
エビ	ユビナガスジエビ	ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrrodactylus</i>	○	○			
	イノスジエビ	イノスジエビ	<i>Palaemon pacificus</i>		○			
	スジエビモドキ	スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>		○			
	スジエビ属	スジエビ属	-					
	ユンボソコエビ	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>		○			
	-	-	-					
	テッポウエビ	テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>		○			
	ヒゲナガモエビ	アカシマモエビ	<i>Lyssmata vittata</i>					
	スナウミナナフシ	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis Nunomura</i>	○				
	ウミナナフシ	ナナフシ	-	○				
ヨコエビ	-	-	○					
ガザミ	ヒゲナガヨコエビ	モズミヨコエビ	<i>Ampithoe valida</i>		○			
	コツブムシ	シリケンウミセミ	<i>Dynoides dentisinus</i>					
	ワレカラ	マルエラワレカラ	<i>Caprella penantis</i>		○			
	トゲワレカラ	トゲワレカラ	<i>Caprella scaura</i>		○			
	ガザミ	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			○		
	タイワンガザミ	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>					
	イシガニ	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>			○		
	ミドリガニ	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>				総合対策外来種	
	イソギンボ	イソギンボ	<i>Coenagrion sp.</i>					
	アメンボ	アメンボ	<i>Gerris latiaabdominis</i>					
ウミグモ	イソウミグモ	シマウミグモ	<i>Ammonothea hilgendorfi</i>		○			
シロボヤ	シロボヤ	シロボヤ	<i>Styela plicata</i>					
エボヤ	エボヤ	エボヤ	<i>Styela clava</i>					
カタユウレイボヤ	カタユウレイボヤ	カタユウレイボヤ	<i>Ciona intestinalis</i>			○		
軟骨魚	アカエイ	アカエイ	<i>Dasvatis akabei</i>	○				
条鰭	ボラ	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>	○	○	○		
	マハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	○	○	○		
	アシシロハゼ	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>					
	ヒモハゼ	ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilli</i>	○			準絶滅危惧 (NT)	
	シモフリシマハゼ	シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>		○			
	チチブ	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			○		
	アベハゼ	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>				絶滅危惧II類 (VU)	
	マサゴハゼ	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>					
	ヒメハゼ	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>		○			
	ツマダロスジハゼ	ツマダロスジハゼ	<i>Acentrogobius sp.2</i>					
アゴハゼ	アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>		○				
アカオビシマハゼ	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>						
ビリンゴ	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>						
ドロメ	ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>		○				
ウロハゼ	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>		○				
ヌマチチブ	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		○				
チチブ属	チチブ属	-						
ハゼ類	ハゼ類	-	○		○			
イソギンボ	イダテギンボ	イダテギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>		○	○		
ナベカ	ナベカ	ナベカ	<i>Omobranchus elegans</i>					
イソギンボ	イソギンボ	イソギンボ	<i>Parablennius yatabei</i>		○			

綱	科	種名		東京	千葉	神奈川	環境省レッドリスト/ 海洋生物レッドリス ト※	生態系被害防止 外来種リスト※
		和名	学名	多 摩 川 河 口 大 田 区 側	浦 安 市 日 の 出 地 先	潮 彩 の 渚		
							カテゴリ	カテゴリ
	コチ	マゴチ	<i>Platycephalus sp.2</i>					
	ネズッポ	ネズミゴチ	<i>Repomucenus curvicornis</i>		○			
	ギマ	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>			○		
	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>				絶滅危惧II類 (VU)	
	タイ	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>					
		クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>			○		
	ニシン	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>	○				
	コイ	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>					
		コイ(型不明)	-					
		ニゴイ属	-					
		ウグイ属	-					
	アジ	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>					
	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	○				
	ヒイラギ	ヒイラギ	<i>Nuclaeus nuchalis</i>					
	フグ	クサフグ	<i>Takifugu alboplumbeus</i>					
	シマイサキ	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>			○		
	ヨウジウオ	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>			○		
鳥	ハト	カワラハト	<i>Columba livia</i>					
	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○				
	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○				
		コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>					
	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	○				
		コサギ	<i>Egretta garzetta</i>					
		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○				
	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>					
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>					
	セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>					

表 8-3 干潟調査で確認された生物種（過年度との比較）

綱	科	種名		調査年				
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)
被子植物	アマモ	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>			○	○	
海藻	イソカイメン	ナミイソカイメン	<i>Halichondria (Halichondria) panicea</i>			○		
蛸虫	オキクラゲ	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>		○	○	○	○
	ミズクラゲ	ミズクラゲ	<i>Aurelia cf. coerulesa</i>		○	○	○	○
ヒドロ虫	ハナガサクラゲ	ハナガサクラゲ	<i>Olinidias formosa</i>	○		○		
花虫	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	<i>Diadumene lineata</i>			○	○	○
	ホウザウソギンチャク	ホウザウソギンチャク	<i>Synandwaka hozawai</i>				○	○
	ウミサボテン	ウミサボテン	<i>Cavernularia obesa</i>				○	
多毛	ゴカイ	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>			○	○	○
		カワゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.			○	○	
		アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>					○
		オウキゴカイ	<i>Neotomoechis latipoda</i>					○
		クマドリゴカイ	<i>Parinereis cultrifera</i>					○
		デンガクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>					○
		コケゴカイ	<i>Simplisetia erythraeensis</i>					○
		ミナミノシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>					○
		-	-	○	○	○	○	○
	イトゴカイ	-	-			○	○	○
	カンザシゴカイ	-	-				○	○
	イソメ	イワムシ	<i>Marphysa sanguinea</i>			○		
		イワムシ 種群	-				○	○
	ビタイソメ	アカムシ	<i>Halla okudai</i>					○
	ナナテイソメ	スゴカイイソメ	<i>Diopatra sugokai</i>			○	○	○
	ギボシイソメ	コアギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>				○	○
	スピオ	Paraprioprio 属	-				○	
		シノハネエラスピオ	<i>Paraprioprio patiens</i>					○
		マダラスピオ	<i>Polydora brevialba</i>					○
		-	-					○
	チロリ	ヒガタチロリ	<i>Glycera macintoshi</i>					○
		チロリ属の一種・未同定	<i>Glycera</i> sp.	○		○		○
	ミズヒキゴカイ	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	○				○
		ミズヒキゴカイ種群	-				○	○
	タマシキゴカイ	タマシキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>			○	○	○
	オフェリアゴカイ	ツツオオフェリア	<i>Armandia cf. amakusaensis</i>				○	○
	ツバサゴカイ	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus cautus</i>				○	○
	シリシ	シロマダラシリシ	<i>Syllis adamantea</i>					○
	エ	ハモチウロコムシ	<i>Lipidionotus dentatus</i>					○
(紐形動物門)							○	○
腹足	ニシキウスガイ	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>	○			○	○
	ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>		○	○	○	○
	アッキガイ	イボニシ	<i>Thais claviera</i>			○	○	○
		アカニシ	<i>Rapana venosa</i>			○	○	○
	ウミニナ	ホノウミニナ	<i>Batillaria atraumataria</i>			○	○	○
	カノキセウタ	ヤミオキセウタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>			○	○	○
	タマキビガイ	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>			○		○
	カワザンショウガイ	アラレタマキビ	<i>Nodilittorina radiata</i>					○
		カワザンショウガイ	<i>Assiniidae</i>	○				
	タマガイ	ホノヤツメタ	<i>Neverita didyma hosoyai</i>				○	
	オオシイノミガイ	ムラクモキジビキガイ	<i>Japonactaeon nipponensis</i>				○	
	アッキガイ	レイシガイ	<i>Reishia bronni</i>					○
	カリバガサ	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>					○
	トウガタガイ	ヒガタヨコトカケギ	<i>Cingulina</i> sp.					○
	ハコミツラガイ	コメツガイ	<i>Retusa insignis</i>					○
	リュウテン	コンダカカンガラ	<i>Tequila rustica</i>					○
二枚貝	イガイ	ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>			○	○	○
		ムナサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>				○	○
		ミナリガイ	<i>Perna viridis</i>				○	○
		コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>			○	○	○
		カワヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>			○	○	○
	イタボガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	○		○	○	○
	イシガイ	カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>		○			
	マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	○		○	○	○
		エノマテガイ	<i>Solen krusensteri</i>					○
	オキナガイ	フトオリガイ	<i>Exolaternula liataudi</i>	○		○	○	○
	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	○	○	○	○	○
		タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>			○		
		-	-			○		
	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium litatum</i>					
	マルスダレガイ	オキシジミ	<i>Cyclina aff. sinensis</i>	○	○		○	○
		ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>			○		
		ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	○		○	○	○
		ハマグリ属の一種・未同定	<i>Meretrix</i> sp.			○		○
		アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○	○	○	○
		カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>				○	○
		デリハギガイ	<i>Lasaea undulata</i>					○
	カキ	-	-		○			
	シオサザナミガイ	イノシジミ	<i>Nuttallia olivacea</i>	○	○	○		
	ニッコウガイ	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i>			○		○
		ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>					○
		サクラガイ	<i>Nitidollina hokkaidoensis</i>					○
	バカガイ	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>				○	○
		シオフキガイ	<i>Mactra quadrangularis</i>	○	○	○		○
	チトセノハナガイ	チヨノハナガイ	<i>Raeta pulchella</i>				○	
	イワホリガイ	ウスカラシオツガイ	<i>Pericula</i> sp.					○
	フネガイ	サルボウガイ	<i>Anadara kuroshimensis</i>					○
多板	ケハガセガラガイ	ヒメケハガセガラガイ	<i>Acanthochitona achates</i>				○	○
顎脚	フジツボ	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>			○	○	
		アフリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>			○		
		タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○	○	○
		ドロフジツボ	<i>Fistulobalanus kondakovi</i>				○	
		シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>					○
		-	-	○	○	○	○	○
	イワフジツボ	イワフジツボ	<i>Chthamalus challenger</i>				○	○
	エボシガイ	エボシガイ	<i>Leas anatifera</i>				○	○
	アナムシ	キタアナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>		○		○	○
		アナムシ	<i>Ligia exotica</i>	○		○		○
		-	-				○	○
	ミウガイ	カメノテ	<i>Pollicipes mitella</i>					○
軟甲	ヤドカリ	テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>			○	○	○
		コブコバサミ	<i>Clibanarius infaspinatus</i>			○	○	○
		-	-	○				
	ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>			○	○	○
	アナジャコ	アナジャコ	<i>Upogebia makar</i>	○		○	○	○
	エビシヤコ	ウラエビシヤコ	<i>Craeon urai</i>			○	○	○
	ハサミシヤコエビ	ハサミシヤコエビ	<i>Laomedia astacina</i>	○				
	コメツキガニ	ヒゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>		○		○	○
		コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	○		○	○	○
	オサガニ	オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>		○			
		ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	○	○		○	○
	ベンケイガニ	ベンケイガニ	<i>Orisarma intermedium</i>	○		○	○	
		クロベンケイガニ	<i>Orisarma dehaari</i>	○		○	○	
		カクベンケイガニ	<i>Parasarma pictum</i>	○		○	○	
		アカテガニ	<i>Chironantes haematocheir</i>	○			○	
		ヒメベンケイガニ	<i>Nanosesarma minutus</i>				○	

綱	科	種名		調査年				
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)
	イワガニ	オキナガレガニ	<i>Planes major</i>				○	
		モクスガニ	<i>Hemiraparus penicillatus</i>	○		○	○	○
		タカノクサイソガニ	<i>Hemiraparus takanoi</i>	○	○	○	○	○
		ヒツノガニ	<i>Geotheca depressus</i>		○		○	
		イソガニ	<i>Hemiraparus sanguineus</i>			○	○	○
	コブシガニ	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>	○			○	○
		-	-				○	
		マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>		○	○	○	○
		ヒラコブシ	<i>Philyra syndactyla</i>				○	
		スナガニ	<i>Ocyropsis stimpsoni</i>					○
	イノオウギガニ	スベスベオウギガニ	<i>Sphaeropsis nitidus</i>					
		シワオウギガニ	<i>Macromedaeus distinguendus</i>					
		同定できなかったカニ	-	○				
		テナガエビ	<i>Evonhemor orientis</i>	○		○	○	○
		テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>			○	○	○
	ユンボソコエビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>			○		
		ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	○		○	○	○
		イノスジエビ	<i>Palaemon pacificus</i>					○
		スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>					○
		スジエビ属	-				○	
	ヒゲナガモエビ	ニホンドロソコエビ	<i>Grandiderella japonica</i>					○
		-	-				○	
		アサシマモエビ	<i>Lysmata vittata</i>				○	
		イソテッポウエビ	<i>Alpheus kobidenus</i>			○		
		テッポウエビ	<i>Alpheus sp.</i>			○		
	スナモグリ	テッポウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>					○
		ニホンスナモグリ	<i>Callinassa japonica</i>		○	○		
		スナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>	○	○	○	○	○
		ウミナナフシ	-				○	○
		ヨコエビ	-	○			○	○
	カクレガニ	ヒゲナガヨコエビ	<i>Amphithoe valida</i>					○
		モズミヨコエビ	<i>Amphithoe valida</i>					○
		カクレガニ	<i>Arcotheres siensis</i>			○		
		キンモンガニ	<i>Matuta victor</i>			○		
		カルベエビ	<i>Marsupenaeus japonicus</i>			○		
	コブブムシ	コブブムシ	<i>Gnathopoda sp.</i>			○		
		シリケンウミセミ	<i>Dmoides dentisus</i>				○	
		スナホリムシ	-			○		
		フレカラ	<i>Caprella penantis</i>					○
		トゲフレカラ	<i>Caprella scaura</i>					○
甲殻	ガザミ	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			○		○
		タイワンガザミ	<i>Portunus nalaicus</i>				○	
		イシガニ	<i>Charadrius japonica</i>				○	○
		ミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>			○	○	
		-	-					
昆虫	ヒシバタ	バタ	<i>Oedulea infernalis</i>			○		
		バタ	<i>Locusta migratoria</i>			○		
		ショウリウバタ	<i>Acrida cinerea</i>			○		
		ショウリウバタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>			○		
		マダラバタ	<i>Aiolopus thalassinus tamulus</i>			○		
	オンブバタ	オンブバタ	<i>Atractomorpha lata</i>			○		
		キリギリス	<i>Conocerphus maculatus</i>			○		
		カマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>			○		
		カマキリ	<i>Leucophaea sp.</i>			○		
		コオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>			○		
	トンボ	シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>			○		
		アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>			○		
		イトトンボ	<i>Coenagrion sp.</i>				○	
		セシジスズメ	<i>Thectes ostenlandiae</i>			○		
		シロチョウ	<i>Eurema mandarina</i>			○		
	ムシヒキアブ	アオムシ	<i>Cophinopoda chinensis</i>			○		
		アオハハムシ	<i>Labidura riparia</i>			○		
		アサギ	<i>Ceryx latidorsalis</i>				○	
		アサギ	<i>Ammothos hilgendorfi</i>				○	○
		ウミグモ	-					
海鞘	シロボヤ	シロボヤ	<i>Styela plicata</i>			○	○	
		エボヤ	<i>Styela clava</i>				○	
		ユウレイボヤ	<i>Ciona intestinalis</i>					○
		アカエイ	<i>Dasyatis akai</i>			○		○
		ニシン	<i>Sardinella zunasi</i>			○		○
軟骨魚	ハゼ	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>			○	○	○
		マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>			○	○	○
		アサシロハゼ	<i>Acanthogobius lineatus</i>			○	○	○
		ヒメハゼ	<i>Luciogobius eckloni</i>		○		○	○
		ミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>			○		
	ハゼ	エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>			○		
		チクザンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>			○		
		シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>			○		○
		チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			○		○
		アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>				○	
	ハゼ	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>				○	
		ヒメハゼ	<i>Pavonigobius gymnauchen</i>				○	○
		ツマグロスジハゼ	<i>Acentrogobius sp.2</i>				○	
		アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>				○	○
		アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>				○	
	コイ	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunlii</i>				○	
		ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>					○
		ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>					○
		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>					○
		チチブ属	-					
	イノギンボ	イダギンボ	<i>Omobranchius punctatus</i>	○			○	○
		ナベカ	<i>Omobranchius elegans</i>			○	○	○
		イノギンボ	<i>Parablennius yatahei</i>				○	○
		コチ	<i>Platycephalus sp.</i>			○		
		ワニゴチ	<i>Inegocia ochiaii</i>			○		
	ネズンボ	マゴチ	<i>Platycephalus sp.2</i>				○	
		ネズミゴチ	<i>Ropomucenus curvicornis</i>					○
		ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>			○	○	○
		イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>			○		
		メダカ	<i>Oryzias latipes</i>				○	
	タイ	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>				○	
		クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>				○	○
		コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>				○	○
		マルタ	<i>Pseudaspis brandtii maruta</i>				○	
		コイ(型不明)	-				○	
	アジ	ニゴイ属	-				○	
		ウグイ属	-				○	
		ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>				○	
		スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>				○	○
		ヒラギ	<i>Nachosoma nuchalis</i>				○	
	フグ	カサフグ	<i>Takifugu rubripes</i>				○	
		シマイサキ	<i>Tetraodon lineatus</i>					○
		ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>					○

綱	科	種名		調査年				
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)
鳥	ハト	カワラハト	<i>Columba livia</i>		○	○	○	
	シギ	チュウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	○				
		キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	○		○		
	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>			○	○	○
	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○	○	○	○	○
		ゴアシサシ	<i>Sterna altilrois</i>			○	○	
	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>		○	○	○	○
		コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	
		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>			○		○
	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○	
	チドリ	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			○		
	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>		○			
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	
	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○			
	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○		
	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>		○			
	セウカ	セウカ	<i>Cisticola lucidus</i>	○		○	○	
	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodopar cinnereus</i>	○	○			
	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○		
	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>		○			
	アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○		○		

(4) カニ生息一斉調査について

令和6年度は2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました（調査シートの例は図8-2）。なお、調査結果については干潟調査の結果（表8-2）に含まれています。

とうきょうわん せい そく いっ せい ちようき ちようき
東京湾 カニ生息一斉調査 調査シート
(参加者用)

1. 調査情報

調査した日時	令和 年 月 日 時～時	調査した人	☐ 小学生未満 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 大人
天気/気温	☐ 晴れ ☐ くもり ☐ 雨 / 気温 (摂氏)		
調査した場所			
通称の様子	☐ 砂地 ☐ 泥地 ☐ ヨシ原 ☐ 林、草地 ☐ 買水の水邊 ☐ ちこそ ☐ コンクリート ☐ カキの岩		

2. 観察された生き物

観察された生き物	発見数 (見つけたらチェック！)	見つけた場所の様子 カニの特徴 (大きさ、色など)
チチュウカイミドリガニ (P20, P21)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
マメコブシガニ (P15, P21)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
クフサイソガニ (P20, P21)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
タカノケフサイソガニ (P20, P21)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ハマガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
アシハラガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
アカデガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
クロベンケイガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
クシデガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ウモレベンケイガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
イシガニ (P16, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
コメツキガニ (P17, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
チゴガニ (P17, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
オサガニ (P17, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ヤマトオサガニ (P17, P22)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
産卵が分らなかったカニ	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	

種類が分からないときは、「干潟イベントフィールド図鑑（日本国環境地保全連合）」が参考になるよ！（カニの図鑑がこちらに、この図鑑のページが書いてあるよ！）

裏面のスケッチ欄も使ってみてね！

もし気に入ったカニがいたら、スケッチしてみよう！

カニの名前	
気に入ったポイント	

（ここに絵を書いてね）

※提出されたスケッチの一部は報告書「東京湾環境一斉調査の結果」に掲載されます。

～・・・ご参加されたカニ生息一斉調査についてアンケートにご協力ください～・・・

ご参加者のご年齢	☐ ～19歳 ☐ 20～29歳 ☐ 30～39歳 ☐ 40～49歳 ☐ 50～59歳 ☐ 60歳～
お住まいの地域	☐ 東京都 ☐ 埼玉県 ☐ 千葉県 ☐ 神奈川県 ☐ その他()
ご参加のきっかけ (複数回答可)	☐ ホームページ ☐ 知人 ☐ 雑誌・チラシ ☐ SNS ☐ その他()
今回のカニ一斉調査の満足度	☐ 大変よかった ☐ ややよかった ☐ 普通 ☐ ややよかった ☐ よかった
その他、ご意見・ご感想、改善点などお聞かせください	

図 8-2 カニ生息一斉調査の調査シート

8-2 その他の調査

(1) 調査参加機関

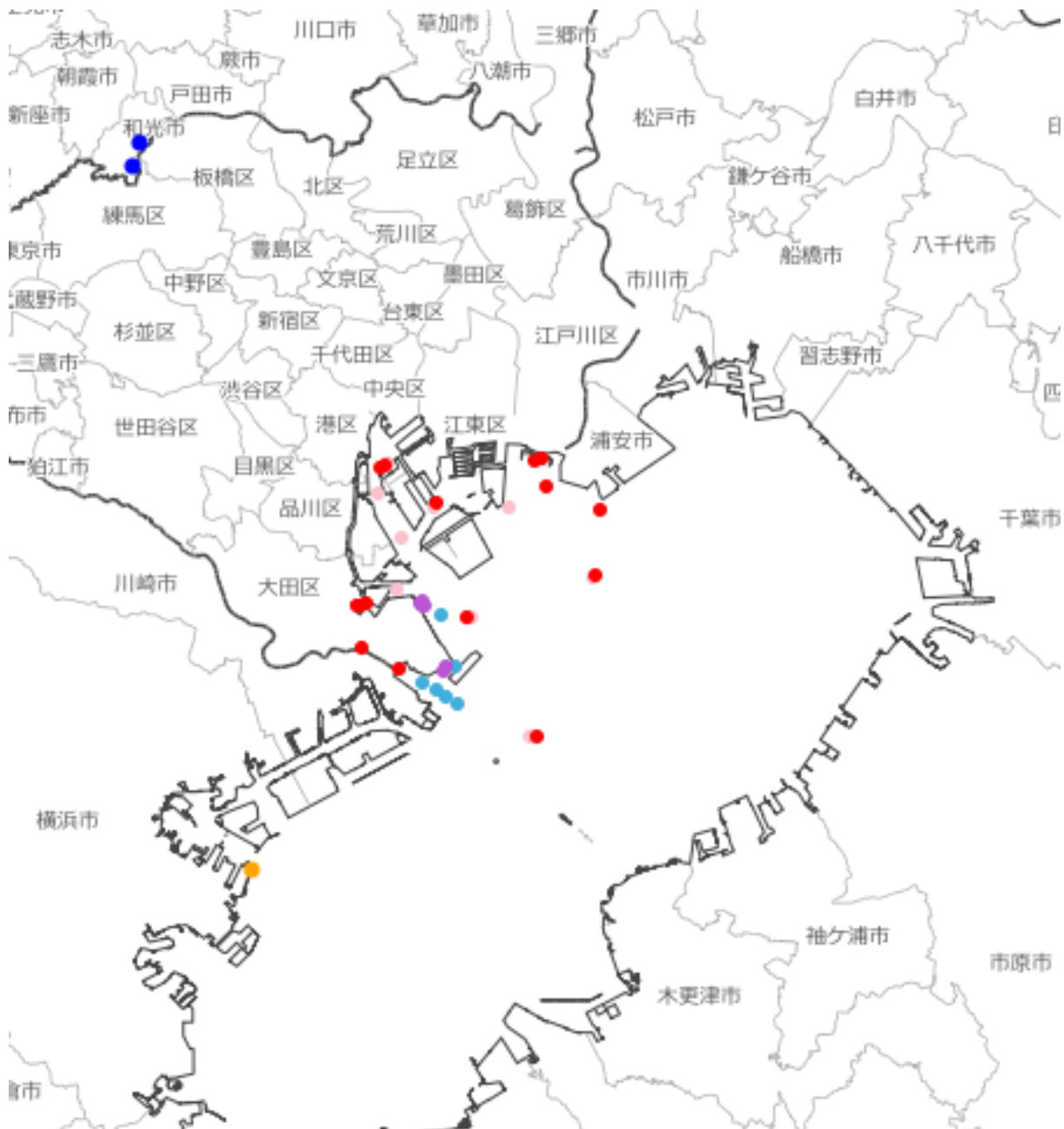
令和6年度は、4団体から干潟以外（河川、沖合など）の生物・プランクトン調査について報告がありました（表8-4）。

表 8-4 その他の調査の実施実績

レポート番号 掲載ページ	実施・主催機関	調査場所・ 地点名	実施日	調査内容
① p. II-1	国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所	東京湾内	(1) 8月8日 (2) 8月1日 8月8日	(1) 海底に生息する底生生物 (2) 浅場に生息する水生生物
② p. II-10	東京都環境局自然環境部 水環境課	東京湾内	(1) 8月13日 (2) 8月5日 (3) 9月27日 (4) 8月2日 (5) 8月19日	(1) プランクトン (2) 稚魚 (3) 成魚 (4) 鳥類 (5) 底生生物
③ p. II-19	東京都板橋区	白子川 (東埼橋、 白藤橋)	8月1日	魚類、底生動物
④ p. II-30	横浜市港湾局	横浜港本牧 沖	8月27日 8月28日	海藻類、水生生物 及び着生生物等

(2) 調査実施地点

調査は、図8-3に示す地点で実施されました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院 (GSI)

- 国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所(海底底生生物) (報告書番号①)
- 国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所(浅場水生生物) (報告書番号②)
- 東京都環境局自然環境部水環境課(プランクトン調査) (報告書番号③)
- 東京都環境局自然環境部水環境課(東京都内湾部、浅海部、干潟部) (報告書番号④)
- 東京都板橋区(白子川(東埼橋、白藤橋)) (報告書番号⑤)
- 横浜市港湾局(横浜港本牧沖) (報告書番号⑥)

図 8-3 その他の調査の実施地点

(3) 干潟以外の調査の結果

干潟以外の調査について、報告された結果の概要は以下のとおり。

- ① 国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所が羽田空港付近で行った底生生物調査では、シノブハネエラスピオ、ハナオカカギゴカイ、イトエラスピオ（環形動物門）、アサリ、アラムシロガイ等が確認された。
- ② 国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所が大田区で行った浅場生物調査では、ウミエラ目、ウミサボテン、アカニシ、イトマキヒトデ、シロボヤ、イソギンチャク目等が確認された。
- ③ 東京都が行ったプランクトン赤潮調査においては、細胞数では珪藻の *Skeletonema costatum* が最多となり、次いで *Chaetoceros* spp.、*Thalassiosira* spp. の順に多く確認された。動物プランクトンでは繊毛虫類の *Oligotrichida* が多く確認された。
- ④ 東京都が行った東京都の干潟部における稚魚調査においては、全地点でビリンゴ、マハゼ、ギマが確認された。東京都の内湾部、浅海部における成魚調査においては、ツバクロエイ、ホンビノスガイ、サルボウガイのみ確認された。東京都の内湾部、浅海部、干潟部における底生生物調査においては、ヤマトシジミ、アサリ、ホンビノスガイ等が確認された。成魚調査及び底生生物調査の海域は、下層で貧酸素状態、水底付近は無酸素状態の地点もあった。
- ⑤ 板橋区が白子川で行った調査では、魚類調査においては、二ホンウナギ、ドジョウ、ヌマチチブ等が確認された。底生動物調査においては、チリメンカワニナ、シマイシビル、カワリヌマエビ属、コオニヤンマ等が確認された。
- ⑥ 横浜市港湾局が行った横浜港本牧沖の調査では、珪藻綱、海綿動物門、イソギンチャク目、イトマキヒトデ、シロボヤ、ウスカラシオツガイ、ヒバリガイ、ホトトギスガイ等が確認された。

8-3 「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組

(1) 取組の概要

「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」が、様々な団体に観察結果の提供を呼びかけ、11団体が24地点において2024年に東京湾で観察した生物種の取りまとめを実施しました（表8-5）。

※一部には、8-1又は8-2との重複があります。

表 8-5 「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」が取りまとめた調査の実施実績

レポート番号 掲載ページ	実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日
① p. III-1	海をつくる会 大田区環境マイスターの会 公益財団法人日本野鳥の会 東京港水中生物研究会 NPO 法人生態教育センター 江戸川区こども未来館 浦安水辺の会・浦安三番瀬を大切にする会 浦安市三番瀬環境観察館 NPO 法人行徳ほごクラブ ふなばし三番瀬環境学習館 日本安全潜水協会	東京湾全域 （追加報告として葛西臨海公園、多摩川河口、左近川含む）	令和6年 1月～12月

9. 環境啓発活動等のイベント開催実績

東京湾の海域及び流域河川の水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントは、表 9-1 のとおり、7 件の環境啓発活動等のイベントが開催されました（募集時に対象期間とした 7 月～10 月以外のものも含みます。）。

次ページ以降に各イベントのレポートを掲載します。

表 9-1 環境啓発活動の開催実績（実施日順）

報告書 番号	開催場所	実施日	活動内容等	主催
1	旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所	6 月 1 日～ 6 月 30 日	製造所環境月間の取 り組み	旭化成株式会社 製造統括本部川崎製造所 環境安全部
2	富津市下州海岸	6 月 8 日	富津海岸清掃活動	日本製鉄株式会社 技術開発本部
3	株式会社日本触媒 川崎製造所	6 月 24 日	2024 年度環境大会	株式会社日本触媒 川崎製造所
4	横浜港湾空港技術 調査事務所 生物共生型護岸	8 月 2 日	外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事 務所
5	横浜港湾空港技術 調査事務所 生物共生型護岸	8 月 20 日	江戸前アサリわくわ く調査	横浜港湾空港技術調査事 務所
6	東亜合成株式会社 川崎工場	8 月 20 日	2024 年度第 3 回構 内一斉清掃	東亜合成株式会社 川崎工場
7	桜橋（東京都台東区 今戸 1 丁目 1 番付 近）	11 月 2 日	令和 6 年度隅田川水 生生物調査見学会	台東区役所 環境課

■イベントレポート①

主催機関	イベント名
旭化成(株) 製造統括本部 川崎製造所 環境安全部	製造所環境月間の取り組み

【イベント概要】

環境月間に合わせて、製造所内で各種取り組みを実施した。

【開催時期】

令和6年6月1日～6月30日

【場所】

旭化成(株)製造統括本部川崎製造所内の各部署

【主なイベント内容】

製造所内の各部署で下記1～3の活動を実施した。活動の結果は「活動整理表」にまとめ、環境安全部に提出した。

<活動内容>

1. 公害発生源施設及び公害防止施設の総点検
2. 従業員への環境研修及び啓発
(部場における環境関連設備等に関する教育・周知、トラブル時の対応訓練、等)
3. 施設内・周辺の美化及び環境保全対策
(排水溝の清掃、通路の清掃、施設内の除草、配水管の清掃、等)

■イベントレポート②

主催機関	イベント名
日本製鉄株式会社技術開発本部	富津海岸清掃活動
参加人数とそのうちの子供の数	
参加合計人数 113 名 そのうち 小学生 5 名、中学生 0 名	

【イベント概要】

日本製鉄(株)技術開発本部富津地区の勤務者から有志を募り、地元である富津市下洲海岸の清掃活動を実施しました。

【開催時期】

令和 6 年 6 月 8 日

【場所】

富津市下洲海岸

【主なイベント内容】

日本製鉄(株)技術開発本部富津地区の勤務者 113 名が参加して、10時～11時まで清掃活動実施しました。海開き前に海岸のごみが一掃され、美しい砂浜になりました。

(活動状況)



(回収されたごみ)



■イベントレポート③

主催機関	イベント名
株式会社日本触媒 川崎製造所	2024年度 環境大会

【イベント概要】

製造所で従業員、協力会社員を対象に環境大会を開催し、174名が参加した。

【開催時期】

令和6年6月24日

【場所】

自社（千鳥工場をメイン会場として、千鳥工場と浮島工場を Teams で繋ぎ、会場を分散して開催）

【主なイベント内容】

従業員及び協力会社員に製造所の環境負荷量推移や環境関連の規制動向等について説明した。

■イベントレポート④

主催機関	イベント名
横浜港湾空港技術調査事務所	外来海洋生物観察会
参加人数とそのうちの子供の数	
参加合計人数 20 名	
そのうち 小学生 12 名	

【イベント概要】

小学生（親子）を対象に、干潟の外来生物観察会を行いました。

【開催時期】

令和6年8月2日

【場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」（人工干潟）



【主なイベント内容】

メインテーマの外来海洋生物（ミドリイガイ等）を中心に、干潟の生物を調査しました。その後は顕微鏡で拡大などしながら、生物の様子を観察しました。



■イベントレポート⑤

主催機関	イベント名
横浜港湾空港技術調査事務所	江戸前アサリわくわく調査
参加人数とそのうちの子供の数	
参加合計人数 29 名 そのうち 小学生 16 名	

【イベントの概要】

小学生（親子）を対象に、東京湾のアサリがいつ・どこでわくのかを調べる江戸前アサリ「わくわく」調査を実施しました。

【開催日】

令和 6 年 8 月 20 日

【場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」（人口干潟）



【主なイベント内容】

25 cm×25 cm×10 cmの「わく」内にどれだけのアサリが「わく」かを調査。上段 4 箇所、中段 8 箇所 計 12 箇所調査しました。



■イベントレポート⑥

主催機関	イベント名
東亜合成(株)川崎工場	2024年度第3回工場一斉清掃
参加人数とそのうちの子供の数	
参加合計人数 20 名	
そのうち 小学生 0 名、中学生 0 名	

実施日：2024年8月20日（火）

従業員と構内協力事業所員が実施

■イベントレポート⑦

主催機関	イベント名
台東区役所 環境課	令和6年度隅田川水生生物調査見学会
参加人数とそのうちの子供の数	
参加合計人数10名	
そのうち 小学生 5名、中学生0名	

【イベント概要】

小学生を対象に、隅田川の水生生物について学習してもらいました。

【開催時期】

令和6年11月2日

【場所】

桜橋（東京都台東区今戸1丁目1番付近）

【主なイベント内容】

台東区在住又は在学の小学生15組を募集し、隅田川水生生物調査で捕獲した生き物の観察と調査方法について専門家からお話してもらいました。

10. 用語解説

表 10-1 水質指標について

項目	説明	環境との関連
溶存酸素量 (DO)	水中に溶けている酸素量のことで、酸素供給（大気からの溶解や植物プランクトンを含む藻類による光合成など）と消費（有機物の分解、生物の呼吸など）や移流・拡散のバランスを示します。水中に溶ける酸素量は水温が高くなると減少し、水温 20℃の時に約 9 mg/L で飽和状態となります。底層溶存酸素量（底層 DO）とは海底から 1 m 以内の底層で測定された溶存酸素量のことです。	貧酸素状態が続くと、好気性微生物（酸素を必要とする生物）にかわって嫌気性微生物（酸素を必要としない生物）が増殖するようになります。嫌気性微生物の活動により有機物の腐敗（還元・嫌氣的分解）が起こり、メタンやアンモニア、有害な硫化水素が発生し、悪臭の原因となります。また、溶存酸素濃度が 3 mg/L を切ると魚類を含めた多くの底生生物は生息できなくなり、生物多様性が低下します。
塩分	海水 1 kg 中に溶解している塩化ナトリウムなどを主とした固形物質の全量に相当します（絶対塩分）。海水には非常に多くの物質が溶け込んでおり、絶対塩分を直接測定することは困難なので、精度良く測定できる海水の電気伝導度から換算式を用いて仮定の塩分（実用塩分）を求める方法が一般的です。 ※単位は psu（実用塩分）	海面を通じての降水量と蒸発量の差や、河川水等による淡水流入の影響で変化します。低塩分の海水は密度が小さく、相対的に軽いため、表層に低塩分水が分布すると、底層と表層の海水が混ざりにくくなります。こうなると底層の水へ酸素が供給されにくくなることから底層の貧酸素化に影響します。
①透明度 ②透視度	どちらも水の清濁を表現するための指標です。①は直径 30 cm の白色円盤（セッキ板）を水中に沈め、水面から肉眼で確認できる限界の深さをいい、②は透明な管に試料を入れて上部から透視し、白色の標識盤に書かれた印が初めて明らかに確認できるときの水層の高さをいいます。	①、②ともに値が大きいほど水が澄んでいることを表します。主に①は海や湖沼、②は河川や排水の調査等で使用されます。一般的に、水中に浮遊物質や生物が多くなると値は低下します。ダイビングにおいても透視度という用語を用いますが、これは水平方向に見通せる距離を表したものです。

項目	説明	環境との関連
化学的 酸素 要求量 (COD)	水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、水中の有機物の分解に必要な酸素の量を表します。	湖沼・海域などの停滞性水域や藻類の繁殖する水域の有機汚濁の指標に用いられます。CODが高い状態が続くと、生物生息環境の多様性が低下し、魚類を含めた底生生物は生息できなくなります。
全窒素 (T-N)	全窒素・全リンは、湖沼や内湾などの閉鎖性水域の富栄養化の指標として用いられています。水中では、窒素・リンは、硝酸・リン酸イオンなどの無機イオンや含窒素・含リン有機物として存在しています。	窒素やリンは、植物の生育に不可欠なものです。過剰な窒素やリンが内湾や湖に流入すると富栄養化が進み、植物プランクトンの異常増殖を引き起こすことがあります。そのため、湖沼におけるアオコや淡水赤潮の発生、内湾における赤潮発生の直接の原因となります。
全リン (T-P)		
クロロ フィル- <i>a</i>		
	全ての藻類に含まれる光合成色素であることから、水中の植物プランクトン量の指標として用いられます。	

○水質汚濁現象について

・赤潮（水質指標キーワード：全窒素、全リン、クロロフィル-*a*）

水中に生存している植物プランクトン等が異常に増殖し、水の色が著しく変わる現象です。水の色は原因となるプランクトンの種によって異なり、赤褐色、茶褐色などの色を呈します。赤潮が発生する背景としては、窒素やリンの流入負荷量増加に伴う水域の富栄養化が原因のひとつと指摘されています。大量に発生した赤潮生物は死滅後、微生物によって分解される過程で大量の酸素を消費するため、貧酸素水塊の形成要因のひとつとされています。この他にも、毒性を持つプランクトンによる赤潮は、その水域の生物に直接的に被害を与えることがあります。



写真：千葉港内（平成15年8月11日）



写真：隅田川河口部（平成22年7月5日）

・青潮（水質指標キーワード：DO）

富栄養化や有機物による水質汚濁の進んだ内海の底層では、大量発生したプランクトンの死骸が微生物に分解される過程で酸素が消費され、貧酸素水塊が形成されます。貧酸素水塊中では、底質中の硫黄化合物の還元が促進され、次第に水中への硫化水素の蓄積が進みます。このような水塊が風などによって表層まで湧き上がると、含まれていた硫化水素が酸素と反応して硫黄のコロイドを大量に生成します。コロイドは、太陽光を反射して海水を乳青色や乳白色に変色させます。青潮も赤潮と同様に水生生物の大量死を引き起こすなど、生物に被害を与えます。東京湾ではアサリの大量死が起こることもあります。



写真：羽田沖（平成16年8月18日）



写真：千葉港（平成23年8月30日）

・貧酸素水塊（水質指標キーワード：DO）

生物に影響を及ぼすほど酸素の濃度が低くなった水塊のことです。境界値についてはさまざまな指標がありますが、水産用水基準においては 4.3 mg/L が「底生生物の生息状況に変化を引き起こす臨界濃度」とされています。また、環境省が告示する生活環境の保全に関する環境基準において、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域の基準は 4.0 mg/L 以上、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域は 3.0 mg/L 以上とされています（詳しくは、<https://www.env.go.jp/kijun/mizu.html> をご覧ください）。

1 1. 問い合わせ先等

(1) 問い合わせ先

本資料の内容や東京湾環境一斉調査についてのお問い合わせ・ご意見は、下記連絡先までお願いします。

- 東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局
環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室 03-5521-8319
- 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会
令和6年幹事 千葉県環境生活部水質保全課 043-223-3816
- 東京湾岸自治体環境保全会議
令和6年度幹事 東京都環境局自然環境部水環境課 03-5388-3459
- 東京湾再生官民連携フォーラム
東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム 03-5157-5235

(2) 情報掲載先

東京湾環境一斉調査の報告書は東京湾環境一斉調査 WEB サイトに掲載しています。また、調査結果を分かり易くまとめた「東京湾環境 MAP」を国土技術政策総合研究所 WEB サイトにて掲載しています。

東京湾環境一斉調査の観測データは、東京湾環境情報センターから入手することができます。

- 東京湾環境一斉調査 WEB サイト
https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo_wqs.html
- 国土技術政策総合研究所 WEB サイト（東京湾環境マップと事例集に関する情報）
<https://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kaiyouDB.html>
- 東京湾環境情報センター（国土交通省関東地方整備局港湾空港部横浜港湾空港技術調査事務所）
<https://www.tbeic.go.jp/>

(参考)

- 東京湾再生推進会議 WEB サイト
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html

参考資料

目 次

I. 調査レポート（干潟調査）

- ① 大田区環境マイスターの会 I -1
- ② 浦安市三番瀬環境観察館 I -21
- ③ 横浜港湾空港技術調査事務所、外来海洋生物観察会 I -25
- ④ 横浜港湾空港技術調査事務所、江戸前アサリわくわく調査 I -28
- ⑤ 横浜港湾空港技術調査事務所、釣り調査 I -31

II 調査レポート（干潟以外調査）

- ① 国土交通省、関東地方整備局、東京空港整備事務所 II -1
- ② 東京都環境局自然環境部水環境課 II -10
- ③ 東京都板橋区 II -19
- ④ 横浜市港湾局 II -30

III 調査レポート（「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組）

- ① 東京湾生物情報とりまとめおせっ会 III -1

I. 調査レポート (干潟調査)

干潟調査レポート①

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
大田区環境マイスターの会	多摩川河口大田区側	6月22日、7月19日

〔Ⅰ〕 調査概要

1. 調査者

大田区環境マイスターの会（計8名）および調査協力者（計3名）

2. 調査場所

多摩川河口大田区側

3. 調査目的

2017年より実施してきた同生息実態の調査を継続し、生態系の変化を確認すると共に、多摩川河口の干潟の環境保全に役立てる。

4. 調査内容

- ① 底層の生物調査
- ② 上記調査地点周辺の生物調査
- ③ 周辺の鳥類調査
- ④ 調査地点の底層調査

5. 調査対象生物

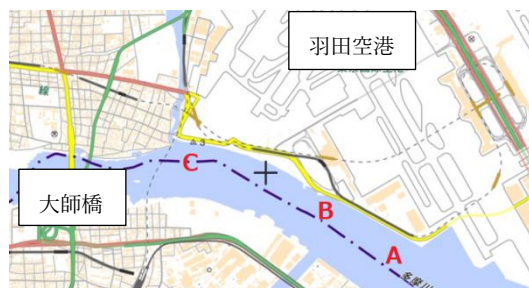
・貝類および節足動物類および鳥類

〔Ⅱ〕 生物調査方法

1. 調査地点

2017年の調査開始以降多摩川の0kmポイント（B）を中心に、海側約800m（A）と上流約1km（C）を基本サンプル採取地点として調査を実施。今回は潮の関係で一部の地点で未実施。

〔図－1〕 調査地点の地図



【表－1】 サンプル採取地点の場所

サンプル採取地点		場所	
A	1	河口先端域	陸側
	2		中間部
	3		川側
B	1	多摩川 0km ポイント	陸側
	2		川側
C	1	0km ポイントから上流側に約 1km離れた海老取り川との合流地点	陸側
	2		川側

2. 底層生物のサンプル採取方法

各採取地点の干潟で 25cm 四方、深さ 10cm の土壌を採取。約 1mm メッシュの袋にこの土壌を入れ、流水にて土砂を洗浄除去し、残渣中にいる生物を確認した。

また、土壌採取後湧き出た水を採取し、水温、pH および塩分濃度を測定した。

3. 計測機器

- 1) pH : 東亜 DKK (HM-30p) ポータブル pH 計 測定範囲 pH 1~12
- 2) 塩分濃度 : Dretac (EN904) 防水塩分計 測定範囲 0.1~5.0%
- 3) 位置 : Garmin (ガーミン) 登山用 GPS
- 4) 温度 : 横河電気製温度計 Model2455/石原温度計製作所製 No.7 赤液棒状温度計

[Ⅲ] 底層の生物調査結果

1. 調査実施時期

[表－2] 調査地点と実施時期

調査地点	調査実施日	
	調査日・時間	干潮時間（潮位）
A	6月22日(土) AM10:30～12:00	AM11:33 -8cm
B	7月19日(金) AM9:30～11:30	AM 9:58 15cm
C		

2. 調査地点の位置

[表－3] 調査地点の測位

地点	サンプル 採取地点	GPS	
		北緯	東経
A	1	N35° 32.213′	E139° 46.713′
	2	N35° 32.207′	E139° 46.703′
	3	N35° 32.201′	E139° 46.688′
B	1	N35° 32.410′	E139° 46.272′
	2	N35° 32.401′	E139° 46.261′
C	1	N35° 32.740′	E139° 45.237′
	2	N35° 37.730′	E139° 45.237′

3. 調査地点の水質

[表－4] 調査地点の水質

調査地点		pH 定値	塩分濃度%	水温℃
A	河川水	7.58	1.4	28.0℃
	A-1	6.65	1.9	26.0℃
	A-2	6.74	1.7	24.0℃
	A-3	7.30	2.0	23.0℃
B	河川水	7.59	1.2	27.0℃
	B-1	7.30	1.3	29.0℃
	B-2	6.63	1.4	26.0℃
C	河川水	—	—	—
	C-1	6.58	1.6	29.8℃
	C-2	7.09	1.4	27.8℃

※Cの河川水は、C-2と同じのため取得せず

4. 確認生物 生物の写真は[別紙 1 生物の写真]参照

4-1) 底層生物のサンプル採取で確認した貝の種類別個体数

① アサリ (単位: mm)

[表-5] アサリの大きさ別個体数

大きさ	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	計
0~5	1	0	0	0	0	0	0	1
6~10	0	0	0	1	0	0	0	1
10mm 以上	1	2	1	0	0	0	0	4
計	2	2	1	1	0	0	0	6

② ヤマトシジミ (単位: mm)

【表-6】 ヤマトシジミの大きさ別個体数

大きさ	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	計
0~5	0	0	0	1	0	0	0	1
6~10	0	0	0	1	1	0	0	2
10mm 以上	0	0	0	1	1	0	0	2
計	0	0	0	3	2	0	0	5

4-2) 採取底層中のその他の生物と周辺生物

[表-8] 底層生物のサンプル採取で確認したその他生物と周辺生物

調査地点	生物			
A/B	ヒモムシ類	イトゴカイ類	アラムシロ	オキシジミ (14)
	シオフキ (3)	マハゼ	ヒモハゼ	ユビナガスジエビ
	ハマグリ (1)	サビシラトリ	フジツボ類	コウロエンカワヒバリガイ
	ホトトギス	ヨコエビ	イトゴカイ類	ソトオリガイ (4)
	マテガイ (2)	マメコブシガニ	フジツボ	ヤマトカワゴカイ
	ナナフシ	コメツキガニ	ヤマトオサガニ	ムロミスナウミナナフシ
	ミズクラゲ	アカクラゲ	マガキ	アナジャコ
	フナムシ類	アカエイ	ボラ (稚魚)	コノシロ
	スズキ			
	カルガモ	ダイサギ	アオサギ	ウミネコ
C	ヤマトオサガニ	ハマグリ	ヒモムシ類	ムロミスナウミナナフシ

() は個体数

【IV】底層調査

目的：2019年の台風19号により底質が泥質化したため、底層（約20cm）の底質調査および地盤高調査を継続的に実施し、底質がどのように変化しているかを確認する。

1. 底層調査

- 調査方法：表層から約20cm下まで管を挿入して写真のように底層をサンプリングして底質の状況を確認する。

【管の中の底層サンプル】

- 結果：2021年以降砂質化が進んできた。今回もA-3地点で若干泥質が混じっていた以外、概ね砂質であった。



【表-9】 2024年の底質調査結果

調査地点	A			B		C	
	1	2	3	1	2	1	2
底質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質*

*：若干泥質が混じっていた。

2. A地点の地盤高調査 詳細はA地点の地盤高調査報告書参照

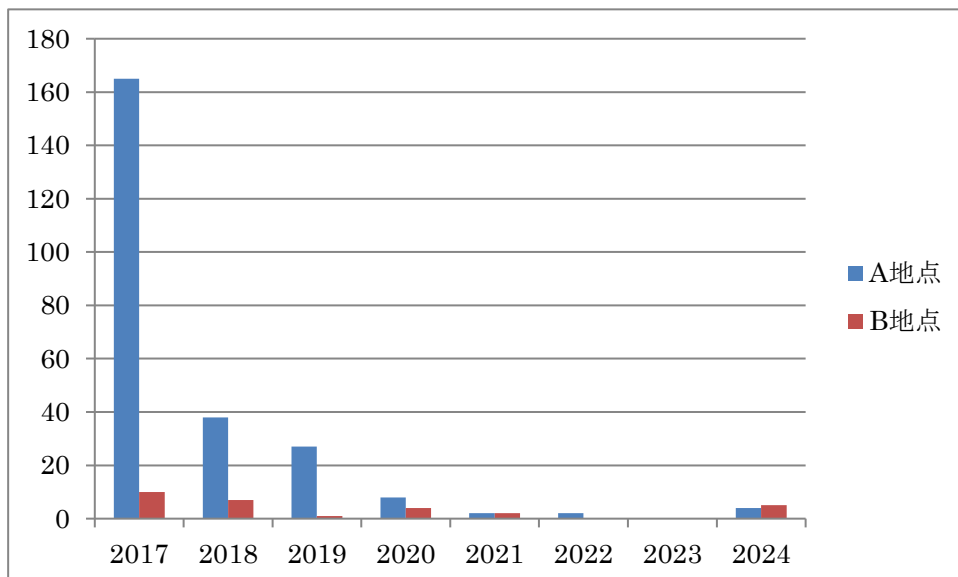
- 調査方法：別紙参照
- 結果概要：

調査年	川底の状況
2020	台風19号で運ばれてきた大量の土砂によって大幅に上昇
2021～2022	削られる動きで下がる
2023～2024	上昇する傾向に変化

[VI] まとめ

1. アサリは2017年以降減少傾向が続き、昨年は全く確認できなかった。しかし、今年は少量ながら確認することができ、来年以降さらに増えることを期待したい。

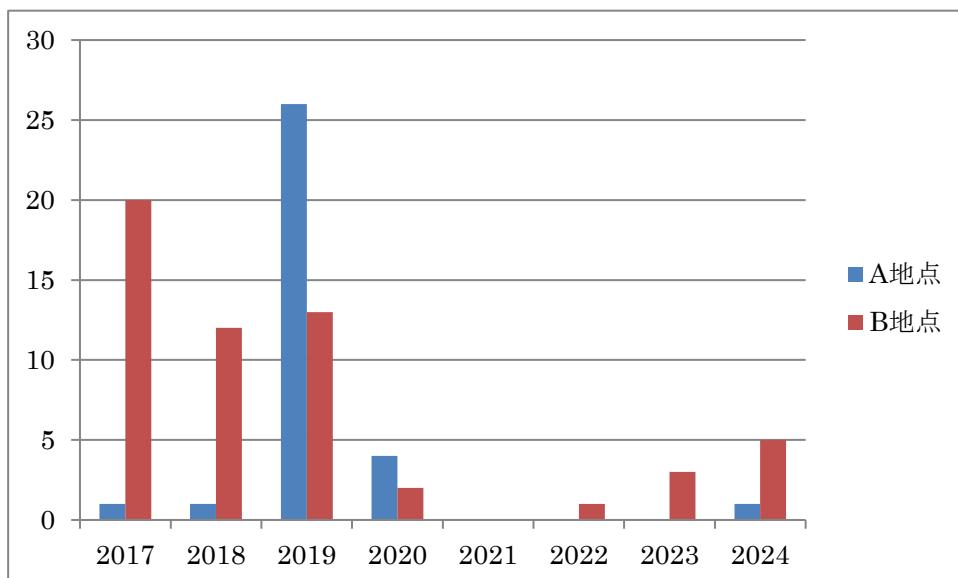
【図-1】アサリの年別採取個体数



2. ヤマトシジミは2019年以降、汽水域であるB地点でのヤマトシジミの数が減っていたが、2022年以降わずかながら増加傾向が続いている。

また、周辺エリアで10mm以上のものも確認できており、本格的な復活を期待したい。

【図-2】ヤマトシジミの年別採取個体数



3. このほかの貝類

カキやフジツボなどが2019年の台風以前に比べると数は少ないが、増加傾向が進んでいる。

4. カニ類

A/B 地点でカニはヤマトオサガニやコメツキガニの生息を確認できた。個体数は 2019 年以前に比べより少なくなっているが、順調に個体数は増えている。

C 地点は大規模な工事が行われた関係で、依然カニなどの生物が減っている。復活にはまだ時間がかかるとみられる。

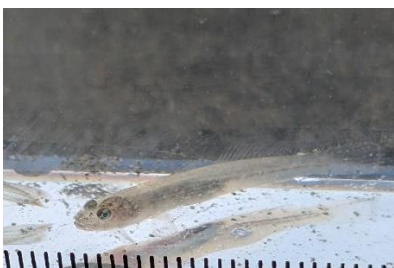
以上

追記) 調査にご協力いただきました古川先生に感謝いたします。

別紙 1 生物の写真 1

		
オキシジミ	シオフキ	オキシジミ
		
オキシジミ	ホンビノスガイ	オキシジミ
		
不明	ソトオリガイ	ハマグリ
		
カキのなかま	マテガイ	アラムシロとヤマトシジミ
		
ゴカイのなかま	テナガエビ	フナムシのなかま

生物の写真2

		
マメコブシガニ	ケフサイソガニ	ヤマトオサガニ
		
ヤマトオサガニ	ヤマトオサガニ	コメツキガニ
		
ミズクラゲ	アカエイ	アナジャコ
		
マハゼ	ハゼ類	ハゼ類
		
ボラの稚魚	コノシロ	スズキ

生物の写真 3

		
ウミネコ	ウミネコ	ダイサギ
		
カルガモ？	ダイサギとアオサギ	

2024 年 A エリアの地盤高測定報告

1, 測点の配置の変遷

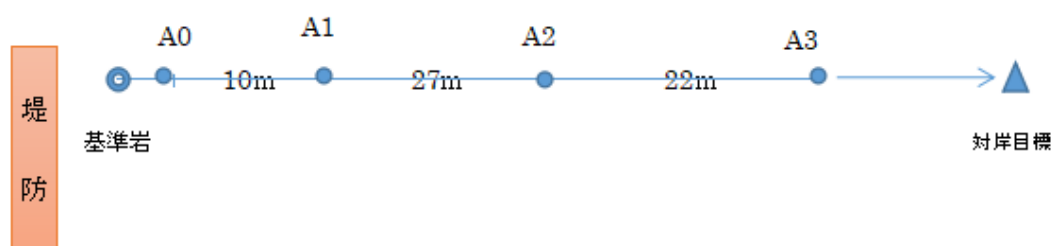
A エリアで始めた地盤高測定の測点については工事の影響や管理のしやすさを狙って少しずつ変更してきた。しかし測線方向は、同じ場所が変わらないようにしてきたので過去のデータと併せて比較し変化を見ることについては、問題ないと考えている。

今回、長らく行われていた高潮堤防工事が終了した事で今年使用した基準杭が今後安定的に使えデータの比較がより厳密にできるようになることが期待する。

a) 2020 年測量地点配置図

2020 年の調査では、2019 年に使った基準点を利用して同じ観測点を再現しやすくするために各点に木杭を打ち込み明確にした。

過去設置した観測点は、長さ等ばらばらであったが対岸目標と基準岩を結ぶ線上に再設定した。

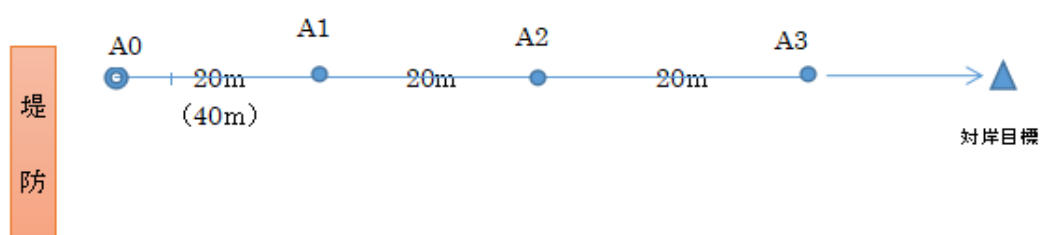


b) 2021 年測量地点配置図

観測点の配置を整理し今後の測量をしやすい様に各観測点の位置を変更した。

各点には 3 cm 角で長さ 1m の木杭を埋設した。

これにより今後使い続けていける点が出来たと考えていた。



c) 2022 年測量地点配置図

2022 年は、高潮堤防工事が行われ旧堤防や基礎石がすべて撤去され高潮堤防が新設された為、川岸の地盤が広範囲に掘られ埋設していた基準杭 A0 や当初使っていた基準岩も消失した。

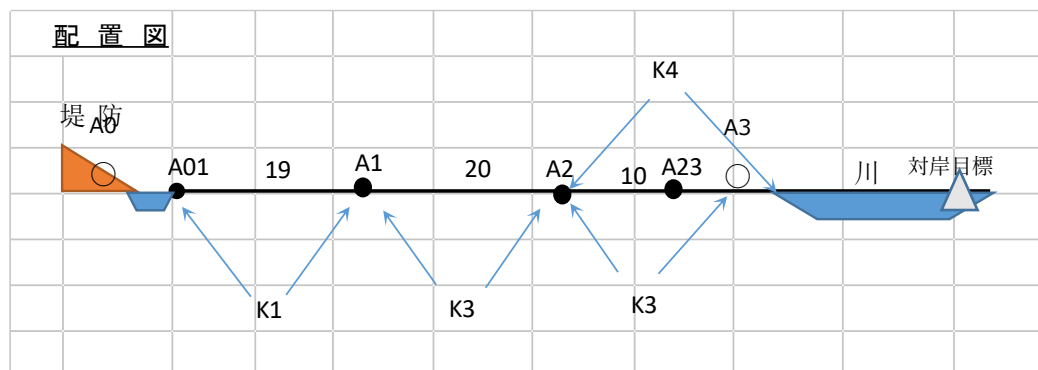
A0 の位置を再測して再現したかったが工事に伴って堤防下が水路状になっており再現できず 1m 離れたところに新たに A01 として木杭を埋設した。

他の観測点は、A2のみ確認されそれを使って対岸目標との見通し線上に A1、A23 を設定した。尚 A3 については、川の中になってしまいぬかるんでいることもあり再現をあきらめて前 10m の所に A23 を設定し木杭を埋設した。

A1 の周辺は、干潮時も水たまりが残り足場も不安であるが 2020,2021 と比べるとだんだん良くなっていく方向で観測作業に影響ない状態まで改善されている。

A2 周辺は、砂が安定していて締まった状態である。

A3 周辺は、少し下がったのか水没していてぬかるみアクセス出来なかった。



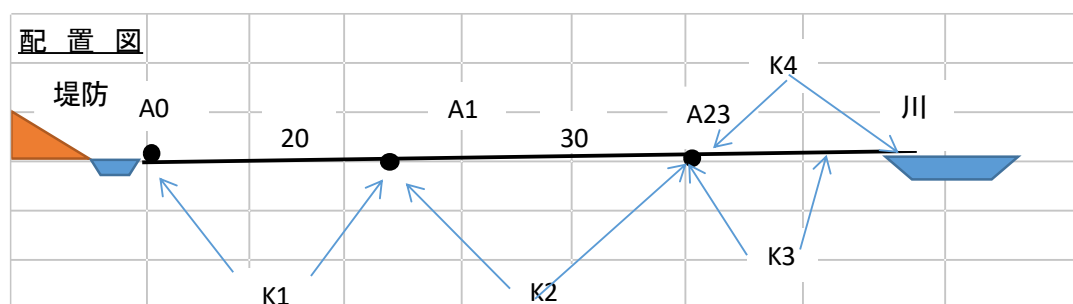
※K1～K4 は、観測を想定した時の機械点の位置

d) 2023 年測量地点配置図

高潮堤防の工事がほぼ終わり昨年と少し環境が変わった。水路に沈んでいた A0 に杭が打てる状況であったので対岸目標と A1 を使い 20m の距離の所に A0 として 30Φ×1000 木杭を打ち込んだ。

A1 及び A23 は、昨年使った杭が残っておりそれを使った。

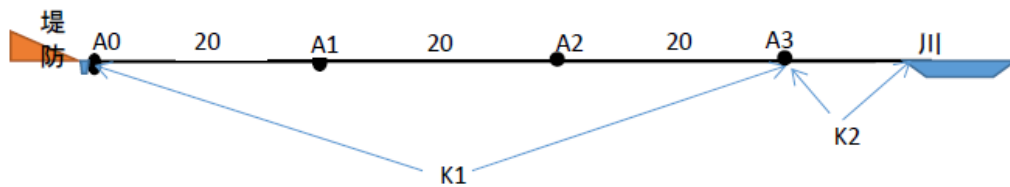
A23 から先のエリアは、大変ぬかるんでおり A3 まで行けず確認できない状況である。



e) 2024 年測量地点配置図

基準点については、残っていた A1 を除き A0～A3 まで 3 点再現して木杭を埋設した。これにより 2021 年の配置に沿って測点が再現出来て測定データが取れた。測定は、レベルを K1 に据えて A0～A3 まで観測し K2 に移動し A3 から川面まで観測した。

配置図



f) 現場写真

イ) A エリア全景



ロ) 高潮堤防礎石



ハ) A0 地点木杭



二) 測量風景



2, 観測データー

A) 2024 年結果と断面グラフ

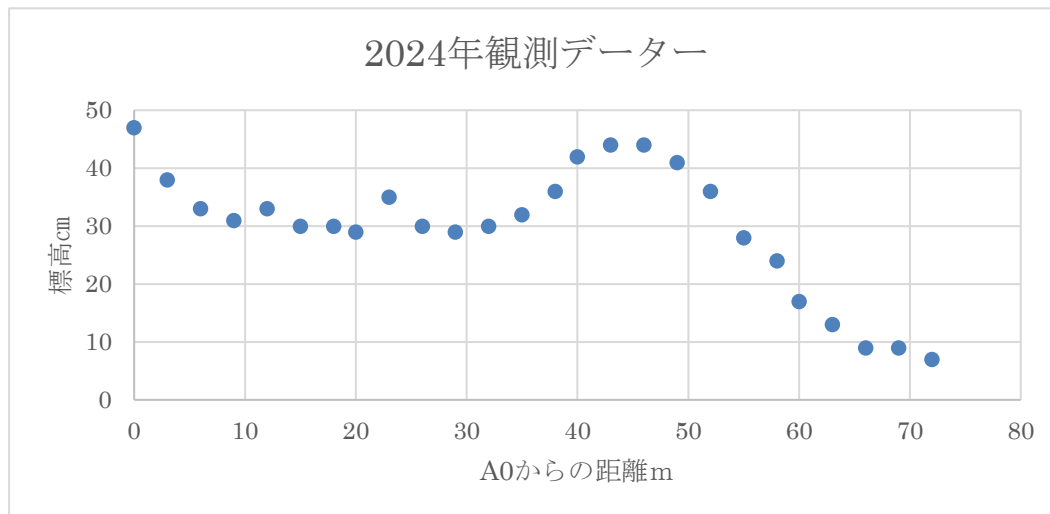
過去埋設した A1 の木杭が安定して残っていたので A 1 を既知とし昨年データー**34.6cm**を**35cm**として各点の値を変換した。残念ながら他の既知点は、見つからなかったので不安は残るが前後の昨年データー比較から問題はないと考えられる。

また潮時表から見ると当日の干潮時 11:33 の潮位は、－8 cmであった。

① 2024 年観測結果（水準手簿）

				水 準 手 簿		2024年6月22日		
				開始時間：		11:00	終了時間：11:30	
		天 気：	はれ	観測者：		古 川	標尺係：鈴 木	
		気 温：	30℃				記録係：北 澤	
	測点名	A0からの距離	点間距離m	K1	K2	合併	結果cm	備考
1	観測点A0	0	0	106		106	52	再現点
2	A0下			111		111	47	
	a1	3	3	120		120	38	
3	a2	6	3	125		125	33	
4	a3	9	3	127		127	31	
5	a4	12	3	125		125	33	
6	a5	15	3	128		128	30	
7	a6	18	3	128		128	30	
8	観測点A1	20	2	123		123	35	既存点34.6
9	A1下	20	0	129		129	29	
10	a7	23	3	123		123	35	
11	a8	26	3	128		128	30	
12	a9	29	3	129		129	29	
13	a10	32	3	128		128	30	
14	a11	35	3	126		126	32	
15	a12	38	3	122		122	36	
16	観測点A2	40	3	112		112	46	再現点
17	A2下	40	0	116		116	42	
18	a14	43	3	114		114	44	
19	a15	46	3	114		114	44	
20	a16	49	3	117		117	41	
21	a17	52	3	122		122	36	
22	a18	55	3	130		130	28	
23	a19	58	3	134		134	24	
24	観測点A3	60	2	134	128	134	24	再現点
25	A3下	60	—		135	141	17	
26	a20	63	3		139	145	13	
27	a21	66	3		143	149	9	
28	a22	69	3		143	149	9	
29	a23	72	3		145	151	7	
30	川				152	158	0	水面

② 2024 年観測データーグラフ
前表の結果項のプロットグラフ



B) 過去4年の結果と断面比較グラフ

① 各年の地盤高と断面積計算

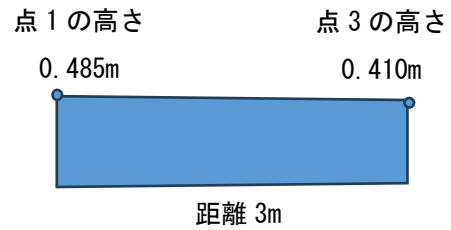
測定できていない点のデーターは、前後の点から平均計算から求め赤字で記載し、比較しやすい0-55mまでの値を使って断面積を計算した。

点番	A0からの距離:m	2021年		2022年		2023年		2024年	
		地盤高:m	台形面積:m ²	地盤高:m	台形面積:m ²	地盤高:m	台形面積:m ²	地盤高:m	台形面積:m ²
1	0	0.48500		0.47200		0.45600		0.47000	
2	1			0.34600	0.40900				
3	3	0.41000	1.34250	0.38000	0.72600	0.36600	1.23300	0.38000	1.27500
4	6	0.36000	1.15500	0.35200	1.09800	0.33600	1.05300	0.33000	1.06500
5	9	0.33000	1.03500	0.31500	1.00050	0.33600	1.00800	0.31000	0.96000
6	12	0.32000	0.97500	0.33000	0.96750	0.32600	0.99300	0.33000	0.96000
7	15	0.37000	1.03500	0.32000	0.97500	0.30600	0.94800	0.30000	0.94500
8	18					0.32600	0.94800	0.30000	0.90000
9	19	0.37000	1.48000						
10	20	0.32000	0.34500	0.29900	1.54750	0.34600	0.67200	0.29000	0.59000
11	23	0.30500	0.93750	0.29000	0.88350	0.30600	0.97800	0.35000	0.96000
12	26	0.29500	0.90000	0.28600	0.86400	0.31600	0.93300	0.30000	0.97500
13	29	0.30500	0.90000	0.25700	0.81450	0.28600	0.90300	0.29000	0.88500
14	32	0.33500	0.96000	0.28800	0.81750	0.28600	0.85800	0.30000	0.88500
15	35	0.34500	1.02000	0.30300	0.88650	0.32600	0.91800	0.32000	0.93000
16	38	0.39500	1.11000	0.35400	0.98550	0.36400	1.03500	0.36000	1.02000
17	40	0.41500	0.81000	0.38100	0.73500	0.40600	0.77000	0.42000	0.78000
18	43	0.42500	1.26000	0.41500	1.19400	0.43600	1.26300	0.44000	1.29000
19	46	0.41500	1.26000	0.41200	1.24050	0.40600	1.26300	0.44000	1.32000
20	49	0.34500	1.14000	0.38900	1.20150			0.41000	1.27500
21	50			0.33900	0.36400	0.33600	1.48400		
22	52	0.28500	0.94500					0.36000	1.15500
23	53			0.26800	0.91050	0.26600	0.90300		
24	55	0.26500	0.82500	0.21060	0.47860	0.21267	0.47867	0.28000	0.96000
合計			19.43500		18.09910		18.64167		19.13000

※ 台形面積の計算方法

前頁の表の左上を切り取って以下に転載するがここにあるデーター2021年の点1と3で出来る台形面積の計算の仕方を例にして以下に説明する。

点番	A0からの距離:m	2021年	
		地盤高:m	台形面積:m ²
1	0	0.48500	
2	1		
3	3	0.41000	1.34250



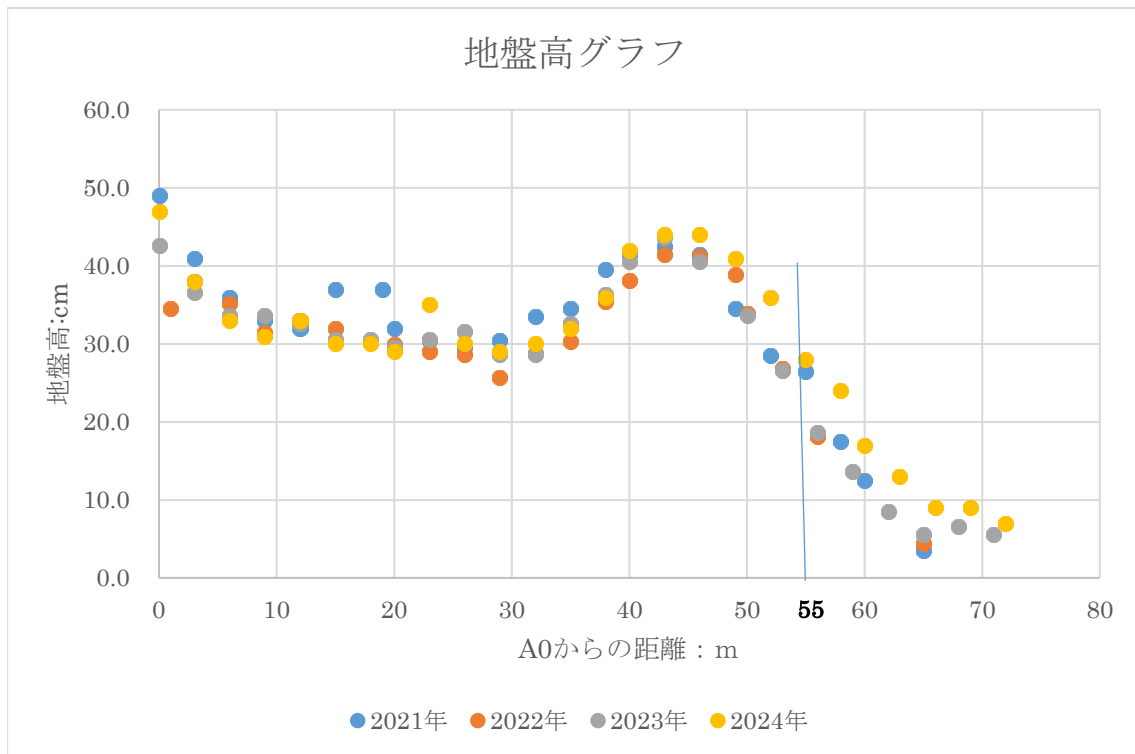
点1と点3で作られる四角形の面積は、各点の高さを辺長とし点間距離を高さとする上図のような寝かせた台形の面積で求められるから

$$\text{台形の面積} = (\text{上底} + \text{下底}) \times \text{高さ} \div 2 = (0.485 + 0.410) \times 3 \div 2 = 1.3425 \text{ m}^2$$

すべての点についてこの考え方で台形面積を計算して合計すれば0～55mまでの断面面積が求められる。

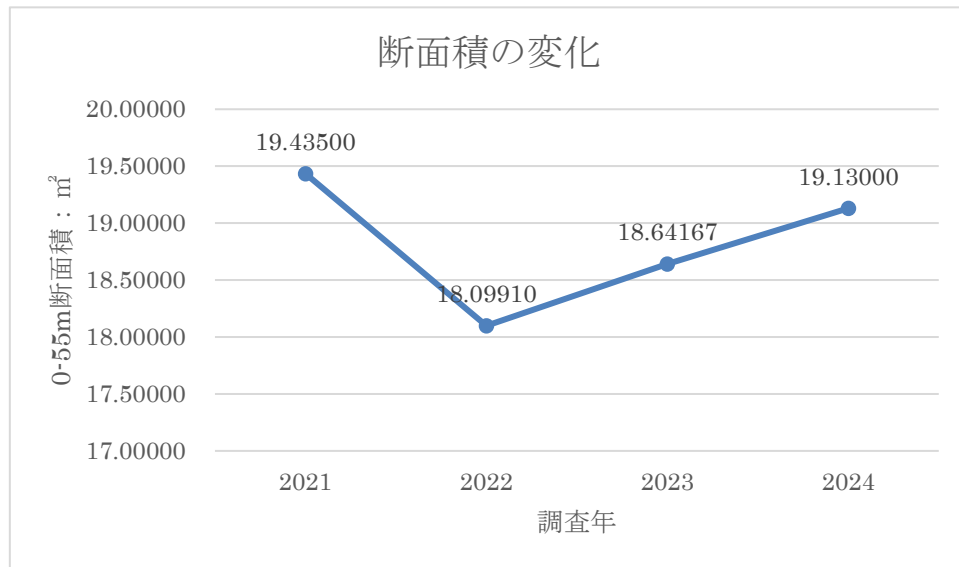
② 各年のデータープロットグラフ

各年の地盤高データーをすべてプロットし比較した



③ 断面積変化グラフ

各年度の 0-55m の断面積計算は、前表にある台形面積の総和で求められる。
年毎の総和値をプロットすると下記グラフになる。



3. 考察

今回、過去のデーターを見直し出来るだけ同じ条件で比較できるようにした。

2019 年の台風で大量の土砂が運ばれてきて川底は、大幅に上昇したとみられる。

その後、上昇した川底が削られる動きが **2022** 年まで続き、反転して **2023** 年以降上昇に転じてきているようだ。

上昇してきた原因は、**2021** 年以降、各種工事が行なわれており土砂の流出や掘削工事で間接的に、あるいは直接的に川底の高低に対し影響を及ぼしてきたと思われる。

① 台風による大規模な土砂流入

2019 年台風 19 号による水害による大規模な土砂流入があった

② 首都高 1 号線大師橋架け替え工事

2022 年頃より架け替え用の橋梁部材を運ぶ船の為、航路を浚渫した

③ 高潮堤防工事

2022 年から羽田空港横の高潮堤防の改修工事を基礎石の撤去、新設が行われたのに伴い堤防近接部で大規模な土木工事が行われた。

④ 河川改修工事

2023 年より台風対策のため JR 鉄橋下流の葦原部分（大田区側）を大規模に掘って川幅を広げる工事を実施中

4, 最後に

2019年の台風19号によりガラッと変わってしまった状況をきっかけに始まった水準測量も今年で5年目になる。これにより川底の変化も毎年それなりにあることがわかり今後も続けることでさらに見えることも出てくるかもしれない。

毎回、重い機材を持ち込んで暑い中、観測に協力をいただいている古川先生に大変感謝いたします。来年以降も続けられる限り頑張りますのでよろしくお願いいたします。

以上

干潟調査のレポート②

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
浦安市三番瀬環境観察館	浦安市日の出地先	7/7, 7/11, 7/21, 7/28, 8/18, 8/23, 9/15

東京湾カニ生息一斉調査 主催者用とりまとめシート

調査情報

団体名	浦安市三番瀬環境観察館	
調査地点名	浦安市日の出地先	
位置座標 (可能であれば) ※スマートフォン・タブレット端 末等の地図アプリで取得してく ださい。	緯度	N 35° 38' 36.2"
	経度	E 139° 56' 12.3"
実施年月日	7/7, 7/11, 7/21, 7/28, 8/18, 8/23, 9/15	
参加人数(人)	のべ149人	

調査結果

種類名	発見数(匹)	代表的な発見場所
チチュウカイミドリガニ		
マメコブシガニ		
ケフサイソガニ		
タカノケフサイソガニ	100	干潟、転石帯、護岸の隙間
ハマガニ		
アシハラガニ		
アカテガニ		
クロベンケイガニ		
クシテガニ		
ウモレベンケイガニ		
イシガニ	5	転石帯、潮下帯
コメツキガニ		
チゴガニ		
オサガニ		
ヤマトオサガニ		
ヒメベンケイガニ	5	カキ殻の隙間、転石下
スベスベオウギガニ	1	転石下
タイワンガザミ	10	干潟
シワオウギガニ	2	転石下
ヒライソガニ	20	転石下
ケアシヒライソガニ(仮)	5	転石下
イソガニ	50	転石下
カクベンケイガニ	5	護岸の隙間

(その他に種名が同定できたカニがいましたら、空欄に記入してください。)

備考

浦安市三番瀬環境観察館の海洋生物調査および環境学習講座「潮だまり観察会!」、校外学習で観察されたカニ類の結果をまとめた。
調査方法は目視およびタモ網を使ってカニ類を採集した。

干潟調査の結果

団体名	浦安市三番瀬環境観察館	
調査地点名	浦安市日の出地先	
位置座標 (可能であれば)	緯度	N 35° 38' 36.2"
	経度	E 139° 56' 12.3"
実施年月日	7/7, 7/11, 7/21, 7/28, 8/18, 8/23, 9/15	
参加人数 (人)	のべ 149 人	

発見した生物の種名※	特記事項など
タテジマイソギンチャク	
ハウザワイソギンチャク	
ナミヒモムシ	
ヒメケハダヒザラガイ	
イボキサゴ	
コシダカガンガラ	
アラレタマキビ	
タマキビ	
シマメノフフネガイ	
アラムシロ	
アカムシ	
レイシ	
イボニシ	
ヤミヨキセワタ	
コメツブガイ	
ヒガタヨコイトカケギリ	
ホトトギス	
コウロエンカワヒバリガイ	
マガキ	
エゾマテガイ	
マテガイ	
チリハギ	
ヒメシラトリ	
サクラガイ	

バカガイ	
シオフキ	
オキシジミ	
カガミガイ	
ホンビノスガイ	
ハマグリ属	形態で近似種との判別が難しいため
ウスカラシオツガイ	
アサリ	
チロリ	
ヒガタチロリ	
シロマダラシリス	
ハモチウロコムシ	
アシナガゴカイ	
オウギゴカイ	
クマドリゴカイ	
デンガクゴカイ	
コケゴカイ	
ミナミシロガネゴカイ	
スゴカイイソメ	
イワムシ種群	
コアシギボシイソメ	
シノブハネエラスピオ	
マダラスピオ	
アミメドロオニスピオ	
ミズヒキゴカイ種群	
タマシキゴカイ	
ツツオオフエリア	
ツバサゴカイ	
シマウミグモ	
カメノテ	
イワフジツボ	
シロスジフジツボ	
タテジマフジツボ	
ニホンドロソコエビ	
アリアケドロソコエビ	
モズミヨコエビ	
マルエラワレカラ (S型)	
トゲワレカラ	
キタフナムシ	

フナムシ類	フナムシが3種に分かれたが、まだ精査していないため
テッポウエビ	
ウリタエビジャコ	
シラタエビ	
ユビナガスジエビ	
イソスジエビ	
スジエビモドキ	
コブヨコバサミ	
テナガツノヤドカリ	
ユビナガホンヤドカリ	
ボラ	
ネズミゴチ	
イダテンギンポ	
イソギンポ	
ウロハゼ	
マハゼ	
アゴハゼ	
ドロメ	
ヒメハゼ	
シモフリシマハゼ	
ヌマチチブ	

干潟調査のレポート③

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	8月2日

東京湾カニ生息一斉調査 主催者用とりまとめシート

調査情報

団体名	関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町2-1-4	
位置座標 (可能であれば) ※スマートフォン・タブレット端末 等の地図アプリで取得してくだ さい。	緯度	35.4716
	経度	139.64
実施年月日	令和6年8月2日	
参加人数(人)	20人	

調査結果

種類名	発見数(匹)	代表的な発見場所
チチュウカイミドリガニ		
マメコブシガニ		
ケフサイソガニ	5	干潟上の転石周辺で見つかる。
タカノケフサイソガニ	100	干潟上の転石周辺で見つかる。
ハマガニ		
アシハラガニ		
アカテガニ		
クロベンケイガニ		
クシテガニ		
ウモレベンケイガニ		
イシガニ	10	護岸の角でよく見つかる。
コメツキガニ		
チゴガニ	10	階段付近の砂泥の箇所で見つかる。
オサガニ		
ヤマトオサガニ		
種類不明のカニ		
イソガニ	10	護岸の隙間で見つかる。
ガザミ	1	干潟の砂底で見つかる。
モクズガニ	1	干潟の砂底で見つかる。
スナガニ	5	干潟角の砂浜で見つかる。

(その他に種名が同定できたカニがいましたら、空欄に記入してください。)

備考

発見数は概数ごみです。

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」（人工干潟） 221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4	
位置座標 （可能であれば）	緯度	35.4716
	経度	139.6400
実施年月日	令和6年8月2日	
参加人数（人）	20人	

発見した生物の種名※	特記事項など
ミドリイガイ	岩に付着し、上段・中段でよく見つかる。
タテジマフジツボ	階段や護岸、カキ殻によく付着している。
イワフジツボ	階段や護岸によく付着している。
マガキ	護岸や転石でよく見つかる。殻に付着している生物も多かった。
アカニシ	岩に付着し、よく見つかる。
イボニシ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
アラムシロ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
タテジマイソギンチャク	岩に付着し、よく見つかる。
マハゼ	成魚、稚魚ともに潮だまりで見つかる。
シマハゼ類	礫のまわりでよく見つかる。
チチブ	礫の周りの砂泥底でよく見つかる。
カタユウレイボヤ	中段の壁面で見つかる。
ボラ	広い水面や岸の近くで見つかる。
ミミズハゼの一種	転石の隙間で見つかる。
イダテンギンポ	壁面に付着するカキ殻の中で見つけたもの。

【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」(人工干潟)



【対象生物】

干潟に生息する外来海洋生物等

【調査結果概要・調査状況】

潮彩の渚では、主に以下の種が確認されました。

ミドリイガイ (護岸壁面に付着)、タテジマフジツボ、マハゼ、ユウレイボヤ、アカニシ、アラムシロ、タテジマイソギンチャク等



外来海洋生物等の採取様子①



外来海洋生物等の採取様子①



採取した海洋生物

干潟調査のレポート④

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	8月20日

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町2-1-4	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.4716
	経度	139.6400
実施年月日	令和6年8月20日	
参加人数(人)	29名	

発見した生物の種名※	特記事項など
ミズヒキゴカイ	干潟の砂泥底で見つかる。
ミドリイガイ	岩に付着し、上段・中段でよく見つかる。
マガキ	護岸や転石でよく見つかる。殻に付着している生物も多かった。
アサリ	干潟の砂泥底で見つかる。
マテガイ	干潟の砂泥底で見つかる。
シオフキ	干潟の砂泥底で見つかる。
サルボウ	干潟の砂泥底で見つかる。
アカニシ	岩に付着し、よく見つかる。
イボニシ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
アラムシロ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
シマメノウフネガイ	カキ殻や巻貝の上で見つかる。
タテジマフジツボ	階段や護岸、カキ殻によく付着している。
イワフジツボ	階段や護岸によく付着している。
コブヨコバサミ	干潟上の転石周辺で見つかる。
ユビナガホンヤドカリ	干潟上の転石周辺で見つかる。
タテジマイソギンチャク	岩に付着し、よく見つかる。
マハゼ	成魚、稚魚ともに潮だまりで見つかる。

シマハゼ類	礫のまわりでよく見つかる。
チチブ	礫の周りの砂泥底でよく見つかる。
ボラ	広い水面や岸の近くで見つかる。
クロダイ	広い水面や岸の近くで見つかる。
ギマ	岸の近くで見つかる。

【調査結果概要】

【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」（人工干潟）



【対象生物】アサリ

【調査範囲】

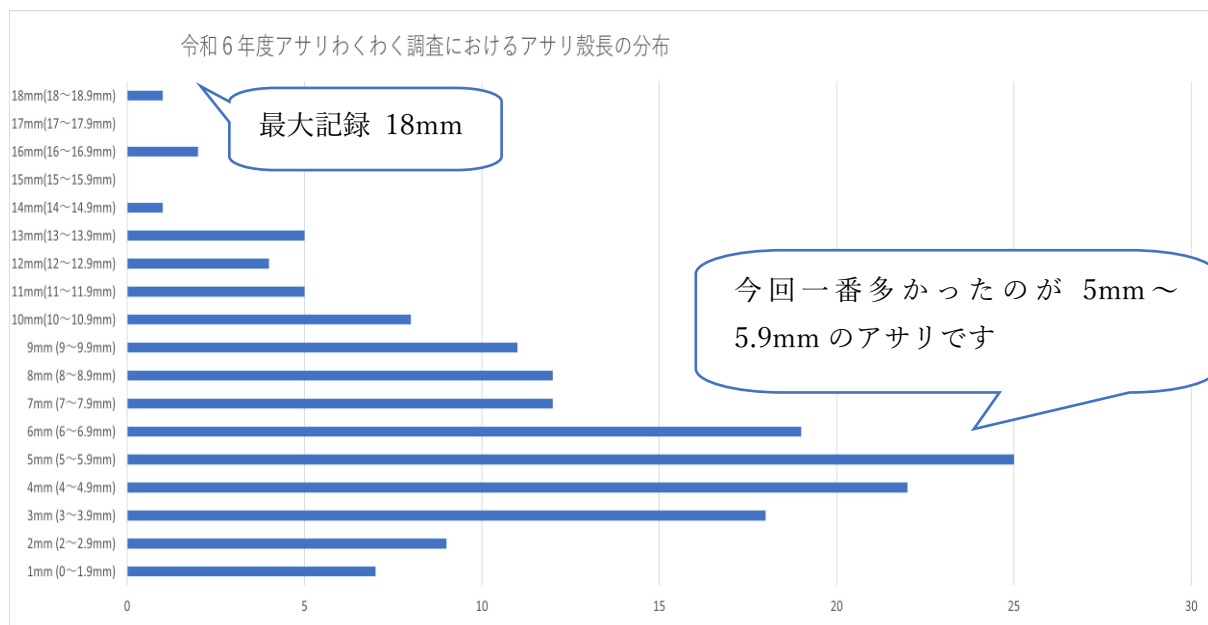
1 2 箇所（上段 4 箇所、中段 8 箇所）で合計 161 個、殻長は 1～18mm でした。

（1 箇所当たり 25 cm×25 cm×10 cm）



【調査結果概要】

調査地点 12 箇所 (1 箇所当たり 25 cm×25 cm×10 cm) で合計 161 個、殻長は 1～18 mm でした。



【調査の様子】



アサリの採取状況



採取したアサリの計測

干潟調査のレポート⑤

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 釣り調査	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	9月17日、9月18日

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 釣り調査	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.4716
	経度	139.6400
実施年月日	令和6年9月17・18日	
参加人数(人)	9/17:40人 9/18:68人	

発見した生物の種名※	特記事項など
マハゼ	9/17:3匹 9/18:7匹
コトヒキ	9/17:1匹
チチブ	9/17:2匹 9/18:2匹
ヨウジウオ	9/18:2匹

【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」(人工干潟)



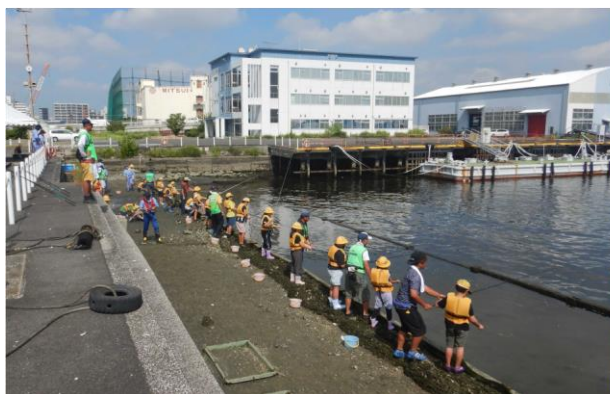
【対象生物】

干潟に生息するマハゼなどの海洋生物

【調査結果概要・調査状況】

潮彩の渚では、主に以下の種が確認されました。

マハゼ、コトヒキ、チチブ、ヨウジウオ



釣り調査の様子



海や海洋生物に関する座学の様子

Ⅱ. 調査レポート

(干潟以外調査)

生物調査（干潟以外）のレポート①

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	東京湾内	(1) 8月8日 (2) 8月1日 8月8日	(1) 海底に生息する底生生物 (2) 浅場に生息する水生生物

生物調査の結果（1）

団体名	国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所		
調査地点名	St. 5、St. 10、St. 12、St. 15、St. 18、St. ①		
位置座標 (可能であれば)	緯度	St. 5 35° 33′ 37.2″、St. 10 35° 32′ 10.2″ St. 12 35° 31′ 29.4″、St. 15 35° 31′ 18.0″ St. 18 35° 31′ 04.2″、St. ① 35° 31′ 42.0″	
	経度	St. 5 139° 48′ 11.4″、St. 10 139° 48′ 39.0″ St. 12 139° 48′ 03.0″、St. 15 139° 48′ 21.0″ St. 18 139° 48′ 43.8″、St. ① 139° 47′ 30.0″	
実施年月日	令和 6 年 8 月 8 日		

【対象生物】

海底に生息する底生生物

【調査結果】

出現種類数は0～24種類の範囲であり、St. 5では生物が出現せず、St. ①で最も多かった。

出現個体数はSt. 5を除き、14～3,013個体/㎡の範囲であり、St. 12で最も少なく、St. ①で最も多かった。

出現種の湿重量はSt. 5を除き、0.01g未満～62.07g/㎡の範囲で、St. 12で最も少なく、St. ①で最も多かった。

主な出現種は環形動物門のシノブハネエラスピオ、*Mediomastus* sp.、ハナオカカギゴカイ、イトエラスピオ、軟体動物のアサリおよびアラムシロガイであった。

表 底生生物の調査結果概要

項目/調査地点		St. 5	St. 10	St. 12	St. 15	St. 18	St. ①
出現種類数		0	5	2	5	5	24
出現個体数 (個体/m ²)	環形動物		1,486	14	954	681	2,234
	軟体動物						333
	節足動物						246
	その他						200
	合 計	0	1,486	14	954	681	3,013
出現湿重量 (g/m ²)	環形動物		2.99	+	19.74	3.46	3.73
	軟体動物						57.80
	節足動物						0.27
	その他						0.27
	合 計	0.00	2.99	+	19.74	3.46	62.07
主な出現種 個体数 (個体/m ² (%))	環形動物		シノブハネエラスビ ^オ (65.1) ハナオカキ ^コ カイ (26.4)	Eteone sp. (50.0) シノブハネエラスビ ^オ (50.0)	シノブハネエラスビ ^オ (74.7) ハナオカキ ^コ カイ (17.5)	イトエラスビ ^オ (59.8) シノブハネエラスビ ^オ (33.3)	Mediomastus sp. (40.1) ハナオカキ ^コ カイ (11.7)
	軟体動物						
主な出現種 湿重量 (g/m ² (%))	環形動物		シノブハネエラスビ ^オ (77.9) ハナオカキ ^コ カイ (17.7)	Eteone sp. (50.0) シノブハネエラスビ ^オ (50.0)	シノブハネエラスビ ^オ (98.6)	シノブハネエラスビ ^オ (96.2)	
	軟体動物						アサリ (53.5) アラムシロカイ (39.2)

注：1. 主な出現種は、各調査地点の出現個体数および出現湿重量の上位5種(ただし、種別組成比、湿重量比が10%以上)を示す。

2. 主な出現種の()内の数値は、出現した個体数または湿重量に対する比率(%)を示す。

3. 表中の「+」は0.01 g 未満であることを示す。

主な出現種を以下の写真に示す。



環形動物門：シノブハネエラスピオ



環形動物門：Mediomastus sp.



環形動物門：ハナオカカギゴカイ



環形動物門：イトエラスピオ



軟体動物門：アサリ



節足動物門：アラムシロガイ

※写真中の1メモリは、1mmを示す。

【調査の様子】

グラブ式採泥器を用いて1地点で底質を3回採取し、0.5mm目のフルイでふるった後に残ったものを試料とした。試料を保存容器に入れて約10%濃度のホルマリンで固定し、分析室にて出現種の同定、個体数の計数、湿重量の測定を行った。



グラブ式採泥器



ふるい状況



底生生物試料

生物調査の結果（２）

団体名	国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所	
調査地点名	① Stn. 1、②Stn. 2、③Stn. 3、④Stn. 4、⑤St. F、⑥St. 9-2´	
位置座標 (可能であれば)	緯度	①N35° 33′ 59″、②N35° 34′ 01″、③N35° 33′ 55″、 ④N35° 33′ 56″、⑤N35° 32′ 08″、⑥N35° 32′ 01″
	経度	①E139° 47′ 27″、②E139° 47′ 31″、③E139° 47′ 31″、 ④E139° 47′ 35″、⑤E139° 48′ 21″、⑥E139° 48′ 18″
実施年月日	① ～⑤：令和６年８月１日、⑥：令和６年８月８日	

【対象生物】

浅場に生息する水生生物

【調査結果概要】

浅場に生息する主な確認種の代表的な写真は以下のとおりです。

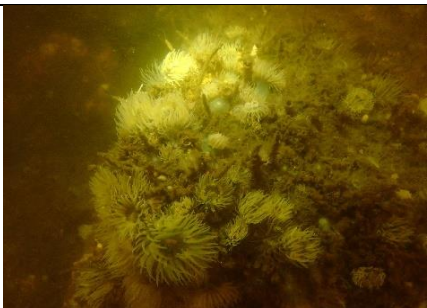
	
ウミエラ目	ウミサボテン
	
アカニシ	イトマキヒトデ
	
シロボヤ	イソギンチャク目

写真-1 主な確認種

【底生動物調査結果】

底生動物調査①

底生動物調査①は Stn. 1 から Stn. 4 で実施しました。

底生動物調査①の結果は以下のとおりです。

表-1 底生動物調査①確認種

調査期日：令和6年8月1日

調査方法：エクマンバージ型採泥器による3回採泥

単 位：1m²あたりの個体数および湿重量(g)

番号	門	調査地点 種名	Stn. 1		Stn. 2		Stn. 3		Stn. 4	
			個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	刺胞動物	イソギンチャク目	15	+						
2	紐形動物	紐形動物門			119	0.15			119	+
3	軟体動物	ホソビノスカイ			15	13.78				
4		アサリ	15	5.33	44	35.26				
5		ヒメシタトリカイ	15	28.30						
6		シズクカイ	44	0.74	15	0.15				
7	環形動物	アルハチロリ			15	+	15	2.37		
8		<i>Glycinde</i> sp.					30	0.15		
9		クレメオトヒメ	15	+						
10		ニホンカキコカイ	15	0.15	15	+				
11		ハナオカキコカイ	2,148	2.81	1,985	1.63	1,081	1.93	1,096	0.89
12		タンサコカイ科			30	+	44	0.15		
13		ハヤテシロカネコカイ	15	1.04						
14		カタマカリキボシイソメ			15	0.44	59	0.74		
15		ケンサキスピオ	267	0.44	44	0.15	30	0.15	15	+
16		スベスベハネエラスピオ	15	+	15	+				
17		シノブハネエラスピオ	2,800	21.33	3,570	19.56	1,970	23.26	1,733	14.52
18		<i>Polydora</i> sp.	4,044	1.19	133	+				
19		ミツハネスピオ	326	0.44	30	+	133	0.15		
20		イトエラスピオ	1,304	0.30	948	0.30	356	0.15	830	0.15
21		<i>Scoelepis</i> sp.	59	0.30						
22		ミスヒキコカイ	15	4.74	15	0.15			15	4.89
23		<i>Tharyx</i> sp.	15	0.30						
24		<i>Mediomastus</i> sp.	4,030	3.70	5,644	4.89	1,452	1.04	1,585	1.33
25		<i>Notomastus</i> sp.	15	+						
26		チマキコカイ	15	0.30	30	1.19			15	0.30
27		アリアケカンムリ	237	+						
28		<i>Chone</i> sp.	296	1.78	148	0.59	59	0.74	44	0.44
29		ケヤリムシ科	15	+						
30	節足動物	ウレカラ属	15	+						
31		イッカクモカニ	44	4.44						
32	簍虫動物	<i>Phoronis</i> sp.			133	0.59			15	0.15
種 類 数			25		20		11		10	
合 計			15,794	77.63	12,963	78.83	5,229	30.83	5,467	22.67

注：「+」がある場合、個体数欄は群体等の出現を、湿重量欄は0.01g未満を示す。

底生動物調査②

底生動物調査②は St. ⑨-2 で実施しました。

底生動物調査②の確認種結果は以下のとおりです。

表-2 底生動物調査②確認種

調査期日：令和6年8月8日

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器またはエクマンバージ型採泥器による3回採泥

単位：1m²あたりの個体数および湿重量(g)

番号	門	種名	調査地点	St. ⑨-2'	
			個体数	湿重量	
1	刺胞動物	イソギンチャク目	30	0.89	
2	紐形動物	紐形動物門	474	1.48	
3	軟体動物	アラムシロ	30	17.93	
4		ホトギスガイ	385	2.96	
5		ホソビノスガイ	30	0.15	
6		アサリ	622	14.37	
7		マテガイ	756	22.96	
8		シオフキ	119	8.30	
9		環形動物	<i>Eteone</i> sp.	385	0.59
10	ハナオカキゴカイ		30	0.15	
11	ヤマトスビオ		193	+	
12	コオニスビオ		133	+	
13	アミメオニスビオ		356	0.30	
14	<i>Rhynchospio</i> sp.		133	+	
15	<i>Spio</i> sp.		44	0.15	
16	ミスヒキゴカイ		89	8.89	
17	<i>Capitella</i> sp.		59	+	
18	<i>Mediomastus</i> sp.		607	0.89	
19	ツツオオフェリア		74	0.15	
20	節足動物	ニッポントロソコエビ	89	0.15	
21		ミツオビクマ	59	+	
種 類 数			21		
合 計			4,697	80.31	

注：「+」がある場合、個体数欄は群体等の出現を、湿重量欄は0.01g未満を示す。

【魚介類 潜水目視調査】

潜水目視調査①

潜水目視調査①は L1 (Stn. 1 と Stn. 2 を結ぶ測線)、L2 (Stn. 3 と Stn. 4 を結ぶ測線) で実施しました。

潜水目視調査①結果は以下のとおりです。

表-3 潜水目視調査結果

種名	L1(Stn.1～Stn.2)	L2(Stn.3～Stn.4)
海綿動物門	●	●
ヒドロ虫綱	●	●
ウミサボテン	●	●
イソギンチャク目	●	●
アラムシロ	●	●
頭足綱 (卵)		●
ナミマガシワガイ	●	●
イタボガキ科	●	●
アサリ	●	
ツバサゴカイ科 (棲管)	●	●
ミズヒキゴカイ科	●	●
カンザシゴカイ科	●	●
ヒメホウキムシ	●	●
苔虫動物門	●	●
モミジガイ	●	
キヒトデ	●	
アカエイ	●	●
マゴチ	●	●
クロダイ	●	
マハゼ	●	●
キララハゼ属	●	
種数	20種	16種

潜水目視調査②

潜水目視調査②は⑤ St.F で実施しました。

潜水目視調査②の結果は以下のとおりです。

表-4 潜水目視調査結果

確認種
海綿動物門
ヒドロ虫綱
ウミサボテン
ウミエラ目
タテジマイソギンチャク
イソギンチャク目
レイシガイ
イボニシ
アカニシ
アッキガイ科（卵）
ミドリイガイ
イタボガキ科
ツバサゴカイ科（棲管）
ミズヒキゴカイ科
カンザシゴカイ科
ヤドカリ亜目
イシガニ
苔虫動物門
モミジガイ
イトマキヒトデ
シロボヤ
ホヤ綱（群体ボヤ類）
ボラ
クロダイ
マハゼ

生物調査（干潟以外）のレポート②

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都環境局自然環境部 水環境課	東京湾内	(1) 8月13日 (2) 8月5日 (3) 9月27日 (4) 8月2日 (5) 8月19日	(1) プランクトン (2) 稚魚 (3) 成魚 (4) 鳥類 (5) 底生生物

プランクトン調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

東京都環境局では、水質汚濁防止法第 16 条の測定計画に基づく毎月の水質測定調査時に加え、夏季期間中に延べ 17 日間の赤潮調査（上位 5 種）を実施し、概ね毎週、赤潮発生の推移を見ている。ここでは令和 6 年 8 月 13 日に実施した赤潮調査の結果を報告する。

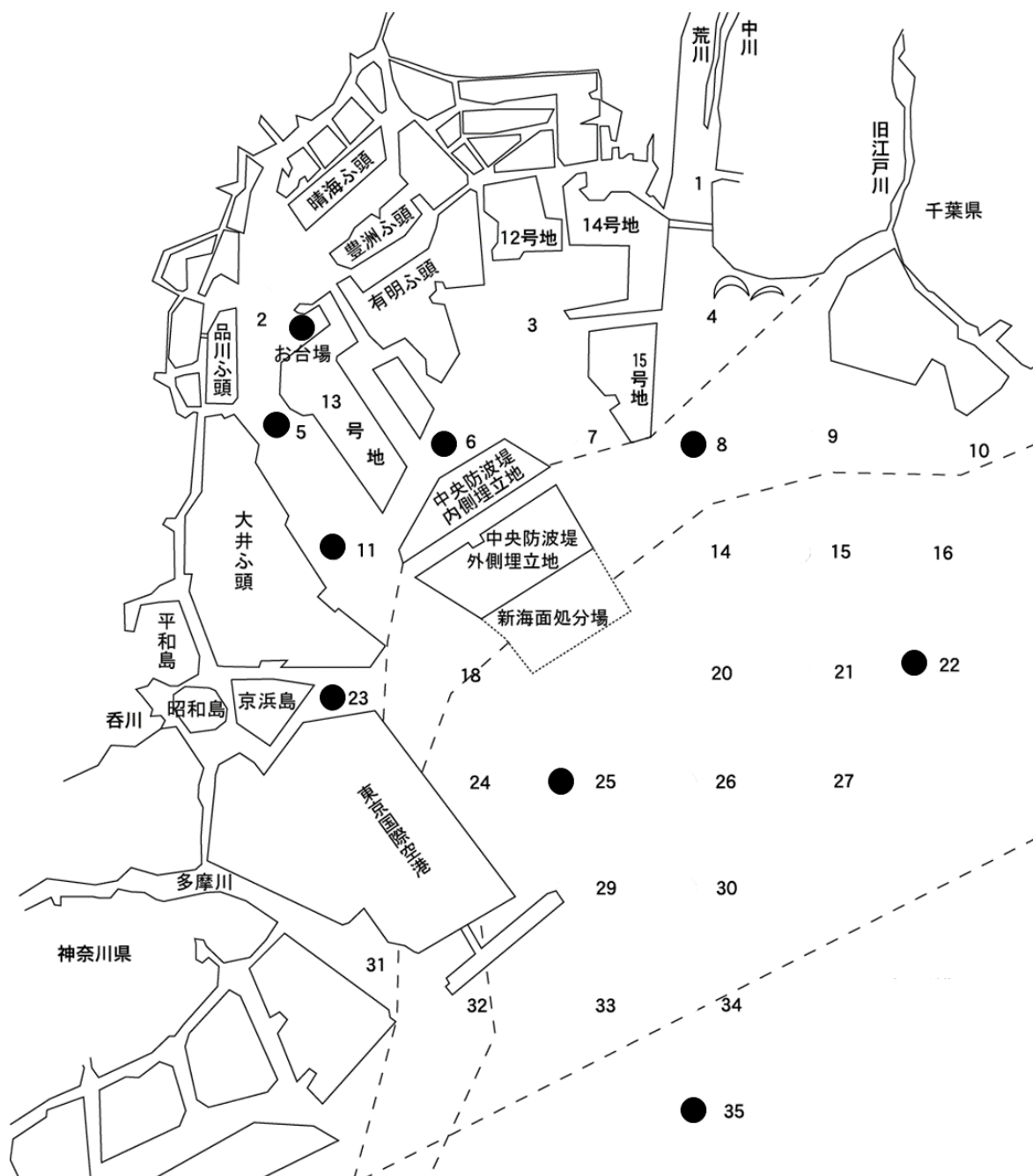
【調査実施日・地点】

令和6年8月13日 東京都内湾8地点（お台場, St.6, 8, 11, 22, 23, 25, 35）

【調査前の天候】

調査前5日間は降雨がなく、最高気温が35℃前後の日が続いた。

当日の天候は晴、最高気温は34.9℃（東京）であった。



【調査結果】

沖合の St.22 と St.35 を除いた 6 地点で赤潮が確認され、表流水の影響を受けやすい St.8 と St.23 を除き底層の溶存酸素量が 2.0 mg/L 未満の貧酸素状態であった。

赤潮調査では、1 回の調査につき数地点で表層水を採水し、動植物プランクトン優占 5 種の定量を実施している。8 月 13 日は St.6、St.8 の 2 地点で採水し定量を行った。

結果は表のとおり、細胞数では珪藻の *Skeletonema costatum* が最多となり、次いで *Chaetoceros* spp.、*Thalassiosira* spp.の順に多かった。このほか、*Thalassiosiraceae* や *Cryptomonadaceae* が優占 5 種に入った。動物プランクトンでは繊毛虫類の *Oligotrichida* が多く、このほか *Mesodinium rubrum* や *Tintinnopsis* sp.などが見られた。

表 8/13 赤潮調査におけるプランクトン（優占 5 種）定量結果

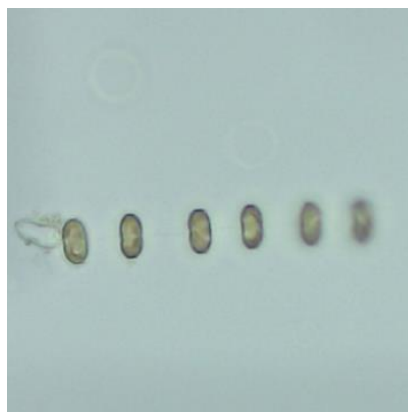
調査地点	St.6	St.8
採取年月日	8/13	8/13
植物プランクトン		
種名	細胞数(×10 ⁶ 細胞数/m ³)	
<i>Cryptomonadaceae</i>	3,380	4,900
<i>Skeletonema costatum</i>	25,700	25,400
<i>Thalassiosira</i> spp.	20,200	7,700
<i>Thalassiosiraceae</i>	4,180	3,960
<i>Chaetoceros</i> spp.	23,400	9,000
other phytoplankton	13,200	10,700
動物プランクトン		
種名	個体数(×10 ⁶ 個体数/m ³)	
<i>Mesodinium rubrum</i>	6.74	4.21
<i>Tintinnopsis</i> sp.		5.89
<i>Eutintinnus</i> sp.	2.53	3.37
<i>Oligotrichida</i>	25.30	20.6
<i>Hypotrichida</i>	2.53	
<i>Ciliata</i>	5.05	5.47
other zooplankton	5.58	4.74

◎調査で観察された主なプランクトン

・植物プランクトン



珪藻 *Skeletonema costatum*



珪藻 *Thalassiosira* sp.



珪藻 *Chaetoceros* sp.

・動物プランクトン



繊毛虫 *Tintinnopsis* sp.



繊毛虫 *Eutintinnus* sp.

水生生物調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

東京都環境局では、東京都内湾部、浅海部、干潟部において水生生物調査を実施している。

令和6年8月から9月に掛けて、稚魚、成魚、鳥類、底生生物の各種調査を実施した。

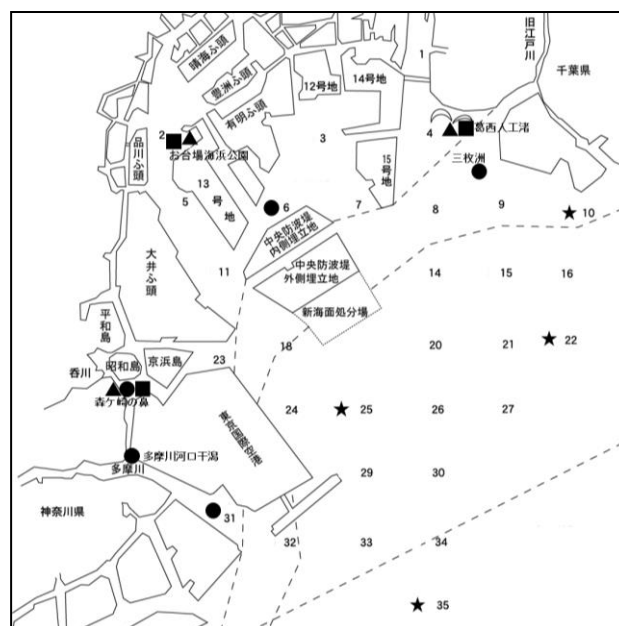
なお、稚魚調査は小型地引網、成魚調査は小型底引網を用いて調査している。

【調査実施日】

稚魚：8月5日、成魚：9月27日、鳥類：8月2日、底生生物：8月19日

【調査地点】

調 査 地 点		稚魚	成魚	鳥類	底生生物
内湾部	St.6				●
	St.22		★		
	St.25		★		
	St.35		★		
浅海部	St.10（江戸川河口・高洲）		★		
	三枚洲（荒川河口）				●
	St.31（多摩川河口）				●
干潟部	葛西人工渚	▲		■	
	お台場海浜公園	▲		■	
	森ヶ崎の鼻	▲		■	●
	多摩川河口干潟				●
地 点 数		3	4	3	5



【調査結果概要】

1. 稚魚調査（8月5日）

天気は晴、調査当日は大潮で、全地点で赤潮が発生していた。

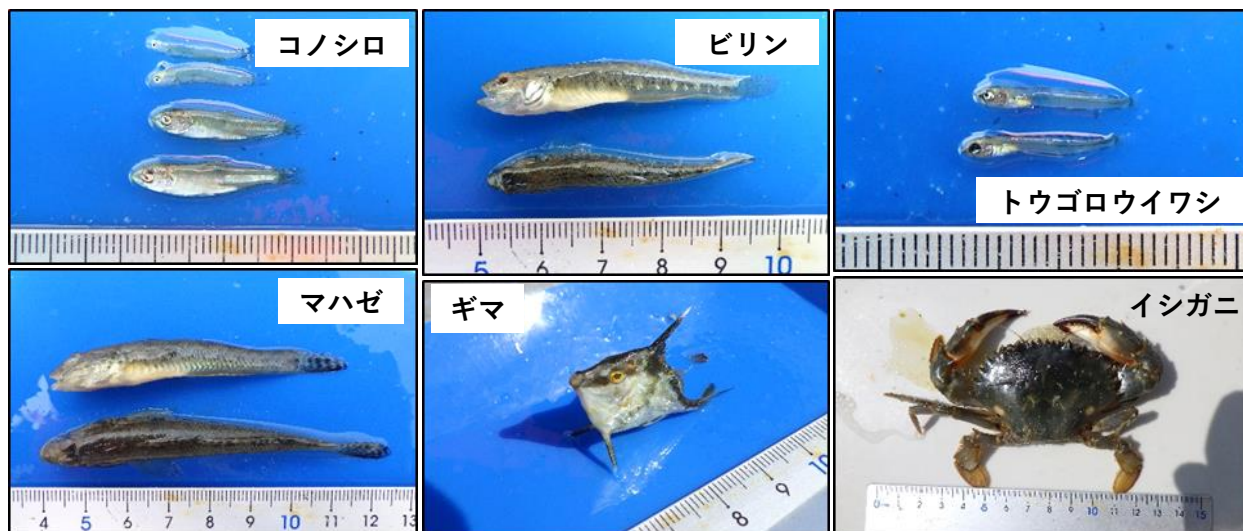
採取された主な魚種は次のとおり。（速報のため、種名等は未確定）

全地点において、ビリンゴ、マハゼ、ギマが出現した。

		お台場	森ヶ崎 の鼻	葛西 人工渚
魚 類	ハゼ科	c		
	マハゼ	c	r	+
	ヒメハゼ		+	
	チクゼンハゼ		r	
	シモフリシマハゼ			+
	コノシロ	m	r	
	ビリンゴ	m	+	+
	トウゴロウイワシ	c	m	
	カライワシ			c
	マゴチ		+	
	ギマ	r	r	+
	チチブ属	+		c
魚 類 以 外	ニホンイサザアミ	m		
	シラタエビ	r	r	+
	エビジャコ属		r	m
	アキアミ	r		
	ユビナガスジエビ			m
	ニッポンドロソコエビ		r	
	イシガニ	r		

G:1000 個体以上、m:100～1000 個体未満、c:20～100 個体未満、+:5～20 個体未満、r:5 個体未満

○調査で確認した主な種



2. 成魚調査（9月27日）

当日の天候は雨時々曇、潮差は長潮であった。採取された主な種は次のとおり。（速報のため、種名は未確定）

St.35 を除き下層は貧酸素状態であり、生体の出現は St.35 のツバクロエイ、St.10 のホンビノスガイ、サルボウガイのみであった。

		St.35	St.25	St.22	St.10
	下層DO[mg/L]	4.4	0.7	3.1	2.0
魚類	ツバクロエイ	r			
魚類	ホンビノスガイ				+
以外	サルボウガイ				r

+ : 5~20 個体未満、r : 5 個体未満

○調査で確認した主な種



3. 底生生物調査（8月19日）

採取された種は次のとおり。（速報のため、種名は未確定）

St.6では水深11.5mのところ、水深約6.0m以深が貧酸素状態にあり、水底付近は無酸素状態であった。

例年同様、St.6では生きた個体は確認されなかった。

	出現種
多摩川河口干潟	ヤマトシジミ、ソトオリガイ、ムロミスナウミナナフシ
森ヶ崎の鼻	ヤマトシジミ、ホトトギスガイ、ヨコエビ類、ムロミスナウミナナフシ、ゴカイ科、紐型動物門
St.6	生体は確認されず
三枚洲（荒川河口）	アサリ、ホンビノスガイ、アラムシロガイ、クチキレガイ、チロリ属、シノブハネエラスピオ
St.31(多摩川河口)	アサリ、アラムシロ、ホトトギスガイ、ホンビノスガイ、カンザシゴカイ、ミズヒキゴカイ、ケヤリムシ科

○調査で確認した主な種



4. 鳥類調査（8月2日）

当日の天候は晴、潮差は中潮であった。出現種と数は次のとおり。

東京都レッドデータブック 2023（区部）で絶滅危惧ⅠA類（CR）に指定されているダイシャクシギが葛西人工渚で、ササゴイとコチドリが森ヶ崎の鼻でそれぞれ確認された。また、絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されているコサギ、キアシシギ、イソシギが3地点すべてで確認された。

さらに、環境省のレッドリスト（2020）で準絶滅危惧（NT）に指定されているカラシラサギ、オオセグロカモメ、ミサゴが葛西人工渚で確認された。

	葛西人工渚 (東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場 海浜公園
確認された種数	14種	14種	11種
カルガモ	15	4	7
スズガモ			1
カワウ	3899	179	1035
ササゴイ		1	
アオサギ	31	45	24
ダイサギ	22	7	11
コサギ	17	10	5
カラシラサギ	2		
コチドリ		1	
ダイシャクシギ	2		
キアシシギ	5	3	5
ソリハシシギ	1		
イソシギ	1	5	6
キョウジョシギ			2
ユリカモメ		1	
ウミネコ	1372	68	3
セグロカモメ	1		
オオセグロカモメ	23	1	
ミサゴ	1		
トビ		2	6
ハクセキレイ		4	

○調査で確認した主な種



生物調査（干潟以外）のレポート③

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都板橋区	白子川	8月1日	魚類、底生動物

生物調査の結果

団体名	東京都板橋区	
調査地点名	白子川 (1) 東埼玉橋 (2) 白藤橋	
位置座標 (可能であれば)	緯度	(1) N35.46.47 (2) N35.47.15
	経度	(1) E139.37.28 (2) E139.37.52
実施年月日	令和6年8月1日（木）	

令和 6 年度 白子川生物調査の概要

1 調査概要

① 調査地点及び調査日時等

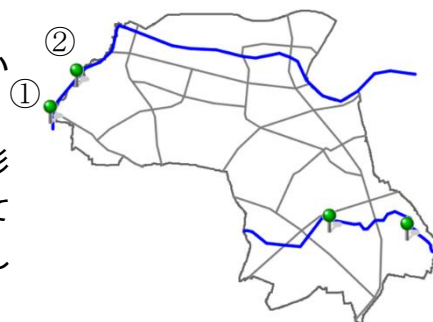
河川名	調査地点名	調査実施日	調査時間	気温(℃)	水温(℃)
白子川	①東埼橋上流付近	2024/8/1(木)	9:00～11:30	29.0	25.5
	②白藤橋付近	2024/8/1(木)	12:50～15:30	34.0	29.5

② 調査方法

各調査地点において投網、タモ網(手網)及びカゴ網を用いて、魚類、底生動物を採集した。

採集した個体は、現地で種の同定、個体の計測、写真撮影後、現地に再放流した。現地での同定が困難な個体については、10%ホルマリンで固定して持ち帰り、実体顕微鏡下で同定した。

なお、底生動物については、肉眼でみえる個体を採集対象とした。



調査状況写真



2 調査結果

① 河川状況

(1) 東埼橋上流付近

東埼橋直下に S 型の淵があり、更にその下流に高い落差工がある。増水によりかなり水位が上昇しなければこの落差を魚類が遡上することは困難と考えられる。淵の上流は水際が綱矢板等で護岸され、河床が布型枠等で護床されている。

カゴ網は子安橋の上・下流部で、やや淵状になっている2箇所を設置した。



(2) 白藤橋付近

河床はコンクリート張りであるが、白藤橋の下流約 100m の位置 に土砂が堆積しており、浅い淵と瀬が形成されている。

カゴ網は白藤橋の下流のやや淵状になっている2箇所を設置した。



② 魚類調査結果

白子川の2地点全体では、ニホンウナギ、ドジョウ、ヌマチチブなど、5目7科13種の魚類が確認された。

出現種のうち、「環境省 RL2020」に該当する種として、絶滅危惧ⅠB類に該当するニホンウナギ、準絶滅危惧に該当するドジョウが確認された。

「東京都レッドデータブック(本土部)2023」では、これまでの「区部」、「北多摩」、「南多摩」、「西多摩」の4地域の区分による評価に加え、全国の他の道府県との比較を容易にするため、すべての分類群において本土部全体としての評価も行われた。

「東京都 RDB2023 区部」及び「東京都 RDB2023 本土部」の絶滅危惧ⅠA類(CR)に該当するドジョウ、シマヨシノボリ、絶滅危惧ⅠB類(EN)に該当するニホンウナギ、準絶滅危惧(NT)に該当するスミウキゴリ、留意種に該当するヌマチチブが確認された。また、「東京都 RDB2023 区部」の絶滅危惧Ⅱ類(VU)及び「東京都 RDB2023 本土部」の絶滅危惧ⅠB類(EN)に該当するトウヨシノボリ類、「東京都 RDB2023 区部」の絶滅危惧Ⅱ類(VU)及び「東京都 RDB2023 本土部」の準絶滅危惧(NT)に該当するヒガシシマドジョウが確認された。

外来種については、国外外来種に関する種は確認されなかったが、未評価ではあるが、国内外来種としてカワムツが確認された。

No.	目名	科名	種名	白子川		合計	環境省 RL2020	東京都 RDB2023		外来種
				① 東埼橋 上流付 近	② 白藤橋 付近			区部	本土部	
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ		2	2	EN	EN	EN	
2	コイ目	コイ科	コイ(型不明)		12	12				
3			カワムツ	1		1				未評価※1
4			タモロコ	1	1	2				
5		ドジョウ科	ドジョウ	3		3	NT	CR	CR	
6			ヒガシシマドジョウ	3		3		VU	NT	
7	ボラ目	ボラ科	ボラ		10	10				
8	ダツ目	メダカ科	メダカ属※2	1	2	3				
9	スズキ目	スズキ科	スズキ		5	5				
10		ハゼ科	ヌマチチブ		10	10		留	留	
11			シマヨシノボリ	3	1	4		CR	CR	
12			トウヨシノボリ類	1		1		VU※3	EN※3	
13			スミウキゴリ	3		3		NT	NT	
計	5 目	7 科	13 種	種類数計	8	8	13	2	7	7
				個体数計	16	43	59			

注:1. 種名及び配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省、2023)に従った。

2. 表中の※は、以下の通りである。

※1…未評価であるが国内外来生物。自然分布は静岡県以西。(参考文献:中坊徹次編(2013) 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 2428pp. 東海大学出版会, 東京.)

※2…飼育品種と思われる。

※3…トウヨシノボリで掲載。

③ 底生動物調査結果

白子川全体では、チリメンカワニナ、シマイシビル、カワリヌマエビ属、コオニヤンマなど、11 目 18 科 24 種の底生動物が確認された。

出現種に、「環境省 RL2020」に該当している種はなかったが、「東京都 RDB2023 区部」及び「東京都 RDB2023 本土部」の留意種に該当する種として、テナガエビ及びモクズガニが確認された。

外来種については「条件付特定外来生物」と、「緊急対策外来種」に該当するアメリカザリガニが確認された。

No.	目	科	種名	白子川		環境省 RL 2020	東京都 RDB2023		外来種	
				① 東埼玉橋 上流付近	② 白藤橋 付近		区部	本土部		
1	新生腹足目	カワニナ科	カワニナ	2						
2			チリメンカワニナ	11						
3	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	8	1					
4	イトミミズ目	ミズミミズ科	エラミミズ	1						
5	ツリミミズ目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	2						
6		フトミミズ科	フトミミズ属	4						
7		—	ツリミミズ目	1						
8	吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	5	5					
9	ワラジムシ目	ミズムシ科(甲)	ミズムシ(甲)	4	1					
10	エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	41	12					
11		テナガエビ科	テナガエビ		2		留	留		
12		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	5					条件付 /緊急	
13		モクズガニ科	モクズガニ	3			留	留		
14	カゲロウ目 (蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ	2	2					
15		コカゲロウ科	サホコカゲロウ		1					
16			ウデマガリコカゲロウ	1	4					
17	トンボ目(蜻蛉目)	サナエトンボ科	コオニヤンマ	2	4					
18	トビケラ目 (毛翅目)	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ		2					
19			ウルマーシマトビケラ	1						
20		クダトビケラ科	クダトビケラ属		1					
21	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ガガンボ属	1	1					
22		ユスリカ科	ハダカユスリカ属		1					
23			ツヤユスリカ属		1					
24			ユスリカ亜科		1					
計	11 目	18 科	24 種	種類数計	17	15	0	2	2	1
				個体数計	94	39				

○「環境省 RL2020」: 環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)2020 年

○「東京都 RDB2023 区部」、「東京都 RDB2023 本土部」: 東京都レッドデータブック(本土部)2023

留意種(留): 現時点では準絶滅危惧のレベルではないが、相対的に数が少ない種であり、生息・生育条件の変化に伴う理由により、その動向に留意する必要があるもの(理由本文を要約)

○外来種

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」環境省に指定された種(2017)

条件付特定外来生物(条件付): 外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、通常の特定外来生物の規制の一部を、当分の間、適用除外とする(規制の一部がかからない)生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」環境省及び農林水産省に指定された種(2016)

緊急対策外来種(緊急): 対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある。

3 経年変化について

東埼橋上流付近の確認種は、経年的にスミウキゴリやトウヨシノボリ類が多く、次いでドジョウなどが確認されている。調査水域は水深が浅く、瀬や淵、寄り州などの環境が少なく単調であるため、魚類にとっては生息環境が少ない地点で、確認種類数は、平成 22 年以前は 9 種、平成 23 年からは 3～6 種程度である。本年度はドジョウ、シマヨシノボリ、スミウキゴリのほか、前回調査で確認されなかったヒガシシマドジョウと、平成 29 年以降確認されなかったタモロコが再び確認された。また、カワムツが初めて確認された。メダカ属も初めて確認されたが、飼育品種と思われる。全体では 8 種の魚類が確認され、令和 4 年度に比べ種類数は増加したが、個体数は減少した。

白藤橋付近では、平成 22 年以前は 27 種、平成 23 年からはコイ、マルタ、アユ、ボラ、ヌマチチブなど 7～12 種が確認されており、本年度はコイ、ボラ、ヌマチチブなど、全体では 8 種の魚類が確認され、令和 4 年度に比べ種類数、個体数とも減少した。

この地点は砂泥や礫などの堆積があり、小規模ながら瀬、淵などの環境がある。廃棄された鉄パイプの中などにはニホンウナギが確認されている。また、この地点は感潮域でニホンウナギ、マルタ、アユ、スズキ、ボラ、スミウキゴリ、マハゼ、ヌマチチブなど汽水域に生息する魚種を中心に確認種類の多い地点である。本年度もニホンウナギ、ボラ、ヌマチチブなど汽水域に生息する種が確認されたが、マルタ、アユ、マハゼ、ウキゴリは確認されなかった。また、淡水魚であるオイカワ、アブラハヤ、モツゴも確認されなかった。しかしながら、前回調査で確認されなかったコイが再び確認されたほか、これまであまり確認されていなかったタモロコが、平成 29 年以来再び確認された。また、シマヨシノボリが初めて確認された。メダカ属も初めて確認されたが、飼育品種と思われる。

生息する種類や個体数の変動の要因としては、各調査地点とも河川構造が概ね単純な 3 面張り護岸となっており、近年多発するゲリラ豪雨等の急激な増水により河道が洗われてしまうため、大半の魚類が、下流に押し流されたり、逆に上流から流されて来たりすることによるものと考えられる。したがって、今後も魚類相の変化や個体数の変動について継続して把握することが必要であると考えられる。

魚類の経年調査結果

白子川①東埼橋上流付近

No.	目名	科名	種名	H14～22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R4	R6	環境省	東京都RDB2023		
																		区部	本土部	外来種
1	コイ目	コイ科	フナ属（含金魚）	○																
2			オイカワ	○														DD	DD	
3			カワムツ													1				未評価 ^{*4}
4			アブラハヤ	○		3							1		3			NT	NT	
5			モツゴ	○																
6			タモロコ	○			1			5						1				
7		ドジョウ科	ドジョウ	○	3	3	2	1	3	3	2	3	5	3	2	3	NT	CR	CR	
8			ヒガシシマドジョウ ^{*2}										1	1		3		VU	NT	
9	ダツ目	メダカ科	メダカ属													1※5				
10	スズキ目	ハゼ科	シマヨシノボリ				2		2	2	6	2	2		8	3		CR	CR	
11			トウヨシノボリ類 ^{*3}	○	2	2	4	5		2	8	3	3		5	1		VU	EN	
12			ヨシノボリ属		1									1						
13			スミウキゴリ	○	3	4	9	4	9	9	15	10	13	14	13	3		NT	NT	
14			ウキゴリ	○														NT	NT	
	3目	4科	種類数合計	9	4	4	5	3	4	5	4	4	6	5	5	8	1	8	8	1

白子川②白藤橋付近

No.	目名	科名	種名	H14～22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R4	R6	環境省	東京都RDB2023		
																		区部	本土部	外来種
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ*	○	4	1		1	2	1		1	1	1	4	2	EN	EN	EN	
2	コイ目	コイ科	コイ（型不明）	○	20<	20<	20<	20<	20<	20<		20<	20<	10		12				
3			フナ属（含金魚）				1													
4			ダニオ垂科	○																
5			オイカワ	○	3										16			DD	DD	
6			アブラハヤ			1		2							2			NT	NT	
7			マルタ	○	16	2	7	2	4		100<				3			留	留	
8			モツゴ	○	1						5				1					
9			タモロコ	○		1					5					1				
10			ニゴイ		9									2				NT	NT	
11	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ							1										
12	サケ目	アユ科	アユ	○	112	520	19	100<	100<	100<	4		100<	100<	1					
13	ボラ目	ボラ科	ボラ	○	13	1	86		9	5	100<	100<	6	8	3	10				
14	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	○																特、重
15	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ		1						4						VU	CR	CR	
16			メダカ属													2 ⁴⁵				
17	スズキ目	スズキ科	スズキ	○		1				5		3	1	3		5				
18		ハゼ科	マハゼ	○	3	2	4	1		2	5	100<	1	2	2					
19			ヌマチチブ	○	111	9	12	100<	100<	100<	100<	100<	39	47	10			留	留	
20			チチブ属	○																
21			シマヨシノボリ													1		CR	CR	
22			トウヨシノボリ類 ⁴³	○				2			8							VU	EN	
23			ヨシノボリ属	○																
24			スミウキゴリ	○		3	1	9	1		1	6						NT	NT	
25			ウキゴリ	○		5					1	2	1		3			NT	NT	
26			ウキゴリ属	○																
27		タイワンドジョウ科	カムルチー										1							
8目 9科 種類数合計				27	11	12	9	9	7	8	11	8	9	8	10	8	2	11	11	1

○：過去調査において出現の記録があり。 H23 年以降の数値は確認個体数

*1)過年度調査ではウナギとして記載あり

*2)過年度調査ではシマドジョウとして記載あり

*3)トウヨシノボリ類の種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 2023」に従った。過年度調査ではトウヨシノボリ、旧トウヨシノボリ類として記載あり

*4)未評価であるが国内外来生物。自然分布は静岡県以西。（参考文献：中坊徹次編（2013）日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 2428pp. 東海大学出版会, 東京. ）

*5)飼育品種と思われる。

環境省：「環境省 RL2020」：環境省レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）2020 年

EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧

東京都：「東京都 RDB2023 区部」、「東京都 RDB2023 本土部」：東京都レッドデータブック（本土部）2023

CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

・外来種は、以下に従った。

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」環境省. に指定された種（2017）

特：特定外来生物：外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」環境省及び農林水産省に指定された種（2016）

重：重点対策外来種 甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い。

・種名及び配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 2023」に従った。

採取生物写真



ニホンウナギ



コイ(型不明)



カワムツ



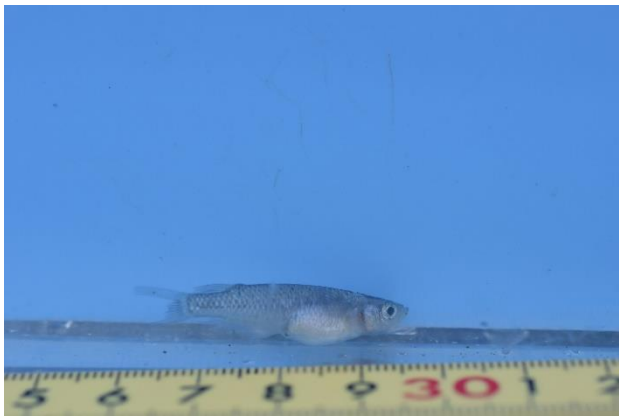
タモロコ



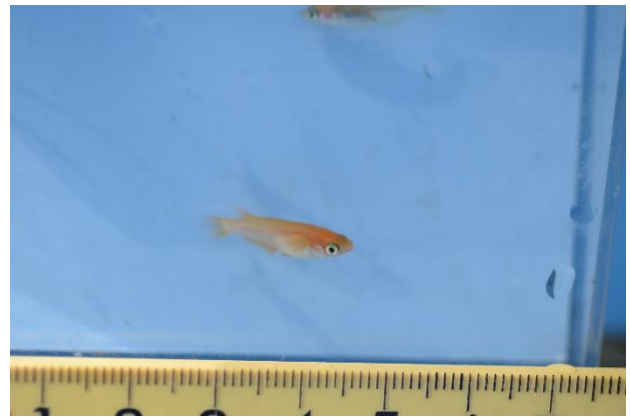
ドジョウ



ヒガシマドジョウ



メダカ属



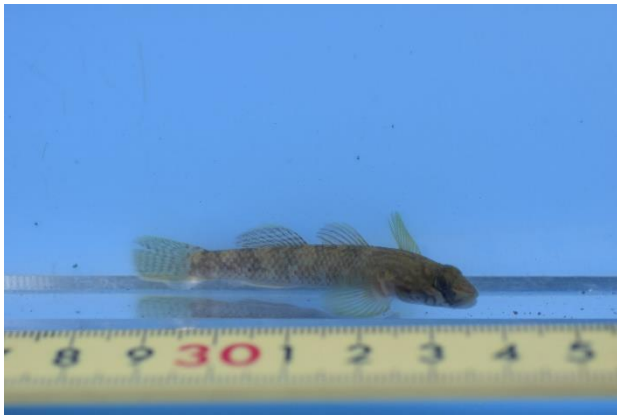
メダカ属



スズキ



ヌマチチブ



シマヨシノボリ



スミウキゴリ



チリメンカワナ



シジミ属



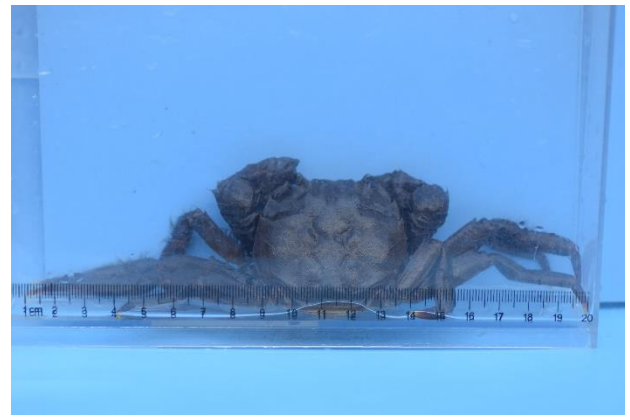
カワリヌマエビ属



テナガエビ



コオニヤンマ



モクズガニ

問い合わせ先：板橋区資源環境部環境政策課自然環境保全係 電話：03-3579-259

生物調査（干潟以外）のレポート④

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
横浜市港湾局	横浜港本牧沖	8月27日、8月28日	遊水室内および周辺 水生生物

生物調査の結果

団体名	横浜市港湾局		
調査地点名	横浜港本牧沖		
位置座標 (可能であれば)	緯度		
	経度		
実施年月日	令和6年8月27日～28日		

【調査位置】

図1に示す調査位置の護岸において、図2に示す3水深の遊水室内等を調査。



図1 調査位置図

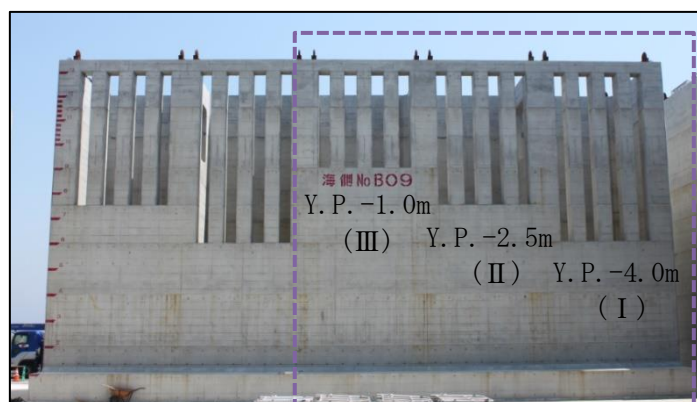


図2 調査対象遊水室

【調査方法】

Y. P. -1. 0m、Y. P. -2. 5m、Y. P. -4. 0m の3種類の水深の遊水室内、遊水室内底面を潜水士により目視調査、及び方形杵（50×50）を使用した坪刈りを行った。また、Y. P. -1. 0m の位置については、ケーソン前面、間詰石、根固めブロックについても同様の調査を行った。

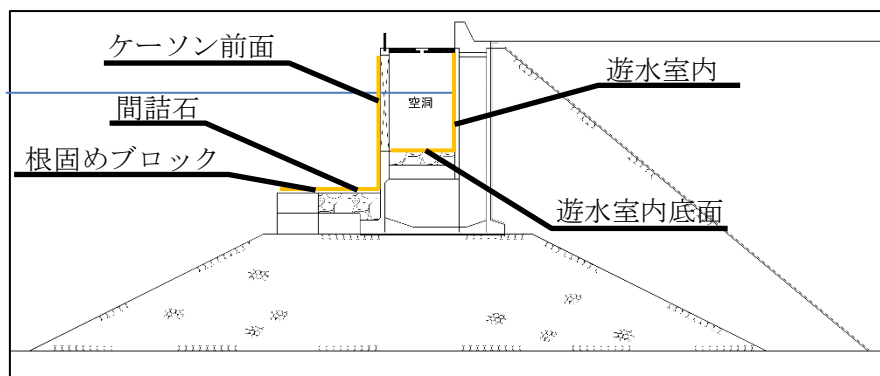


図3 調査位置断面図

【調査結果概要】

調査結果は以下のとおりである。

Y. P. -4. 0m の遊水室を持つ地点を地点（Ⅰ）、Y. P. -2. 5m を地点（Ⅱ）、Y. P. -1. 0m を地点（Ⅲ）とする。

表1 目視調査による出現種一覧（1）

区分	種名	遊水室内			遊水室内底面		
		（Ⅰ）	（Ⅱ）	（Ⅲ）	（Ⅰ）	（Ⅱ）	（Ⅲ）
植物	シオグサ属					●	●
	藍藻綱	●	●	●			
	珪藻綱	●	●	●	●	●	●
動物	海綿動物門	●	●	●	●	●	●
	ヒドロ虫綱	●	●	●	●	●	●
	タテジマイソギンチャク	●	●	●			●
	イソギンチャク目	●	●	●	●	●	●
	アラレタマキビ		●	●			
	イボニシ	●	●	●	●		●
	クロシタナシウミウシ	●					
	ミドリイガイ	●	●	●		●	●
	マガキ	●	●	●		●	●
	ウスカラシオツガイ+ホトトギスガイ（マット）			●	●	●	●
	ミズヒキゴカイ科	●	●	●	●	●	●
	カンザシゴカイ科	●	●	●	●	●	●
	イワフジツボ	●	●	●			
	サンカクフジツボ						
	イシガニ	●				●	●
	Phoronis属	●	●		●	●	
	裸喉綱		●	●		●	●
	イトマキヒトデ						
	シロボヤ	●	●	●	●	●	●
	ホヤ綱（群体性）	●	●	●	●	●	●
合計	23種	17種	17種	17種	11種	15種	16種

表2 目視調査による出現種一覧（2）

区分	種名	ケーソン 前面	間詰石	根固め ブロック
植物	シオグサ属			
	藍藻綱			
	珪藻綱	●	●	●
動物	海綿動物門	●	●	●
	ヒドロ虫綱	●	●	●
	タテジマイソギンチャク	●	●	
	イソギンチャク目	●	●	●
	アラレタマキビ			
	イボニシ			
	クロシタナシウミウシ			
	ミドリイガイ	●	●	●
	マガキ	●		
	ウスカラシオツガイ+ホトトギスガイ(マット)		●	●
	ミズヒキゴカイ科	●	●	●
	カンザシゴカイ科	●	●	●
	イワフジツボ			
	サンカクフジツボ		●	●
	イシガニ			
	Phoronis属	●	●	●
	裸喉綱	●	●	●
	イトマキヒトデ	●	●	●
	シロボヤ	●	●	●
	ホヤ綱（群体性）	●	●	●
合計	23種	14種	15種	14種

表3 坪刈りによる出現種一覧(1)

種名	遊水室内			遊水室内底面			ケーソン 前面	間詰石	根固め ブロック
	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)			
1 ヒトリコ虫綱			●						
2 イソギンチャク目	●	●	●	●	●	●	●	●	
3 ヒラムシ目	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 紐形動物門	●	●	●		●		●	●	●
5 ウスビサハラカイ科		●							
6 シマハマツボ						●			
7 シマメノウフネカイ	●	●		●			●	●	●
8 イボニシ	●	●	●	●		●	●		
9 ムギカガイ	●			●			●	●	●
10 トウカタカイ科								●	
11 裸鰓目	●	●	●	●	●		●		
12 カリカネエカイ	●	●	●	●					
13 サルボウカイ		●							
14 サルボウ属							●		
15 ムラサキカイ	●	●	●	●	●	●	●		●
16 ミドリカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17 コウロエンカワヒバカリカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18 ヒバカリカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19 タマエカイ		●	●				●		●
20 ホトキスカカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21 ナミカシロカイ							●		
22 マカキ	●	●	●		●	●	●	●	●
23 キクサル属					●				
24 ウスカレンソツカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
25 ホンビノスカカイ								●	
26 アサリ	●	●				●		●	●
27 キヌマトイカイ	●							●	●
28 サメハダホシムシ属		●							
29 Eulalia属		●	●						
30 Harmothoe属	●	●	●	●	●	●	●	●	●
31 Lepidonotus属		●	●		●				
32 タンサコカイ科					●				
33 オトメコカイ科	●	●	●	●	●	●	●	●	●
34 Syllinae亜科	●	●	●	●	●	●	●		
35 ヒメコカイ	●		●				●		
36 アシナコカイ	●		●	●					
37 マサコカイ	●	●	●	●	●		●		
38 フツウコカイ			●			●			
39 クマトリコカイ				●	●	●			
40 ツルヒゲコカイ			●						
41 テンカコカイ				●					
42 Eunice属	●						●	●	●
43 セクロイソメ			●				●		
44 Schistomeringos属	●	●	●	●	●	●	●		
45 Polydora属	●	●	●	●			●	●	●
46 Pseudopolydora属								●	
47 Cirratulus属									●
48 ミズヒゲコカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49 Dodecaceria属	●	●	●				●	●	
50 Timarete属	●	●	●	●	●	●	●	●	●

表4 坪刈りによる出現種一覧(2)

種名	遊水室内			遊水室内底面			ケーソン 前面	間詰石	根固め ブロック
	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)			
51 カスリオフェリア			●	●	●		●		
52 Amphitrite属	●	●					●		
53 Thelepus属	●	●	●		●		●		
54 フサコカイ科							●		
55 ケヤリ科	●	●	●	●	●		●		
56 エゾカサネカンザン	●	●	●	●	●		●	●	●
57 ウミクモ綱	●	●	●	●	●	●			
58 タテシマフシツボ		●							
59 アメリカフシツボ	●								
60 サンカフシツボ	●				●	●	●		●
61 ナンオウフシツボ						●			
62 コノハエビ	●	●		●				●	
63 ウミナナフシ属	●	●	●		●		●		
64 シリケンウミセミ					●		●		
65 ツノオウミセミ							●		
66 トロノミ属							●		
67 イソヨコエビ	●	●	●	●	●	●	●		
68 メリタヨコエビ属			●			●			
69 マルハサミヨコエビ属		●					●		
70 テッポウエビ属		●							
71 イソモエビ属		●							
72 イクビホンヤトカリ							●		
73 コブカニタマシ属		●							
74 イッカクモガニ								●	
75 ヨツハモガニ	●	●	●				●		
76 イシガニ					●				
77 スヘスヘオウギガニ	●	●							
78 ヒライソガニ		●	●		●		●	●	
79 スネナガイソガニ							●		
80 イソガニ	●		●						
81 イソガニ属				●			●		
82 アシナガハエ科							●		
83 フクロケムシ科	●	●	●		●	●	●		
84 アミメケムシ科	●	●	●				●		
85 ツノマタケムシ科	●	●	●	●	●	●			
86 フサコケムシ科	●	●	●	●	●	●	●		
87 トゲコケムシ科			●		●				
88 ヒラコケムシ科	●	●		●	●				
89 コブコケムシ科	●	●		●					
90 Phoronis属	●	●		●			●	●	●
91 イトマキヒトデ								●	●
92 Ophiactis属	●	●				●			
93 カタユレイホヤ	●		●				●		
94 シロホヤ	●	●	●	●	●	●	●		
95 シロホヤ科	●	●	●	●	●		●		
96 シロホヤ科(群体性)							●		
97 マホヤ科							●		
98 フクロホヤ科	●	●					●		
種類数	56	58	51	40	41	31	59	30	26

【写真】



写真1 ウスカラシオツガイ



写真2 エゾカサネカンザシ



写真3 ホトトギスガイ

Ⅲ. 調査レポート

(「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組)

生物確認レポート①

生物調査の結果

団体名	東京湾生物情報とりまとめおせっ会	
調査地点名	東京湾全域（追加報告として葛西臨海公園、多摩川河口、左近川含む）	
位置座標	緯度	
	経度	
実施年月日	令和 6 年 1 月～12 月	

【対象生物】

ベントスと魚類および一部プランクトン、藻類など全ての観察種情報

【調査概要】

2022 年と 2023 年に続き、東京湾岸での 2024 年の生物確認の情報提供を、生物観察を行っている団体や個人にアンケート形式で依頼しました。21 の海岸から計 24 の報告をいただき、642 種群（種ならびに種として確定できないより大きな分類群）を掲載できました。2023 年より種群数は減少しましたが、東京湾には多様な生物が生息していること引き続き確認できました。また、3 つの追加報告を頂きました。

【報告結果】

報告地点を図 1 に、報告された生物種群数を表 1 と図 2 に示します。全データは、付表 1－28 に掲載しました。24 の報告地点中、報告数の最も多かった種は二枚貝のアサリで、22 報告、つづいてマガキが 21 報告で、そしてミズクラゲ、アラムシロ、ユビナガスジエビ、ボラが 20 報告ありました。一方、護岸のほとんどを覆うように生息していた外来二枚貝ムラサキイガイは 3 報告しかなく、他の外来二枚貝のコウロエンカワヒバリガイ 18 報告やミドリイガイ 10 報告よりも少ない結果となり、ムラサキイガイが希少種？となりつつあります。また江戸川放水路が東京湾内唯一の生息地であり、東京湾絶滅が懸念されているハナグモリの生息も報告され、少し安堵するとともに今後とも監視的観察が必要とされます。

このように、湾内の生物相は変化を続けており、モニタリングとしての生物生息状況の追跡が引き続き必要であることを痛感されます。また、調査団体間で調査方法や観察生物群の違い、生物分類に関する経験や情報量の違いも大きく、団体や個人の交流を通じて生物の生態や同定に関する情報交換の場も引き続き必要とされます。

報告ならびに取りまとめにご協力いただいた団体、個人に感謝すると同時に、今後の観察ならびに報告協力よろしくお願いします。



図1 調査地点

表1 報告された生物種群数			
繊毛虫類	2	タコ・イカ類	2
海綿類	3	環形動物(ゴカイ類)	113
クラゲ・イソギンチャク類	31	コケムシ・ホウキムシ類	8
クシクラゲ類	5	節足動物(ウミグモ類・甲殻類)	176
線虫類	1	ギボシムシ類	2
ヒラムシ(扁形動物)類	3	ヒトデ・ウニ・ナマコ類	10
ワムシ(輪形動物)類	1	ホヤ類	8
ヒモムシ類	10	魚類	99
ヤムシ類	1	爬虫類	4
ヒザラガイ類	2	原生生物(渦鞭毛藻類、珪藻類、海藻類)	40
巻貝類	42	アマモ類	2
ウミウシ・キセワタ類	36		
二枚貝類	41		
			全生物種群数 642

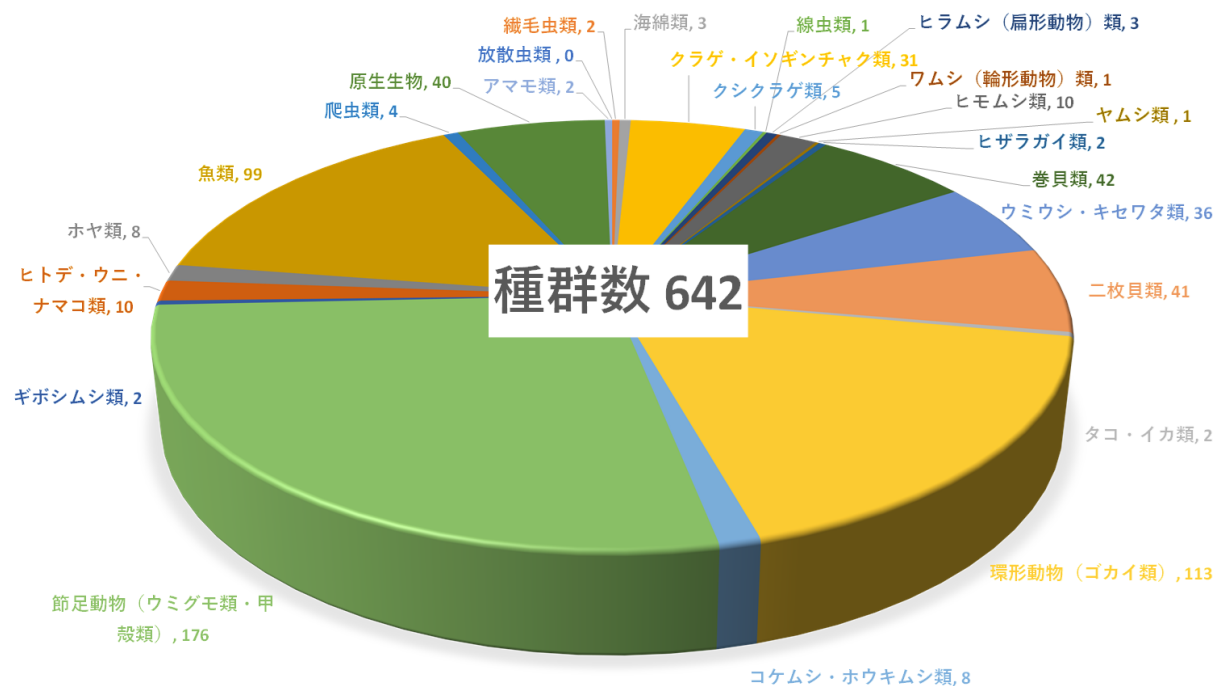


図 2 報告された生物種群の割合

【追加報告 1】 多摩川河口でのシラウオの定住を確認、東京湾 58 年ぶり。川崎市 多摩川スカイブリッジ建設に伴う環境モニタリング調査で採集（報告者：風呂田利夫）

経緯

シラウオはかつての東京湾では江戸川や隅田川（荒川）、多摩川河口を中心に生息し、江戸前を代表する漁獲物のひとつであった。しかし、埋立・浚渫等による浅場の減少や水質汚濁等の様々な環境変化が急速に進んだ 1960 年代に、東京湾のシラウオ個体群は絶滅したものと考えられている。シラウオは砂地に産卵するため、砂地が形成される河口域周辺の浅場は重要であったと考えられる。そのため、東京湾岸、特に河口域の環境再生のシンボル種として、東京湾水生生物研究者の間では高い関心が持たれている。

多摩川河口では、東京都と川崎市により、東京都大田区の羽田と川崎市川崎区の殿町との間に 2017 年より多摩川スカイブリッジの建設（写真 1）を進め、2022 年に完成した。その建設に伴い川崎市が実施した環境モニタリング調査において、2021 年にシラウオが採集された。環境モニタリング調査結果は毎年公表されているが、シラウオの公表に関する専門家によるアドバイザー会議の助言として、シラウオの出現は東京湾河口環境改善にとって重要な情報であると同時に、外来種の出現に見られるように人為的放流の可能性もあり、種同定と同時に、その起源に関する慎重な科学的検討の上で公表することとした。

専門家による科学的分析

上記の情報を得て、専門家による自主的研究が進められた。シラウオは東京湾周辺水域では東京湾と水系的連続性のある霞ヶ浦や印旛沼など利根川水系にも生息している。多摩川で再発見されたシラウオの他、利根川水系を含む本州 3 水系 4 地点のシラウオ集団のミトコンドリア DNA

分析を新たに行い、過去に報告されている日本各地から得られたハプロタイプも含め比較検討を行なった。また、多摩川河口におけるシラウオ个体群の定住評価には、世代の繰り返しの確認が必要であり、シラウオ調査の継続、とくに産卵に適した河口底での産卵の確認が求められた。

調査研究の結果、川崎市側河口底で 2022 年と 2023 年の複数年で 100 個以上の発生過程の卵（写真 3）が採集され、多摩川河口におけるシラウオの再生産が示唆された。DNA 分析の結果、過去に報告された日本各地のシラウオを用いた分析と同様、産地毎にハプロタイプ頻度が異なり遺伝的な地域差がみられた。しかし産地間で共通するハプロタイプや過去の報告でも得られていない新たなハプロタイプも多数見付き、シラウオの地域集団構造が多様で複雑なものである可能性が示唆された。多摩川から得られた 5 つのハプロタイプも 1 つは印旛沼・小川原湖いずれとも共通のものであり、他 4 つは既知のどのハプロタイプとも一致しないものであったため、由来を明らかにすることはできなかった。

これらの調査結果はすでに魚類学会で受理され公表された。

結論

- ・ 東京湾でのシラウオの復活初確認は 2021 年。
- ・ 多摩川スカイブリッジ建設に関わる環境モニタリング調査と研究者の連携的協働で多摩川河口でのシラウオ个体群の再生産を確認した。
- ・ 環境影響調査における公開性と研究者あるいは研究機関との協働が有効であった。
- ・ 多摩川河口でのシラウオ生息環境（とくに産卵地形）の回復が示唆された。
- ・ 多摩川河口で再発見されたシラウオが自然由来か放流由来かは特定できなかった。
- ・ シラウオは地域集団ごとに遺伝的な差がみられる。東京湾は近隣个体群が存在しており、条件によっては自然回復の可能性もある水域である。放流が必要と判断された場合でも、遺伝的・生態的に様々な面を検討して行われるべきで、これ以上の安易な放流は避けるべきである。



写真 1 完成した多摩川スカイブリッジ



写真 2 多摩川河口で採集されたシラウオ
(2021 年 2 月) 川崎市提供

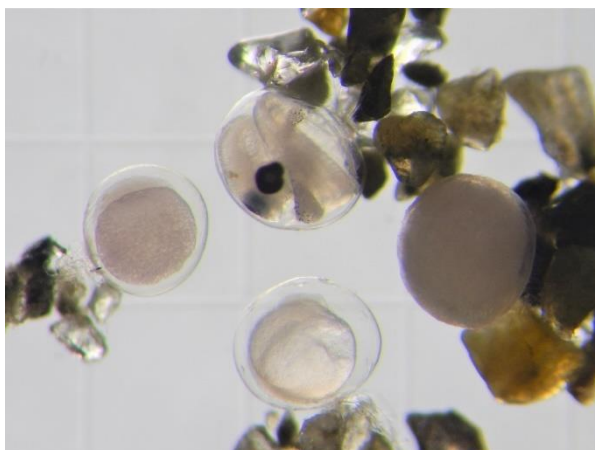


写真 3 多摩川河口で採集されたシラウオの卵

発表論文

指田穰、宮内康子、竹山佳奈、長谷川智、鳥羽幸太郎、田中浩輝、丸山啓太、風呂田利夫 (2024)
東京湾で約 60 年ぶりに確認されたシラウオ。魚類学雑誌、DOI:10.11369/JJI.23-040.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jji/advpub/0/advpub_23-040/article/-char/ja

【追加報告 2】 希少種クラゲの採集と展示について（江戸川区子ども未来館・高木嘉雄）

1. 採集の経緯

2024 年 7 月 12 日 am 8:00～満潮時、浮遊する多数の個体を発見。

持ち帰り同定のため観察を開始。採集地は江戸川放水路行徳可動堰下(右岸)の汽水エリア。

2. 種の同定

7 月 19 日、鶴岡市加茂水族館奥泉館長に画像を送り同定を依頼。

7 月 20 日、加茂水族館学芸員池田係長来館。未来館職員同行し現地調査と採集を行う。

水温 32℃塩分 20。

採集個体を持ち帰り加茂水族館が精査したところ、触手数 191 - 264 ($n = 5$)、直線上で白色の生殖巣をもち、多数の向軸性の排出突起(excretory papillae)をもつことなどの特徴から「ワタゲクラゲ」(*Malagazzia hirsutissima*)と同定された。(池田)

ワタゲクラゲは世界で長崎県の九十九島周辺にしか生息していないとされ、和名も 2013 年 8 月に命名、新種記載された(Akiyama et al. 2013)種である。

3. 展示と研究

加茂水族館では本種について採集地などを明記したうえで館内展示を行っている。

また、依頼のあった葛西臨海水族園、すみだ水族館、市川市自然博物館および船橋三番瀬環境学習館に現地で採集した個体を提供し各館における研究や展示に役立てている。

4. 本館の取り組み

せいぶつ部講座「ベントスとプランクトン」(風呂田講師)で展示し生態の観察に役立てた。

また、篠崎文化プラザ企画展示「小さいのちのワンダーランド」(~8 月 31 日・未来館協力)水生動物コーナーで展示、紹介した。この取り組みは東京新聞や読売新聞、MXTV などで紹介された。

5. その後

現地での採集活動を不定期に行ったところ、8 月の大雨による増水や青潮などにより出現が途絶えたりしていたが、10 月 2 日の数個体を最後に本種の採集記録は途絶えた。

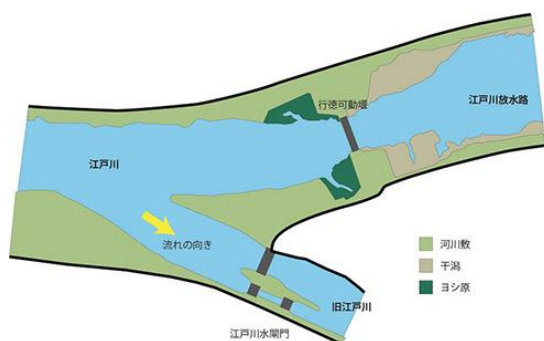


図1 採取場所見取り図（市川市 Web サイトより）



写真1 採取場所



写真2 透明・ゼリー状のクラゲの様子

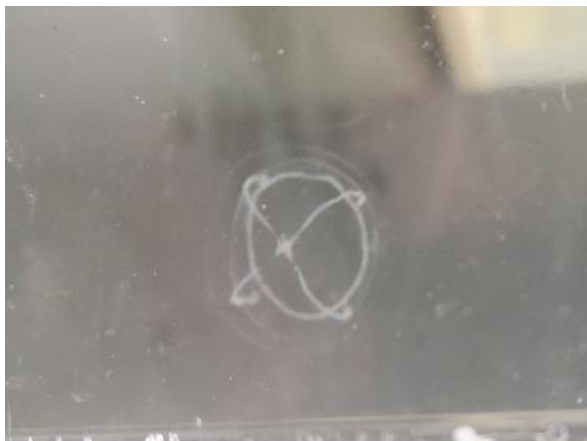


写真3 傘径6mm～10mmのワタゲクラゲ



写真4 群泳するワタゲクラゲ

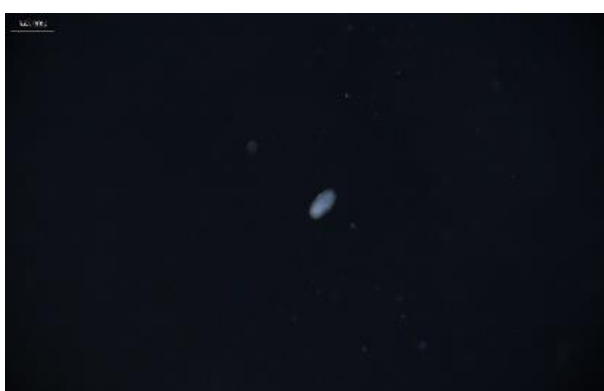


写真5 発生したプラヌラ幼生（加茂水族館撮影）

【追加報告3】 2024年 葛西海浜公園 水生生物調査 （生態教育センター）

1. 調査の目的および項目

調査対象区域である西なぎさ周辺に生息する水生生物を把握するために行った。水生生物の種類・個体数を調査し、観察できる時期や場所についてまとめた。対象は、魚類・甲殻類・貝類などの目につきやすい大型のものとした。

また、今年度から新たに貝類調査を実施した。これは、園内における貝類の生息・生育状況を把握するためのものである。

2. 調査方法

(1) 魚類調査

調査地点 ST. 1 と ST. 2 において、小型定置網（袖網長 2m、目合 4mm）による採集を行った。小型定置網は魚類の移動方向を踏まえて、ST. 1 では上流向きと下流向きに 1 張りずつ、ST. 2 では上流向きに 1 張り設置した。ST. 3 では中型定置網（袖網長 6m、目合 6mm、走り網 35m）による採取を行い、各網の設置期間は一昼夜とした。出現した生物は原則としてその場で同定、記録したが、現地での分析が困難な場合は、10%ホルマリン溶液にて固定し、後日同定を行った。

(2) 底生生物調査

調査地点 ST. 1～ST. 6 において、直径 30cm の塩ビ管を用いて、泥を採取した。採泥量は直径 30cm×深さ 20cm 程とし、1 箇所につき 3 回行った。採泥のすべてを篩にかけて水生生物を選出し、種類の同定を行った。種レベルまで同定できないものは、それより上位の分類群で留めた。

調査地点は、泥質と砂質の生物相を把握するために、東側の泥質地帯に ST. 1、西側の砂質地帯に ST. 3 を設置した。また、底質の状況を把握するために、西なぎさの中央に ST. 2 を設置した。この 3 地点は経年比較するために、2014～2023 年の地点を踏襲した。また、西なぎ全体を網羅的に調査するため、ST. 4～6 の地点でも採取調査を行った。なお、定量採取調査中に表層で生き物が確認された場合には、調査地点の記録には含まずに、補足記録として扱った。

(3) 貝類調査

調査地点は東なぎさと西なぎさの比較を行うため、両方の干潟で 50 地点を設けた。人の立ち入りが可能な西なぎさは普及教育を兼ねて、キッズレンジャーの取り組みとして実施した。各地点、25cm 四方×深さ 10cm を砂泥し、2mm のメッシュでふるって生物を採取した（調査面積：25cm×25cm×50 地点＝31,250 cm² (3.124 m²)）。採取された二枚貝はすべて殻長を計測した。

(4) 調査時期

調査日は大潮の前後とし、生物採取は最大干潮時に行った（表 1）。

表 1 調査時期と調査方法

調査日	時間	天候	満潮時刻 / 干潮時刻	調査対象
2024年4月26日	12:00～15:00	晴れ	5:37 19:20 / 0:17 12:27	(中潮) ・貝類
2024年4月27日	12:30～14:00	晴れ	6:01 20:03 / 0:46 12:59	(中潮) ・貝類(キッズレンジャー)
2024年5月21日	9:30～12:00	晴れ	3:05 16:33 / 10:01 22:12	(大潮) ・魚類
2024年6月21日	9:30～12:00	晴れ	3:23 18:11 / 10:51 23:16	(大潮) ・底生生物
2024年6月22日	9:30～12:30	晴れ	4:06 18:58 / 11:32 23:59	(中潮) ・魚類(キッズレンジャー)
2024年6月23日	9:30～12:30	晴れ	4:50 19:41 / 12:12 ---	(中潮) ・魚類(キッズレンジャー)
2024年9月17日	12:00～16:00	晴れ	4:07 17:18 / 10:45 23:05	(大潮) ・貝類
2024年9月18日	9:00～13:00	晴れ	4:56 17:46 / 11:22 23:40	(大潮) ・貝類
2024年10月17日	9:30～12:00	晴れ	4:46 16:53 / 10:54 23:14	(大潮) ・魚類
2024年10月19日	9:30～12:00	晴れ	6:22 17:47 / 12:03 ---	(大潮) ・底生生物
2024年11月4日	9:30～13:00	晴れ	7:08 17:37 / 0:13 12:24	(中潮) ・魚類(観察会)

3. 調査結果

(1) 調査全体の結果

①確認種数など

確認種数は、12 綱 31 目 62 科 95 種であった。ただし、多毛類やヨコエビ類など科レベルや属レベルまでしか把握できなかった種に関して、記録されている種と重複する可能性がある場合には確認種に含めなかった。(表2)。

表2 確認した水生生物の一覧(1)

綱名	目名	科名	No.	種名	学名	東京都 RL	環境省 RL	ベントス RL	備考
鰻鰻	ギボシムシ	ギボシムシ	1	ギボシムシ類	<i>Balanoglossus</i> sp.				
鉢虫	旗口クラゲ	旗口クラゲ科	2	ミズクラゲ	<i>Aurelia aurita</i>				
		旗口クラゲ科	3	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>				
花虫	イソギンチャク	-	4	イソギンチャク類					
渦虫	-	-	5	ヒラムシ類	<i>Polycladida</i> spp.				
無針	-	-	6	ヒモムシ類	<i>Nemertina</i> spp.				
腹足綱	頭觸目	カノコセワタガイ科	7	カノコセワタ類	<i>Melanochlamys</i> sp.				
	新生腹足目	カワザンショウガイ科	8	カワザンショウガイ	<i>Assiminea japonica</i>	NT			
		ムシロガイ科	9	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>				
二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	10	ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>				
			11	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>				総合対策外来種
	マルスダレガイ目	フナガタガイ科	12	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium liratum</i>	DD	NT		
		シジミ科	13	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	DD	NT	NT	
		マルスダレガイ科	14	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>				
			15	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>				
			16	ハマグリ類	<i>Meretrix</i> sp.				
			17	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>				
	ニッコウガイ科		18	ヒメシラトリガイ	<i>Macoma incongrua</i>				
	マテガイ科		19	マテガイ	<i>Solen strictus</i>				
	バカガイ科		20	バカガイ	<i>Macra chinensis</i>				
			21	シオフキガイ	<i>Macra veneriformis</i>				
	異鰐帯目	オキナガイ科	22	ソトオリガイ	<i>Latemula marilina</i>				
ゴカイ綱	サンバゴカイ目	チロリ科	23	チロリゴカイ類					
		ゴカイ科	24	コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>				
			25	ゴカイ類	<i>Nereididae</i> sp.				
			26	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>				
			27	イトメ	<i>Tylorhynchus osawai</i>			NT	
	スビオ目	スビオ科	28	スビオゴカイ科					
		ミズヒキゴカイ科	29	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>				
	イトゴカイ目	イトゴカイ科	30	イトゴカイ					
			31	イトゴカイ類	<i>Capitellidae</i> sp.				
	オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	32	ツツオオフェリア	<i>Armandia lanceolata</i>				
			33	園フェリアゴカイ科					
ユムシ綱	ユムシ目	ユムシ科	34	ユムシ	<i>Urechis unicinctus</i>			NT	
軟甲綱	ヨコエビ目	-	35	クーマ類	<i>Cumacea</i> sp.				
		-	36	ヨコエビ類	<i>Amphipoda</i> sp.				
		ユンボソコエビ科	37	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandierella japonica</i>				
	ヨコエビ目	ドロクダムシ科	38	ドロクダムシ類					
	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	39	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>				
		ウオノエ科	40	サッパノギンカ	<i>Anilocra clupei</i>				
			41	寄生ウオノエ類					
		フナムシ科	42	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>				
	アミ目	アミ科	43	イサザアミ類	<i>Neomysis</i> sp.				
	エビ目	サクラエビ科	44	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>				
		テナガエビ科	45	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	留意種			
			46	ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	DD			
			47	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>	DD			
		テッポウエビ科	48	フトオビイソテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp. 1				
		エビジャコ科	49	エビジャコ					
			50	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>	DD			
		ホンヤドカリ科	51	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>	DD			
		ハサミシャコエビ科	52	ハサミシャコエビ	<i>Laomedea astacina</i>	DD			
		スナモグリ科	53	ニホンスナモグリ	<i>Callinassa japonica</i>	DD			
		コブシガニ科	54	マメコブシガニ	<i>Philyra pismus</i>			NT	
		ワタリガニ科	55	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>				
			56	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>				
			57	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>				
		ベンケイガニ科	58	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>	留意種			
			59	カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>	DD			
		モクズガニ科	60	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>	留意種			
			61	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>				

表 3 確認した水生生物の一覧（2）

網名	目名	科名	No.	種名	学名	東京都 RL	環境省 RL	ベントス RL	備考
硬骨魚綱	モクズガニ科（つづき）	コメツキガニ科	62	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	留意種	EN		
		オサガニ科	63	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	留意種			
	シャコ目	シャコ科	64	シャコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>				
	ウナギ目	ウナギ科	65	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	EN	EN		
	ニシン目	ウミヘビ科	66	ホタテウミヘビ	<i>Ophichthus altipennis</i>				
		ニシン科	67	サッパ	<i>Sardinella zunasi</i>				
			68	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>				
		カタクチイワシ科	69	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>				
	コイ目	コイ科	70	マルタ	<i>Tribolodon brandtii maruta</i>	NT			
	サケ目	シラウオ科	71	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>				
	ヨウジウオ目	ヨウジウオ科	72	ガンテンイシヨウジ	<i>Hippichthys penicillus</i>				
	カサゴ目	コチ科	73	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp.2				
	スズキ目	スズキ科	74	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>				
		ヒイラギ科	75	ヒイラギ	<i>Nuclequula nuchalis</i>				
		タイ科	76	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>				
		ボラ科	77	ボラ	<i>Mugil cephalus</i>				
		イソギンボ科	78	トサカギンボ	<i>Omobranchus fasciolatoceps</i>				
			79	イダテンギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>				
			80	イソミミズハゼ	<i>Luciogobius</i> sp.6				
		ハゼ科	81	ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilli</i>		NT		
			82	エドハゼ	<i>Chaenogobius macrognathos</i>	VU	VU		
			83	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>		VU		
			84	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	NT			
			85	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>				
			86	アシンロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>	NT			
			87	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>	VU	VU		
			88	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	NT			
			89	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>	NT			
			90	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>				
			91	シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				
			92	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>	NT			
	カレイ目	ウシノシタ科	93	クロウシノシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>				
	フグ目	フグ科	94	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>				
両生綱	無尾目	ヌマガエル科	95	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>				
12	31	62	95	95	95	24	7	4	1

※環境省レッドリスト（RL）の情報は、令和3年4月発表の最新版に準拠した。
 ※東京都レッドリスト（RL）の情報は、令和3年4月発表の最新版に準拠した。
 CRは絶滅危惧ⅠA類であり、ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種。 ENは絶滅危惧ⅠB類であり、近い将来における絶滅の危険性が高い種。
 VUは絶滅危惧Ⅱ類であり、絶滅の危険が増大している種。
 NTは準絶滅危惧であり、現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。
 DDは評価するだけの情報が不足している種。

(2) 主要種群のまとめ

①貝類調査について

確認された貝類のうち、東なぎさでのみ確認されたのはキセワタ類、カワザンジョウガイ、バカガイであった。バカガイは 2019 年ぶりの確認であった（表 4）。

西・東なぎさでの貝類の確認種は 4 月で 13 種（地点外は除く）9 月で 6 種となった。確認個体数は 4 月で 182 個（地点外は除く）9 月で 256 個であった。これは 9 月のヤマトシジミの確認個体数が大幅に増加した結果である。

表 4 貝類調査の調査結果（数値は個体数）

綱名	目名	科名	No.	種名	学名	西なぎさ 2024.4.21	東なぎさ 2024.4.23	地点外	西なぎさ 2024.9.18	東なぎさ 2024.9.17	個体数	環境省 RL	東京都 RL	ベントス 学会RL
隔鰓	ギボシムシ	ギボシムシ	1	ギボシムシ	<i>Balanoglossus</i> sp.	2					2			
花虫	イソギンチャク	-	2	イソギンチャク類	-		1				1			
腹足	頭鰓	カノキセワタガイ	3	キセワタガイの一種	<i>Melanachlamys</i> sp.		1				1			
	新生腹足	カワザンジョウガイ	4	カワザンジョウガイ	<i>Assiminea japonica</i>			1			1		NT	
		ムシロガイ	5	アラムシロガイ	<i>Nassarius festivus</i>	5	2				7			
二枚貝	イガイ	イガイ	6	ホトギスガイ	<i>Arcautula senhousia</i>	5	1		6	1	13			
	マルスダレガイ	シジミ	7	ヤマトシジミ	<i>Cardicula japonica</i>	1	33		87	144	265	NT	DD	NT
		マルスダレガイ	8	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	2	3				5			
			9	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	4	4			2	10			
			10	ハマグリ属	<i>Meretrix</i> sp.	1			1	7	9			
			11	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	50	17		7		74			
			12	ヒメシラトリガイ	<i>Macoma incongrua</i>	1				1	2			
			13	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	7	1				8			
			14	バカガイ	<i>Macra chinensis</i>		1				1			
			15	シオフキガイ	<i>Macra veneriformis</i>	25	17				42			
	異鰓類	オキナガイ	16	ソトオリガイ	<i>Laternula maritima</i>	1		8			9			
ゴカイ	サンバゴカイ	ゴカイ	17	コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythrogaensis</i>		1				1			
			18	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>		1		1		2			
			19	イトメ	<i>Tylorrhynchus osawai</i>			1			1			NT
			20	ゴカイの一種	<i>Nereididae</i> sp.		4		1	2	7			
		チロリ	21	チロリ類	<i>Glyceridae</i> sp.	3	2				5			
	スピオ	ミズヒキゴカイ	22	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	2					2			
			23	スピオゴカイ類	<i>Spionidae</i> sp.		2				2			
	イトゴカイ	イトゴカイ	24	イトゴカイ	<i>Capitella capitata</i>	1	14		1		16			
	オフエリアゴカイ	オフエリアゴカイ	25	ツツオオフエリア	<i>Armandia lanceolata</i>	4	2				6			
			26	团ツツオオフエリア類	<i>Opheliidae</i> gen. sp.		2				2			
軟甲	クーマ	-	27	クーマ類	<i>Cumacea</i> sp.		2				2			
	ヨコエビ	-	28	ヨコエビ類	<i>Grandidierella</i> spp.				2		2			
		ユンボソコエビ	29	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>				3		3			
		ドロクダムシ	30	ドロクダムシ属	<i>Sinocorophium</i> sp.		1		1	1	3			
	ウラジムシ	スナウミナナフシ	31	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>	1	13		6	11	31			
		フナムシ	32	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>			1			1			
	エビ	エビジャコ	33	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>			1			1		DO	
		ハサミシヤコエビ	34	ハサミシヤコエビ	<i>Laomedia astacina</i>			1			1		DO	
		ベンケイガニ	35	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>			1			1		留意種	
		モクズガニ	36	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>			1			1		留意種	
			37	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	2		4	1		7			
			38	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	1				2	3		留意種	
硬骨魚	スズキ	ボラ	39	ボラ	<i>Mullig cephalus cephalus</i>	1					1			
		ハゼ	40	イソミズハゼ	<i>Luciogobius</i> sp.6		1				1			
			41	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>			2			2			
			42	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>			3			3			
			43	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>			3			3		NT	
			44	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>			2			2		NT	
			45	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>			1			1			
			46	チヂブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			1			1		NT	
			47	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>				1		1	VU	VU	
			48	ハゼ類	<i>Gobiidae</i> sp.	1					1			
7綱	16目	30科		48種		21	23	15	13	9		2	11	2

②ゴカイ綱調査について

西なぎさ及び東なぎさで実施した調査中に確認された底生生物数は 16 科 21 種であった。10 月の ST.1 ではヤマトシジミとムロミスナウミナナフシが複数個体見られたことから、ST.2～ST.6 より比較的確認種・個体数が多かった。月で比較すると 10 月はヤマトシジミの確認数が増えたことから、6 月に比べ合計個体数が多い(表 5)。

調査で得られた結果がそのまま調査地点付近の平均的生物層であるとは言えないが、底生生物の種類数等が少なく、特にゴカイ類の確認種・個体数は 2021 年から減少傾向にある。

表 5 底生生物の調査結果(数値は個体数)

綱名	目名	科名	No.	種名	西なぎさ 6月						西なぎさ 10月						環境省 RL	東京都 RL	ベントス 学会RL
					水温25.4℃ 塩分濃度9						水温25.6℃ 塩分濃度10								
					ST.1 東側 (沖)	ST.2 中央	ST.3 西側	ST.4 東側	ST.5 中央 (沖)	ST.6 西側 (沖)	ST.1 東側 (沖)	ST.2 中央	ST.3 西側	ST.4 東側	ST.5 中央 (沖)	ST.6 西側 (沖)			
渦虫	-	-	1	ヒモムシ類								1	1						
二枚貝	マルスダレガイ	ソソミ	2	ヤマトシジミ								4	1	2	3	2			
		マルスダレガイ	3	ハマクサリ															
		アサリ	4	Ruditapes philippinarum	2	1	3		1	1									
		シオフキカイ	5	Mactra veneriformis		1													
		ソトナリカイ	6	Laternula manila					1										
ゴカイ	サンバゴカイ	アロワ	7	チロリゴカイ類	1	1													
		ゴカイ	8	コウゴカイ							2			2	1				
		ゴカイ	9	ヤマトカワゴカイ		1	1							1					
		ゴカイ類	10	Nereididae sp.					1										
		スベコカイ類	11	Spionidae sp.						2									
		イトゴカイ類	12	Capitella sp.				4	1										
		イトゴカイ	13	Capitella capitata						1	1	7							
		ツツオオフェリア	14	Armandia lanceolata										2					
		ユムシ	15	Urechis uncinatus															
		ユムシ	16	イサザアミ類							1								
軟甲	アミ	アミ	17	ムロミスナウミナナフシ							4								
		エビ	18	ウリタエビジャコ	1								1						
		オサガニ	19	Macrophthalmus japonicus															
		エドハゼ	20	Gymnogobius macroganathos	1									1					
硬骨魚	スズキ	ハゼ	21	Gymnogobius uchida															
		チクゼンハゼ																	
6綱 12目 16科 21種					確認種数						確認種数								
					確認個体数						確認個体数								
					合計個体数						合計個体数								
					5種	4種	2種	3種	3種	1種	8種	4種	2種	2種	4種	1種			
					7	4	4	7	3	1	16	4	9	4	7	1			
					26						41								

③軟甲類調査について

エビ類は、ユビナガスジエビとシラタエビが優占した。最大出現個体数はシラタエビが 1,415 匹（5 月調査）、ユビナガスジエビが 426 匹（10 月調査）であった。シラタエビは葛西海浜公園ではいわゆる普通種だが、東京都には本種の生息環境となる塩性湿地は限られている（表 6）。

注目すべき種としては、ムロミスナウミナナフシが今回調査でも確認された。本種は絶滅危惧種には指定されていないが、東京湾で安定して出現する場所は葛西海浜公園と多摩川河口のみであり、小櫃川河口は確認がされなくなっている。移動性が低いことから、葛西海浜公園のようにムロミスナウミナナフシがまとまって生息している場所は貴重である。カニ類は、葛西海浜公園周辺では約 20 種記録されているが、今年度の確認種は 10 種であった。

ヤドカリ類はユビナガホンヤドカリの 1 種のみであった。ヤドカリ類が利用する巻貝が葛西海浜公園にはアラムシロ以外はほとんど見られないためである。過去の調査でも、大型ヤドカリ類は記録されていない。

表 6 確認した軟甲類の一覧

網名	目名	科名	No.	種名	学名	東京都 RL	環境省 RL	ベントス RL
軟甲	ヨコエビ	-	1	クーマ類	<i>Cumacea</i> sp.			
			2	ヨコエビ類	<i>Amphipoda</i> sp.			
			3	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandierella japonica</i>			
	ヨコエビ	ドロクダムシ	4	ドロクダムシ類				
	ワラジムシ	スナウミナナフシ	5	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>			
		ウオノエ	6	サツバノギンカ	<i>Anilocra clupei</i>			
			7	寄生ウオノエ類				
	フナムシ	フナムシ	8	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>			
		アミ	9	イサザアミ類	<i>Neomysis</i> sp.			
	エビ	サクラエビ	10	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>			
		テナガエビ	11	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	留意種		
			12	ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	DD		
			13	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>	DD		
		テッポウエビ	14	フトオビイソテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp. 1			
		エビジャコ	15	エビジャコ類	<i>Crangon</i> sp.			
			16	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>	DD		
		ホンヤドカリ	17	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>	DD		
		ハサミシャコエビ	18	ハサミシャコエビ	<i>Laomedea astacina</i>	DD		
		スナモグリ	19	ニホンスナモグリ	<i>Callinassa japonica</i>	DD		
		ヨブシガニ	20	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>			NT
		ワタリガニ	21	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>			
			22	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>			
			23	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			
		ベンケイガニ	24	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>	留意種		
			25	カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>	DD		
		モクズガニ	26	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>	留意種		
			27	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>			
		コメツキガニ	28	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	留意種		
		オサガニ	29	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	留意種		
	シャコ	シャコ	30	シャコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>			
1	6	21		30		12	0	1

④硬骨魚類調査について

初確認種としては、シラウオを 10 月の魚類調査時に確認した。採集場所は西なぎさに架かるなぎさ橋下の岩礁で、採集方法は手網での捕獲であった。



写真1 シラウオ (2024 年 10 月 17 日)

西なぎさの魚類相はハゼ科魚類の優占、海水魚と河口魚の割合が高いことが、これまでの調査によって把握されている。今年度の調査結果も同様の傾向を示した。ただし、ハゼ類は定置網での捕獲は少なく、手網による捕獲が多かった (表 7)。

国 RL 記載種のニホンウナギが今年度も高確率で確認されたことで、ニホンウナギにとって葛西海浜公園は重要な生育場になっていると考えられる。また、エドハゼやビリンゴなどの希少種も確認された。ハゼ類はアナジャコ類やスナモグリ類の巣穴を利用するが、葛西海浜公園の泥質干潟にはそれらが多数生息していることによって、魚類が生息できているのだと考えられる。

表7 魚類の調査結果

[illegible]

表8 年度別累計(1)

綱名	目名	科名	No.	種名	学名	確認年度												
						2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
ウミガモ	鶺鴒	トウクリウミガモ	1	カイヤドリウミガモ	<i>Nymphonella tapetis</i>							●						
	ギボシムシ	ギボシムシ	2	ギボシムシ類	<i>Balanoglossus</i> sp.											●		
	鰯	ミズクラゲ	3	ミズクラゲ	<i>Aurelia aurita</i>	●			●		●	●				●	●	
鉢虫	蜜クラゲ	ミズクラゲ	4	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>			●		●	●	●				●	●	
	蜜クラゲ	オキクラゲ	5	タテジマイノギンチャク	<i>Haliplanella lineata</i>	●			●	●	●					●		
	イノギンチャク	ホウザウイノギンチャク	6	ホウザウイノギンチャク	<i>Synandawakia hozawai</i>												●	
有触手	カフトクラゲ	カフトクラゲ	7	カフトクラゲ	<i>Bolinopsis mikado</i>	●					●	●					●	
	渦虫	-	8	ヒラムシ類	<i>Polycladia</i> spp.		●				●	●					●	
	細形	オロチヒモムシ	9	ナミモムシ	<i>Cerebratulus mcommunis</i>												●	
腹足	頭楯	カコキセワタガイ	10	カノキセワタ類	<i>Nemeritis</i> spp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	盤足	タマキビ	11	タマキビガイ	<i>Melanochlamys</i> sp.												●	
	カバハダガイ	タマキビ	12	シマメノウナギ	<i>Littorina brevicula</i>	●		●									●	
新腹足	アツキガイ	イボニシ	13	イボニシ	<i>Crepidula onyx</i>	●		●									●	
		アカニシ	14	アカニシ	<i>Thais clavigera</i>												●	
		タマガイ	15	サキグロタマツメタガイ	<i>Rapania venosa</i>												●	
フネガイ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ	16	カワザンショウガイ	<i>Laquuncula pulchella</i>												●	
	ムシロガイ	アラムシロガイ	17	アラムシロガイ	<i>Assimineca japonica</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	
	フネガイ	サルボウガイ	18	サルボウガイ	<i>Reticunassa fediva</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	
イガイ	イガイ	イガイ	19	ホトギスガイ	<i>Scapharca kaoshimensis</i>	●	●										●	
		ムラサキイガイ	20	ムラサキイガイ	<i>Scapharca</i> sp.					●							●	
		コウロンエカワヒバリガイ	21	コウロンエカワヒバリガイ	<i>Musculista senhousia</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
カキ	イタボカキ	マダモガイ	22	マダモガイ	<i>Crassostrea gigas</i>	●	●	●									●	
	フタバシロガイ	ウメノハナガイモドキ	23	ウメノハナガイモドキ	<i>Pillucina pisidium</i>	●	●			●							●	
	ハカガイ	ハカガイ	24	ハカガイ	<i>Macra chinensis</i>	●	●			●							●	
マルスダレガイ	シオオキガイ	シオオキガイ	25	シオオキガイ	<i>Macra veneriformis</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ニッコウガイ	サビシトラリガイ	26	サビシトラリガイ	<i>Macoma contabulata</i>	●	●			●							●	
		ヒメシトラリガイ	27	ヒメシトラリガイ	<i>Macoma incongrua</i>	●	●	●		●							●	
シオサザナミ	マテガイ	イソシジミ	28	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>						●						●	
	マテガイ	マテガイ	29	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	
	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	30	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium litarum</i>	●	●										●	
シジミ	ヤマトシジミ	ヤマトシジミ	31	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	マルスダレガイ	オキシジミ	32	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
		ホンビノスガイ	33	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	
ハマグリ	チウワセンハマグリ	メーグリ	34	チウワセンハマグリ	<i>Meretrix lamarkii</i>	●	●	●				●					●	
	シナハマグリ	メーグリ	35	メーグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	●	●	●		●	●	●					●	
	メーグリ	メーグリ	36	メーグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	●	●	●				●				●	●	
カギ	カギ	カギ	37	カギ	<i>Meretrix</i> sp.	●	●	●									●	
	アサリ	アサリ	38	アサリ	<i>Phacosoma japonicum</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	マルスダレガイ類	マルスダレガイ類	39	マルスダレガイ類	<i>Ruditapes philippinarum</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ	40	オオノガイ	<i>Veneridae</i> sp.					●							●	
	ウミタケガイモドキ	ウミタケガイモドキ	41	ウミタケガイモドキ	<i>Mya arenaria onogai</i>	●	●			●	●						●	
	サシハバコガイ	サシハバコガイ	42	サシハバコガイ	<i>Cryptomya busoensis</i>	●	●	●				●					●	
ゴカイ	チロリ	チロリ	43	チロリ	<i>Laternula marilina</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	カキゴカイ	カキゴカイ	44	カキゴカイ	<i>Eteone longa</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ゴカイ	ゴカイ	45	ゴカイ	<i>Glyceridae</i> sp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
イソメ	イソメ	イソメ	46	イソメ	<i>Sigambra hanaokai</i>												●	
	スビオ	スビオ	47	スビオ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>												●	
	スビオ	スビオ	48	スビオ	<i>Hediste diadroma</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
オフェリアゴカイ	オフェリアゴカイ	オフェリアゴカイ	49	オフェリアゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	オフェリアゴカイ	オフェリアゴカイ	50	オフェリアゴカイ	<i>Nereididae</i> sp.												●	
	イトゴカイ	イトゴカイ	51	イトゴカイ	<i>Hediste</i> sp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
イトゴカイ	イトゴカイ	イトゴカイ	52	イトゴカイ	<i>Tylorhynchus osawai</i>	●	●	●									●	
	イトゴカイ	イトゴカイ	53	イトゴカイ	<i>Diopatra sugokai</i>	●	●	●									●	
	イトゴカイ	イトゴカイ	54	イトゴカイ	<i>Marphysa sanguinea</i>	●	●	●									●	
ユムシ	ユムシ	ユムシ	55	ユムシ	<i>Paraprionospio</i> sp.						●						●	
	ユムシ	ユムシ	56	ユムシ	<i>Prionospio japonicus</i>												●	
	ユムシ	ユムシ	57	ユムシ	<i>Pseudopolydora kemp</i>												●	
フジツボ	フジツボ	フジツボ	58	フジツボ	<i>Pseudopolydora reticulata</i>												●	
	フジツボ	フジツボ	59	フジツボ	<i>Pseudopolydora spp.</i>												●	
	フジツボ	フジツボ	60	フジツボ	<i>Spionidae</i> sp.												●	
クマ	クマ	クマ	61	クマ	<i>Cirriiformia tentaculata</i>												●	
	クマ	クマ	62	クマ	<i>Armandia lanceolata</i>												●	
	クマ	クマ	63	クマ	<i>Opheliidae gen. sp.</i>												●	
ワラジ	ワラジ	ワラジ	64	ワラジ	<i>Capitellidae</i> sp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ワラジ	ワラジ	65	ワラジ	<i>Heteromastus similis</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ワラジ	ワラジ	66	ワラジ	<i>Mediomastus</i>												●	
アミ	アミ	アミ	67	アミ	<i>Heteromastus</i> sp.												●	
	アミ	アミ	68	アミ	<i>Urechis</i> sp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	アミ	アミ	69	アミ	<i>Urechis uncinatus</i>												●	
ヨコエビ	ヨコエビ	ヨコエビ	70	ヨコエビ	<i>Balanus albicostatus</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ヨコエビ	ヨコエビ	71	ヨコエビ	<i>Balanus amphitrite</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ヨコエビ	ヨコエビ	72	ヨコエビ	<i>Balanus improvisus</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
エビ	エビ	エビ	73	エビ	<i>Cumacea</i> sp.												●	
	エビ	エビ	74	エビ	<i>Cyathura muromiensis</i>												●	
	エビ	エビ	75	エビ	<i>Idotea</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	76	ナガエビ	<i>Anilocra clupei</i>												●	
	ナガエビ	ナガエビ	77	ナガエビ	<i>Cymothoidae</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	78	ナガエビ	<i>Ligia cinerascens</i>												●	
エビ	エビ	エビ	79	エビ	<i>Spharomatidae</i> sp.	●											●	
	エビ	エビ	80	エビ	<i>Gnathopoda</i> sp.												●	
	エビ	エビ	81	エビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	82	ナガエビ	<i>Grandidierella japonica</i>												●	
	ナガエビ	ナガエビ	83	ナガエビ	<i>Sinocorophium japonicum</i>												●	
	ナガエビ	ナガエビ	84	ナガエビ	<i>Sinocorophium</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	85	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	86	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	87	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	88	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	89	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	90	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	91	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	92	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	93	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	94	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	95	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	96	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	97	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	98	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	99	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	100	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	101	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	102	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	103	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	104	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	105	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	106	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	107	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	108	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
ナガエビ	ナガエビ	ナガエビ	109	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.												●	
	ナガエビ	ナガエビ	110	ナガエビ	<i>Neomysis</i> sp.													

表9 年度別累計（2）

綱名	目名	科名	No.	種名	学名	確認年度													
						2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
軟甲	エビ	ワタリガニ	84	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>						●								
			85	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus mediterraneus</i>					●									
			86	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>		●								●	●	●	●	
			87	ガザミ	<i>Portunus triberculatus</i>		●		●			●				●	●	●	●
			88	マメコフシガニ	<i>Philyra pisan</i>		●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●
			89	ラスバンママガニ	<i>Pinnixa rathbuni</i>												●	●	●
			90	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>		●	●	●	●	●	●	●					●	
			91	オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●			●		●
			92	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
			93	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>											●			●
			94	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>														●
			95	カクベンケイガニ	<i>Parasarma pictum</i>														●
			96	トリウミアカイソモドキ	<i>Acmaeopleura toriumii</i>									●	●				
			97	モクスガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>		●	●			●		●		●	●	●	●	
			98	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>						●								
			99	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>		●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●
			100	イソガニ属	<i>Hemigrapsus</i> sp.						●							●	
			101	エビの仲間						●		●							
	シヤコ目	シヤコ	102	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>													●	
	アミ	アミ	103	アミの仲間	<i>Mysidae</i> sp.		●			●		●	●			●			
			104	イサザアミ類	<i>Neomysis</i> sp.													●	
軟骨魚	メジロサメ	ドチサメ	105	ホシザメ	<i>Mustelus manazo</i>											●			
硬骨魚	トビエイ	アカエイ	106	アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>					●					●	●	●		
	カライワシ	カライワシ	107	カライワシ	<i>Elops hawaiiensis</i>					●						●	●		
	ウナギ	ウナギ	108	ニホンウナギ	<i>Anquilla japonica</i>										●	●	●		
			109	ホタテウミヘビ	<i>Ophichthus altipennis</i>												●	●	
	ニシン	ニシン	110	サツバ	<i>Sardinella zunasi</i>										●	●	●		
			111	コシロ	<i>Konosirus punctatus</i>											●	●	●	
	カタクチイワシ	カタクチイワシ	112	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>										●	●	●		
			113	ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>												●		
	コイ	コイ	114	マルタ	<i>Tribolodon brandtii maruta</i>										●	●	●		
			115	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>									●	●			●	
サケ	シラウオ	116	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>													●		
トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	117	トウゴロウイワシ	<i>Hypoatherina valenciennei</i>													●		
ダツ	サヨリ	118	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>												●	●		
ヨウジウオ	ヨウジウオ	119	ガンテンイシヨウジ	<i>Hippichthys penicillatus</i>											●	●	●		
カサゴ	コチ	120	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp.2											●	●	●		
スズキ	イサキ	コシヨウダイ	121	コシヨウダイ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>										●	●	●		
			122	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>									●	●	●	●		
	キス	シロギス	123	シロギス	<i>Sillago japonica</i>											●	●		
			124	ギンガメアジ類の一種	<i>Caranx</i> sp.												●		
シマイサキ	コヒキ	125	コヒキ	<i>Terapon jarbua</i>						●					●				
	シマイサキ	シマイサキ	126	シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrinchus</i>											●	●		
			127	ヒイラギ	<i>Nuchequila nuchalis</i>											●	●	●	
ヒイラギ	マツダイ	128	マツダイ	<i>Lobotes surinamensis</i>												●	●		
タイ	クロダイ	129	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>										●	●	●	●		
ニベ	シログチ	ニベ	130	シログチ	<i>Pennahia argentata</i>											●	●		
			131	ニベ	<i>Nibea mitsukurii</i>										●	●	●	●	
ボラ	ボラ	132	ボラ	<i>Muqil cephalus</i>			●							●	●	●	●		
ネズンボ	ハタテヌメリ	133	ハタテヌメリ	<i>Repomucenus valenciennei</i>												●			
イソギンボ	トサカギンボ	トサカギンボ	134	トサカギンボ	<i>Omobranchus fasciatoiceps</i>												●		
			135	イダテギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>											●	●	●	
クロサギ	クロサギ	136	クロサギ	<i>Gerres equulus</i>												●			
ハゼ	イソミズハゼ	イソミズハゼ	137	イソミズハゼ	<i>Luciogobius</i> sp.6												●		
			138	ミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>												●	●	
	ヒモハゼ	ヒモハゼ	139	ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilli</i>		●				●		●	●		●	●		
			140	トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i>					●							●	●	
	ニクハゼ	ニクハゼ	141	ニクハゼ	<i>Gymnogobius hepacanthus</i>										●	●	●		
			142	エドハゼ	<i>Chaenogobius macrognathos</i>					●		●		●	●	●	●	●	
	チクゼンハゼ	チクゼンハゼ	143	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>											●	●		
			144	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>										●	●	●	●	
	ウロハゼ	ウロハゼ	145	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>									●	●	●	●		
			146	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	
	アシシロハゼ	アシシロハゼ	147	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>									●	●	●	●		
			148	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>											●	●	●	
	ツマグロスジハゼ	ツマグロスジハゼ	149	ツマグロスジハゼ	<i>Acentrogobius</i> sp.2											●	●		
			150	キラハゼ類	<i>Acentrogobius</i> sp.												●	●	
	ヒメハゼ	ヒメハゼ	151	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>									●	●		●		
			152	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>												●	●	
	アカオビシマハゼ	アカオビシマハゼ	153	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger triraocephalus</i>												●		
			154	シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				●				●	●	●	●	●	●	
	チチブ	チチブ	155	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>												●		
			156	ハゼ類	<i>Gobiidae</i> sp.		●	●	●	●	●	●	●						
	アイゴ	アイゴ	157	アイゴ	<i>Siganus fuscus</i>												●		
			158	イシガレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>		●											●	
	ウシノシタ	ウシノシタ	159	ウシノシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>											●	●		
			160	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>											●	●	●	
両生綱	無尾目	ヌマガエル科	160	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>												●		
15綱	46目	107科		160種		61	51	49	59	46	50	46	47	59	68	79	96		

付表1 出現生物種群一覽(地点1-16)

				観察地No.															
				1 横浜市 野島公園	2 横浜市 海の公園	3 横浜市 山下公園	4 大田区 多摩川河 口	5 大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	6 大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	7 港区 竹芝干潟	8 港区 お台場海 浜公園(南 岸)	9 港区 お台場海 浜公園(北 岸)	10 大田区 大森ふる さとの浜辺 公園	11 大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	12 大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	13 江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	14 江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	15 江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	16 江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																
放射虫類	0 種群 -	放射虫門	Radiolaria																
繊毛虫類	2 種群	ツリガネムシ科	エダワカレツリガネムシの一種	<i>Carchesium</i> sp.															
		ツリガネカラムシ科	ピンガタカラムシ属の一種	<i>Favella</i> sp.															
		ズーナムニウム科	<i>Zoothamnium niveum</i> ?	<i>Zoothamnium niveum</i> ?															
		ズーナムニウム科	<i>Zoothamnium plumula</i> ?	<i>Zoothamnium plumula</i> ?															
海綿類	4 種群	カワナシカイメン科	ヤワクダカイメン	<i>Haliclona (Haliclona) oculata</i>															
		イソカイメン科	ナミイソカイメン	<i>Halichondria (Halichondria) panicea</i>															
		イソカイメン科	ダイダイイソカイメン	<i>Hymeniacidon perlevis</i>															
	-		尋常海綿綱	<i>Demospongiae</i>															
クラゲ・イソギンチャク類	34 種群	ハナギンチャク科	ムラサキハナギンチャク	<i>Cerianthus filiformis</i>															
		ハナギンチャク科	ハナギンチャク科の一種	<i>Cerianthidae</i> gen. sp.															
		ムシモドキギンチャク科	ギョライムシモドキギンチャク近似種	<i>Edwardsia</i> aff. <i>alternobomen</i>															
		ムシモドキギンチャク科	ムシモドキギンチャク科	<i>Edwardsiidae</i>															
		ウメボシイソギンチャク科	ヒメイソギンチャク	<i>Anthopleura asiatica</i>															
		ウメボシイソギンチャク科	ミドリイソギンチャク	<i>Anthopleura fuscoviridis</i>															
		ウメボシイソギンチャク科	ヨロイイソギンチャク	<i>Anthopleura uchidae</i>															
		ウメボシイソギンチャク科	イシワケイソギンチャク	<i>Anthopleura</i> sp. 1															
		ウメボシイソギンチャク科	<i>Anthopleura</i> 属の一種	<i>Anthopleura</i> sp. 2															
		ウメボシイソギンチャク科	ハナワケイソギンチャク	<i>Paracondylactis</i> sp.															
		セイタカイソギンチャク科	チゲレイソギンチャク	<i>Aiptasiomorpha</i> sp.															
		Andvakiidae 科?	Andvakiidae 科?	<i>Andvakiidae</i> ? gen. sp.															
		オヨギイソギンチャク科	オヨギイソギンチャク	<i>Boloceroidea mcmurricchi</i>															
		タテジマイソギンチャク科	タテジマイソギンチャク	<i>Diadumene lineata</i>															
		科不確定	<i>Paraipasia</i> 属の一種?	<i>Paraipasia</i> ? sp.															
		科不確定	ホウザワイソギンチャク	<i>Synandwaka hozawai</i>															
		ナガイソギンチャク科	ホソイソギンチャク?	<i>Metedwardsia</i> cf. <i>akkeshi</i>															
		ウミサボテン科	ウミサボテン	<i>Cavernularia obesa</i>															
		ヤナギウミエラ科	ホソウミエラ	<i>Scytalium sprengens</i>															
		ヤナギウミエラ科	ヤナギウミエラ科?の一種	<i>Virgulariidae</i> ? gen. sp.															
		クダウミヒドラ科	ベニクダウミヒドラ	<i>Ectopleura crocea</i>															
		クダウミヒドラ科	クダウミヒドラ科の一種	<i>Tubulariidae</i> gen. sp.															
		エダアシクラゲ科	エダアシクラゲ	<i>Cladonema pacificum</i>															
		タマウミヒドラ科	カミクラゲ	<i>Spirocodon saltatorix</i>															
		ギンカクラゲ科	カツオノカンムリ	<i>Velella velella</i>															
		エダクラゲ科	ドフラインクラゲ	<i>Nemopsis doleini</i>															
		ウミヒドラ科	ウミヒドラ科の一種	<i>Hydractiniidae</i> gen. sp.															
		シミコクラゲ科	コソブクラゲ	<i>Podocorynoides minima</i>															
		シミコクラゲ科	シミコクラゲ	<i>Rathkea octopunctata</i>															
		-	刺糸垂目の一種	<i>Filifera</i> fam. gen. sp.															
		-	花水母目	<i>Anthothecata</i>															
		オウクラゲ科	オウクラゲ	<i>Aequorea coerulescens</i>															
		ウミサザギガヤ科	オベリアクラゲ属の一種	<i>Obelia</i> sp.															
		ホソガヤ科	ホソガヤ科	<i>Halecidiidae</i>															
	ウミシバ科	ウミシバ科	<i>Sertulariidae</i>																
	ワタゲクラゲ科	ワタゲクラゲ	<i>Malagazzia hirsutissima</i>																
	カツオノエボシ科	カツオノエボシ	<i>Physalia physalis</i>																
	ハナガサクラゲ科	カギノテクラゲ	<i>Gonionemus vertens</i>																
	ハナガサクラゲ科	ハナガサクラゲ	<i>Olinthias formosa</i>																
	-	ヒドロ虫綱	Hydrozoa																
	ミズクラゲ科	ミズクラゲ	<i>Aurelia</i> cf. <i>coerulea</i>																
	オキクラゲ科	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>																
クシクラゲ類	5 種群	カプトクラゲ科	カプトクラゲ	<i>Bolinopsis mikado</i>															
		チョウクラゲ科	チョウクラゲ	<i>Ocyropsis fusca</i>															
		ウリクラゲ科	カンバナウリクラゲ	<i>Beroe campana</i>															
		ウリクラゲ科	ウリクラゲ	<i>Beroe</i> aff. <i>cucumis</i>															
		ウリクラゲ科	ウリクラゲ科の複数種	<i>Beroidea</i> gen. spp.															
線虫類	1 群	線形動物門(センチュウ類)	Nematoda																
ヒラムシ(扁形動物)類	3 種群	ウスヒラムシ科	ウスヒラムシ科の一種	<i>Notoconplanidae</i> gen. sp.															
		スチロヒラムシ科	スチロヒラムシ科の一種	<i>Stylochidae</i> gen. sp.															
	-		多岐綱目	<i>Polycladida</i>															
ワムシ(輪形動物)類	1 種群	ワムシ綱	Rotatoria																

付表2 出現生物種群一覧 (地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふ さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																	
ヒモムシ類	10 種群	ケファロツリックス科	ホソヒモムシ属の一種	<i>Cephalothrix</i> sp.																
		カリノマ科	<i>Carinoma</i> 属の一種	<i>Carinoma</i> sp.																
		クリゲヒモムシ科	クリゲヒモムシ	<i>Tubulanus punctatus</i>																
		リネウス科	<i>Cerebratulus carnosus</i>	<i>Cerebratulus carnosus</i>																
		リネウス科	ナミヒモムシ	<i>Cerebratulus communis</i>		●								●			●			
		リネウス科	<i>Evelineus mcintoshii</i>	<i>Evelineus mcintoshii</i>								●		●						
		リネウス科	<i>Lineopselloides albilineus</i>	<i>Lineopselloides albilineus</i>																
		リネウス科	モエデヒモムシ?	<i>Lineus sanguineus</i> ?									●							
		リネウス科	クチベニヒモムシ	<i>Micrura bella</i>																
		リネウス科	ミサキヒモムシ	<i>Notospermus geniculatus</i>		●														
		マダラヒモムシ科	マダラヒモムシ	<i>Nipponnemertes punctatula</i>																
		マダラヒモムシ科	<i>Nipponnemertes</i> 属?の一種	<i>Nipponnemertes</i> ? sp.										●						
		ホソミドリヒモムシ科	<i>Nemertopsis</i> 属?の一種	<i>Nemertopsis</i> ? sp.																
		Plectonemertidae 科	ナギサヒモムシ	<i>Acteonemertes orientalis</i>																
ヤムシ類	1 種群	ヤムシ科	ナイカイヤムシ(マントヤムシ)	<i>Aidanosagitta crassa</i>																
ヒザラガイ類	2 種	クサズリガイ科	ヒザラガイ	<i>Acanthopleura japonica</i>		●														
		ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona defilippii</i>																
		ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona rubrolineata</i>																
巻貝類	42 種群	ヨメガカサ科	ベッコウガサ	<i>Cellana grata</i>																
		スカシガイ科	スソカケガイ	<i>Montfortia picta</i>		●														
		コガモガイ科	コウダカアオガイ	<i>Nipponacmea concinna</i>																
		コガモガイ科	ツボミ	<i>Patelloida conulus</i>																
		コガモガイ科	シボリガイ	<i>Patelloida pygmaea</i>																
		コガモガイ科	ウノアシ	<i>Patelloida lanx</i>			●													
		ニシキウズ科	チグサガイ	<i>Cantharidus japonicus</i>																
		ニシキウズ科	インダタミ	<i>Monodonta confusa</i>																
		ニシキウズ科	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>	●	●														
		クボガイ科	コシダカガンガラ	<i>Tegula rustica</i>	●															
		リュウテン科	スガイ	<i>Lunella correensis</i>	●	●														
		アマオブネ科	アマガイ	<i>Nerita japonica</i>		●										●				
		ウミナナ科	ホソウミナ	<i>Batillaria atramentaria</i>	●	●								●						
		ウミナナ科	ウミナ	<i>Batillaria multiformis</i>		●														
		スズメハマツボ科	スズメハマツボ	<i>Diala semistriata</i>		●														
		ウキツボ科	シマハマツボ	<i>Alaba picta</i>	●	●														
		キバウミナナ科	フトヘナタリ	<i>Cerithidea moerchii</i>																
		キバウミナナ科	カワアイ	<i>Pirenella pupiformis</i>																
		タマキビ科	アラレタマキビ	<i>Echinolittorina radiata</i>											●					
		タマキビ科	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>	●	●						●	●	●	●	●			●	
		チャツボ科	チャツボ	<i>Barleeia angustata</i>																
		カワザンショウ科	クリイロカワザンショウ	<i>Angustassimineae castanea</i>																
		カワザンショウ科	キントニイロカワザンショウ	<i>Angustassimineae aff. satumana</i>							●			●		●				
		カワザンショウ科	ヨシダカワザンショウ	<i>"Angustassimineae" yoshidayukioi</i>																
		カワザンショウ科	ヒナタムシヤドリカワザンショウ	<i>Assimineae aff. parasitologica</i>							●									
		カワザンショウ科	ヒラドカワザンショウ	<i>"Assimineae" hiradoensis</i>																
		カワザンショウ科	カワザンショウガイ	<i>"Assimineae" japonica</i>							●									
		カワザンショウ科	カハタレカワザンショウ	<i>Xenassimineae nana</i>																
		カワザンショウ科	オオウスイロヘソカドガイ	<i>Paludinellassimineae tanegashimae</i>							●									
		ワカウラツボ科	カワグチツボ	<i>Fluvioeingula elegantula</i>																
		ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>									●							
		タマガイ科	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i>																
		タマガイ科	ツメタガイ	<i>Neverita didyma</i>	●	●														
		タマガイ科	ホソヤツメタ	<i>Neverita didyma hosoyai</i>																
		イトカケガイ科	ナガヒメネジガイ	<i>Epitonium castum</i>																
		イトカケガイ科	クレハガイ	<i>Epitonium clementinum</i>																
		カリバガサ科	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>	●	●	●					●	●	●	●	●				
		コロモガイ科	コロモガイ	<i>Sydaphera spengleriana</i>																
		タモトガイ科	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>																
		オリイレヨフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>			●													
		オリイレヨフバイ科	アラムシロ	<i>Reticunassa festiva</i>	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●
		オリイレヨフバイ科	キヌボラ	<i>Reticunassa roissyi</i>		●	●													
		アッキガイ科	アカニシ	<i>Rapana venosa venosa</i>	●	●	●					●	●	●	●	●				

付表3 出現生物種群一覽(地点1-16)

				観察地No.															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふる さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																
	アツキガイ科	イボニシ	<i>Reishia clavigera</i>	●	●	●					●	●	●	●	●			●	
	アツキガイ科	レイシ	<i>Reishia bronni</i>	●								●	●		●	●			
ウミウシ・キセウタ類	39 種群	ガクバンゴウナ科	イリエゴウナ								●	●		●	●				
		オオシイノミガイ科	ムラクモキジビガイ			●													
		マメウラシマ科	マメウラシマ			●													
		イロウミウシ科	シロウミウシ																
		イロウミウシ科	シラユキウミウシ																
		フジタウミウシ科	ハナデンシャ	<i>Kalinga ornata</i>															
		フジタウミウシ科	クロコソデウミウシ	<i>Polycera hedgpethi</i>	●														
		ネコジタウミウシ科	ムツイバラウミウシ	<i>Bermudella distincta</i>									●		●				
		ネコジタウミウシ科	シロイバラウミウシ	<i>Bermudella japonica</i>									●		●				
		クロシタナシウミウシ科	クロシタナシウミウシ	<i>Dendrodoris arborescens</i>	●								●						
		スギノハウミウシ科	アミメイトヒキウミウシ	<i>Pseudobornella</i> sp. 1									●			●			
		メリベウミウシ科	メリベウミウシ属の一種	<i>Melibe</i> sp.															
		フジエラミノウミウシ科	コウワンミノウミウシ	<i>"Cuthona" cf. perca</i>															
		フジエラミノウミウシ科	クロゴミノウミウシ	<i>Tenellia adspersa</i>															
		フジエラミノウミウシ科	コマユミノウミウシ	<i>Trinchesia pupillae</i>									●			●			
		オオミノウミウシ科	サラームミノウミウシ	<i>Baeolidia cf. salaamica</i>															
		オオミノウミウシ科	カスミノウミウシ	<i>Cerberilla asamusiensis</i>															
		オオミノウミウシ科	イロミノウミウシ(イズミミノウミウシ)	<i>Spurilla braziliانا</i>															
		ヨツスジミノウミウシ科	スナチゴミノウミウシ	<i>Favorinus</i> sp. 2													●		
		ヨツスジミノウミウシ科	アカエラミノウミウシ	<i>Sakuraeolis enosimensis</i>	●												●		
		-	オオミノウミウシ亜目の一種	<i>Aeolidiina</i> fam. gen. sp.													●		
		-	裸鰓目	<i>Nudibranchia</i>									●			●			
		ヘコミツララ科	ヒメコメツブ	<i>Retusa minima</i>															
		ブドウガイ科	カミスジカイコガイダマシ	<i>Cylichnatys yamakawai</i>															
		ブドウガイ科	ブドウガイ	<i>Haloe japonica</i>	●	●													
		キセウタ科	キセウタガイ	<i>Philine orientalis</i>	●	●											●		
		カノコキセウタ科	ヤミコキセウタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>	●	●											●		
		カノコキセウタ科	タンガレキセウタ	<i>Melanochlamys kohi</i>	●	●												●	●
		カノコキセウタ科	カノコキセウタ	<i>Philinopsis cf. giglioli</i>	●	●											●		●
		クダタマガイ科	コメツブガイ	<i>Deconifer insignis</i>	●	●													
		クダタマガイ科	マツシマコメツブ	<i>Deconifer matusimanus</i>	●	●													
		アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>	●	●										●			
		アメフラシ科	トゲアメフラシ	<i>Bursatella leachii</i>	●	●						●	●	●		●			
		アメフラシ科	タツナミガイ	<i>Dolabelia auricularia</i>															
		アメフラシ科	ウミナメウジ	<i>Petalifera punctulata</i>															
		アメフラシ科	ヒメミドリアメフラシ	<i>Stylocheilus longicauda</i>															
		チドリミドリガイ科	クロミドリガイ	<i>Elysia atroviridis</i>	●											●			
		チドリミドリガイ科	コノハミドリガイ	<i>Elysia ornata</i>	●														
		チドリミドリガイ科	イズミミドリガイ	<i>Elysia nigrocapitata</i>													●		
		ハダカモウミウシ科	アリモウミウシ	<i>Ercolania boodleeae</i>		●							●			●			
		ハダカモウミウシ科	ミドリアマモウミウシ	<i>Placida babai</i>											●				
		ハダカモウミウシ科	ベルグウミウシ	<i>Stiliger berghi</i>												●			
		コウダカカラマツ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>		●									●				
		トウガタガイ科	シオガマクチキレ	<i>Brachystomia siogamensis</i>			●												
		トウガタガイ科	ヨコイトカケギリ	<i>Cingulina circinata</i>		●													
		トウガタガイ科	ヒガタヨコイトカケギリ	<i>Cingulina</i> aff. <i>circinata</i>		●													
		トウガタガイ科	ヨコイトカケギリダマシ	<i>Cingulina terebra</i>		●													
		トウガタガイ科	ミスジヨコイトカケギリ	<i>Cingulina triarata</i>		●													
		トウガタガイ科	ヨコイトカケギリ近似種	<i>Cingulina</i> sp.		●													
		トウガタガイ科	クチキレモドキの一種	<i>"Odostomia" sp.</i>															
	トウガタガイ科	クチキレガイ	<i>Tiberia pulchella</i>		●														
	トウガタガイ科	シロイトカケギリ	<i>Turbonilla candida</i>											●					
	イソチドリ科	<i>Leucotina</i> 属の一種	<i>Leucotina</i> sp.																
	オカミミガイ科	ウスコミミガイ	<i>Laemodonta exaratooides</i>																
	オカミミガイ科	ナギサノシタタリ	<i>Microtralia acteocinoides</i>																
	-	腹足綱ベリジャー-幼生	<i>Veliger</i> of Gastropoda												●				
二枚貝類	42 種群	イガイ科	ムラサキイガイ		●										●				
		イガイ科	ミドリイガイ			●									●				
		イガイ科	ホトトギス	●	●	●					●	●	●		●				
		イガイ科	コウロエンカワヒバリ	●		●	●		●			●	●	●	●		●	●	
		イガイ科	コケガラス		●														
		イガイ科	ヒバリガイ		●														
		フネガイ科	アカガイ	<i>Anadara broughtonii</i>															
		フネガイ科	サルボオ	<i>Anadara kagoshimensis</i>	●	●	●				●	●		●	●	●			

付表4 出現生物種群一覧(地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふ さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																	
	フネガイ科	カリガネエガイ	<i>Barbatia obtusoides</i>																	
	ナミマガシワ科	ナミマガシワ	<i>Anomia chinensis</i>		●															
	イタボガキ科	マガキ	<i>Magallana gigas</i>		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●
	イタボガキ科	ケガキ	<i>Saccostrea kegaki</i>			●														
	ウグイスガイ科	モンウグイス	<i>Pteria contumix</i>																	
	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>					●	●									●	●	●
	オキナガイ科	オキナガイ科の一種	<i>Laternulidae</i> gen. sp.																	
	マテガイ科	エゾマテガイ	<i>Solen krusensternii</i>			●														
	マテガイ科	マテガイ	<i>Solen strictus</i>		●	●		●										●		
	ナタメガイ科	ミソガイ	<i>Siliqua pulchella</i>																	
	ウロコガイ科	オウギウロコガイ	<i>Galeommella utinomii</i>																	
	チリハギ科	マルヤドリガイ	<i>Montacutona japonica</i>			●														
	チリハギ科	ガタヅキ	<i>Arthritica cf. reikoe</i>																	
	チリハギ科	チリハギ	<i>Lasaea undulata</i>																	
	ザルガイ科	トリガイ	<i>Fulvia mutica</i>									●								
	ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>			●														
	ニッコウガイ科	ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i>																	
	ニッコウガイ科	カバザクラ	<i>Nitidotellina valtonis</i>																	
	ニッコウガイ科	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i>																	
	ニッコウガイ科	ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>			●							●			●		●		
	シオサザナミ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>			●								●						
	アサジガイ科	シズクガイ	<i>Theora lubrica</i>			●						●	●	●		●				
	バカガイ科	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>			●						●	●	●	●					
	バカガイ科	シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>		●	●		●		●		●	●		●			●	●	●
	チトセノハナガイ科	チヨノハナガイ	<i>Raeta pulchella</i>									●						●	●	
	フタバシラガイ科	ウメノハナガイモドキ	<i>Felaniella sowerbyi</i>									●								
	フナガタイ科	ウネナシトマヤ	<i>Neotrapezium liratum</i>																●	●
	ケンハマグリ科	ケシトリガイ	<i>Alveinus gianus</i>										●							
	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Cyclina aff. sinensis</i>					●	●	●								●	●	
	マルスダレガイ科	カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>		●	●												●		
	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>			●		●	●			●	●	●	●	●		●		●
	マルスダレガイ科	ウチムラサキ	<i>Saxidomus purpurata</i>																	
	マルスダレガイ科	ヒメカノアサリ	<i>Timoclea scabra</i>			●														
	マルスダレガイ科	ハマグリ近似種	<i>Meretrix aff. lusoria</i>					●				●				●		●	●	●
	マルスダレガイ科	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>																	
	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●
	マルスダレガイ科	ヒメアサリ近似種	<i>Ruditapes aff. aspera</i>																	
	マルスダレガイ科	ウスカラシオツガイ	<i>Petricola</i> sp.			●						●	●	●	●	●				
	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>																	●
	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>					●	●											●
	ハナグモリ科	ハナグモリ	<i>Glaucanome angulata</i>														●	●	●	●
	カワホトギス科	イガイダマシ	<i>Mytilopsis salei</i>										●			●				
	オオノガイ科	ヒメマスオ	<i>Cryptomya busoensis</i>																	
	オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya japonica</i>																	
	-	二枚貝綱ベリジャー幼生	Veliger of Bivalvia																	
タコ・イカ類				3 種群	コウイカ科	コウイカ	<i>Sepia (Platysepio) esculenta</i>													
		コウイカ科	コウイカ属の一種				<i>Sepia</i> sp.													
		ダンゴイカ科	ミミイカ属の一種		●		<i>Euprymna</i> sp.													
		ヒメイカ科	ヒメイカ		●	●	<i>Idiosepius paradoxus</i>						●		●					
		ヤリイカ科	ジンドウイカ属?				<i>Loliolus?</i> sp.													
		ヤリイカ科	アオリイカ				<i>Sepioteuthis lessoniana</i> auct. japon.	●(卵囊)												
		マダコ科	イイダコ				<i>Amphioctopus ocellatus</i>													
		マダコ科	マダコ				<i>Octopus sinensis</i>													
		-	八腕形目			●	<i>Octopoda</i>						●							
環形動物(ゴカイ類)				114 種群	モロテゴカイ科	<i>Magelona</i> 属の一種	<i>Magelona</i> sp.													
		チマキゴカイ科	チマキゴカイ			●	<i>Owenia gomsoni</i>								●					
		ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ			●	<i>Chaetopterus cautus</i>		●						●	●				
		ツバサゴカイ科	ムギワラムシ			●	<i>Mesochaetopterus japonicus</i>													
		ツバサゴカイ科	アシビキツバサゴカイ近似種				<i>Spiochaetopterus aff. okudai</i>													
		ツバサゴカイ科	サンパンセツツバサゴカイ				<i>Spiochaetopterus sanbanzensis</i>					●								
		スジホシムシ科	スジホシムシ			●	<i>Sipunculus nudus</i>													
		スジホシムシモドキ科	スジホシムシモドキ				<i>Siphonosoma cumanense</i>													
		-	“スジホシムシ目”の一種			●	“Sipunculidea” fam. gen. sp.													
		フクロホシムシ科	クロホシムシ				<i>Thysanocardia nigra</i>													
		ウロコムシ科	ミロクウロコムシ				<i>Halosydna nebulosa</i>													
		ウロコムシ科	マダラウロコムシ			●	<i>Harmothoe cf. imbricata</i>				●	●	●		●	●				

付表5 出現生物種群一覧 (地点1-16)

分類群	科	和名	学名	観察地No.															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふ さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
	ウロコムシ科	ウロコムシ亜科の一種	<i>Polynoinae</i> gen. sp.																
	ウロコムシ科	ハモチウロコムシ	<i>Lepidonotus dentatus</i>																
	ウロコムシ科	サンハチウロコムシ	<i>Hermilepidonotus helotypus</i>																
	ウロコムシ科	<i>Ophthalmoneoe</i> 属の一種	<i>Ophthalmoneoe</i> ? sp.									●							
	ウロコムシ科	ウロコムシ科	Polynoidae											●					
	ウロコムシ科	ウロコムシ科ネクトキータ幼生	Nectochaeta of Polynoidae																
	シリス科	シロマダラシリス	<i>Syllis adamantea</i>							●		●	●	●	●				
	シリス科	ブチシリス	<i>Syllis lunaris</i>			●													
	シリス科	<i>Syllis</i> 属の一種	<i>Syllis</i> sp.									●		●					
	シリス科	ミドリシリス	<i>Megasyllis nipponica</i>																
	シリス科	クロエリシリス	<i>Odontosyllis undecimdonta</i>																
	シリス科	シリス科	Syllidae								●			●					
	シロガネゴカイ科	コクチョウシロガネゴカイ	<i>Nephtys californiensis</i>																
	シロガネゴカイ科	コクテンシロガネゴカイ	<i>Nephtys neopolybranchia</i>		●														
	シロガネゴカイ科	ミナミシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>		●									●					
	シロガネゴカイ科	<i>Nephtys</i> 属の一種	<i>Nephtys</i> sp.																
	カギゴカイ科	ハナオカカギゴカイ	<i>Sigambra hanaokai</i>		●						●	●		●	●				
	カギゴカイ科	カギゴカイ属の一種	<i>Sigambra</i> sp.																
	ゴカイ科	オイワケゴカイ	<i>Namanereis littoralis complex</i>							●			●		●				
	ゴカイ科	イトメ	<i>Tylorrhynchus osawai</i>																
	ゴカイ科	コケゴカイ	<i>Simplisetia erythraensis</i>		●						●	●					●		●
	ゴカイ科	ツルヒゲゴカイ	<i>Platynereis bicanaliculata</i>		●														
	ゴカイ科	クマドリゴカイ	<i>Perinereis euiini</i>										●	●					
	ゴカイ科	デンガクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>			●													
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>							●							●		●
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイまたはヒメヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i> or <i>H. atoka</i>																
	ゴカイ科	ヒメゴカイ	<i>Neanthes acuminata complex</i>		●														
	ゴカイ科	アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>		●	●				●	●	●	●	●	●				●
	ゴカイ科	オウギゴカイ	<i>Nectoneanthes oxyopoda</i>		●														
	ゴカイ科	ヒゲブトゴカイ	<i>Nereis heterocirrata</i>																
	ゴカイ科	マサゴゴカイ	<i>Nereis multignatha</i>											●					
	ゴカイ科	ゴカイ科の一種	Nereididae gen. sp.				●											●	
	ゴカイ科	ゴカイ科ネクトキータ幼生	Nectochaeta of Nereididae																
	オトヒメゴカイ科	モグリオトヒメ	<i>Oxydromus okudai</i>									●							
	オトヒメゴカイ科	<i>Oxydromus</i> 属の一種	<i>Oxydromus</i> sp.			●						●	●		●				
	オトヒメゴカイ科	<i>Nereimyra</i> 属の一種	<i>Nereimyra</i> sp.									●		●	●				
	オトヒメゴカイ科	<i>Syllidia</i> 属の一種	<i>Syllidia</i> sp.											●	●				
	オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科	Hesionidae																
	チロリ科	マイヅルチロリ	<i>Glycera americana</i>																
	チロリ科	ヒガタチロリ	<i>Glycera macintoshi</i>																
	チロリ科	チロリ	<i>Glycera nicobarica</i>									●					●		
	チロリ科	<i>Glycera</i> 属	<i>Glycera</i> sp. or spp.		●						●			●					
	チロリ科	チロリ科	Glyceridae																
	ニカイチロリ科	チャメチヨリ	<i>Glycinde wireni</i>		●														
	サシハゴカイ科	ホソミサシハ	<i>Eteone</i> cf. <i>longa</i>		●							●			●				
	サシハゴカイ科	サミドリサシハ	<i>Eulalia</i> cf. <i>viridis</i>									●		●					
	サシハゴカイ科	<i>Eumida</i> 属の一種	<i>Eumida</i> sp.		●					●		●			●				
	サシハゴカイ科	アケノサシハ	<i>Nereiphylla castanea</i>											●					
	サシハゴカイ科	<i>Phyllodoce</i> 属の一種	<i>Phyllodoce</i> sp.																
	サシハゴカイ科	サシハゴカイ科の一種	Phyllodocidae gen. sp.										●						
	イソメ科	イソメの一種	<i>Eunice</i> sp.																
	イソメ科	イワムシ種群の一種A	<i>Marphysa</i> sp. A																
	イソメ科	イワムシ種群の一種E	<i>Marphysa</i> sp. E																
	イソメ科	イワムシ種群	<i>Marphysa</i> spp. cf. <i>iwamushi</i>																
	ナナテイソメ科	スゴカイイソメ	<i>Diopatra sugokai</i>		●														●
	ナナテイソメ科	エノシマイソメ	<i>Kinbergonuphis enoshimaensis</i>																
	ギボシイソメ科	コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>																
	ギボシイソメ科	ギボシイソメ科の一種	Lumbrineridae gen. sp.																
	コイソメ科	ルドルフイソメ	<i>Schistomerings</i> cf. <i>rudolphii</i>			●						●	●	●	●				
	コイソメ科	ナミウチコモチコイソメ	<i>Ophryotrocha urbis</i>																
	ホコサキゴカイ科	ツブラホコムシ	<i>Naineris laevigata</i>																
	ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ種群	<i>Cirriformia</i> sp. or spp.	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●				
	ミズヒキゴカイ科	<i>Dodecaceria</i> 属の一種	<i>Dodecaceria</i> sp.								●	●	●	●	●				
	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>							●	●	●	●	●	●				
	カンザシゴカイ科	ヤグルマカンザシ	<i>Hydroides dirampha</i>								●	●	●	●	●				
	カンザシゴカイ科	エゾカサネカンザシ	<i>Hydroides ezoensis</i>	●	●					●	●	●	●	●	●				
	カンザシゴカイ科	カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i>								●	●	●	●	●				
	カンザシゴカイ科	ナデシコカンザシ	<i>Hydroides</i> cf. <i>dianthus</i>			●					●	●	●	●	●				

付表6 出現生物種群一覽(地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふる さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																	
	カンザシゴカイ科	<i>Hydroides</i> 属の一種	<i>Hydroides</i> sp.			●									●					
	カンザシゴカイ科	ヤッコカンザシ	<i>Spirobranchus akitsushima</i>																	
	カンザシゴカイ科	ウズマキゴカイ亜科の一種	<i>Spirorbinae</i> gen. sp.	●																
	カンザシゴカイ科	カンザシゴカイ科の一種	<i>Serpulidae</i> gen. sp.																●	
	ケヤリムシ科	コウキケヤリ	<i>Chone infundibuliformis</i>	●																
	ケヤリムシ科	アマクサケヤリムシ?	<i>Paradialychone cincta?</i>																	
	ケヤリムシ科	ウメタテケヤリムシ	<i>Paradialychone edomae</i>			●										●				
	ケヤリムシ科	ヒガタケヤリムシの一種	<i>Laonome</i> sp.														●			
	ケヤリムシ科	<i>Parasabella</i> 属の一種	<i>Parasabella</i> sp.			●		●				●	●			●	●			
	ケヤリムシ科	ニッポンケヤリムシ	<i>Sabellastarte japonica</i>																	
	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科の一種	<i>Sabellidae</i> gen. sp.																	
	スピオ科	ケンサクスピオ	<i>Aonides oxyccephala</i>																	
	スピオ科	シノフハネエラスピオ	<i>Parapriospio patiens</i>			●	●					●	●		●		●			
	スピオ科	ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>									●								
	スピオ科	ミツバネスピオ	<i>Prionospio krusadensis</i>									●								
	スピオ科	イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>			●						●	●							
	スピオ科	ヒゲスピオ	<i>Rhynchospio glandulosa</i>			●								●						
	スピオ科	トガリスピオ	<i>Scolecopsis (Scolecopsis) kudenovi</i>													●				
	スピオ科	シタダスピオ	<i>Scolecopsis (Scolecopsis) lingulata</i>																	
	スピオ科	<i>Scolecopsis</i> 属の一種	<i>Scolecopsis</i> sp.			●														
	スピオ科	マドカスピオ	<i>Spio pigmentata</i>			●						●								
	スピオ科	エラナスピオ	<i>Spiohanes cf. ushakowi</i>										●			●				
	スピオ科	ホソエリタデスピオ	<i>Streptosipio japonica</i>										●							
	スピオ科	ヒガタスピオ	<i>Polydora cornuta</i>				●				●		●		●		●			
	スピオ科	<i>Polydora neocaea</i>	<i>Polydora neocaea</i>														●			
	スピオ科	<i>Polydora websteri</i>	<i>Polydora websteri</i>														●			
	スピオ科	<i>Polydora</i> 属	<i>Polydora</i> sp. or spp.									●					●			
	スピオ科	ドロオニスピオ	<i>Pseudopolydora cf. kempi</i>									●					●			
	スピオ科	アミメオニスピオ	<i>Pseudopolydora bassarginensis</i>			●						●	●				●			

観察地No.

				観察地No.															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 鳥公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 鳥公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森ふる さとの沢込 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群		科	和名	学名															
節足動物(ウミグモ類・甲殻類)	181 種群	イソウミグモ科	フタイボイソウミグモ	Achelgia bituberculata															
		イソウミグモ科	シマウミグモ	Ammothea hilgendorfi															
		イソウミグモ科	イソウミグモ科	Ammotheidae															
		トックリウミグモ科	カイヤドリウミグモ	Nymphonella tapetis															
		カニノテウミグモ科	カニノテウミグモ科	Callipallenidae															
		-	ウミホタル垂綱の一種	Myodocopida fam. gen. sp.															
		-	貝形虫綱	Ostracoda															
		シダ科	ウスカワミジンコ	Penilia avirostris															
		ウミオオメジンコ科	ノルドマンエボシミジンコ	Evadne nordmanni															
		ウミオオメジンコ科	ウミオオメジンコ属	Podon sp.															
		ウミオオメジンコ科	トゲナシエボシミジンコ	Pseudevadne tergestina															
		アカルチア科	Acartia omorii	Acartia omorii															
		セントロバジェス科	Centropages abdominalis	Centropages abdominalis															
		プセウドディアプトムス科	Pseudodiaptomus marinus	Pseudodiaptomus marinus															
		プセウドディアプトムス科	Pseudodiaptomus yamato	Pseudodiaptomus yamato															
		バラカラヌス科	バラカラヌス属	Paracalanus sp.															
		バラカラヌス科	Parvocalanus crassirostris	Parvocalanus crassirostris															
		ソコムジンコ科	シオダマリミジンコ属	Tigriopus sp.															
		ヨコムジンコ科	ヒラアシヨコムジンコ属	Syngastes sp.															
		-	ソコムジンコ目	Harpacticoida															
		クラウンジウム科	Hemicyclops gomsoensis	Hemicyclops gomsoensis															
		クラウンジウム科	Hemicyclops japonicus	Hemicyclops japonicus															
		クラウンジウム科	Hemicyclops 属の一種	Hemicyclops sp.															
		ゴカイミジンコ科	ゴカイミジンコ科	Clausidae															
		コリケウス科	Ditrichocorycaeus affinis	Ditrichocorycaeus affinis															
		オンケア科	オンケア属	Oncaeae sp.															
		オイトナ科	Oithona davisae	Oithona davisae															
		オイトナ科	Oithona similis	Oithona similis															
		モンストリラ科	Monstrilopsis 属の一種	Monstrilopsis cf. longilobata															
		モンストリラ科	モンストリラ科	Monstrilloidea															
		ウオジラム科	トウヨウウオジラム	Caligus orientalis															
		ウオジラム科	クロダイウオジラム	Caligus latigenitalis															
		ウオジラム科	ウキウオジラム	Caligus undulatus															
		ウオジラム科	ウオジラムの一種	Caligus sp.															
		ウオジラム科	ウオジラム属のノープリウス幼生	Nauplius of Caligus sp.															
		ウオジラム科	ウオジラム属のコペポデイド幼生	Copepodid of Caligus sp.															
		エボシガイ科	エボシガイ	Lepas anatifera															
		ミウガガイ科	カメノテ	Capitulum mitella															
		イワフジツボ科	イワフジツボ	Githamalus challengeri															
		フジツボ科	ドロフジツボ	Fistulobalanus kondakovi															
		フジツボ科	シロスジフジツボ	Fistulobalanus albicostatus															
		フジツボ科	タテジマフジツボ	Amphibalanus amphitrite															
		フジツボ科	アメリカフジツボ	Amphibalanus eburneus															
		フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	Amphibalanus improvisus															
		フジツボ科	サンカクフジツボ	Balanus trigonus															
		フジツボ科	アカフジツボ	Megabalanus rosa															
		フジツボ科	フジツボ科の一種	Balanidae gen. sp.															
		クロフジツボ科	クロフジツボ	Tetraclitia japonica															
		-	フジツボ目のノープリウス幼生	Nauplius of Balanomorpha															
		-	フジツボ目のキプリス幼生	Cypirs of Balanomorpha															
フクロムシ科	アナジャコフクロムシ	Sacculina upogebiae																	
シャコ科	シャコ	Oratosquilla oratoria																	
コノハエビ科	コノハエビ	Nebalia cf. japonensis																	
アミ科	ニホンイサザアミ	Neomysis japonica																	
アミ科	イサザアミ	Neomysis awatschensis																	
アミ科	Neomysis 属	Neomysis sp. or spp.																	
テングヨコエビ科	テングヨコエビ属の一種	Pleustes sp.																	
タテソコエビ科	Stenothoe 属の一種	Stenothoe sp.																	
ツノヒゲソコエビ科	Eohaustorius 属の一種	Eohaustorius sp.																	
タカラソコエビ科	ナйкаイツノフトソコエビ?	Orchomenella littoralis ?																	
ナミノリソコエビ科	ウスゲナミノリソコエビ	Haustorioides furotai																	
モクズソコエビ科	Apothyale 属の一種	Apothyale sp.																	
モクズソコエビ科	フサゲモクズ	Ptilothyale barbicornis																	
モクズソコエビ科	モクズソコエビ科の一種	Hyalidae gen. sp.																	
ハマトビムシ科	ミナミホソハマトビムシ	Pyatakoveestia iwasai																	
ハマトビムシ科	ニホンスナハマトビムシ	Sinorchestia nipponensis																	
ハマトビムシ科	タイヘイヨウヒメハマトビムシ	Platorchestia pacifica																	
ハマトビムシ科	ヒメハマトビムシ種群	Platorchestiinae																	

観察地No.

				観察地No.																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
				横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森・ふ さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)	
分類群	科	和名	学名																	
	ウンボソコエビ科	ブラブラソコエビ	<i>Aoroides curvipes</i>																	
	ウンボソコエビ科	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>		●							●	●	●	●	●				
	ウンボソコエビ科	ヒメドロソコエビ	<i>Paragrandidierella minima</i>														●			
	ドロクダムシ科	アリアゲドロクダムシ	<i>Monocorophium acherusicum</i>									●	●	●	●	●				
	ドロクダムシ科	トンガリドロクダムシ	<i>Monocorophium insidiosum</i>			●				●	●	●	●	●	●	●				
	ドロクダムシ科	ウエノドロクダムシ	<i>Monocorophium uenoi</i>							●		●		●	●					
	ドロクダムシ科	ニホンドロクダムシ	<i>Sinocorophium japonicum</i>																	
	ドロクダムシ科	タイリクドロクダムシ?	<i>Sinocorophium sinensis?</i>																	
	ドロクダムシ科	ドロクダムシ亜科	<i>Corophinae</i> gen. sp.	●	●			●					●							
	ヒゲナガヨコエビ科	ニッポンモバヨコエビ	<i>Amphithoe lacertosa</i>		●															
	ヒゲナガヨコエビ科	ヨツデヒゲナガ	<i>Amphithoe tarasovi</i>		●															
	ヒゲナガヨコエビ科	モズミヨコエビ	<i>Amphithoe valida</i>																	
	ワレカラ科	クビナガワレカラ	<i>Caprella equilibra</i>		●						●	●	●	●	●	●	●			
	ワレカラ科	テナガワレカラ	<i>Caprella giganteochir</i>							●		●	●		●	●				
	ワレカラ科	オオワレカラ	<i>Caprella kroeyeri</i>	●								●	●		●	●				
	ワレカラ科	マルエラワレカラ	<i>Caprella penantis</i>	●								●	●	●	●	●				
	ワレカラ科	トゲワレカラ	<i>Caprella scaura</i>	●	●						●	●	●	●	●	●	●			
	ワレカラ科	カマテワレカラ	<i>Caprella simia</i>										●	●	●	●				
	ワレカラ科	<i>Caprella</i> 属	<i>Caprella</i> sp. or spp.									●	●		●	●				
	カマキリヨコエビ科	カマキリヨコエビ属の一種	<i>Jassa</i> sp.									●	●		●					
	メリタヨコエビ科	カギメリタヨコエビ	<i>Melita koreana</i>																	
	メリタヨコエビ科	フトメリタヨコエビ	<i>Melita rylovae</i>												●					
	メリタヨコエビ科	ヒゲツノメリタヨコエビ	<i>Melita setiflagella</i>								●	●	●	●	●	●				
	メリタヨコエビ科	シミズメリタヨコエビ	<i>Melita shimizui</i>													●				
	メリタヨコエビ科	<i>Melita</i> 属の一種	<i>Melita</i> sp.										●			●				
	アゴナガヨコエビ科	アゴナガヨコエビ	<i>Pontogeneia rostrata</i>																	
	キタヨコエビ科	ボシエツツゲオコエビ	<i>Eogammarus possjeticus</i>		●															
	-	"ヨコエビ類"	"Gammaridea"																	
	ウミズムシ科	<i>Iais</i> 属の一種	<i>Iais</i> sp.																●	●
	スナウミナナフシ科	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>					●												●
	ウミナナフシ科	ウミナナフシの一種	<i>Paranthura</i> sp.												●			●		
	スナホリムシ科	スナホリムシ科の複数種	<i>Cirolanidae</i> gen. spp.															●		
	ウオノエ科	サツバノギンカ	<i>Anilocra clipeii</i>																	
	ウオノエ科	サヨリヤドリムシ	<i>Mothocyra parvostis</i>																	
	ウオノエ科	ウオノエ科のマンカ幼生	Manca of Cymothoidae																	
	エビヤドリムシ科	スナモグリノエラヤドリ	<i>Pseudione longicauda</i>																	
	エビヤドリムシ科	スナモグリヤドリムシ	<i>Ione cornuta</i>																	
	エビヤドリムシ科	マメコブシヤドリムシ	<i>Apocopepon pulcher</i>																	
	-	ヤドリムシ亜目のエビカリディア幼生	Epicarida of Epicaridea																	
	ヘラムシ科	<i>Idotea</i> 属の一種	<i>Idotea</i> sp.																	
	ヘラムシ科	ハナビラヘラムシ	<i>Synidotea ezoensis</i>																	
	ヘラムシ科	オヒラキヘラムシ	<i>Cleantiella strasseni</i>																	
	ヘラムシ科	ヘラムシ科の一種	<i>Idoteidae</i> gen. sp.																	
	ヘラムシ科	ホソヘラムシ属の一種	<i>Cleantioides</i> sp.																	
	フナムシ科	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>	●	●						●	●	●	●	●	●			●	●
	フナムシ科	アオホシフナムシ	<i>Ligia laticarpa</i>									●	●		●	●				
	フナムシ科	フナムシ種群	<i>Ligia</i> cf. <i>exotica</i>		●										●	●				
	コツブムシ科	ヨツバコツブムシ	<i>Sphaeroma retrolaevis</i>												●	●				
	コツブムシ科	ナナツバコツブムシ	<i>Sphaeroma sieboldii</i>													●				
	コツブムシ科	<i>Gnorimosphaeroma</i> 属	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp. or spp.								●	●	●	●	●	●				●
コツブムシ科	シリケンウミセミ	<i>Dynoides dentisinus</i>												●	●					
コツブムシ科	<i>Dynoides</i> 属の一種	<i>Dynoides</i> sp.												●	●					
タナイス科	キシイタナイス	<i>Sinelobus kisuii</i>												●	●					
タナイス科	ゼウクソ属の一種	<i>Zeuxo</i> sp.												●	●					
タナイス科	タナイス科の一種	<i>Tanaidae</i> gen. sp.																		
クーマ科	ミツオビクーマ	<i>Diastylis tricornata</i>												●						
-	クーマ目	<i>Cumacea</i>																		
クルマエビ科	フトミソエビ	<i>Melicertus laticulcatus</i>																		
クルマエビ科	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>	●																	
クルマエビ科	ウシエビ	<i>Penaeus monodon</i>	●																	
クルマエビ科	クマエビ	<i>Penaeus semisulcatus</i>																		
サクラエビ科	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>																		
テッポウエビ科	テッポウエビ	<i>Alopheus brevirostratus</i>	●											●			●			
テナガエビ科	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>					●										●			
テナガエビ科	ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	●	●			●					●	●	●	●	●	●		●	
テナガエビ科	アシナガスジエビ	<i>Palaemon ortmanni</i>	●						●			●	●	●	●	●	●	●	●	
テナガエビ科	イソスジエビ	<i>Palaemon pacificus</i>																		
テナガエビ科	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>														●				

付表9 出現生物種群一覽 (地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森ふり さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)	
分類群	科	和名	学名																		
	テナガエビ科	スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>		●																
	テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	<i>Palaemon sinensis</i>																		
	テナガエビ科	<i>Palaemon</i> 属	<i>Palaemon</i> sp. or spp.																		
	テナガエビ科	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>									●	●		●	●	●	●	●	●	
	テッポウエビ科	イソテッポウエビもしくは近似種	<i>Alpheus</i> aff. <i>lobidens</i>																●		
	テッポウエビ科	フトオビイソテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp.															●		●	
	テッポウエビ科	ニセオニテッポウエビ	<i>Alpheus rapacida</i>																		
	テッポウエビ科	セジロムラサキエビ	<i>Athanas japonicus</i>																●		
	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	<i>Stenolpheops anacanthus</i>																		
	ヒゲナガモエビ科	アカシマモエビ	<i>Lysmata vittata</i>																		
	ヒメサンゴモエビ科	アシナガモエビモドキ	<i>Heptacarpus futilirostris</i>		●																
	モエビ科	ホソモエビ	<i>Latreutes acicularis</i>		●																
	モエビ科	ヘラモエビ	<i>Latreutes laminirostris</i>		●																
	エビジャコ科	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>		●	●									●	●			●	●	●
	エビジャコ科	カシオベエビジャコ	<i>Crangon cassiope</i>													●					
	エビジャコ科	エビジャコ属	<i>Crangon</i> sp. or spp.																●		
	-	コエビ下目(エビ類)のゾエア幼生	<i>Zoea</i> of <i>Caridea</i>																		
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>																		
	スナモグリ科	ニホンスナモグリ	<i>Neotrypaea japonica</i>			●					●		●	●	●	●	●			●	●
	スナモグリ科	ハルマンズスナモグリ	<i>Neotrypaea harmandi</i>																		
	ハサミシャコエビ科	ハサミシャコエビ	<i>Laomedea astacina</i>																		
	アナジャコ科	アナジャコ	<i>Upogebia major</i>						●									●	●		
	ヤドカリ科	コブヨコバサミ	<i>Clibanarius infraspinitatus</i>		●	●		●					●	●		●	●				
	ヤドカリ科	テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>		●	●															
	ヤドカリ科	ケブカヒメヨコバサミ	<i>Paguristes ortmanni</i>																		
	ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ	<i>Pagurus filholi</i>																		
	ホンヤドカリ科	ケアシホンヤドカリ	<i>Pagurus lanuginosus</i>		●																
	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>		●	●		●					●	●	●	●					
	ホンヤドカリ科	ヨモギホンヤドカリ	<i>Pagurus nigrofascia</i>															●	●		●
	カニダマシ科	フトウデネジレカニダマシ	<i>Pisidia serratifrons</i>																		
	カニダマシ科	カニダマシ科の一種	<i>Porcellanidae</i> gen. sp.																		
	カニダマシ科	カニダマシ科のゾエア幼生	<i>Zoea</i> of <i>Porcellanidae</i>																		
	キンセンガニ科	キンセンガニ	<i>Matuta victor</i>		●	●															
	イチョウガニ科	コイチョウガニ	<i>Glebocarcinus amphioetus</i>																		
	イワオウギガニ科	イボイワオウギガニ	<i>Eriphia ferox</i>																		
	スベスベオウギガニ科	スベスベオウギガニ	<i>Sphaerozium nitidus</i>																		
	コブシガニ科	カネココブシガニ	<i>Philyra kanekoi</i>				●														
	コブシガニ科	ヒラコブシガニ	<i>Philyra syndactyla</i>																		
	コブシガニ科	マメコブシガニ	<i>Pyrhila pisum</i>		●	●			●												
	モガニ科	ニッポンモガニ	<i>Pugettia nipponensis</i>																●	●	●
	モガニ科	ヨツハマモガニ	<i>Pugettia quadridens</i>		●																
	イッカクモガニ科	イッカクモガニ	<i>Pyromaia tuberculata</i>											●			●				
	ミドリガニ科	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>																		
	ガザミ科	トゲノコギリガザミ	<i>Squilla paramamosain</i>															●			
	ガザミ科	ノコギリガザミの一種	<i>Squilla</i> sp.							●											
	ガザミ科	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>		●	●		●													
	ガザミ科	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>		●														●	●	
	ガザミ科	イシガニ	<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>		●	●		●					●	●		●	●		●		
	オウギガニ科	オウギガニ	<i>Leptodius affinis</i>																		
	オウギガニ科	シワオウギガニ	<i>Macromedaeus distinguendus</i>													●					
オウギガニ科	シワオウギガニ近似種？	<i>Macromedaeus</i> aff. <i>distinguendus</i> ?																			
ミナトオウギガニ科	ハクライオウギガニ	<i>Acantholobulus pacificus</i>							●			●									
イワガニ科	イワガニ	<i>Pachygrapsus crassipes</i>																			
イワガニ科	オキナガレガニ	<i>Planes major</i>																			
ショウジンガニ科	ショウジンガニ	<i>Guinusia dentipes</i>																			
ショウジンガニ科	ツブイボショウジンガニ	<i>Plagusia immaculata</i>																			
ショウジンガニ科	イボショウジンガニ	<i>Plagusia squamosa</i>							●							●	●			●	
ベンケイガニ科	アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>		●					●								●				
ベンケイガニ科	ウモレベンケイガニ	<i>Glistocoeloma sinense</i>							●								●	●			
ベンケイガニ科	ヒメベンケイガニ	<i>Nanosesarma minutum</i>																			
ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	<i>Orisarma dehaani</i>															●		●	●	
ベンケイガニ科	ベンケイガニ	<i>Orisarma intermedium</i>												●			●			●	
ベンケイガニ科	クシテガニ	<i>Parasesarma affine</i>															●				
ベンケイガニ科	フタバカクガニ	<i>Parasesarma bidens</i>																			
ベンケイガニ科	カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>																			
モクスガニ科	ヒライソガニ	<i>Gaetice depressus</i>											●	●		●		●	●	●	
モクスガニ科	ケアンヒライソガニ(仮称)	<i>Gaetice</i> cf. <i>ungulatus</i>													●						
モクスガニ科	ハマガニ	<i>Chasmagnathus convexus</i>																			

付表10 出現生物種群一覽 (地点1-16)

				観察地No.															
				1 横浜市 野島公園	2 横浜市 海の公園	3 横浜市 山下公園	4 大田区 多摩川河 口	5 大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	6 大田区 東京港前 島公園(前 浜干潟)	7 港区 竹芝干潟	8 港区 お台場海 浜公園(南 岸)	9 港区 お台場海 浜公園(北 岸)	10 大田区 大森 ふる さとの浜辺 公園	11 大田区 城南島海 浜公園(つ ばき浜)	12 大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	13 江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	14 江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	15 江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	16 江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																
	モクズガニ科	ヒメアシハラガニ	<i>Helicana japonica</i>																
	モクズガニ科	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>																
	モクズガニ科	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	●														●	
	モクズガニ科	スネナガイソガニ	<i>Hemigrapsus longitarsis</i>	●	●														
	モクズガニ科	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>				●												
	モクズガニ科	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>	●	●	●												●	
	モクズガニ科	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	●	●	●												●	
	ムツハリアケガニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	●	●	●					●	●	●	●	●	●		●	
	コメツギガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>					●										●	
	コメツギガニ科	コメツギガニ	<i>Scopimera globosa</i>	●			●		●								●	●	
	オサガニ科	オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>															●	
	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>				●		●				●			●	●	●	
	スナガニ科	スナガニ	<i>Ooypode stimpsoni</i>														●	●	
	カクレガニ科	アカホシマメガニ	<i>Indopinnixa haematosticta</i>																
	カクレガニ科	ギボシマメガニ	<i>Pinnixa balanoglossana</i>												●				
	カクレガニ科	バンズマメガニ	<i>Pinnixa banzu</i>																
	カクレガニ科	ラスバンマメガニ近似種	<i>Pinnixa</i> aff. <i>rathbuni</i>																
	-	オオシロビンノ	<i>Arcotheres sinensis</i>																
	-	短尾下目(カニ類)のゾエア幼生	Zoea of Brachyura																
	-	短尾下目(カニ類)のメガロバ幼生	Megalopa of Brachyura																
ギボシムシ類	2 種群	ギボシムシ科	ミサキギボシムシ	<i>Balanoglossus misakiensis</i>															
		ギボシムシ科	<i>Glossobalanus</i> 属の一種	<i>Glossobalanus</i> sp.															
		ギボシムシ科	ギボシムシ科の一種	Ptychoderidae gen. sp.															
ヒトデ・ウニ・ナマコ類	12 種群	スナヒトデ科	スナヒトデ	<i>Luidia quinaria</i>															
		モミジガイ科	トゲモミジガイ	●	●														
		モミジガイ科	モミジガイ	●	●														
		イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ	●			●												
		イトマキヒトデ科	チビイトマキヒトデ									●							
		トウクモヒトデ科	クシノハクモヒトデ										●						
		チビクモヒトデ科	ダイリンチビクモヒトデ																
		チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ				●					●							
		チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ科の一種																
		トゲクモヒトデ科	ナガトゲクモヒトデ																
		トゲクモヒトデ科	トゲクモヒトデ																
		-	クモヒトデ綱オフィオブルテウス幼生																
		-	クモヒトデ綱	●			●												
		サンショウウニ科	サンショウウニ	●		●													
		サンショウウニ科	コデマリウニ																
		ナガウニ科	ムラサキウニ																
		シカクナマコ科	アカナマコ	●															
		シカクナマコ科	マナマコ	●															
		イカリナマコ科	ウチワイカリナマコ近似種																
		イカリナマコ科	ヒモイカリナマコ																
ホヤ類	11 種群	マンジュウボヤ科	マンジュウボヤ	<i>Aplidium pliciferum</i>															
		ユウレイボヤ科	カタユウレイボヤ	●															
		ユウレイボヤ科	ユウレイボヤ	●															
		ユウレイボヤ科	<i>Ciona</i> 属						●		●								
		ナツメボヤ科	ナツメボヤの一種						●		●		●	●					
		シロボヤ科	“イタボヤ亜科”	●															
		シロボヤ科	シロボヤ	●															
		シロボヤ科	エボヤ	●	●		●												
		フクロボヤ科	マンハッタンボヤ																
		サルバ科	トガリサルバ			●													
		オタマボヤ科	オタマボヤ科						●			●	●						
魚類	115 種群	スタウナギ科	スタウナギ	<i>Eptatretus burgeri</i>															
		ドチザメ科	ドチザメ	<i>Triakis soyllum</i>															
		アカエイ科	アカエイ	●	●	●	●	●											
		ツバクロエイ科	ツバクロエイ						●		●		●	●					
		トビエイ科	トビエイ				●												
		カライワシ科	カライワシ																
		ウナギ科	ニホンウナギ													●	●		
		ウミヘビ科	ホタテウミヘビ			●											●		
		アナゴ科	マアナゴ								●								

付表11 出現生物種群一覽 (地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふる さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)
分類群	科	和名	学名																	
	ニシン科	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>			●		●										●		
	ニシン科	サツバ	<i>Sardinella zunasi</i>										●		●			●		
	ウルメイワシ科	ウルメイワシ	<i>Etrumeus micropus</i>												●					
	カタクチイワシ科	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>				●											●		●
	カマツカ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>																	
	カマツカ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>																	
	ウグイ科	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>															●		
	ウグイ科	ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>																	
	ウグイ科	ウグイ属	<i>Pseudaspius</i> sp.																	
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>																	
	ゴンズイ科	ゴンズイ	<i>Plotosus japonicus</i>		●															
	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>																	
	シラウオ科	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>																●	
	エソ科	オキエソ	<i>Trachinocephalus trachinus</i>		●															
	ヤガラ科	アオヤガラ	<i>Fistularia commersonii</i>																	
	ヨウジウオ科	ガンテンシヨウジ	<i>Hippichthys penicillus</i>																●	
	ヨウジウオ科	サンゴタツ	<i>Hippocampus mohnikei</i>																	
	ヨウジウオ科	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>		●															
	ヨウジウオ科	オクヨウジ	<i>Urocampus nanus</i>		●															
	ボラ科	オニボラ?	<i>Elochelone vaigiensis</i>							●				●		●				
	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>		●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●
	ボラ科	メナダ	<i>Planiliza haematocheilus</i>																	
	トウゴロイワシ科	トウゴロイワシ	<i>Dobsotherina bleekeri</i>		●								●							
	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>																	
	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>																	
	サヨリ科	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>		●															
	サヨリ科	サヨリ属の一種	<i>Hyporhamphus</i> sp.																	
	トビウオ科	ニノジトビウオ	<i>Hirundichthys speculiger</i>																	
	ダツ科	ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>																	
	ダツ科	ダツ科の一種	<i>Belonidae</i> gen. sp.																	
	フサカサゴ科	ミノカサゴ	<i>Pterois lunulata</i>																	
	メバル科	シロメバル	<i>Sebastes cheni</i>		●									●		●				
	メバル科	アカメバル	<i>Sebastes inermis</i>		●															
	メバル科	ムラソイ	<i>Sebastes pachycephalus</i>																	
	メバル科	メバル属の一種	<i>Sebastes</i> sp.																	
	メバル科	カサゴ	<i>Sebasticus marmoratus</i>		●			●												
	オニオコゼ科	オニオコゼ	<i>Inimicus japonicus</i>																	
	ホウボウ科	ホウボウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>		●															
	コチ科	イネゴチ	<i>Cociella crocodila</i>		●															
	コチ科	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp. 2		●			●					●	●		●		●	●	
	アイナメ科	クジメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>		●															
	アイナメ科	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>		●											●				
	カジカ科	アサヒアナハゼ	<i>Pseudoblennius cottoides</i>		●															
	カジカ科	アナハゼ	<i>Pseudoblennius percoides</i>																	
	イシナギ科	オオクチイシナギ	<i>Stereolepis doederleini</i>		●															
	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>		●			●	●				●	●			●		●	
	スズキ科	ヒラスズキ	<i>Lateolabrax latius</i>		●															
	テンジクダイ科	クロイシモチ	<i>Apogonichthyoides niger</i>					●												
	テンジクダイ科	オオスジイシモチ	<i>Ostorhinchus doederleini</i>																	
	テンジクダイ科	ネンブツダイ	<i>Ostorhinchus semilineatus</i>																	
シイラ科	シイラ	<i>Coryphaena hippurus</i>																		
アジ科	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>																		
アジ科	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i>																		
アジ科	マアジ	<i>Trachurus japonicus</i>			●										●					
ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Nucleoqula nuchalis</i>					●											●		
フエダイ科	ニセクロホシフエダイ	<i>Luftjanus fulviflamma</i>																		
フエダイ科	クロホシフエダイ	<i>Luftjanus russellii</i>																		
マツダイ科	マツダイ	<i>Lobotes surinamensis</i>																		
クロサギ科	クロサギ	<i>Gerres equulus</i>		●	●	●									●					
イサキ科	コロダイ	<i>Diagramma pictum</i>																		
イサキ科	イサキ	<i>Parapristipoma trilineatum</i>																		
イサキ科	コショウダイ	<i>Plectorhinchus cinctus</i>		●									●		●					
ヒゲダイ科	ヒゲノリダイ	<i>Haplogenyis nigripinnis</i>													●					
タイ科	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>		●			●								●	●	●			
タイ科	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>		●	●	●						●	●	●	●	●		●		
タイ科	マダイ	<i>Pagrus major</i>				●														
タイ科	ヘダイ	<i>Rhabdosargus sarba</i>																		
フエフキダイ科	フエフキダイ属の一種	<i>Lethrinus</i> sp.																		

付表12 出現生物種群一覽 (地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
					横浜市 野島公園	横浜市 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森・ふ さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)	
分類群	科	和名	学名																		
	ニベ科	ニベ	<i>Nibe mitsukurii</i>																		
	ニベ科	シログチ	<i>Pennahia argentata</i>																		
	キス科	シロギス	<i>Sillago japonica</i>																		
	ヒメジ科	オオスジヒメジ	<i>Parupeneus barberinus</i>												●						
	ヒメジ科	ヒメジ	<i>Upeneus japonicus</i>																		
	チョウチョウウオ科	チョウチョウウオ	<i>Chaetodon auripes</i>																		
	チョウチョウウオ科	セグロチョウチョウウオ	<i>Chaetodon ephippium</i>																		
	チョウチョウウオ科	アケボノチョウチョウウオ	<i>Chaetodon melanotus</i>	●			●														
	チョウチョウウオ科	ムレハタテダイ	<i>Heniochus diphreutes</i>																		
	ウミタナゴ科	マタナゴ	<i>Ditrema temminckii pacificum</i>													●					
	ウミタナゴ科	アオタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	●																	
	スズメダイ科	ロクセンスズメダイ	<i>Abudefduf sexfasciatus</i>																		
	スズメダイ科	シマスズメダイ	<i>Abudefduf sordidus</i>																		
	スズメダイ科	オヤビツチャ	<i>Abudefduf vaigiensis</i>	●			●														
	シマイサキ科	シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrhynchus</i>	●			●											●			
	シマイサキ科	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>	●		●															
	イシダイ科	イシダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	●			●														
	イシダイ科	イシガキダイ	<i>Oplegnathus punctatus</i>	●										●		●					
	カゴカキダイ科	カゴカキダイ	<i>Microcanthus strigatus</i>	●																	
	イスズミ科	イスズミ	<i>Kyphosus vaigiensis</i>																		
	メジナ科	クロメジナ	<i>Girella leonina</i>			●															
	メジナ科	メジナ	<i>Girella punctata</i>	●			●									●	●				
	ベラ科	ホンベラ	<i>Halichoeres tenuispinis</i>															●			
	ベラ科	キューセン	<i>Parajulis poecileptera</i>	●												●					
	ベラ科	ホシササノハベラ	<i>Pseudolabrus sieboldi</i>																		
	ベラ科	コブダイ	<i>Semioossyphus reticulatus</i>																		
	ベラ科	カミナリベラ	<i>Stethojulis interrupta terina</i>																		
	タウエガジ科	ベニツケギンボ	<i>Dictyosoma rubrimaculatum</i>																		
	タウエガジ科	ダイナンギンボ	<i>Dictyosoma temminckii</i>																		●
	ニシキギンボ科	ギンボ	<i>Pholis nebulosa</i>	●		●															
	コケギンボ科	コケギンボ	<i>Neoclinus bryope</i>																		
	イソギンボ科	ナベカ	<i>Omobranchus elegans</i>	●			●														
	イソギンボ科	トサカギンボ	<i>Omobranchus fasciolatoceps</i>				●				●		●			●	●		●		
	イソギンボ科	イダテンギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>	●			●				●					●	●		●		●
	イソギンボ科	イソギンボ	<i>Parablennius yatabei</i>	●			●									●	●		●		
	イソギンボ科	ニジギンボ	<i>Petroscirtes breviceps</i>	●			●									●					
	ネズツボ科	トビヌメリ	<i>Callionymus beniteguri</i>	●																	
	ネズツボ科	ネズミゴチ	<i>Callionymus curvicornis</i>																		
	ネズツボ科	ハタタチヌメリ	<i>Callionymus valenciennei</i>																		
	ネズツボ科	ネズツボ科の一種	<i>Callionymidae</i> gen. sp.																		
	ハゼ科	スジハゼ	<i>Acentrogobius virgatus</i>	●											●		●				
	ハゼ科	ツマグロスジハゼ	<i>Acentrogobius</i> sp. A												●						
	ハゼ科	キララハゼ属	<i>Acentrogobius</i> sp.														●				
	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	●		●							●		●						
	ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>											●	●						
	ハゼ科(オウステルクス科)	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	●		●	●		●				●	●	●		●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>			●							●	●	●		●	●	●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>	●		●							●	●	●		●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>											●	●		●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilli</i>													●			●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>											●	●		●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ニクハゼ	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	●			●						●	●		●	●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>											●	●		●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>														●		●		●
	ハゼ科(オウステルクス科)	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>										●	●		●	●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>			●								●		●	●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	Gymnogobius 属の一種	<i>Gymnogobius</i> sp.											●		●	●		●		
	ハゼ科(オウステルクス科)	イソミズハゼ	<i>Luciogobius martellii</i>																		
	ハゼ科(オウステルクス科)	ミズハゼ属の一種	<i>Luciogobius</i> sp.							●	●						●			●	
	ハゼ科(オウステルクス科)	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>																●		●
	ハゼ科(オウステルクス科)	トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i>							●								●	●	●	
	ハゼ科(オウステルクス科)	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>					●										●			
	ハゼ科(オウステルクス科)	キヌバリ	<i>Pterogobius elapoides</i>	●																	
	ハゼ科(オウステルクス科)	ヒナハゼ	<i>Redigobius bikolanus</i>																		
	ハゼ科(オウステルクス科)	サビハゼ	<i>Sagamia geneionema</i>														●				
	ハゼ科(オウステルクス科)	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	●			●						●	●		●	●				
	ハゼ科(オウステルクス科)	シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>																●	●	●
	ハゼ科(オウステルクス科)	チチブ属の一種	<i>Tridentiger</i> sp.																		

付表13 出現生物種群一覽 (地点1-16)

				観察地No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
				横浜市 野島公園	横浜市の 海の公園	横浜市 山下公園	大田区 多摩川河 口	大田区 東京港野 島公園(潮 入の池)	大田区 東京港野 島公園(前 浜干潟)	港区 竹芝干潟	港区 お台場海 浜公園(南 岸)	港区 お台場海 浜公園(北 岸)	大田区 大森 ふる さとの浜辺 公園	大田区 城南島海 浜公園(つ ばさ浜)	大田区 大井ふ頭 中央海浜 公園	江戸川区 葛西臨海 公園(下の 池)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(西な ぎさ)	江戸川区 葛西海浜 公園(東な ぎさ)		
分類群	科	和名	学名																		
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>																		
	ハゼ科(オクスデルクス科)	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>				●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ハゼ科(広義)	ハゼ科(広義)	Gobiidae (sensu lato)				●						●								
	クロユリハゼ科	サツキハゼ	<i>Parioglossus dotui</i>									●		●							
	アイゴ科	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	●																	
	ニザダイ科	ニセカンランハギ	<i>Acanthurus dussumieri</i>																		
	カマス科	アカカマス	<i>Sphyraena pinguis</i>																		
	カマス科	カマスの一種	<i>Sphyraena</i> sp.				●														
	タチウオ科	タチウオ	<i>Trichiurus japonicus</i>																		
	ヒラメ科	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	●																	
	カレイ科	イシガレイ	<i>Platichthys bicoloratus</i>										●								
	カレイ科	メイタガレイ	<i>Pleuronichthys lighti</i>																		
	カレイ科	マコガレイ	<i>Pseudopleuronectes yokohamae</i>	●																	
	カレイ科	カレイ科	Pleuronectidae																		
	ササウシノシタ科	ササウシノシタ	<i>Heteromyceteris japonicus</i>																		
	ウシノシタ科	クロウシノシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>																		
	ギマ科	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>	●																	
	モンガラカワハギ科	アミモンガラ	<i>Canthidermis maculata</i>																		
	カワハギ科	アミハギ	<i>Rudarius ercodes</i>	●		●															
	カワハギ科	カワハギ	<i>Stephanolepis cirrhifer</i>	●																	
	ハコフグ科	コンゴウフグ	<i>Lactoria cornuta</i>											●							
	ハコフグ科	ハコフグ	<i>Ostracion immaculatum</i>																		
	フグ科	カスミフグ	<i>Arothron immaculatus</i>																		
	フグ科	クサフグ	<i>Takifugu alboplumbeus</i>	●		●		●													
	フグ科	コモnfグ	<i>Takifugu flavipterus</i>	●																	
	フグ科	ヒガンフグ	<i>Takifugu pardalis</i>	●																	
	フグ科	トラフグ	<i>Takifugu rubripes</i>						●												
	フグ科	ショウサイフグ	<i>Takifugu Snyderi</i>					●													
	フグ科	フグ科	Tetraodontidae																		
	爬虫類	4 種群																			
	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>																		
	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>																		
	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>																		
	スッポン科	スッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>																		
原生生物	46 種群																				
	メソディニウム科	アカシオウズムシ	<i>Mesodinium rubrum</i>																		
	ケラチウム科	フタマタツノモ	<i>Tripos furca</i>																		
	ケラチウム科	ユミツノモ	<i>Tripos fusus</i>																		
	ケラチウム科	<i>Tripos</i> 属	<i>Tripos</i> sp.																		
	プロトベリディニウム科	スケオビムシ属	<i>Protoperidinium</i> sp.																		
	カンムリムシ科	カンムリムシ属	<i>Dinophysis</i> sp.																		
	フタヒゲムシ科	フタヒゲムシ属	<i>Prorocentrum</i> sp.																		
	フタヒゲムシ科	ツノフタヒゲムシ	<i>Prorocentrum micans</i>																		
	フタヒゲムシ科	<i>Prorocentrum minimum</i>	<i>Prorocentrum minimum</i>																		
	オキシフィシス科	<i>Oxyphysis</i> 属	<i>Oxyphysis</i> sp.																		
	ディクティオカ科	ディクティオカ属	<i>Dictyocha</i> sp.																		
	ヘチロシグマ科	ヘチロシグマ アカシオ	<i>Heterosigma akashiwo</i>																		
	ノクティルカ科	ヤコウチュウ	<i>Noctiluca scintillans</i>	●																	
	メガネケイソウ科	メガネケイソウ属	<i>Pleurosigma</i> sp.																		
	サンカクチョウテンケイソウ	クシノハサンカクチョウテンケイソウ属	<i>Ditylum</i> sp.																		
	ラウデリア	ラウデリア属	<i>Lauderia</i> sp.																		
	クサリケイソウ科	ササノハケイソウ属	<i>Nitzschia</i> sp.																		
	クサリケイソウ科	<i>Navicula</i> 属	<i>Navicula</i> sp.																		
	クサリケイソウ科	ニセササノハケイソウ属	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.																		
	バチラリア科	キリンドロチカ属	<i>Gyldirotheca</i> sp.																		
	ツメケイソウ科	アクナンテス属	<i>Achnanthes</i> sp.																		
	ツノケイソウ科	ツノケイソウ属	<i>Chaetoceros</i> sp.																		
	レプトキリンドルス科	レプトキリンドルス属	<i>Leptocylindrus</i> sp.																		
	ニセコアマミケイソウ科	ニセコアマミケイソウ属	<i>Thalassiosira</i> sp.																		
	ホネツギケイソウ科	ホネツギケイソウ属	<i>Skeletonema</i> sp.																		
	シマヒモケイソウ科	アナヒモケイソウ属	<i>Eucampia</i> sp.																		
	シマヒモケイソウ科	ケラタウリナ属	<i>Cerataulina</i> sp.																		
	タルケイソウ科	タルケイソウ属	<i>Melosira</i> sp.																		
	コアマミケイソウ科	コアマミケイソウ属	<i>Coscinodiscus</i> sp.																		
	ツツガタケイソウ科	ツツガタケイソウ属	<i>Rhizosolenia</i> sp.																		
ウシケナリ科	アサクサノリ	<i>Neopyropia tenera</i>																			
ウシケナリ科	スサビノリ	<i>Neopyropia yezoensis</i>																			
ウシケナリ科	ウシケナリ科の一種	<i>Bangiophyceae</i> gen. sp.																			

付表15 出現生物種群一覽 (地点17-25)

[illegible]

付表16 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.	17	18	19	20	21	22	23	24	25	2022年				
					浦安市 海岸・境川	浦安市 三新瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数		
分類群	科	和名	学名															
ヒモムシ類	10 種群	ケファロツリックス科	ホソヒモムシ属の一種	<i>Cephalothrix</i> sp.										●	1	●	●	
		カリノマ科	<i>Carinoma</i> 属の一種	<i>Carinoma</i> sp.														●
		クリゲヒモムシ科	クリゲヒモムシ	<i>Tubulanus punctatus</i>												2	●	●
		リネウス科	<i>Cerebratulus carnosus</i>	<i>Cerebratulus carnosus</i>												7	●	●
		リネウス科	ナミヒモムシ	<i>Cerebratulus communis</i>		●									●			●
		リネウス科	<i>Evelineus mcintoshii</i>	<i>Evelineus mcintoshii</i>														●
		リネウス科	<i>Lineopselloides albilineus</i>	<i>Lineopselloides albilineus</i>												2	●	●
		リネウス科	モエデヒモムシ?	<i>Lineus sanguineus</i> ?												1		
		リネウス科	クチベコヒモムシ	<i>Micrura bella</i>												1		
		リネウス科	ミサキヒモムシ	<i>Notospermus geniculatus</i>												1	●	
		マダラヒモムシ科	マダラヒモムシ	<i>Nipponnemertes punctatula</i>													●	
		マダラヒモムシ科	<i>Nipponnemertes</i> 属?の一種	<i>Nipponnemertes</i> ? sp.												2	●	
		ホソミドリヒモムシ科	<i>Nemertopsis</i> 属?の一種	<i>Nemertopsis</i> ? sp.														●
		Plectonemertidae 科	ナギサヒモムシ	<i>Acteonemertes orientalis</i>												1	●	
		メノコヒモムシ科	メノコヒモムシ?	<i>Quasitetrastemma nigrifrons</i> ?														●
-	蠟針目の一種	<i>Monostilifera</i> fam. gen. sp.															●	
-	紐形動物門	<i>Nemertea</i>		●	●								●	7	●	●	●	
ヤムシ類	1 種群	ヤムシ科	ナイカイヤムシ(マントヤムシ)	<i>Aidanosagitta crassa</i>		●								1	●			
ヒザラガイ類	2 種	クサズリガイ科	ヒザラガイ	<i>Acanthopleura japonica</i>										1				
		ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona defilippii</i>													●	
		ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona rubrolineata</i>	●	●								2	●		●	
巻貝類	42 種群	ヨメガカサ科	ベッコウガサ	<i>Cellana grata</i>													●	
		スカンガイ科	スソカケガイ	<i>Montfortia picta</i>										1				
		コガモガイ科	コウダカアオガイ	<i>Nipponacmea concinna</i>	●									1			●	
		コガモガイ科	ツボミ	<i>Patelloida conulus</i>									●	1	●	●	●	
		コガモガイ科	シボリガイ	<i>Patelloida pygmaea</i>			●	●						3	●	●	●	
		コガモガイ科	ウノアシ	<i>Patelloida lanx</i>	●					●				2				
		ニシキウズ科	チグサガイ	<i>Cantharidus japonicus</i>								●		1			●	
		ニシキウズ科	インダタミ	<i>Monodonta confusa</i>							●			1	●	●	●	
		ニシキウズ科	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>		●						●	●	5	●	●	●	
		クボガイ科	コシダカガンガラ	<i>Tegula rustica</i>	●	●								3			●	
		リュウテン科	スガイ	<i>Lunella correensis</i>										2	●	●	●	
		アマオブネ科	アマガイ	<i>Nerita japonica</i>										2	●	●	●	
		ウミミナ科	ホソウミミナ	<i>Batillaria attramentaria</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	12	●	●	●	
		ウミミナ科	ウミミナ	<i>Batillaria multiformis</i>	●		●	●					●	5	●	●	●	
		スズメハマツボ科	スズメハマツボ	<i>Diala semistriata</i>										1			●	
		ウキツボ科	シマハマツボ	<i>Alaba picta</i>	●									5	●	●	●	
		キバウミミナ科	フトヘナタリ	<i>Cerithidea moerchii</i>										1	●	●	●	
		キバウミミナ科	カワアイ	<i>Pirenella pupiformis</i>			●	●						2	●	●	●	
		タマキビ科	アラレタマキビ	<i>Echinolittorina radiata</i>	●	●								3	●	●	●	
		タマキビ科	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>	●	●	●	●		●	●		●	15	●	●	●	
		チャツボ科	チャツボ	<i>Barleeia angustata</i>											●		●	
		カワザンショウ科	クリイロカワザンショウ	<i>Angustassiminea castanea</i>				●		●			●	4	●	●	●	
		カワザンショウ科	キントンイロカワザンショウ	<i>Angustassiminea aff. satumana</i>				●		●			●	6	●	●	●	
		カワザンショウ科	ヨシダカワザンショウ	<i>"Angustassiminea" yoshidayukioi</i>				●		●			●	2	●	●	●	
		カワザンショウ科	ヒナタムシヤドリカワザンショウ	<i>Assiminea</i> aff. <i>parasitologica</i>				●						2	●	●	●	
		カワザンショウ科	ヒラドカワザンショウ	<i>"Assiminea" hiradoensis</i>				●						3	●	●	●	
		カワザンショウ科	カワザンショウガイ	<i>"Assiminea" japonica</i>				●						2	●	●	●	
		カワザンショウ科	カハタレカワザンショウ	<i>Xenassiminea nana</i>									●	1	●	●	●	
		カワザンショウ科	オオウスイロヘソカドガイ	<i>Paludinelassiminea tanegashimae</i>										1			●	
		ワカウラツボ科	カワグチツボ	<i>Fluviocingula elegantula</i>				●						1			●	
		ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>			●	●						4	●	●	●	
		タマガイ科	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i>							●	●		3	●	●	●	
		タマガイ科	ツメタガイ	<i>Neverita didyma</i>	●	●					●			6	●	●	●	
		タマガイ科	ホソヤツメタ	<i>Neverita didyma hosoyai</i>									●	2	●	●	●	
		イトカケガイ科	ナガヒメネジガイ	<i>Epitonium castum</i>													●	
		イトカケガイ科	クレハガイ	<i>Epitonium clementinum</i>								●		2	●	●	●	
		カリバガサ科	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>	●	●		●		●	●			13	●	●	●	
		コロモガイ科	コロモガイ	<i>Sydaphera spengleriana</i>							●	●		1	●	●	●	
		タモトガイ科	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>	●									1			●	
		オリイレヨフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>							●			2	●	●	●	
		オリイレヨフバイ科	アラムシロ	<i>Reticunassa festiva</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21	●	●	●	
		オリイレヨフバイ科	キヌボラ	<i>Reticunassa roissyi</i>										1			●	
		アツキガイ科	アカニシ	<i>Rapana venosa venosa</i>	●	●		●		●	●		●	14	●	●	●	

付表17 出現生物種群一覧(地点17-25)

観察地No.				17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟			
分類群	科	和名	学名												
	アッキガイ科	イボニシ	<i>Reishia clavigera</i>	●	●		●	●	●	●	●	●	17	●	●
	アッキガイ科	レイシ	<i>Reishia bronni</i>	●	●					●			7	●	●
ウミウシ・キセワタ類	39 種群	ガクバンゴウナ科	イリエゴウナ										4	●	
		オオシノミガイ科	ムラクモキジビキガイ	●								●	3	●	●
		マメウラシマ科	マメウラシマ										1	●	●
		イロウミウシ科	シロウミウシ											●	●
		イロウミウシ科	シラユキウミウシ											●	●
		フジタウミウシ科	ハナデンシヤ											●	●
		フジタウミウシ科	クロコンデウミウシ										1	●	●
		ネコジタウミウシ科	ムツイバラウミウシ										2	●	
		ネコジタウミウシ科	シロイバラウミウシ										2		
		クロシタナシウミウシ科	クロシタナシウミウシ										1		●
		スギノハウミウシ科	アミメイトヒキウミウシ										2		
		メリベウミウシ科	メリベウミウシ属の一種												●
		フジエラミノウミウシ科	コウワンミノウミウシ											●	●
		フジエラミノウミウシ科	クロゴミノウミウシ										1	●	●
		フジエラミノウミウシ科	コマユミノウミウシ										1		
		オオミノウミウシ科	サラームミノウミウシ												●
		オオミノウミウシ科	カスミノウミウシ											●	
		オオミノウミウシ科	イロミノウミウシ(イズミミノウミウシ)										1		●
		ヨツスジミノウミウシ科	スナチゴミノウミウシ										3	●	●
		ヨツスジミノウミウシ科	アカエラミノウミウシ		●									●	●
	-		オオミノウミウシ亜目の一様												●
	-		裸鰓目										2		●
	ヘコミツラ科	ヒメコメツツ	<i>Retusa minima</i>											●	●
	ブドウガイ科	カミスジカニコイダマン	<i>Cylichnatys yamakawai</i>											●	●
	ブドウガイ科	ブドウガイ	<i>Halos japonica</i>										3	●	●
	キセワタ科	キセワタガイ	<i>Philine orientalis</i>									●	3	●	●
	カノコキセワタ科	ヤミヨキセワタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>		●				●	●		●	9	●	●
	カノコキセワタ科	タソガレキセワタ	<i>Melanochlamys koi</i>		●								1	●	●
	カノコキセワタ科	カノコキセワタ	<i>Philineopsis cf. giglioli</i>											●	●
	クダタマガイ科	コメツツガイ	<i>Decorifer insignis</i>		●							●	3	●	●
	クダタマガイ科	マツシマコメツツ	<i>Decorifer matusimanus</i>				●		●				2		●
	アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>										3		●
	アメフラシ科	トゲアメフラシ	<i>Bursatella leachii</i>										6	●	●
	アメフラシ科	タツナミガイ	<i>Dolabella auricularia</i>											●	●
	アメフラシ科	ウミナメウジ	<i>Petalifera punctulata</i>											●	
	アメフラシ科	ヒメミドリアメフラシ	<i>Stylocheilus longicauda</i>											●	
	チドリミドリガイ科	クロミドリガイ	<i>Elysia atroviridis</i>										2		●
	チドリミドリガイ科	コノハミドリガイ	<i>Elysia ornata</i>										1		
	チドリミドリガイ科	イズミミドリガイ	<i>Elysia nigrocapitata</i>										1		
	ハダカモウミウシ科	アリモウミウシ	<i>Ercolania boodleeae</i>										3	●	●
	ハダカモウミウシ科	ミドリアマモウミウシ	<i>Placida babai</i>										1		●
	ハダカモウミウシ科	ベルグウミウシ	<i>Stiliger berghi</i>										1	●	●
	コウダカラマツ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>	●	●								4	●	●
	トウガタガイ科	シオガマクチケレ	<i>Brachystomia siogamensis</i>										1		●
	トウガタガイ科	ヨコイトカケギリ	<i>Cingulina circinata</i>									●	2	●	●
	トウガタガイ科	ヒガタヨコイトカケギリ	<i>Cingulina aff. circinata</i>		●		●		●			●	7	●	●
	トウガタガイ科	ヨコイトカケギリダマン	<i>Cingulina terebra</i>										1	●	●
	トウガタガイ科	ミスジヨコイトカケギリ	<i>Cingulina triarata</i>										1		●
	トウガタガイ科	ヨコイトカケギリ近似種	<i>Cingulina</i> sp.											●	●
	トウガタガイ科	クチケレモドキの一種	<i>"Odostomia" sp.</i>												●
	トウガタガイ科	クチケレガイ	<i>Tiberia pulchella</i>										1		●
	トウガタガイ科	シロイトカケギリ	<i>Turbonilla candida</i>										1		●
	イソチドリ科	<i>Leucotina</i> 属の一種	<i>Leucotina</i> sp.									●	1	●	●
	オカミミガイ科	ウスコミミガイ	<i>Laemodonta exaratooides</i>									●	1	●	●
	オカミミガイ科	ナギサノシタタリ	<i>Microtralia acteocinoides</i>										1	●	●
	-	腹足綱ベリジャー幼生	Veliger of Gastropoda		●								1	●	
二枚貝類	42 種群	イガイ科	ムラサキイガイ	●									3	●	●
		イガイ科	ミドリイガイ		●						●		11	●	●
		イガイ科	ホトギス	●	●	●	●		●	●		●	2	●	●
		イガイ科	コウロエンカワヒバリ	●	●		●	●	●	●		●	19	●	●
		イガイ科	コケガラス										3	●	●
		イガイ科	ヒバリガイ										1	●	
		フネガイ科	アカガイ												●
		フネガイ科	サルボオ	●			●						10	●	●

付表18 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.											2024年			2023年			2022年		
				17	18	19	20	21	22	23	24	25	記録地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数							
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環境 観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小堀川河 口干潟											
分類群	科	和名	学名																				
	フネガイ科	カリガネエガイ	<i>Barbatia obtusoides</i>																				
	ナミマガシワ科	ナミマガシワ	<i>Anomia chinensis</i>																				
	イタボガキ科	マガキ	<i>Magallana gigas</i>	●	●	●	●	●		●		●	●										
	イタボガキ科	ケガキ	<i>Saccostrea kegaki</i>																				
	ウグイスガイ科	モンウグイス	<i>Pteria conturnix</i>																				
	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>					●			●		●										
	オキナガイ科	オキナガイ科の一種	<i>Laternulidae</i> gen. sp.																				
	マテガイ科	エゾマテガイ	<i>Solen krusensterrii</i>		●																		
	マテガイ科	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	●	●			●			●	●	●										
	ナタメガイ科	ミノガイ	<i>Siliqua pulchella</i>																				
	ウロコガイ科	オウギウロコガイ	<i>Galeommella utinomii</i>																				
	チリハギ科	マルヤドリガイ	<i>Montacutona japonica</i>																				
	チリハギ科	ガツヅキ	<i>Arthritica cf. reikoea</i>					●			●		●										
	チリハギ科	チリハギ	<i>Lasaea undulata</i>																				
	ザルガイ科	トリガイ	<i>Fulvia mutica</i>		●																		
	ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>		●																		
	ニッコウガイ科	ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i>																				
	ニッコウガイ科	カバザクラ	<i>Nitidotellina valtonis</i>																				
	ニッコウガイ科	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i>					●															
	ニッコウガイ科	ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	●	●			●			●		●										
	シオサザナミ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>																				
	アサシガイ科	シズクガイ	<i>Theora lubrica</i>																				
	バカガイ科	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>			●																	
	バカガイ科	シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	●	●		●				●		●										
	チトセノハナガイ科	チヨノハナガイ	<i>Raeta pulchella</i>																				
	フタバシラガイ科	ウメノハナガイモドキ	<i>Felaniella sowerbyi</i>																				
	フナガタガイ科	ウネナシトマヤ	<i>Neotrapezium liratum</i>		●		●			●													
	ケンシハマグリ科	ケントリガイ	<i>Alveinus ojanus</i>																				
	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Ocyclina aff. sinensis</i>	●	●		●		●	●		●		●									
	マルスダレガイ科	カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>		●							●		●									
	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	●	●		●		●														
	マルスダレガイ科	ウチムラサキ	<i>Saxidomus purpurata</i>																				
	マルスダレガイ科	ヒメカノコアサリ	<i>Timoclea scabra</i>																				
	マルスダレガイ科	ハマグリ近似種	<i>Meretrix aff. lusoria</i>	●	●		●		●			●	●	●									
	マルスダレガイ科	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>									●											
	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	●	●		●		●		●		●		●								
	マルスダレガイ科	ヒメアサリ近似種	<i>Ruditapes aff. aspera</i>																				
	マルスダレガイ科	ウスカラシオツガイ	<i>Petricola</i> sp.	●	●																		
	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>																				
	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>																				
ハナグモリ科	ハナグモリ	<i>Glauconome angulata</i>																					
カワホトギス科	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>								●													
オオノガイ科	ヒメマスオ	<i>Cryptomya busoensis</i>																					
オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya japonica</i>																					
-	二枚貝綱ベリジャー幼生	<i>Veliger</i> of <i>Bivalvia</i>		●																			
タコ・イカ類	3 種群	コウイカ科	コウイカ	<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>													●						
		コウイカ科	コウイカ属の一種	<i>Sepia</i> sp.															●				
		ダンゴイカ科	ミミイカ属の一種	<i>Euprymna</i> sp.											1				●				
		ヒメイカ科		<i>Idiosepius paradoxus</i>											5		●		●				
		ヤリイカ科	ジンドウイカ属？	<i>Loliolus?</i> sp.																			
		ヤリイカ科	アオリイカ	<i>Sepioteuthis lessoniana auct. japon.</i>													●						
		マダコ科	イイダコ	<i>Amphioctopus ocellatus</i>															●				
		マダコ科		<i>Octopus sinensis</i>													●		●				
		-	八腕形目	<i>Octopoda</i>											2								
環形動物(ゴカイ類)	114 種群	モロテゴカイ科	<i>Magelona</i> 属の一種	<i>Magelona</i> sp.													●						
		チマキゴカイ科	チマキゴカイ	<i>Ovenia gomsoni</i>											3		●						
		ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ	●	●																		
		ツバサゴカイ科	ムギワラムシ	<i>Chaetopterus cautus</i>											9		●		●				
		ツバサゴカイ科	アンビキツツバサゴカイ近似種	<i>Mesochaetopterus japonicus</i>											1								
		ツバサゴカイ科	サンパンセンツバサゴカイ	<i>Spiochaetopterus aff. okudai</i>											1		●		●				
		スジホシムシ科	スジホシムシ	<i>Spiochaetopterus sanbanzensis</i>											1		●		●				
		スジホシムシモドキ科	スジホシムシモドキ	<i>Sipunculus nudus</i>											2		●						
		-	“スジホシムシ目”の一種	<i>Siphonoma cumanense</i>											1		●		●				
		フクロホシムシ科	クロホシムシ	<i>“Sipunculidea” fam. gen. sp.</i>											1		●		●				
		ウロコムシ科	ミロクウロコムシ	<i>Thysanocardia nigra</i>													●		●				
		ウロコムシ科	マダラウロコムシ	<i>Halosydna nebulosa</i>																			
				●	●																		
				<i>Harmothoe cf. imbricata</i>											11		●		●				

付表19 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.	17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数	
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟					
分類群	科	和名	学名														
	ウロコムシ科	ウロコムシ亜科の一種	Polynoinae gen. sp.	●										1	●	●	
	ウロコムシ科	ハモチウロコムシ	Lepidonotus dentatus		●									1	●	●	
	ウロコムシ科	サンハチウロコムシ	Hermilepidonotus helotypus	●										2			
	ウロコムシ科	Ophthalmonoe 属?の一種	Ophthalmonoe? sp.											1			
	ウロコムシ科	ウロコムシ科	Polynoidae												●	●	
	ウロコムシ科	ウロコムシ科ネクトキータ幼生	Nectochaeta of Polynoidae		●									1			
	シリス科	シロマダラシリス	Syllis adamantea		●					●				7	●	●	
	シリス科	ブチシリス	Syllis lunaris											1			
	シリス科	Syllis 属の一種	Syllis sp.											2	●	●	
	シリス科	ミドリシリス	Megasyllis nipponica													●	●
	シリス科	クロエリシリス	Odontosyllis undecimdonta												●		
	シリス科	シリス科	Syllidae												2		
	シロガネゴカイ科	コクチョウシロガネゴカイ	Nephtys californiensis		●										1	●	●
	シロガネゴカイ科	コケテンシロガネゴカイ	Nephtys neopolybranchia												1		●
	シロガネゴカイ科	ミナミシロガネゴカイ	Nephtys polybranchia		●						●		●	5	●	●	●
	シロガネゴカイ科	Nephtys 属の一種	Nephtys sp.													●	●
	カギゴカイ科	ハナオカカギゴカイ	Sigambra hanaokai		●						●		●	8	●	●	●
	カギゴカイ科	カギゴカイ属の一種	Sigambra sp.													●	●
	ゴカイ科	オイワケゴカイ	Namanereis littoralis complex								●			5	●	●	●
	ゴカイ科	イトメ	Tylorrhynchus osawai													●	●
	ゴカイ科	コケゴカイ	Simplisetia erythraensis		●								●	8	●	●	●
	ゴカイ科	ツルヒゲゴカイ	Platynereis bicanaliculata								●			2	●	●	●
	ゴカイ科	クマドリゴカイ	Perinereis euini		●									3	●		
	ゴカイ科	デンガクゴカイ	Pseudonereis variegata		●									2	●		●
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma								●			5	●	●	●
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイまたはヒメヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma or H. atoka													●	●
	ゴカイ科	ヒメゴカイ	Neanthes acuminata complex											1	●	●	●
	ゴカイ科	アシナガゴカイ	Neanthes succinea		●				●					12	●	●	●
	ゴカイ科	オウギゴカイ	Nectoneanthes oxypoda		●						●			3	●	●	●
	ゴカイ科	ヒゲブトゴカイ	Nereis heterocirrata		●									1	●	●	●
	ゴカイ科	マサゴゴカイ	Nereis multignatha											1	●	●	●
	ゴカイ科	ゴカイ科の一種	Nereididae gen. sp.						●		●			4	●	●	●
	ゴカイ科	ゴカイ科ネクトキータ幼生	Nectochaeta of Nereididae		●									1			
	オトヒメゴカイ科	モクリオトヒメ	Oxydromus okudai											2	●		●
	オトヒメゴカイ科	Oxydromus 属の一種	Oxydromus sp.											5	●	●	●
	オトヒメゴカイ科	Nereimyra 属の一種	Nereimyra sp.											3	●	●	●
	オトヒメゴカイ科	Syllidia 属の一種	Syllidia sp.											2	●	●	●
	オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科	Hesionidae		●									1	●		
	チロリ科	マイヅルチロリ	Glycera americana													●	●
	チロリ科	ヒガタチロリ	Glycera macintoshi		●						●		●	3	●	●	●
	チロリ科	チロリ	Glycera nicobarica		●								●	4	●	●	●
	チロリ科	Glycera 属	Glycera sp. or spp.								●					●	●
	チロリ科	チロリ科	Glyceridae		●							●		2			
	ニカイチロリ科	チャメチヨリ	Glycinde wireni									●		2			
	サシバゴカイ科	ホソミサシバ	Eteone cf. longa											3	●	●	●
	サシバゴカイ科	サメドリサシバ	Eulalia cf. viridis											2	●		
	サシバゴカイ科	Eumida 属の一種	Eumida sp.		●						●			7	●		
	サシバゴカイ科	アケノサシバ	Nereiphylla castanea											1	●		
	サシバゴカイ科	Phyllodoce 属の一種	Phyllodoce sp.		●									1	●	●	●
	サシバゴカイ科	サシバゴカイ科の一種	Phyllodocidae gen. sp.											1		●	●
	イソメ科	イソメの一種	Eunice sp.									●		1	●		
	イソメ科	イワムシ種群の一種A	Marphysa sp. A		●									1		●	●
	イソメ科	イワムシ種群の一種E	Marphysa sp. E											1		●	●
	イソメ科	イワムシ種群	Marphysa spp. cf. iwamushi	●								●		4	●	●	●
	ナナチイソメ科	スゴカイイソメ	Diopatra sugokai		●							●		5	●	●	●
	ナナチイソメ科	エノシマイイソメ	Kinbergonuphis enoshimaensis			●							●	3	●	●	●
	ギボシイソメ科	コアシギボシイソメ	Scoletoma nipponica			●					●			1	●	●	●
	ギボシイソメ科	ギボシイソメ科の一種	Lumbrineridae gen. sp.													●	●
	コイソメ科	ルドルフイソメ	Schistomeringos cf. rudolphii											1		●	●
	コイソメ科	ナミウチコモチコイソメ	Ophryotrocha urbis											1		●	●
ホコサキゴカイ科	ツブラホコムシ	Naineris laevigata													●	●	
ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ種群	Cirriformia sp. or spp.	●	●				●		●	●	●	16	●	●	●	
ミズヒキゴカイ科	Dodecaceria 属の一種	Dodecaceria sp.											2	●			
カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシ	Ficopomatus enigmaticus						●		●			8	●	●	●	
カンザシゴカイ科	ヤグルマカンザシ	Hydroides dirampha													●	●	
カンザシゴカイ科	エゾカサネカンザシ	Hydroides ezoensis	●						●				11	●	●	●	
カンザシゴカイ科	カサネカンザシ	Hydroides elegans											3				
カンザシゴカイ科	ナデシコカンザシ	Hydroides cf. dianthus											6	●		●	

付表20 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.											2024年			2023年			2022年		
				17	18	19	20	21	22	23	24	25	記録地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数						
分類群				科	和名	学名	浦安市 海岸・境川	浦安市 三軒環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟								
	カンザシゴカイ科	<i>Hydroides</i> 属の一種	<i>Hydroides</i> sp.													1	●						
	カンザシゴカイ科	ヤッコカンザシ	<i>Spirobranchus akitsushima</i>													1	●			●			
	カンザシゴカイ科	ウズマキゴカイ亜科の一種	<i>Spirorbinae</i> gen. sp.													2	●			●			
	カンザシゴカイ科	カンザシゴカイ科の一種	<i>Serpulidae</i> gen. sp.								●					2	●						
	ケヤリムシ科	コウキケヤリ	<i>Chone infundibuliformis</i>													1	●			●			
	ケヤリムシ科	アマクサケヤリムシ?	<i>Paradialychone cincta?</i>																	●			
	ケヤリムシ科	ウメタテケヤリムシ	<i>Paradialychone edomae</i>																				
	ケヤリムシ科	ヒガタケヤリムシの一種	<i>Laonome</i> sp.										●			3		●		●			
	ケヤリムシ科	<i>Parasabella</i> 属の一種	<i>Parasabella</i> sp.														6		●		●		
	ケヤリムシ科	ニッポンケヤリムシ	<i>Sabellastarte japonica</i>																				
	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科の一種	<i>Sabellidae</i> gen. sp.																	●			
	スピオ科	ケンサキスピオ	<i>Aonides oxycephala</i>																		●		
	スピオ科	シノバネエラスピオ	<i>Paraprionospio patiens</i>		●												7		●		●		
	スピオ科	ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>														3		●		●		
	スピオ科	ミツバネスピオ	<i>Prionospio krusadensis</i>														1		●		●		
	スピオ科	イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>		●												7		●		●		
	スピオ科	ヒゲスピオ	<i>Rhynchospio glandulosa</i>														3		●		●		
	スピオ科	トガリスピオ	<i>Scolecipis (Scolecipis) kudenovi</i>																●				
	スピオ科	シタダシスピオ	<i>Scolecipis (Scolecipis) lingulata</i>																		●		
	スピオ科	<i>Scolecipis</i> 属の一種	<i>Scolecipis</i> sp.		●												2		●				
	スピオ科	マドカスピオ	<i>Spio pigmentata</i>														4		●		●		
	スピオ科	エラナシスピオ	<i>Spiophanes cf. uschakowi</i>														2		●				
	スピオ科	ホソエリタテスピオ	<i>Streblospio japonica</i>							●							5		●		●		
	スピオ科	ヒガタスピオ	<i>Polydora cornuta</i>							●			●				9		●		●		
	スピオ科	<i>Polydora neocaeca</i>	<i>Polydora neocaeca</i>								●						1		●		●		
	スピオ科	<i>Polydora websteri</i>	<i>Polydora websteri</i>														2		●		●		
	スピオ科	<i>Polydora</i> 属	<i>Polydora</i> sp. or spp.										●				6		●		●		
	スピオ科	ドロオニスピオ	<i>Pseudopolydora cf. kempii</i>														4		●		●		
	スピオ科	アミオニスピオ	<i>Pseudopolydora bassarginensis</i>		●					●			●				10		●		●		
	スピオ科	コオニスピオ	<i>Pseudopolydora paucibranchiata</i>							●							8		●		●		
	スピオ科	オニスピオ属	<i>Pseudopolydora</i> sp. or spp.																●				
	スピオ科	<i>Carazziella spongilla</i>	<i>Carazziella spongilla</i>														1		●		●		
	スピオ科	スピオ科	Spionidae gen. sp. or spp.											●			3		●				
	スピオ科	スピオ科ネクトキータ幼生	Nectochaeta of Spionidae		●												1		●		●		
	オフエリアゴカイ科	ツツオオフエリア	<i>Armandia cf. amakusaensis</i>								●		●	●			14		●		●		
	イトゴカイ科	イトゴカイ	<i>Capitella cf. teleta</i>		●												9		●		●		
	イトゴカイ科	<i>Heteromastus</i> 属の一種	<i>Heteromastus</i> sp.		●								●				10		●		●		
	イトゴカイ科	<i>Mediomastus</i> 属の一種	<i>Mediomastus</i> sp.		●												4		●		●		
	イトゴカイ科	<i>Notomastus</i> 属の一種	<i>Notomastus</i> sp.		●												3		●		●		
	イトゴカイ科	イトゴカイ科	Capitellidae											●			5						
	ユムシ科	ユムシ	<i>Urechis unicinctus</i>														1						
	タマシゴカイ科	イソタマシゴカイ	<i>Abarenicola pacifica</i>																		●		
	タマシゴカイ科	タマシゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>		●									●			8		●		●		
	タケフシゴカイ科	タケフシゴカイ科	Maldanidae														1		●		●		
	フサゴカイ科	ガンゼキフサゴカイの一種	<i>Lanice</i> sp.														4		●		●		
	フサゴカイ科	チンチロフサゴカイの一種	<i>Loimia</i> sp.																●				
	フサゴカイ科(広義)	フサゴカイ科(広義)	Terebellidae (sensu lato)														1		●		●		
	ウミイサゴムシ科	<i>Amphictene</i> 属の一種	<i>Amphictene</i> sp.														1						
	ウミイサゴムシ科	ウミイサゴムシ	<i>Lagis bocki</i>														3		●		●		
	ミズミズ科	イトミミズ亜科の一種	Tubificinae gen. sp.														6		●		●		
フトミズ科	イソミズ	<i>Pontodrilus littoralis</i>								●						3		●		●			
-	貧毛類	"Oligochaeta"														1							
-	環形動物門トロコフォア幼生	Trochophore of Annelida		●												1		●					
コケムシ・ホウキムシ類	9 種群	バレンチア科	ヒメスズコケムシ															●		●			
		フサコケムシ科	ナギサコケムシ													1		●		●			
		フサコケムシ科	ナギサコケムシ近似種						●							6		●		●			
		フサコケムシ科	フサコケムシの一種1				●									3		●		●			
		フサコケムシ科	フサコケムシの一種2															●					
		オウギコケムシ科	カミオウギコケムシ																	●			
		モングチコケムシ科	モングチコケムシの一種													3		●		●			
		アミメコケムシ科	ヒラハコケムシの一種													3		●					
		-	外紅動物門															●		●			
		ホウキムシ科	ホウキムシ													1							
		ホウキムシ科	ヒメホウキムシ				●									8		●		●			
		ホウキムシ科	イサゴホウキムシ													1		●		●			
		ホウキムシ科	ホウキムシ科アクチノトロカ幼生					●								1		●					

付表21 出現生物種群一覧(地点17-25)

観察地No.				17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟			
分類群	科	和名	学名												
節足動物(ウミグモ類・甲殻類)	181 種群	イソウミグモ科	フタイボイソウミグモ										1	●	
		イソウミグモ科	シマウミグモ		●								1	●	●
		イソウミグモ科	イソウミグモ科	●									2		●
		トックリウミグモ科	カイヤドリウミグモ	●	●								2	●	●
		カニノテウミグモ科	カニノテウミグモ科										1		
		-	ウミホタル亜綱の一種										1		●
		-	貝形虫綱		●								1		
		シダ科	ウスカワミジンコ		●								1		
		ウミオオメミジンコ科	ノルドマンエボジミジンコ		●								1	●	
		ウミオオメミジンコ科	ウミオオメミジンコ属		●								1		
		ウミオオメミジンコ科	トゲナシエボシミジンコ		●								1	●	
		アカルチア科	Acartia omorii		●								1	●	
		セントロバジェス科	Centropages abdominalis		●								1	●	
		プセウドディアフトムス科	Pseudodiaptomus marinus											●	
		プセウドディアフトムス科	Pseudodiaptomus yamato											●	
		バラカラヌス科	バラカラヌス属		●								1	●	
		バラカラヌス科	Parvocalanus crassirostris		●								1	●	
		ソコムジンコ科	シオダマリミジンコ属		●								1	●	
		ソコムジンコ科	ヒラアシヨコムジンコ属		●								1	●	
		-	ソコムジンコ目		●								1	●	
		クラウシジウム科	Hemicyclops gomsoensis		●								1		
		クラウシジウム科	Hemicyclops japonicus		●								1		
		クラウシジウム科	Hemicyclops 属の一種											●	
		ゴカイミジンコ科	ゴカイミジンコ科											●	
		コリケウス科	Ditrichocorycaeus affinis		●								1	●	
		オンケア科	オンケア属		●								1		
		オイトナ科	Oithona davisae		●								1	●	
		オイトナ科	Oithona similis		●								1	●	
		モンストリラ科	Monstrillopsis 属の一種											●	
		モンストリラ科	モンストリラ科		●								1		
		ウオジラミ科	トウヨウウオジラミ											●	
		ウオジラミ科	クロダイウオジラミ										5	●	●
		ウオジラミ科	ウキウオジラミ										1	●	●
		ウオジラミ科	ウオジラミの一種	●						●			3	●	●
		ウオジラミ科	ウオジラミ属のノープリウス幼生		●								1	●	
		ウオジラミ科	ウオジラミ属のコペポディド幼生		●								1	●	
		エボシガイ科	エボシガイ											●	
		ミウマガイ科	カメノテ		●								2		●
		イワフジツボ科	イワフジツボ	●	●					●			8	●	●
		フジツボ科	ドロフジツボ										2		●
		フジツボ科	シロスジフジツボ	●	●		●		●	●			17	●	●
		フジツボ科	タテジマフジツボ	●	●		●	●	●	●	●		17	●	●
		フジツボ科	アメリカフジツボ	●					●	●			14	●	●
		フジツボ科	ヨーロッパフジツボ		●		●		●		●		15	●	●
		フジツボ科	サンカクフジツボ											●	
		フジツボ科	アカフジツボ										2		
		フジツボ科	フジツボ科の一種										1	●	●
		クロフジツボ科	クロフジツボ		●								3	●	●
		-	フジツボ目のノープリウス幼生		●								1	●	
		-	フジツボ目のキブリス幼生		●								1	●	
		フクロムシ科	アナジャコフクロムシ												●
		シャコ科	シャコ										1	●	●
		コノハエビ科	コノハエビ							●			4	●	●
		アミ科	ニホンイサザアミ		●			●			●		9	●	●
		アミ科	イサザアミ		●					●	●		9	●	●
		アミ科	Neomysis 属	●		●	●		●				11	●	●
		テングヨコエビ科	テングヨコエビ属の一種											●	
		タチソコエビ科	Stenothoe 属の一種										1	●	●
		ツノヒゲソコエビ科	Eohaustorius 属の一種											●	
		タカラソコエビ科	ナイカイヅノフトソコエビ?										3		●
		ナミノリソコエビ科	ウスゲナミノリソコエビ										1		●
		モクスヨコエビ科	Apoehyale 属の一種		●								3	●	●
		モクスヨコエビ科	フサゲモクス										5	●	●
		モクスヨコエビ科	モクスヨコエビ科の一種	●			●		●			●	1	●	●
		ハマトビムシ科	ミナミホソハマトビムシ											●	
		ハマトビムシ科	ニホンスナハマトビムシ											●	
		ハマトビムシ科	タイヘイヨウヒメハマトビムシ				●					●	5	●	●
		ハマトビムシ科	ヒメハマトビムシ種群							●	●		3	●	●

付表22 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.	17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年			2023年			2022年		
					浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環境 観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小堀川河 口干潟	記録地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数	報告地点数			
分類群	科	和名	学名																			
	ユンボソコエビ科	ブラブラソコエビ	<i>Aoroides curvipes</i>																			
	ユンボソコエビ科	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>			●		●		●			●		10		●		●			
	ユンボソコエビ科	ヒメドロソコエビ	<i>Paragrandidierella minima</i>												1		●		●			
	ドクダムシ科	アリアゲドクダムシ	<i>Monocorophium achersicum</i>			●		●		●					7		●		●			
	ドクダムシ科	トンガリドクダムシ	<i>Monocorophium insidiosum</i>			●		●		●					10		●		●			
	ドクダムシ科	ウエドロクダムシ	<i>Monocorophium uenoi</i>												1		●		●			
	ドクダムシ科	ニホンドクダムシ	<i>Sinocorophium japonicum</i>												1		●		●			
	ドクダムシ科	タイリクドクダムシ?	<i>Sinocorophium sinensis?</i>															●		●		
	ドクダムシ科	ドクダムシ亜科	<i>Corophiinae</i> gen. sp.		●							●			6		●		●			
	ヒゲナガヨコエビ科	ニッポンモバヨコエビ	<i>Amphithoe lacertosa</i>												1		●		●			
	ヒゲナガヨコエビ科	ヨツデヒゲナガ	<i>Amphithoe tarasovi</i>												1		●		●			
	ヒゲナガヨコエビ科	モズミヨコエビ	<i>Amphithoe valida</i>		●	●					●				10		●		●			
	フレカラ科	クビナガフレカラ	<i>Casprella equilibra</i>												6		●		●			
	フレカラ科	テナガフレカラ	<i>Caprella gigantochir</i>												2		●		●			
	フレカラ科	オオフレカラ	<i>Caprella kroeyeri</i>												2		●		●			
	フレカラ科	マルエラフレカラ	<i>Caprella penantis</i>			●									6		●		●			
	フレカラ科	トゲフレカラ	<i>Caprella scaura</i>		●	●						●			11		●		●			
	フレカラ科	カマテフレカラ	<i>Caprella simia</i>			●									1		●		●			
	フレカラ科	<i>Caprella</i> 属	<i>Caprella</i> sp. or spp.		●	●									5		●		●			
	カマキリヨコエビ科	カマキリヨコエビ属の一種	<i>Jassa</i> sp.															●		●		
	メリタヨコエビ科	カギメリタヨコエビ	<i>Melita koreana</i>															●		●		
	メリタヨコエビ科	フトメリタヨコエビ	<i>Melita rylovae</i>		●										2		●		●			
	メリタヨコエビ科	ヒゲツノメリタヨコエビ	<i>Melita setiflagella</i>						●		●				8		●		●			
	メリタヨコエビ科	シミズメリタヨコエビ	<i>Melita shimizui</i>												2		●		●			
	メリタヨコエビ科	<i>Melita</i> 属の一種	<i>Melita</i> sp.												1		●		●			
	アゴナガヨコエビ科	アゴナガヨコエビ	<i>Pontogeneia rostrata</i>															●		●		
	キタヨコエビ科	ボシエットトゲヨコエビ	<i>Eogammarus possjeticus</i>												2		●		●			
	-		"ヨコエビ類"	"Gammaridea"						●					4		●		●			
	ウミズミシ科	<i>Iais</i> 属の一種	<i>Iais</i> sp.												1		●		●			
	スナウミナナフシ科	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis</i>								●				5		●		●			
	ウミナナフシ科	ウミナナフシの一種	<i>Paranthura</i> sp.									●			1		●		●			
	スナホリムシ科	スナホリムシ科の複数種	<i>Cirolanidae</i> gen. spp.										●		1		●		●			
	ウオノエ科	サツバノギンガ	<i>Anilocra clupei</i>		●			●							3		●		●			
	ウオノエ科	サヨリヤドリムシ	<i>Mothocya parvostis</i>		●										1		●		●			
	ウオノエ科	ウオノエ科のマンカ幼生	Manca of Cymothoidae		●	●									2		●		●			
	エビヤドリムシ科	スナモグリノエラヤドリ	<i>Pseudione longicauda</i>															●		●		
	エビヤドリムシ科	スナモグリヤドリムシ	<i>Ione cornuta</i>															●		●		
	エビヤドリムシ科	マメコブシヤドリムシ	<i>Apocepon pulcher</i>															●		●		
	-		ヤドリムシ亜目のエビカリディア幼生	Epicarida of Epicaridea			●								1		●		●			
	ヘラムシ科	<i>Idotea</i> 属の一種	<i>Idotea</i> sp.															●		●		
	ヘラムシ科	ハナビラヘラムシ	<i>Synidotea ezoensis</i>												1		●		●			
	ヘラムシ科	オヒラキヘラムシ	<i>Cleantiella strasseni</i>															●		●		
	ヘラムシ科	ヘラムシ科の一種	<i>Idoteidae</i> gen. sp.		●										1		●		●			
	ヘラムシ科	ホソヘラムシ属の一種	<i>Cleantioides</i> sp.												1		●		●			
	フナムシ科	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>		●	●		●		●		●		●	19		●		●			
	フナムシ科	アオホシフナムシ	<i>Ligia laticarpa</i>												4		●		●			
	フナムシ科	フナムシ種群	<i>Ligia</i> cf. <i>exotica</i>			●									4		●		●			
	コソバムシ科	ヨツバコソバムシ	<i>Sphaeroma retrolaevis</i>						●						1		●		●			
	コソバムシ科	ナナツバコソバムシ	<i>Sphaeroma sieboldii</i>															●		●		
	コソバムシ科	<i>Gnорimosphaeroma</i> 属	<i>Gnорimosphaeroma</i> sp. or spp.		●	●		●			●				12		●		●			
コソバムシ科	シリケンウミセミ	<i>Dynoides dentisinus</i>			●									2		●		●				
コソバムシ科	<i>Dynoides</i> 属の一種	<i>Dynoides</i> sp.												1		●		●				
タナイス科	キスイタナイス	<i>Sinelobus kisui</i>												2		●		●				
タナイス科	ゼウクソ属の一種	<i>Zeuxo</i> sp.			●									1		●		●				
タナイス科	タナイス科の一種	<i>Tanaidae</i> gen. sp.		●										1		●		●				
クーマ科	ミツオビクーマ	<i>Diastylis tricineta</i>		●	●									4		●		●				
-	クーマ目	<i>Cumacea</i>		●										1		●		●				
クルマエビ科	フトミソエビ	<i>Melicertus latisulcatus</i>												1		●		●				
クルマエビ科	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>												2		●		●				
クルマエビ科	ウシエビ	<i>Penaeus monodon</i>												3		●		●				
クルマエビ科	クマエビ	<i>Penaeus semisulcatus</i>														●		●				
サクラエビ科	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>			●									3		●		●				
テッポウエビ科	テッポウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>			●					●				3		●		●				
テナガエビ科	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>		●			●							5		●		●				
テナガエビ科	ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>		●			●		●					21		●		●				
テナガエビ科	アシナガスジエビ	<i>Palaemon ortmanni</i>			●									2		●		●				
テナガエビ科	イソスジエビ	<i>Palaemon pacificus</i>		●	●									3		●		●				
テナガエビ科	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>												1		●		●				

付表23 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.									2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数		
				17 浦安市 海岸・境川	18 浦安市 三新瀬環 境観察館 前	19 市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	20 市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	21 市川市 江戸川放 水路	22 市川市 江戸川放 水路	23 船橋市 ふなばし三 番瀬	24 木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	25 木更津市 小櫃川河 口干潟					
分類群	科	和名	学名														
	テナガエビ科	スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>	●	●						●			4	●	●	
	テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	<i>Palaemon sinensis</i>			●								1	●	●	
	テナガエビ科	<i>Palaemon</i> 属	<i>Palaemon</i> sp. or spp.												●		
	テナガエビ科	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>	●	●	●	●	●	●					14	●	●	
	テッポウエビ科	イソテッポウエビもしくは近似種	<i>Alpheus</i> aff. <i>lobidens</i>			●		●						3	●	●	
	テッポウエビ科	フトオビイソテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp.											2	●	●	
	テッポウエビ科	ニセオニテッポウエビ	<i>Alpheus rapacida</i>												●	●	
	テッポウエビ科	セジロムラサエビ	<i>Athanas japonicus</i>		●		●		●	●		●		5	●	●	
	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	<i>Stenolpheops anacanthus</i>												●	●	
	ヒゲナガモエビ科	アカシマモエビ	<i>Lysmata vittata</i>											1	●		
	ヒメザンゴモエビ科	アシナガモエビモドキ	<i>Heptacarpus futilirostris</i>											1		●	
	モエビ科	ホソモエビ	<i>Latreutes acicularis</i>											1			
	モエビ科	ヘラモエビ	<i>Latreutes laminirostris</i>											1			
	エビジャコ科	ウリタエビジャコ	<i>Orangon uritai</i>		●	●				●			●	●	13	●	●
	エビジャコ科	カシオヘエビジャコ	<i>Orangon cassiope</i>												2	●	●
	エビジャコ科	エビジャコ属	<i>Orangon</i> sp. or spp.												1	●	●
	-	-	コエビ下目(エビ類)のゾエア幼生	<i>Zoea</i> of <i>Caridea</i>		●									1	●	●
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		<i>Procambarus clarkii</i>												●	●
	スナモグリ科	ニホンスナモグリ		<i>Neotrypaea japonica</i>				●				●	●	●	14	●	●
	スナモグリ科	ハルマンズナモグリ		<i>Neotrypaea harmandi</i>			●									●	●
	ハサミシャコエビ科	ハサミシャコエビ		<i>Laomedia astacina</i>											3	●	●
	アナジャコ科	アナジャコ		<i>Upogebia major</i>				●	●	●	●				8	●	●
	ヤドカリ科	コブヨコバサミ		<i>Clibanarius infraspinatus</i>	●	●									12	●	●
	ヤドカリ科	テナガツノヤドカリ		<i>Diogenes nitidimanus</i>	●	●						●	●	●	7	●	●
	ヤドカリ科	ケブカヒメコバサミ		<i>Paguristes ortmanni</i>	●											●	●
	ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ		<i>Pagurus filholi</i>	●										2	●	
	ホンヤドカリ科	ケアシホンヤドカリ		<i>Pagurus lanuginosus</i>											1	●	●
	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ		<i>Pagurus minutus</i>	●	●	●	●	●	●					19	●	●
	ホンヤドカリ科	ヨモギホンヤドカリ		<i>Pagurus nigrofascia</i>	●	●					●				2	●	●
	カニダマシ科	フトウデネジレカニダマシ		<i>Pisidia serratifrons</i>												●	●
	カニダマシ科	カニダマシ科の一種		<i>Porcellanidae</i> gen. sp.	●										1	●	●
	カニダマシ科	カニダマシ科のゾエア幼生		<i>Zoea</i> of <i>Porcellanidae</i>												●	●
	キンセンガン科	キンセンガン		<i>Matuta victor</i>		●						●			4	●	●
	イチョウガニ科	コイチョウガニ		<i>Glebocarcinus amphioetus</i>												●	●
	イワオウギガニ科	イボイワオウギガニ		<i>Eriphia ferox</i>								●					●
	スベスベオウギガニ科	スベスベオウギガニ		<i>Sphaerozium nitidus</i>	●	●									2	●	●
	コブシガニ科	カネココブシガニ		<i>Philyra kanekoi</i>											1		●
	コブシガニ科	ヒラココブシガニ		<i>Philyra syndactyla</i>												●	●
	コブシガニ科	マメコブシガニ		<i>Pyrrhila pisum</i>	●	●	●		●	●	●				13	●	●
	モガニ科	ニッポンモガニ		<i>Pugettia nipponensis</i>													●
	モガニ科	ヨツハモガニ		<i>Pugettia quadridens</i>											1		
	イッカクモガニ科	イッカクモガニ		<i>Pyromaia tuberculata</i>	●	●									4	●	●
	ミドリガニ科	チチュウカイミドリガニ		<i>Carcinus aestuarii</i>												●	●
	ガザミ科	トゲノコギリガザミ		<i>Scylla paramamosain</i>											1	●	●
	ガザミ科	ノコギリガザミの一種		<i>Scylla</i> sp.												1	●
	ガザミ科	タイワンガザミ		<i>Portunus pelagicus</i>	●	●						●	●		8	●	●
	ガザミ科	ガザミ		<i>Portunus trituberculatus</i>						●				●	7	●	●
	ガザミ科	インガニ		<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	●	●				●			●		12	●	●
	オウギガニ科	オウギガニ		<i>Leptodius affinis</i>								●			1	●	●
	オウギガニ科	シワオウギガニ		<i>Macromedaeus distinguendus</i>		●									2	●	●
オウギガニ科	シワオウギガニ近似種?		<i>Macromedaeus</i> aff. <i>distinguendus</i> ?	●										1		●	
ミナトオウギガニ科	ハクワイオウギガニ		<i>Acantholobulus pacificus</i>											2		●	
イワガニ科	イワガニ		<i>Pachygrapsus crassipes</i>													●	
イワガニ科	オキナガレガニ		<i>Planes major</i>												●		
ショウジンガニ科	ショウジンガニ		<i>Guinusia dentipes</i>												●		
ショウジンガニ科	ツブイボショウジンガニ		<i>Plagusia immaculata</i>												●		
ショウジンガニ科	イボショウジンガニ		<i>Plagusia squamosa</i>								●			1	●		
ベンケイガニ科	アカテガニ		<i>Chiromantes haematocheir</i>			●	●				●			9	●	●	
ベンケイガニ科	ウモレベンケイガニ		<i>Clistocheoloma sinense</i>			●	●	●	●			●		7	●	●	
ベンケイガニ科	ヒメベンケイガニ		<i>Nanosesarma minutum</i>	●	●									2	●	●	
ベンケイガニ科	クロベンケイガニ		<i>Orisarma dehaani</i>			●	●	●	●	●			●	10	●	●	
ベンケイガニ科	ベンケイガニ		<i>Orisarma intermedium</i>			●	●	●	●	●				6	●	●	
ベンケイガニ科	クシテガニ		<i>Parasesarma affine</i>			●	●	●	●	●				6	●	●	
ベンケイガニ科	フタバカクガニ		<i>Parasesarma bidens</i>			●	●	●	●	●				1	●	●	
ベンケイガニ科	カクベンケイガニ		<i>Parasesarma pictum</i>			●	●	●	●	●					●	●	
モクズガニ科	ヒライソガニ		<i>Gaetice depressus</i>	●	●						●			4	●	●	
モクズガニ科	ケアンヒライソガニ(仮称)		<i>Gaetice</i> cf. <i>ungulatus</i>		●											●	
モクズガニ科	ハマガニ		<i>Chasmagnathus convexus</i>											1		●	

付表24 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.	17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年			
					浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小堀川河 口干潟	記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数	
分類群	科	和名	学名														
	モクズガニ科	ヒメアシハラガニ	<i>Helicana japonica</i>														
	モクズガニ科	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>											9			
	モクズガニ科	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>											8			
	モクズガニ科	スネナガイソガニ	<i>Hemigrapsus longitarsis</i>											6			
	モクズガニ科	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>											3			
	モクズガニ科	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>											11			
	モクズガニ科	タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>											2			
	ムツハリアアケガニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>														
	コメツキガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>												10		
	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>												16		
	オサガニ科	オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>												5		
	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>												11		
	スナガニ科	スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i>												3		
	カクレガニ科	アカボシマメガニ	<i>Indopinnixa haematosticta</i>												1		
	カクレガニ科	ギボシマメガニ	<i>Pinnixa balanoglossana</i>												1		
	カクレガニ科	バンズマメガニ	<i>Pinnixa banzu</i>												1		
	カクレガニ科	ラスバンマメガニ近似種	<i>Pinnixa</i> aff. <i>rathbuni</i>												1		
カクレガニ科	オオシロビノ	<i>Arcotheres sinensis</i>												1			
-	短尾下目(カニ類)	Zoea of Brachyura												1			
-	短尾下目(カニ類)のメガロバ幼生	Megalopa of Brachyura												1			
ギボシムシ類	2 種群	ギボシムシ科	ミサキギボシムシ											1			
		ギボシムシ科	<i>Glossobalanus</i> 属の一種												0		
		ギボシムシ科	ギボシムシ科の一種											1			
ヒトデ・ウニ・ナマコ類	12 種群	スナヒトデ科	スナヒトデ											4			
		モミジガイ科	トゲモミジガイ											2			
		モミジガイ科	モミジガイ											3			
		イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ											2			
		イトマキヒトデ科	チビイトマキヒトデ											1			
		トウクモヒトデ科	クシノハクモヒトデ											1			
		チビクモヒトデ科	ダイリンチビクモヒトデ											1			
		チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ											2			
		チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ科の一種														
		トゲクモヒトデ科	ナガトゲクモヒトデ														
		トゲクモヒトデ科	トゲクモヒトデ														
		-	クモヒトデ綱オフィオブルテウス幼生														
		-	クモヒトデ綱											2			
		サンショウウニ科	サンショウウニ											2			
		サンショウウニ科	コデマリウニ														
		ナガウニ科	ムラサキウニ														
		シカクナマコ科	アカナマコ											1			
		シカクナマコ科	ナマナコ											1			
		イカリナマコ科	ウチワイカリナマコ近似種														
		イカリナマコ科	ヒモイカリナマコ														
ホヤ類	11 種群	マンジュウボヤ科	マンジュウボヤ											1			
		ユウレイボヤ科	カタユウレイボヤ											5			
		ユウレイボヤ科	ユウレイボヤ											4			
		ユウレイボヤ科	<i>Ciona</i> 属											3			
		ナツメボヤ科	ザラボヤ														
		ナツメボヤ科	ナツメボヤの一種														
		シロボヤ科	“イタボヤ亜科”											3			
		シロボヤ科	シロボヤ											1			
		シロボヤ科	シロボヤ											10			
		シロボヤ科	エボヤ											1			
		フクロボヤ科	マンノハツタンボヤ														
		サルバ科	トガリサルバ											6			
		オタマボヤ科	オタマボヤ科											1			
魚類	115 種群	ヌタウナギ科	ヌタウナギ														
		ドチザメ科	ドチザメ														
		アカエイ科	アカエイ											16			
		ツバクロエイ科	ツバクロエイ											7			
		トビエイ科	トビエイ											1			
		カライワシ科	カライワシ														
		ウナギ科	ニホンウナギ											3			
		ウミヘビ科	ホタテウミヘビ														
		アナゴ科	マアナゴ											3			

付表25 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.	17	18	19	20	21	22	23	24	25			
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 笠洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小碓川河 口干潟	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数	
分類群	科	和名	学名													
魚類	ニシン科	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>	●			●						6	●	●	
	ニシン科	サツバ	<i>Sardinella zunasi</i>	●			●		●				6	●	●	
	ウルメイワシ科	ウルメイワシ	<i>Etrumeus micropus</i>										1			
	カタクチイワシ科	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>										3	●	●	
	カマツカ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>												●	
	カマツカ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>				●						1		●	
	ウグイ科	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>				●						2	●		
	ウグイ科	ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>												●	
	ウグイ科	ウグイ属	<i>Pseudaspius</i> sp.											●		
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>				●						1			
	ゴンズイ科	ゴンズイ	<i>Plotosus japonicus</i>										1	●	●	
	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>												●	●
	シラウオ科	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>											1		
	エソ科	オキエソ	<i>Trachinocephalus trachinus</i>											1		
	ヤガラ科	アオヤガラ	<i>Fistularia commersonii</i>													●
	ヨウジウオ科	ガンテンインシヨウジ	<i>Hippichthys penicillus</i>	●					●					3	●	●
	ヨウジウオ科	サンゴタツ	<i>Hippocampus mohnikei</i>													●
	ヨウジウオ科	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>											1	●	●
	ヨウジウオ科	オウコウジ	<i>Urocampus nanus</i>											3	●	●
	ボラ科	オニボラ?	<i>Ellochelone vaigiensis</i>											2		●
	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>	●	●	●		●	●	●				21	●	●
	ボラ科	メナダ	<i>Planiliza haematocheilus</i>											1	●	●
	トウゴロウイワシ科	トウゴロウイワシ	<i>Doboatherina bleekeri</i>											2	●	●
	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>			●	●							2	●	●
	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>											1		●
	サヨリ科	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>	●			●							4	●	●
	サヨリ科	サヨリ属の一種	<i>Hyporhamphus</i> sp.												●	●
	トビウオ科	ニゾイトビウオ	<i>Hirundichthys speculiger</i>												●	●
	ダツ科	ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>												●	●
	ダツ科	ダツ科の一種	<i>Belonidae</i> gen. sp.												●	●
	フサカサゴ科	ミノカサゴ	<i>Pterois lunulata</i>												●	●
	メバル科	シロメバル	<i>Sebastes cheni</i>											3	●	●
	メバル科	アカメバル	<i>Sebastes inermis</i>											1	●	●
	メバル科	ムラソイ	<i>Sebastes pachycephalus</i>													●
	メバル科	メバル属の一種	<i>Sebastes</i> sp.	●	●									2	●	●
	メバル科	カサゴ	<i>Sebastiscus marmoratus</i>											2	●	●
	オニオコゼ科	オニオコゼ	<i>Inimicus japonicus</i>												●	●
	ホウボウ科	ホウボウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>											1	●	●
	コチ科	イネゴチ	<i>Cociella crocodila</i>											1	●	●
	コチ科	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp. 2	●	●				●			●		11	●	●
	アイナメ科	クジメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>											1	●	●
	アイナメ科	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>													●
	カジカ科	アサヒアナハゼ	<i>Pseudoblennius cottoides</i>											1	●	●
	カジカ科	アナハゼ	<i>Pseudoblennius percoides</i>												●	●
	イシナギ科	オオクチイシナギ	<i>Stereolepis doederleini</i>											1		●
	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	●			●				●	●		12	●	●
	スズキ科	ヒラスズキ	<i>Lateolabrax latius</i>											1		●
	テンジクダイ科	クロイシモチ	<i>Apogonichthyoides niger</i>											1		●
	テンジクダイ科	オオスズイシモチ	<i>Ostorhinchus doederleini</i>													●
	テンジクダイ科	ネンブツダイ	<i>Ostorhinchus semilineatus</i>													●
	シイラ科	シイラ	<i>Coryphaena hippurus</i>													●
	アジ科	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>													●
	アジ科	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	●										1		●
	アジ科	マアジ	<i>Trachurus japonicus</i>									●		3	●	●
	ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Nuchequula nuchalis</i>				●							3	●	●
	フエダイ科	ニセクロホシフエダイ	<i>Luftjanus fulviflamma</i>												●	●
	フエダイ科	クロホシフエダイ	<i>Luftjanus russellii</i>												●	●
	マツダイ科	マツダイ	<i>Lobotes surinamensis</i>													●
	クロサギ科	クロサギ	<i>Gerres equulus</i>											5	●	●
	イサキ科	コロダイ	<i>Diagramma pictum</i>									●			●	●
イサキ科	イサキ	<i>Parapristipoma trilineatum</i>												●	●	
イサキ科	コショウダイ	<i>Plectorhinchus cinctus</i>	●										4	●	●	
ヒゲダイ科	ヒゲソリダイ	<i>Haplogenyis nigripinnis</i>												●	●	
タイ科	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>	●										6	●	●	
タイ科	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	●			●							14	●	●	
タイ科	マダイ	<i>Pagrus major</i>							●		●	●	1	●	●	
タイ科	ヘダイ	<i>Rhabdosargus sarba</i>												●	●	
フエフキダイ科	フエフキダイ属の一種	<i>Lethrinus</i> sp.												●	●	

付表26 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.											
				17	18	19	20	21	22	23	24	25	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三新瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小磯川河 口干潟			
分類群	科	和名	学名												
	ニベ科	ニベ	<i>Nibe mitsukurii</i>												
	ニベ科	シログチ	<i>Pennahia argentata</i>							●			1	●	●
	キス科	シロギス	<i>Sillago japonica</i>	●						●			3	●	●
	ヒメジ科	オオスジヒメジ	<i>Parupeneus barberinus</i>											●	●
	ヒメジ科	ヒメジ	<i>Upeneus japonicus</i>											●	●
	チョウチョウウオ科	チョウチョウウオ	<i>Chaetodon auripes</i>											●	●
	チョウチョウウオ科	セグロチョウチョウウオ	<i>Chaetodon ephippium</i>											●	●
	チョウチョウウオ科	アケボノチョウチョウウオ	<i>Chaetodon melanotus</i>										2	●	●
	チョウチョウウオ科	ムレハタタテダイ	<i>Heniochus diphreutes</i>											●	●
	ウミタナゴ科	マタナゴ	<i>Ditrema temminckii pacificum</i>										2	●	●
	ウミタナゴ科	アオタナゴ	<i>Ditrema viride</i>										1	●	●
	スズメダイ科	ロクセンスズメダイ	<i>Abudefduf sexfasciatus</i>											●	●
	スズメダイ科	シマスズメダイ	<i>Abudefduf sordidus</i>							●			1	●	●
	スズメダイ科	オヤビツチャ	<i>Abudefduf vaigiensis</i>							●			3	●	●
	シマイサキ科	シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrrhynchus</i>					●					6	●	●
	シマイサキ科	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>	●						●			3	●	●
	インダイ科	インダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	●									5	●	●
	インダイ科	インガキダイ	<i>Oplegnathus punctatus</i>											●	●
	カゴカキダイ科	カゴカキダイ	<i>Microcanthus strigatus</i>										1	●	●
	イスズミ科	イスズミ	<i>Kyphosus vaigiensis</i>											●	●
	メジナ科	クロメジナ	<i>Girella leonina</i>										1	●	●
	メジナ科	メジナ	<i>Girella punctata</i>	●	●								6	●	●
	ペラ科	ホンペラ	<i>Halichoeres tenuispinis</i>											●	●
	ペラ科	キュウセン	<i>Parajulis poecileptera</i>										2	●	●
	ペラ科	ホシササノハペラ	<i>Pseudolabrus sieboldi</i>											●	●
	ペラ科	コブダイ	<i>Semicossyphus reticulatus</i>											●	●
	ペラ科	カミノリペラ	<i>Stethojulis interrupta terina</i>											●	●
	タウエガジ科	ベニツケギンボ	<i>Dictyosoma rubrimaculatum</i>											●	●
	タウエガジ科	ダイナンギンボ	<i>Dictyosoma temminckii</i>					●					2	●	●
	ニシキギンボ科	ギンボ	<i>Pholis nebulosa</i>	●	●								4	●	●
	コケギンボ科	コケギンボ	<i>Neoclinus bryope</i>											●	●
	イソギンボ科	ナベカ	<i>Omobranchus elegans</i>	●	●								5	●	●
	イソギンボ科	トサカギンボ	<i>Omobranchus fasciolatoceps</i>	●	●		●	●					11	●	●
	イソギンボ科	イダテンギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>	●	●					●			9	●	●
	イソギンボ科	イソギンボ	<i>Parablennius yatabei</i>	●	●					●			7	●	●
	イソギンボ科	ニジギンボ	<i>Petrosciartes breviceps</i>							●			4	●	●
	ネズツボ科	トビヌメリ	<i>Callionymus benitiguri</i>										1	●	●
	ネズツボ科	ネズミゴチ	<i>Callionymus curvicornis</i>		●								1	●	●
	ネズツボ科	ハタタチヌメリ	<i>Callionymus valenciennei</i>											●	●
	ネズツボ科	ネズツボ科の一種	<i>Callionymidae</i> gen. sp.											●	●
	ハゼ科	スジハゼ	<i>Acentrogobius virgatus</i>		●						●		4	●	●
	ハゼ科	ツマブロスジハゼ	<i>Acentrogobius</i> sp. A										4	●	●
	ハゼ科	キララハゼ属	<i>Acentrogobius</i> sp.											●	●
	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	●	●			●		●	●		13	●	●
	ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>		●			●					5	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	●	●	●		●		●	●		17	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>			●		●	●		●		7	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>	●	●					●			8	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>	●	●								6	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilli</i>	●	●					●	●		5	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	●						●			9	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ニクハゼ	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>			●	●	●					8	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>				●			●		●	7	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>			●							1	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>							●	●	●	9	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>										1	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	<i>Gymnogobius</i> 属の一種	<i>Gymnogobius</i> sp.										3	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	イソミズハゼ	<i>Luciogobius martellii</i>	●	●								4	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ミズハゼ属の一種	<i>Luciogobius</i> sp.										3	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>			●	●		●				7	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i>			●	●	●					8	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>										1	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	キヌバリ	<i>Pterogobius elapoides</i>										1	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	ヒナハゼ	<i>Redigobius bikolanus</i>										1	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	サビハゼ	<i>Sagamia geneionema</i>											●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	●	●		●		●	●			11	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	●			●	●					8	●	●
	ハゼ科(オクスデルクス科)	チヂブ属の一種	<i>Tridentiger</i> sp.											●	●

付表27 出現生物種群一覽 (地点17-25)

				観察地No.										2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数	
				17 浦安市 海岸・境川	18 浦安市 三新浦環 境観察館 前	19 市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	20 市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	21 市川市 江戸川放 水路	22 市川市 江戸川放 水路	23 船橋市 ふなばし三 番瀬	24 木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	25 木更津市 小櫃川河 口干潟					
分類群	科	和名	学名														
	ハゼ科(オクスデルクス科)	スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		●									1	●	●	
	ハゼ科(オクスデルクス科)	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>	●			●	●	●	●				16	●	●	
	ハゼ科(広義)	ハゼ科(広義)	Gobiidae (sensu lato)				●							6	●	●	
	クロユリハゼ科	サツキハゼ	<i>Parioglossus dotui</i>											2	●	●	
	アイゴ科	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>											3	●	●	
	ニザダイ科	ニセカンランハギ	<i>Acanthurus dussumieri</i>									●	●		●	●	
	カマス科	アカカマス	<i>Sphyaena pinguis</i>												●	●	
	カマス科	カマスの一種	<i>Sphyaena</i> sp.											1		●	
	タチウオ科	タチウオ	<i>Trichiurus japonicus</i>	●										1		●	
	ヒラメ科	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>											1		●	
	カレイ科	インガレイ	<i>Platichthys bicoloratus</i>	●	●							●		4	●	●	
	カレイ科	メイタガレイ	<i>Pleuronichthys lighti</i>												●	●	
	カレイ科	マコガレイ	<i>Pseudopleuronectes yokohamae</i>	●	●							●		5	●	●	
	カレイ科	カレイ科	Pleuronectidae												●	●	
	ササウシノシタ科	ササウシノシタ	<i>Heteromycteris japonicus</i>												●	●	
	ウシノシタ科	クロウシノシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>	●	●									4	●	●	
	ギマ科	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>	●	●									5	●	●	
	モンガラカワハギ科	アミモンガラ	<i>Canthidermis maculata</i>												●	●	
	カワハギ科	アミハギ	<i>Rudarius ercodes</i>											4	●	●	
	カワハギ科	カワハギ	<i>Stephanolepis cirrifer</i>											2	●	●	
	ハコフグ科	コンゴウフグ	<i>Lactoria cornuta</i>													●	●
	ハコフグ科	ハコフグ	<i>Ostracion immaculatum</i>													●	●
	フグ科	カスミフグ	<i>Arothron immaculatus</i>													●	●
	フグ科	クサフグ	<i>Takifugu alboplumbeus</i>	●		●						●		7	●	●	
	フグ科	コモンフグ	<i>Takifugu flavipetrus</i>											1	●	●	
フグ科	ヒガンフグ	<i>Takifugu pardalis</i>											2	●	●		
フグ科	トラフグ	<i>Takifugu rubripes</i>											1	●	●		
フグ科	ショウサイフグ	<i>Takifugu snyderi</i>											1		●	●	
フグ科	フグ科	Tetraodontidae	●										1		●	●	
爬虫類	4 種群																
	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●										1			
	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauemys reevesii</i>	●							●		2				
	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>			●					●		2	●		●	
	スッポン科	スッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>			●							1	●			
原生生物	46 種群																
	メソディニウム科	アカシオウズムシ	<i>Mesodinium rubrum</i>		●									1			
	ケラチウム科	フタマタツノモ	<i>Tripos furca</i>												●		
	ケラチウム科	ユミツノモ	<i>Tripos fusus</i>		●								1	●			
	ケラチウム科	Tripos属	<i>Tripos</i> sp.		●								1	●			
	プロトベリディニウム科	スケオビシ属	<i>Protoperidinium</i> sp.												●		
	カンムリムシ科	カンムリムシ属	<i>Dinophysis</i> sp.												●		
	フタヒゲムシ科	フタヒゲムシ属	<i>Prorocentrum</i> sp.												●		
	フタヒゲムシ科	ツノフタヒゲムシ	<i>Prorocentrum micans</i>												●		
	フタヒゲムシ科	<i>Prorocentrum minimum</i>	<i>Prorocentrum minimum</i>		●								1		●		
	オキシフィシス科	Oxyphysis 属	<i>Oxyphysis</i> sp.												●		
	ディクティオカ科	ディクティオカ属	<i>Dictyocha</i> sp.		●								1		●		
	ヘテロシグマ科	ヘテロシグマ アカシオ	<i>Heterosigma akashiwo</i>			●							1		●		
	ノクテイルカ科	ヤコウチュウ	<i>Noctiluca scintillans</i>		●								2		●		
	メガネケイソウ科	メガネケイソウ属	<i>Pleurosigma</i> sp.		●								1		●		
	サンカクチョウテンケイソウ	クシノハサンカクチョウテンケイソウ属	<i>Ditylum</i> sp.		●								1		●		
	ラウデリア	ラウデリア属	<i>Lauderia</i> sp.		●								1		●		
	クサリケイソウ科	ササノハケイソウ属	<i>Nitzschia</i> sp.												●		
	クサリケイソウ科	Navicula 属	<i>Navicula</i> sp.		●								1		●		
	クサリケイソウ科	ニセササノハケイソウ属	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.										1		●		
	バチラリア科	キリンドロチカ属	<i>Cylindrotheca</i> sp.		●								1		●		
	ツメケイソウ科	アクナンテス属	<i>Achnanthes</i> sp.		●								1		●		
	ツノケイソウ科	ツノケイソウ属	<i>Chaetoceros</i> sp.		●								1		●		
	レプトキリンドルス科	レプトキリンドルス属	<i>Leptocylindrus</i> sp.										1		●		
	ニセコアマケイソウ科	ニセコアマケイソウ属	<i>Thalassiosira</i> sp.										1		●		
	ホネツギケイソウ科	ホネツギケイソウ属	<i>Skeletonema</i> sp.		●								1		●		
	シマヒモケイソウ科	アナヒモケイソウ属	<i>Eucampia</i> sp.		●								1		●		
	シマヒモケイソウ科	ケラタウリオ属	<i>Cerataulina</i> sp.												●		
	タルケイソウ科	タルケイソウ属	<i>Melosira</i> sp.		●								1		●		
	コアマケイソウ科	コアマケイソウ属	<i>Coscinodiscus</i> sp.		●								1		●		
	ツツガタケイソウ科	ツツガタケイソウ属	<i>Rhizosolenia</i> sp.		●								1		●		
ウシケナリ科	アサクサナリ	<i>Neopyropia tenera</i>												●			
ウシケナリ科	スサビナリ	<i>Neopyropia yezoensis</i>				●								●			
ウシケナリ科	ウシケナリ科の一種	Bangiophyceae gen. sp.	●									1		●			

付表28 出現生物種群一覧 (地点17-25)

				観察地No.											
				17	18	19	20	21	22	23	24	25			
				浦安市 海岸・境川	浦安市 三番瀬環 境観察館 前	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 行徳鳥獣 保護区(新 浜湖)	市川市 江戸川放 水路	市川市 江戸川放 水路	船橋市 ふなばし三 番瀬	木更津市 盤洲干潟(見 立海岸)	木更津市 小櫃川河 口干潟	2024年 記録地点数	2023年 報告地点数	2022年 報告地点数
分類群	科	和名	学名												
	フジマツモ科	ショウジョウケノリ	<i>Polysiphonia senticulosa</i>						●	●		●	8	●	●
	オゴノリ科	オゴノリ	<i>Gracilaria vermiculophylla</i>	●		●							3	●	●
	オゴノリ科	ベニオゴノリ	<i>Gracilaria rhodocaudata</i>										1	●	●
	イギス科	ケイギス	<i>Pseudoceramium tenerrimum</i>						●			●	7	●	
	イギス科	イギス科	Ceramiaeae										1	●	●
	ダジア科	ダジア科の一種	<i>Dasyaceae</i> gen. sp.	●									1		●
	スギノリ科	ツノマタ近似種	<i>Chondrus</i> sp.										1	●	
	オキツノリ科	ハスジサ	<i>Stenogramma interrupta</i>										1		
	テングサ科	テングサ科の一種	<i>Gelidiaceae</i> gen. sp.	●									1	●	●
	ベニスナゴ科	ベニスナゴ	<i>Schizymenia dubyi</i>										1	●	
	ムカデノリ科	ヒラムカデ	<i>Grateloupia livida</i>										1	●	
	カヤモノリ科	セイヨウハバノリ	<i>Petalonia fascia</i>												●
	カヤモノリ科	カヤモノリ	<i>Scytosiphon lomentaria</i>			●							1	●	●
	ホンダワラ科	スナビキモク	<i>Sargassum ammophilum</i>											●	●
	ホンダワラ科	アカモク	<i>Sargassum horneri</i>										1	●	●
	ホンダワラ科	ホンダワラ属の一種	<i>Sargassum</i> sp.	●									2	●	
	シオミドロ科	シオミドロ	<i>Ectocarpus siliculosus</i>							●			1	●	●
	チガイソ科	ワカメ	<i>Undaria pinnatifida</i>										2	●	●
	ヒトエグサ科	ヒトエグサ	<i>Monostroma nitidum</i>												
	アオサ科	アナアオサ	<i>Ulva pertusa</i>										1	●	●
	アオサ科	ボウアオノリ	<i>Ulva intestinalis</i>	●					●	●		●	9	●	●
	アオサ科	ミナミアオサ	<i>Ulva ohnoi</i>										1	●	
	アオサ科	<i>Ulva</i> 属	<i>Ulva</i> sp. or spp.	●	●				●			●	8	●	●
	ミル科	ミル	<i>Codium fragile</i>		●				●			●	7	●	
	ミル科	ミル属の一種	<i>Codium</i> sp.	●									1	●	●
	ハネモ科	ハネモ	<i>Bryopsis plumosa</i>						●	●		●	7	●	●
アマモ類	2 種	アマモ科	アマモ	●	●							●	6	●	●
		アマモ科	コアマモ							●			2	●	●
総出現種群数													685	687	616

付表29 報告者一覧

地点番号	地点	緯度：経度	報告団体	報告者代表	共同報告者
1	横浜市・野島公園	35.329062：139.636178	海をつくる会	工藤孝浩	
2	横浜海の公園	35.338295：139.636343	海をつくる会	尾島智仁	
3	横浜山下公園	35.446735：139.650464	海をつくる会	尾島智仁	
4	大田区多摩川河口	35.544881：139.739100	大田区環境マイスターの会	鈴木晶夫	
5、6	東京港野鳥公園	35.581357：139.766213	公益財団法人日本野鳥の会	川島賢治	嶋村早樹、小俣信一郎
7	竹芝干潟	35.657039：139.762695	東京港水中生物研究会	尾島智仁	多留聖典
8、9	お台場海浜公園	35.634233：139.774711	東京港水中生物研究会	尾島智仁	多留聖典
10	大森ふるさとの浜辺公園	35.573385：139.743432	東京港水中生物研究会	尾島智仁	多留聖典
11	城南島海浜公園	35.578416：139.785913	東京港水中生物研究会	尾島智仁	多留聖典
12	大井ふ頭中央海浜公園	35.590670：139.749394	東京港水中生物研究会	尾島智仁	多留聖典
13	葛西臨海公園下ノ池	35.640397：139.868525	NPO法人生態教育センター	吉田祐一	葛西臨海公園サービスセンター、葛西海浜公園パートナーズ
14	葛西海浜公園西なぎさ	35.637606：139.855502	NPO法人生態教育センター	吉田祐一	葛西臨海公園サービスセンター、葛西海浜公園パートナーズ
15	葛西海浜公園西なぎさ	35.637606：139.855502	江戸川区こども未来館	高木嘉雄	
16	葛西海浜公園東なぎさ	35.635571：139.864446	江戸川区こども未来館	高木嘉雄	
17	浦安市海岸・境川	35.632765：139.926200	浦安水辺の会・浦安三番瀬を大切にする会	浦川賢二	
18	浦安市三番瀬環境観察館前	35.643779：139.936448	浦安市三番瀬環境観察館	海上智央	
19	行徳鳥獣保護区(新浜湖)	35.668913：139.921120	NPO法人行徳ほごクラブ	野長瀬雅樹	風呂田利夫
20	行徳鳥獣保護区(新浜湖)	35.668913：139.921120	東京港水中生物研究会	多留聖典	尾島智仁
21	江戸川放水路	35.701383：139.926227	江戸川区こども未来館	高木嘉雄	
22	江戸川放水路	35.686345：139.939442	東京港水中生物研究会	多留聖典	尾島智仁
23	ふなばし三番瀬	35.670535：139.966141	ふなばし三番瀬環境学習館	小澤鷹弥	
24	盤洲見立海岸	35.438343：139.907515	日本安全潜水協会	風呂田利夫	
25	盤洲小櫃川河口干潟	35.412250：139.897933	東京港水中生物研究会	多留聖典	尾島智仁